羽根中岛遗跡発掘調查報告

一 名賀郡青山町羽根所在 一

2001 • 3

三重県埋蔵文化財センター

古い佇まいを残す地域は、全国各地に存在します。それらは、神社やお寺、商家、家並みなど現代に生きる私たちが実際に目にすることのできるものばかりです。しかし、私たちの祖先が残した足跡は、それだけではありません。すぐに目にすることはできませんが、ごく身近にその足跡はあります。それは、私たちの足下にあって、「遺跡」と呼ばれています。普段の生活の中では気にとめることも少ないでしょうが、私たちの祖先が残した大切で貴重な未来へのメッセージです。

さて、今回報告します羽根中島遺跡は、名賀郡青山町羽根字中島に所在します。羽根中島遺跡のすぐ横を初瀬街道が通っています。伊賀地方は、かつて畿内と伊勢や東国を結ぶ要衝にありました。それは、遺跡が数多くあることが物語っています。今回の調査は、県営は場整備事業に先立って実施したものです。調査の結果、古墳時代の比較的規模の大きな集落跡がみつかりました。

今回調査した場所は、ほ場整備事業のために残念ながら消滅します。しかし、 先にも申し上げましたように、そこには我々の祖先が残した足跡があり、その 足跡が今日や未来への発展の足がかりとなっていることを忘れてはならないと 思います。その意味からもこのような成果を基に、地元の方々、そして県民の 方々にも文化財保護への関心がより強く根づくのであれば、これに勝る喜びは ありません。

当報告書が伊賀地方の歴史を解明する上での糸口になることを願いますとともに、県民の皆様の文化財保護へのより一層のご理解とご協力を念願して序文といたします。

平成13年3月

三重県埋蔵文化財センター

所長 藤 澤 英 三

例 言

1 本書は、平成10年度および同11年度県営は場整備事業に伴い実施した下記の遺跡の発掘調査報告書である。

羽根地区 羽根中島遺跡(旧称:中島遺跡) 名賀郡青山町羽根字中島

中出向遺跡 名賀郡青山町羽根字中出向

柘植川沿岸地区 下坪井遺跡 阿山郡伊賀町御代字下坪井

2 羽根中島遺跡の遺跡名は、当初「中島遺跡」としていたが、「(仮称)中島遺跡」が同町別府字中島に仮 登録されおり、混同されることを避けるため、大字を冠して「羽根中島遺跡」に変更することとした。

- 3 調査に係る費用は、その一部を国庫補助金を受け三重県教育委員会が、他を三重県農林水産商工部と地元 市町村が負担した。
- 4 調査および整理体制は下記による。

調査主体 三重県教育委員会

調査担当 三重県埋蔵文化財センター

羽根中島遺跡 平成10年度 調査第一課 主 事 船越重伸 臨時技術補助員 濱辺一機

資料普及グループ 研修員 松田久司

平成11年度 調査第一課 主 事 船越重伸 技師 萩原義彦

臨時技術補助員 川崎志乃·濱辺一機

中出向遺跡 調査第一課 主 事 船越重伸

資料普及グループ 研修員 松田久司

下坪井遺跡 調査第一課 主 事 中川明

整理担当 三重県埋蔵文化財センター 調査第一課・資料普及グループ

5 調査期間は下記のとおりである。

羽根中島遺跡 第1次調査 平成10年11月5日 ~ 平成11年3月18日

第2次調査 平成11年4月5日 ~ 同年 10月8日

中出向遺跡 第3次調査 平成10年9月9日 ~ 同年 11月5日

下坪井遺跡 平成11年10月20日

- 6 調査にあたっては、地元の方々、羽根土地改良区、伊賀町土地改良区、青山町教育委員会、伊賀町教育委員会、(財)三重県農業開発公社、伊賀県民局農林商工部および三重県農林水産商工部農業基盤整備課からの協力を得た。
- 7 羽根中島遺跡で検出した牛の足跡については、冨田靖男氏に助言を頂いた。
- 8 報文執筆は調査担当者が行い、目次および文末に氏名を記した。また、全体の編集は船越重伸が、写真撮 影は船越と萩原義彦が行った。
- 9 写真図版の遺物番号は、実測図の番号と対応している。写真図版は、特に断りのない限り縮尺不同である。
- 10 羽根中島遺跡の遺物観察表中の登録番号は、第1次調査を1,000番台、第2次調査を2,000番台としている。
- 11 本書の方位は、羽根中島遺跡および中出向遺跡については、国土調査法に基づく国土座標第Ⅵ系による座標北を、下坪井遺跡については真北を用いた。なお、真北は西偏0°18′、磁北は西偏6°30′(平成元年、国土地理院)である。
- 12 本書で用いた遺構表示記号は、下記のとおりである。

SB=掘立柱建物 SH=竪穴住居 SD=溝 SK=土坑 SX=墳墓

SZ=不明遺構

- 13 本書で報告した記録類および出土遺物は、三重県埋蔵文化財センターで保管している。
- 14 スキャニングによるデーター取り込みのため若干のひずみが生じています。 各図の縮尺率は、スケールバーを参照ください。

本 文 目 次

I	位置と現	環境			• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •		(船越重伸).	1	
1	はじぬ	かに						1	
2	調査日	日誌 (抄)						2	
3	位置と	と環境 ‥						4	
II	羽根中島	· · · · ·					(船越重伸)·	6	į
1	層序と	と遺構 …					(船越重伸) ·	6	
2	遺物						(萩原義彦)・	37	7
3	結語						(船越重伸)	6	1
III	中出向遗	遺跡					(船越重伸)・	104	4
1	層序と	と遺構 …					(船越重伸)	10	1
2	遺物						(萩原義彦)	104	4
3	結語						(船越重伸)	102	1
IV	下坪井道	貴跡					… (中川明) ·	11	1
1	調査の	0経緯 …						113	1
2	経過と	と方法 …							
3	位置と	と歴史的環	₹境 ⋯⋯⋯⋯⋯					11	1
4	調査の	の成果 …						112	2
			1-		_				
			揖		目	次			
第1					第15図				
第2					第16図				
第3			协調査区位置図		第17図				
第4	図 中日	出向遺跡認	胃査区位置図	5	第18図	S H25実測図		17	7
	羽根中島道				第19図	S H25カマド実測図		17	7
第 5		構配置図		7	第20図				
第6	図 A f	也区調査区	至平面図	9	第21図	C地区(上層)調査区	平面図	19	9
第7	「図 B♯	也区調査区	至平面図	11	第22図	SB51・52実測図 …	•••••	2	1
第8	図 SI	H12実測図	1	14	第23図	耕作痕・足跡平面図		22	2
第9	図 SF	H13・17実	ミ測図	14	第24図	足跡実測図		24	4
第10	D図 SI	H14・21実	₹測図	14	第25図	C地区(下層)調査区	平面図	25	5
第1	1図 S F	H14カマト	:実測図	14	第26図	S H53・54・56実測図		27	7
第1:	2図 SF	H13カマト	:実測図	15	第27図	SH56カマド実測図		27	7
第1:	3図 S I	H17カマト	:実測図	15	第28図	S H54カマド実測図		27	7
第1	4図 S F	H29実測図	4	16	第29図	SH53カマドA実測図		27	7

第30図	SH55・59・66・73実測図	28	第58図	出土遺物実測図 5	· 41
第31図	S H73カマド実測図	28	第59図	出土遺物実測図 6	· 42
第32図	S H 57・64・71・72実測図	29	第60図	出土遺物実測図7	· 44
第33図	SH57カマド実測図	29	第61図	出土遺物実測図8	· 45
第34図	SH64カマド実測図	29	第62図	出土遺物実測図 9	· 46
第35図	SH71カマド実測図	29	第63図	出土遺物実測図10	· 48
第36図	S H75実測図	30	第64図	出土遺物実測図11	· 49
第37図	S H78•79実測図	30	第65図	出土遺物実測図12	. 50
第38図	S H75カマド A 実測図	30	第66図	出土遺物実測図13	. 51
第39図	SH75カマドB実測図	30	第67図	出土遺物実測図14	. 52
第40図	SH78カマド実測図	30	第68図	出土遺物実測図15	· 54
第41図	SB82実測図	31	第69図	出土遺物実測図16	· 55
第42図	SB84実測図	31	第70図	出土遺物実測図17	. 56
第43図	SB86実測図	31	第71図	出土遺物実測図18	. 57
第44図	SB83実測図	31	第72図	出土遺物実測図19	. 58
第45図	SB87実測図	32	第73図	出土遺物実測図20	. 59
第46図	SB85実測図	32	第74図	遺跡周辺古墳分布図	62
第47図	D地区調査区平面図	33	【中出向	可遺跡】	
第48図	S H92実測図	34	第75図	D地区調査区平面図	105
第49図	SH127 実測図	34	第76図	E地区調査区平面図	106
第50図	S H133 実測図	34	第77図	SB245 平面図	· 107
第51図	SH116 実測図	34	第78図	出土遺物実測図	107
第52図	SB137 実測図	35	【下坪井	丰遺跡】	
第53図	S B 135 • 136実測図	36	第79図	遺跡位置図	111
第54図	出土遺物実測図1	37	第80図	調査区位置図	112
第55図	出土遺物実測図 2	38	第81図	遺構略測図	112
第56図	出土遺物実測図3	39	第82図	出土遺物実測図	112
第57図	出土遺物実測図4	40			

写 真 図 版 目 次

【羽根中	中島遺跡】		図版10	SH13カマド完掘状況(南から) …	81
図版 1	調査前風景(北から)	77	図版11	SH17カマド出土状況(南から) …	82
図版 2	調査前風景(西から)	77	図版12	S H14・21 (北から)	82
図版 3	A地区調査区全景(東から)	78	図版13	SH14・21カマド(南から)	82
図版 4	B地区調査区全景(西から)	78	図版14	SD4 (北から)	82
図版 5	C地区上層調査区全景(北から) …	79	図版15	SD4出土状況(西から)	82
図版 6	C地区下層調査区全景(西から) …	79	図版16	SH29・32(西から)	82
図版 7	耕作痕・足跡全景(西から)	80	図版17	SH33・SK30 (北から)	82
図版 8	D地区調査区全景(西から)	80	図版18	SH23・27・SX41 (西から)	82
図版 9	SH13カマド出土状況(南から) …	81	図版19	SH29出土状況(東から)	83

図版20	SH33出土状況(西から)	83	図版44	出土遺物 1		88
図版21	S H55・59・66・73(東から)	84	図版45	出土遺物 2		89
図版22	SH55・59(西から)	84	図版46	出土遺物3		90
図版23	S H64・71・72ほか(北から)	84	図版47	出土遺物4		91
図版24	SH74・75・76 (西から)	84	図版48	出土遺物 5		92
図版25	SH55・59・67・73 (西から)	84	図版49	出土遺物 6		93
図版26	SH64カマド(南から)	85	図版50	出土遺物7		94
図版27	SH73カマド(西から)	85	図版51	出土遺物8		95
図版28	SH56カマド(南から)	86	図版52	出土遺物 9		96
図版29	SH54カマド(南から)	86	図版53	出土遺物10		97
図版30	SH53カマドA (西から)	86	図版54	出土遺物11		98
図版31	SH57カマド(西から)	86	図版55	出土遺物12		99
図版32	SH71カマド(東から)	86	図版56	出土遺物13		100
図版33	SH75カマドB(南から)	86	図版57	出土遺物14		101
図版34	SH75カマドA(南から)	86	図版58	出土遺物15		102
図版35	SH78カマド(西から)	86	図版59	出土遺物16		103
図版36	SB50 (北から)	87	【中出阿	句遺跡】		
図版37	SB51・52 (北から)	87	図版60	D地区上層認	周査区全景(東から) …	109
図版38	SB82(南から)	87	図版61	D地区下層認	周査区全景(南から) …	109
図版39	SB83・86(東から)	87	図版62	E地区調查区	区全景(南から)	110
図版40	SB84(南から)	87	図版63	SB245 (F	南から)	110
図版41	足跡(南東から)	87	【下坪井	+遺跡】		
図版42	足跡(南から)	87	図版64	遺跡全景		112
図版43	SH92(南から)	87				

表 目 次

【羽根中	『島遺跡】		第9表	出土土器観察表 9	72
第1表	出土土器観察表1	 64	第10表	出土土器観察表10	73
第2表	出土土器観察表2	 65	第11表	遺構一覧表・遺構番号対照表1	74
第3表	出土土器観察表3	 66	第12表	遺構一覧表•遺構番号対照表2	75
第4表	出土土器観察表4	 67	第13表	遺構一覧表・遺構番号対照表 3	76
第5表	出土土器観察表 5	 68	【中出的	句遺跡】	
第6表	出土土器観察表6	 69	第14表	出土土器観察表	08
第7表	出土土器観察表7	 70	第15表	遺構一覧表・遺構番号対照表 1	80ء
第8表	出土土器観察表8	 71			

I 位置と環境

1 はじめに

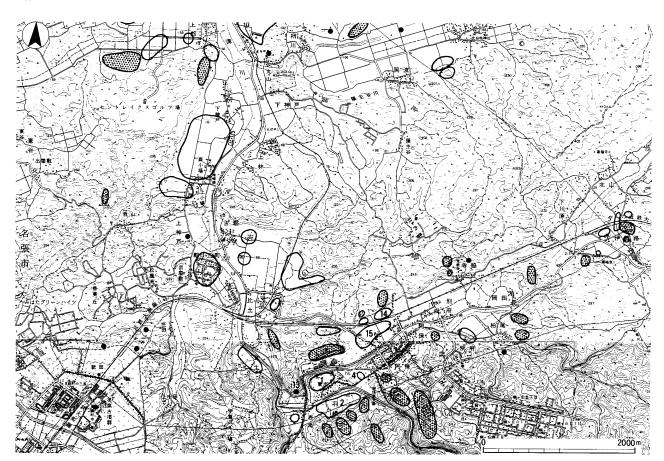
羽根中島遺跡および中出向遺跡が所在する三重県 名賀郡青山町羽根地区において県営ほ場整備事業が 行われることとなった。事業予定地は、中島遺跡お よび中出向遺跡が周知の遺跡として遺跡台帳に登録 されているとともに、周辺は旧参宮道が通り、南部 の丘陵には中出向古墳群をはじめとして、数十基の 古墳が分布するという埋蔵文化財が密集している地 域でもある。また、羽根中島遺跡では縄文土器や弥 生土器などが採集されていることから、事業開始前 に試掘調査を実施した。

試掘調査の結果、事業予定地内のほぼ全面にわたって縄文時代から中世にかけての遺跡が存在することが判明した。そこで、関係機関と協議の上、現状保存が困難な部分については、本調査を実施するとと

もに記録保存することとした。調査は平成8年度から11年度の4カ年にわたり実施し、調査必要面積は羽根中島遺跡が35,000㎡、中出向遺跡は45,000㎡のある。

過去に行われた中出向遺跡の発掘調査では、縄文時代から中世にかけての遺構や遺物が見つかっている。平成8年度に行った第1次調査では、鏡形土製品や勾玉形土製品が出土し、平成9年度に行った第2次調査では、古墳時代の竪穴住居が70棟検出され、羽根地区に大集落が存在したことが判明した。

平成10年度は、羽根中島遺跡では用水路および事業により削平を受ける部分のあわせて4,110㎡、中出向遺跡では用水路部分の700㎡について、翌11年度は、羽根中島遺跡で削平を受ける部分3,270㎡に



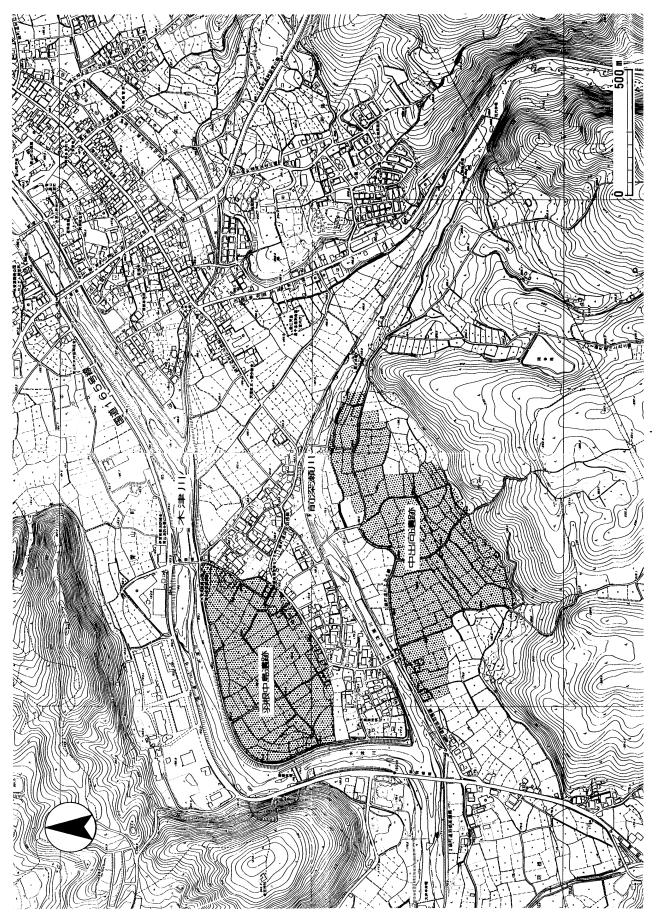
第1図 遺跡位置図(1:50,000)(国土地理院『伊勢路』・『阿保』1:25,000より)

ついて発掘調査を実施した。一部の調査区で2時期の遺構面を確認したため、最終的な調査面積は羽根

2月22日 C地区、表土除去開始 3月23日 年度末のため、作業中断

2 調査日誌(抄)

【平成10年	F度】	【平成11年	丰度】
(中出向遺跡)			諸準備を始める。
9月9日	現地協議	4月7日	現地協議
9月10日	D地区、表土除去開始	4 月14日	C地区、作業員投入
9月16日	作業員投入	4 月20日	遺構面が特定できずにいたが、ピットら
9月21日	台風8号上陸		しきものを検出したことから、灰褐色土
9月22日	台風7号上陸		を当面の検出面とする。
	上野で瞬間最大風速56.4m/sを記録	6月2日	C地区、写真撮影
9月24日	調査区、完全に水没	6月3日	D地区、表土除去開始
	調査区壁面の一部崩壊	6月8日	C地区、実測
9月25日	調査区の復旧作業	6月14日	D地区、作業員投入
9月29日	E地区、表土除去開始	6月15日	足跡の鑑定
10月6日	D地区、写真撮影		C地区下層確認トレンチをいれる
10月9日	E地区、作業員投入		SHを検出、D地区終了後に下層調査を
10月14日	D地区、下層確認調査		実施することにする
	溝を検出、木製品出土	6月16日	耕作痕と足跡の掘削
10月20日	E地区、写真撮影	6月18日	D地区の石組井戸と思われる遺構から極
10月22日	D地区下層、写真撮影		最近のコンクリート片が出土する
10月28日	実測	6 月28日	SH7の床面を確認
10月29日	SB3たち割	7月2日	耕作痕と足跡を平板実測
11月5日	現場引き渡し		足型取りを実施
(羽根中島	导遺跡)	7月5日	C地区、下層部分の表土除去開始
11月5日	A地区、表土除去開始	7月12日	C地区、下層部分の検出開始
11月13日	調査区の一部を拡張	7月16日	D地区、写真撮影
11月16日	作業員投入	7月17日	D地区、実測開始(~26日))
11月18日	B地区、表土除去開始	7月22日	C地区、検出面確認トレンチをいれる
11月20日	作業員投入		検出面は30cm下らしい
12月25日	航空写真撮影	7月23日	再度、重機にて表土除去
12月28日	個別写真撮影	9月10日	写真撮影
平成11年		9月13日	実測開始(~16日)
1月6日	実測開始(~8日)	10月8日	現場引き渡し
2月16日	現地協議		



第2図 遺跡地形図 (1:7,500)

3 位置と環境

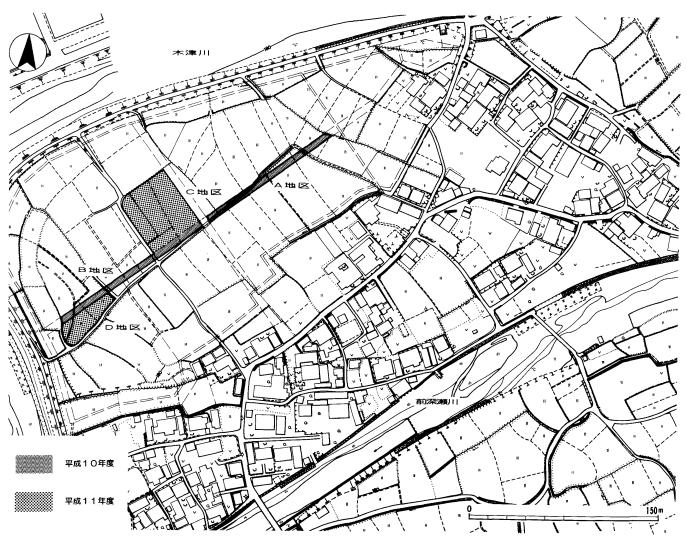
羽根中島遺跡(1)は木津川と前深瀬川に挟まれた、中出向遺跡(2)は前深瀬川左岸の共に標高約180mの河岸段丘上に立地し、行政上は名賀郡青山町羽根字中島、同字中出向に所在する。

青山町内の中小河川は、北部を流れる一級河川「木津川」に合流し、最終的に「淀川」と名を変えて大阪湾へと注いでいる。この木津川水系流域には、縄文時代の遺跡が多く存在し、同水系の源流または上流にあたる伊賀地方においても数多くの遺跡が確認されている。

同町内における縄文時代の遺跡は、伊勢路滑石谷 遺跡での縄文土器片の発見を契機として、布引開拓 地遺跡・種生八王子遺跡・勝地大坪遺跡・羽根中島 遺跡・花代遺跡(3)・東出遺跡(4)などで確認 されている。布引開拓地遺跡ではサヌカイト製石匙や石鏃などが、種生八王子遺跡では有舌尖頭器が、 勝地大坪遺跡では陥し穴などが見つかっている。当 遺跡の東方約500mに位置する東出遺跡では、約1 万年前、伊賀最古の縄文土器片が出土している。

弥生時代には、木津川の平地部を中心に、羽根中島遺跡・別府遺跡(5)・柏尾湯船遺跡(6)・寺脇遺跡(7)などがある。総じて弥生後期の遺跡が多く、その立地が縄文時代の遺跡と重複するようなである。伊賀地方で出土した銅鐸の内、東京国立博物館所蔵の突線紐式銅鐸(総高107cm)は柏尾湯船遺跡から出土したものである。

町内には、数多くの古墳が確認されているが、前・ 中期の古墳は見あたらない。その大部分が丘陵を利



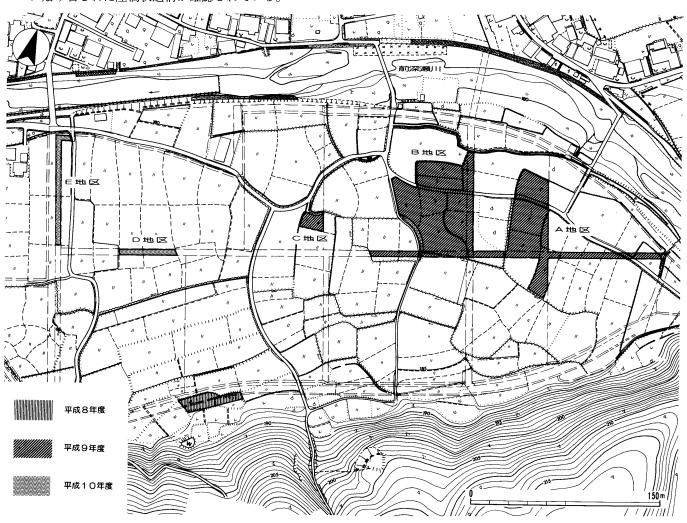
第3図 羽根中島遺跡調査区位置図(1:3,000)

用した横穴式石室を持つ後期古墳である。羽根地区の南側に位置する丘陵上には下向古墳群(8)・中出向古墳群(9)・間処古墳群(10)・狐塚古墳群(11)・深谷古墳群(12)があり、いずれも横穴式石室を持つ後期古墳である。これらの古墳群の内、中出向古墳群26号墳からは鏡型土製品や勾玉型土製品が出土している。また、羽根地区の西端に位置する塚原古墳(13)は、墳丘裾を外護列石がめぐる径約12mの円墳である。主体部は無袖式横穴石室で、6世紀後半頃の築造とされている。

集落跡には、中期頃の楳ヶ森遺跡(14)・沢代遺跡(15)や中期から後期頃の花代遺跡・後期の中出向遺跡などが知られる。この内、中出向遺跡では70棟、沢代遺跡では11棟の竪穴住居が確認されている。また、楳ヶ森遺跡では竪穴住居4棟のほかに、法面に貼り石された陸橋状遺構が確認されている。

奈良時代以降の明確な遺構は少ないが、この地が 畿内と東国、特に伊勢を結ぶ交通の要衝であったこ とは、持統天皇の伊勢行啓や聖武天皇の伊勢行幸、 斎王群行などに際して「頓宮」が営まれたと伝えら れていることによってもわかる。

中世の伊賀では、在地の有力者が台頭し、防御施設を持つ小規模な城館が数多く築かれている。同町内で確認されている城館数は約50カ所にものぼり、遺跡総数の約1/4を占めている。



第4図 中出向遺跡調査区位置図(1:3,000)

II 羽根中島遺跡

1 層序と遺構

(1) 層序

調査区の現況は、水田および畑地で、調査区のほぼ中央付近を斜めに現行の用水路ならびに小道が横切っている。なお、ほ場整備事業が一部始まっていることから、調査の工程上、調査区をA・B・C・Dの4地区に分けて実施した。

各地区の基本的な層序は、以下のとおりである。 A地区では、耕作土、床土、灰色土または明黄灰色 土、褐色土または淡灰褐色土の順で黄灰色砂となり、 B地区では、耕作土、床土、淡灰褐色砂質土の順で 灰色土となる。なお、B地区の東側半分については、 黄灰色砂の中に拳大から一抱え以上ある礫または岩 の混じる層が床土直下から1m以上続く。C地区で は、耕作土・床土・灰黄色系統の土・灰色もしくは 灰褐色砂質土・褐色もしくは灰褐色系統の土の順で 現地表から約1~1.6mで黄色砂となる。灰黄色系土 および灰褐色系土の上面を遺構検出面とした。D地 区では、耕作土・床土の順で黄灰色砂もしくは暗褐 灰色土となる。

(2) 遺構

A 各地区の概要

A地区では、竪穴住居9棟、溝5条、土坑6基、ピットを検出している。竪穴住居は古墳時代後期、溝は弥生時代後期のものと考えられる。なお、調査区の東端部分には、自然の落ち込みと考えられるものがある。縄文時代から近世に至る遺物が出土している。

B地区では、竪穴住居10棟、溝1条、土坑13基、不明遺構1基、ピットを検出している。竪穴住居については、瓦器や山茶椀などが出土しているものもあるが、これらは混入したものと思われる。遺構の時期としては、古墳時代後期が中心と思われる。

C地区では、2時期の遺構面を確認した。第1遺構面では、掘立柱建物3棟、耕作痕、牛の足跡、土坑、ピットなどを検出した。また、第2遺構面では竪穴住居26棟、掘立柱建物7棟、溝2条、ピットなどを検出した。第1遺構面は、奈良時代から鎌倉時代頃にかけて、第2遺構面は古墳時代後期が中心とと思われる。

D地区では、竪穴住居4棟、掘立柱建物4棟、土 坑、ピットなどを検出した。検出した遺構は、古墳 時代後期から室町時代頃にかけての時期と思われる。

以下に主な遺構について時代順に記述することと

し、記述のない遺構については、遺構一覧表・遺構 番号対照表(第11~13表)を参照されたい。

B 縄文時代の遺構

今回の調査においては、明確に遺構として特定できるものはなかった。しかし、縄文土器のみが出土したSD10・SK11・SK20については、当該時期に相当する可能性があるため、ここで述べておく。

SD10 A地区中央付近で半円状に検出した溝で、幅約1.5m、深さ約0.1~0.3mである。縄文土器、サヌカイト片が出土している。

SK11 A地区東側で検出した。一辺約2.5mの方形と考えられる深さ約0.2mの土坑である。縄文土器および石錘が出土している。

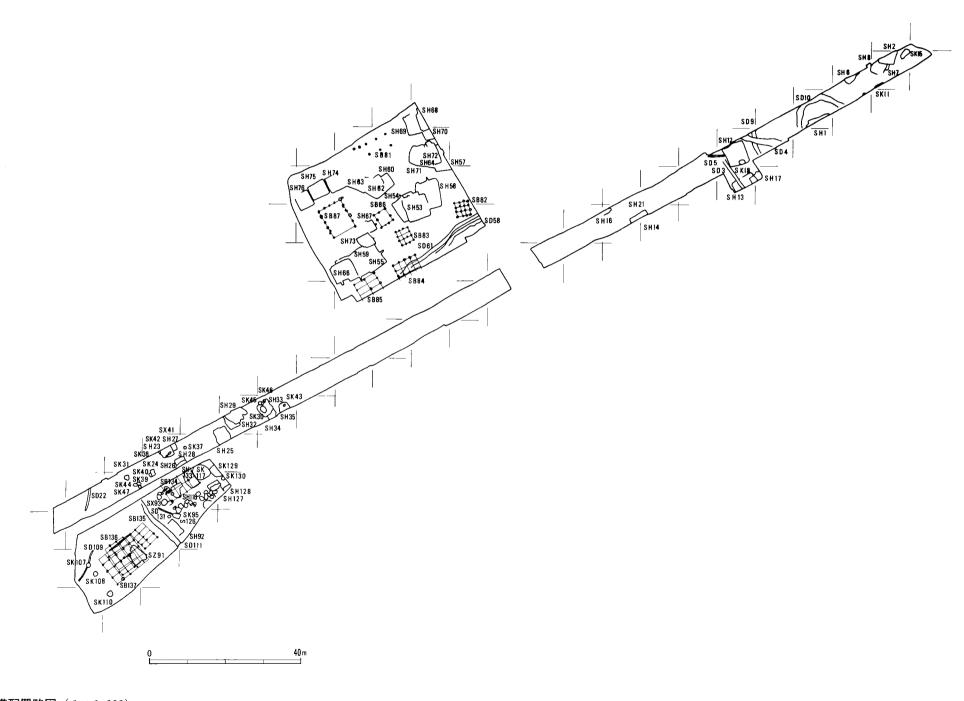
S K 20 S K 11の北側で検出した。径約0.3m、深 さ約0.7mの小土坑で、縄文土器が出土している。

C 弥生時代の遺構

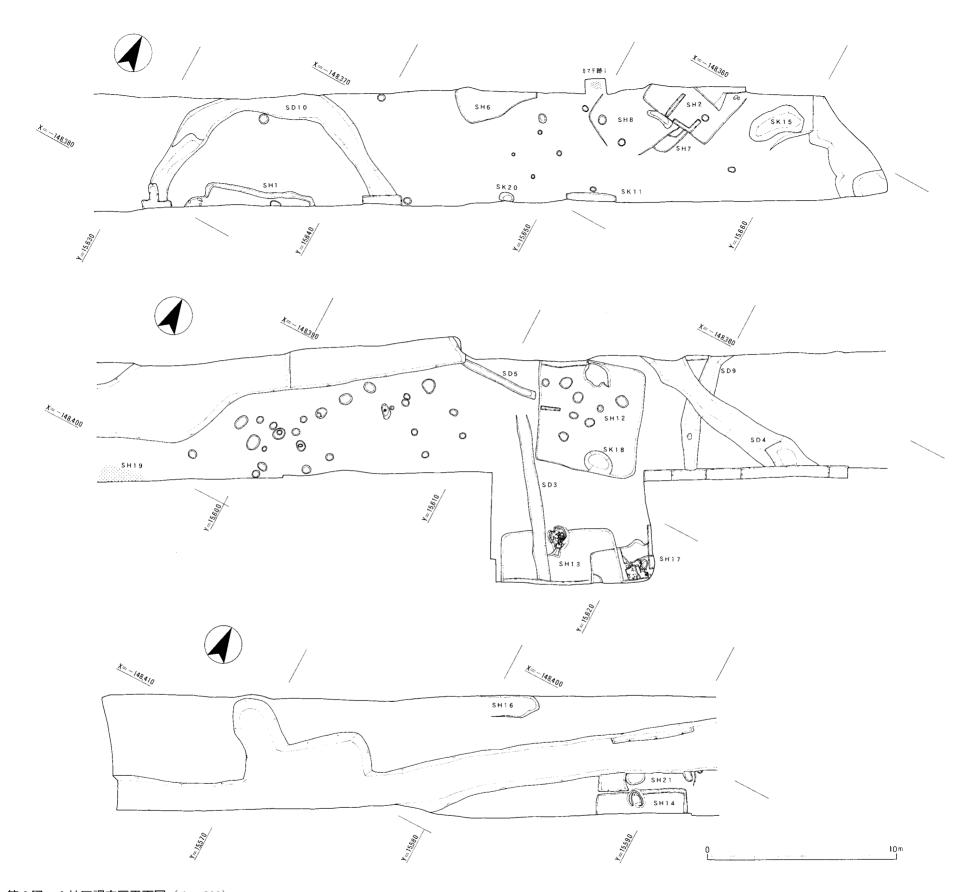
a 溝

SD4 A地区中央付近で検出した幅約1.6m、深 さ約0.3mの溝である。断面形は逆台形状で、調査 区を斜めに横断している。縄文後期の中津式・弥生

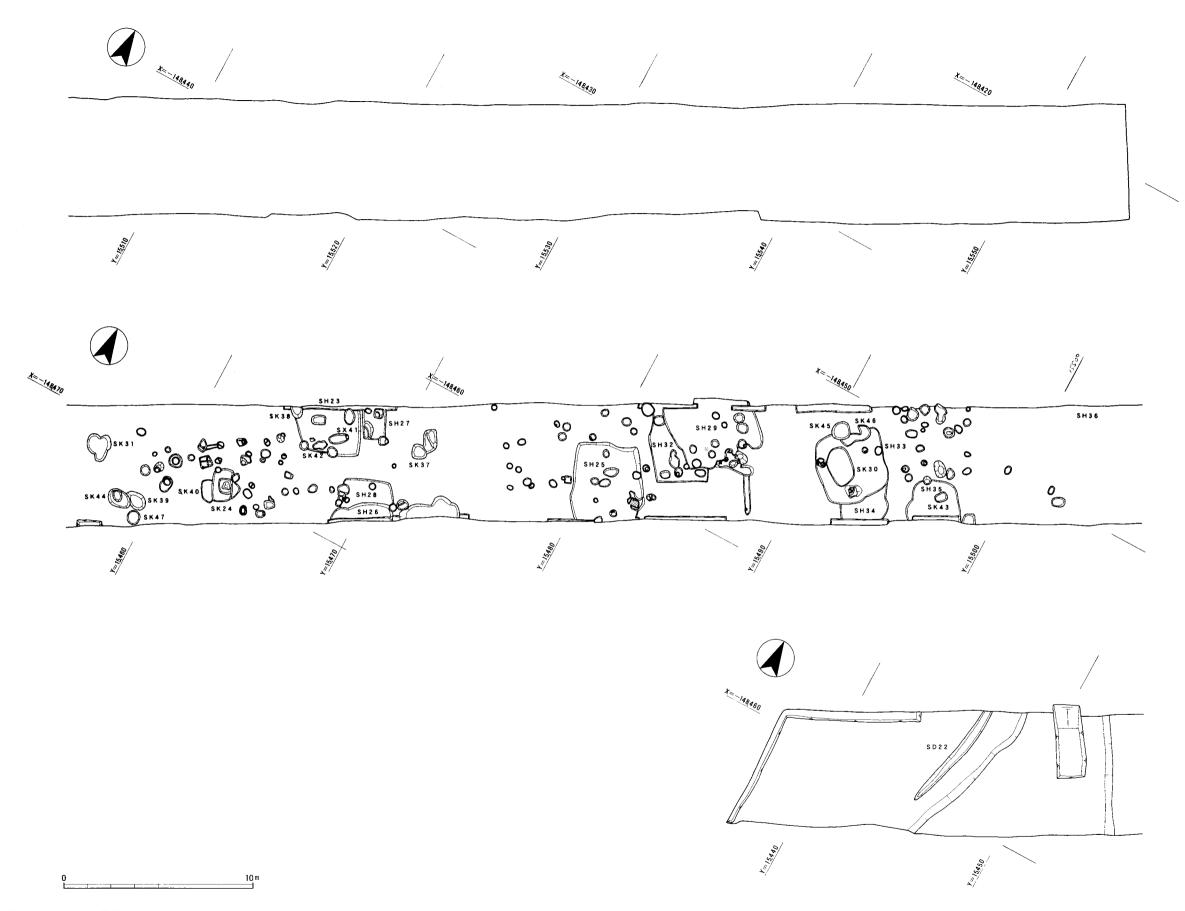




第5図 遺構配置略図(1:1,000)



第6図 A地区調査区平面図(1:200)



第7図 B地区調査区平面図 (1:200)

V様式の手焙り形土器などが出土している。

D 古墳時代の遺構

a 竪穴住居

SH2・7・8 A地区東側で検出した。SH2・8は一辺約3~4mの方形と考えられるが、SH7の規模は不明である。それぞれ建て替えの関係にある住居跡と考えられる。SH8の西辺南寄りにカマド跡と考えられる焼土が2カ所認められるが、1つは調査区外に位置しており、別の竪穴住居が存在している可能性がある。SH2からは弥生土器、SH7・8からは縄文土器も出土している。

SH12 A地区中央付近で検出した。一辺約5.5m の方形で、比較的規模の大きなものである。北辺中央にカマドがある。SH7・8と同様に縄文土器が出土している。

SH13・17 排土置き場を確保するため耕作土を除去中にカマドを検出したため、調査区を拡張した際にA地区中央付近で検出した。

SH13は一辺約6.5mの方形と考えられる、比較的規模の大きな住居である。北辺中央に比較的残存度の良いカマドがある。カマド内から土師器甑や甕などが出土している。

SH17は、規模不明である。カマドを検出したこ

とからここでは竪穴住居としておく。カマドは住居内に位置しており、この住居に伴うものとは考え難く、別の住居が存在したものと考えられる。また、SH13とは建て替えの関係にあるものと思われる。SH14・21 A地区西部で検出した。SH14は一辺約4.8mの方形と考えられ、北辺中央にカマドがある。このカマドの焼土面には、フイゴ羽口がささっていたが、支柱石として利用されていたかは不明である。須恵器、土師器以外に縄文土器が出土している。

SH21は南側をSH14に、北側を現行の用水路によって壊されている。北側でカマド跡と考えられる焼土を検出したことから、ここでは竪穴住居としておく。SH14とは建て替えの関係にあるものと思われる。須恵器、土師器以外に縄文土器が出土している。

SH25 B地区中央付近で検出した。平面形は、

4.2m×3.9mの長方形で、東辺南寄りにカマドがある。北辺の北側の脇で須恵器耳付き有蓋高杯が出土している。

SH29 B地区中央付近で検出した。検出状態は不整形な方形であるが、一辺約4.2mの方形と考えられ、全体の1/3程度が調査区外に及ぶと思われる。住居内から土師器壷と高杯が計6個体が出土している。SH33 B地区中央付近で検出した。一辺約2.7mの方形で、南辺にカマドがある。住居内のカマドに近い場所から底部に穿孔を施した鉢形の土師器が出土している。

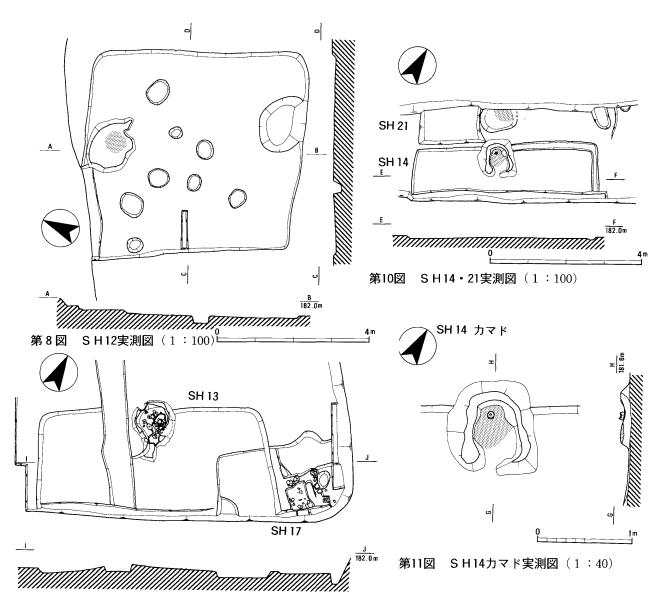
SH53・54・56 C地区南東部(下層)で検出した。いずれも一辺が約6mの方形である。SH54とSH56は、北辺中央に煙道およびカマドが認められる。SH53は北辺中央および東辺中央の2カ所でカマドを検出している。カマドAとカマドBのレベル差はほとんどない。ただ、カマドBはSH53の平面プランが北側へ突出した部分にあり、カマドAよりも高い位置で検出している。このことから、この突出部分が別の竪穴住居であることも考えられるため、ここではカマドAがSH53のカマドであり、カマドBは別の竪穴住居のカマドとしておく。SH54とSH56は、ともにSH53と重複しているが、この3棟の建て替えの関係については不明である。

S H 55・59・66・73 C 地区南西部 (下層) で検出 した。一辺が約4~6 mの方形と考えられる。

SH55は東辺中央に、SH59は南辺中央に煙道およびカマド跡と考えられる焼土が認められる。ともに支柱石はなく、煙道には被熱痕は認められなかった。両者の建て替えの関係については不明である。

SH66は、西辺中央にカマド跡と考えられる焼土が認められる。今回の調査で検出した唯一の西向きカマドである。SH59と重複している。

SH73は、東辺中央に煙道およびカマドがある。 壁から約0.3mの位置の両脇に立石を設け、その上 に横石を据えて焚き口の天井としている。立石は高 さ約0.2m、幅約0.3m、厚さ約0.05mの、横石は縦 0.7m、横0.25m、厚さ0.1mの板石を用いている。 SH57・64・71・72 SH57は、一辺約5mの方形 と考えられる。全体の1/2程度が調査区外へと及 んでいるものと思われる。北辺中央にカマドがあり、



第9図 SH13·17実測図(1:100)

全体の1/2程度を検出した。

SH64は規模不明であるが、北辺にカマドがある。 焚き口部分には高さ約0.2m、幅約0.3m、厚さ約 0.3mの立石が片側のみ残っている。また、このカ マドについては、支柱石は自然石を用いず高さ約 0.3m、幅約0.2m、厚さ約0.05mの板石を使用して いる点が他の竪穴住居とは異なっている。重複する 他の竪穴住居との前後関係は不明である。

SH71は一辺約4.8mの方形で、西辺中央にカマドがある。支柱石は、高さ約0.16m、幅約0.13m、厚さ約0.1mの直方体の自然石を用いている。SH72は一辺約4.8mの方形と考えられる。SH57よりは新しいが、他の重複する竪穴住居との前後関係は不明である。

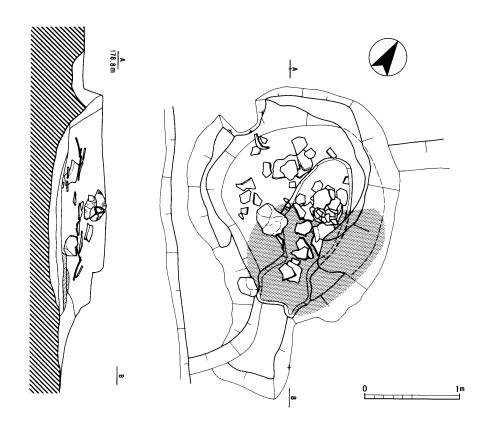
SH67 C地区中央部 (下層) で検出した。一辺が

約4~4.5mの方形と考えられる比較的小規模な住居である。西側の1/2程度については検出できなかった。東辺中央に煙道とカマド跡と考えられる焼土がある。

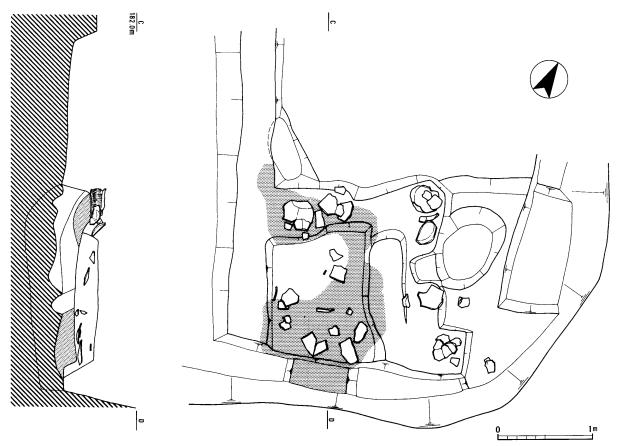
SH75 C地区北西部(下層)で検出した。約4m×約4.5mの方形で、東辺中央および北東隅の2カ所でカマド跡と考えられる焼土を検出した。北東隅のカマドAはカマドBに対して絶対高が低く、2棟の竪穴住居が重複しているものと考えられる。

SH78・79 カマド跡と考えられる焼土をC地区北西部(下層)で検出した。いずれも、平面プランを検出することができなかったが、ここでは竪穴住居としておく。

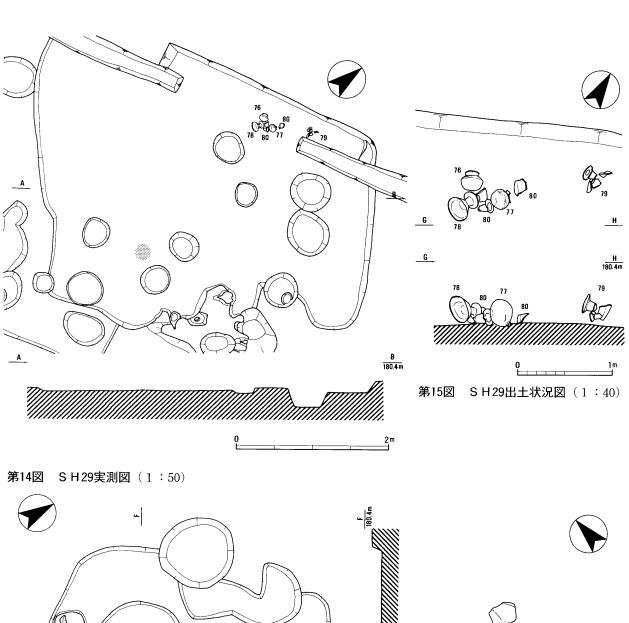
SH78では、焼土の東側と南側の2カ所に石が認められる。両者の位置関係から考えて、恐らく東側

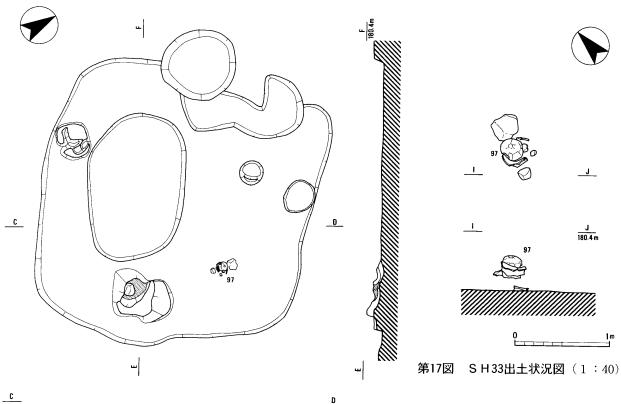


第12図 SH13カマド実測図 (1:40)



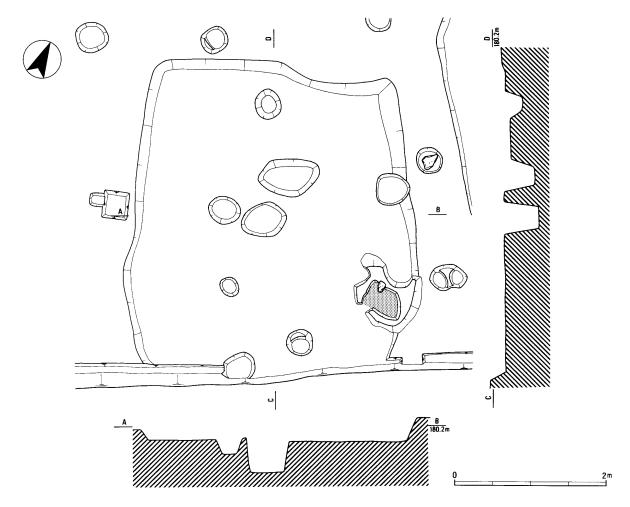
第13図 SH17カマド実測図(1:40)



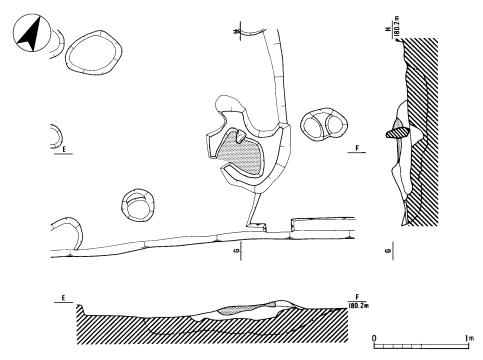


— 16 —

第16図 S H 33実測図(1:50)



第18図 SH25実測図(1:50)



第19図 SH25カマド実測図(1:40)

が支柱石で、南側がカマド焚き口の立石と思われる。

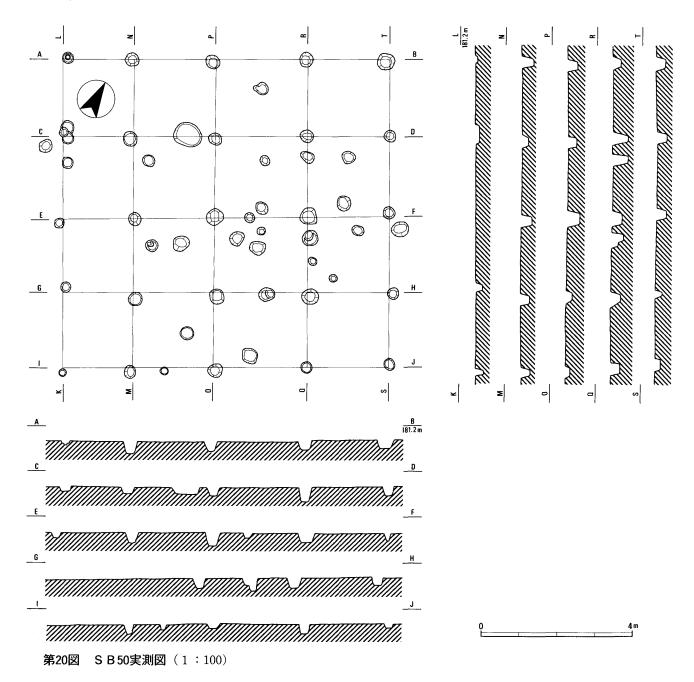
SH79では、焼土の範囲は長径約0.6m×短径0.5mの楕円形で、支柱石は認められなかった。焼土の南北両側に袖と考えられる部分がある。

SH80 C地区南西部 (下層) で床面のみを検出した。規模は不明であるが、床面の残存具合から調査区外へと広がる住居跡と思われる。

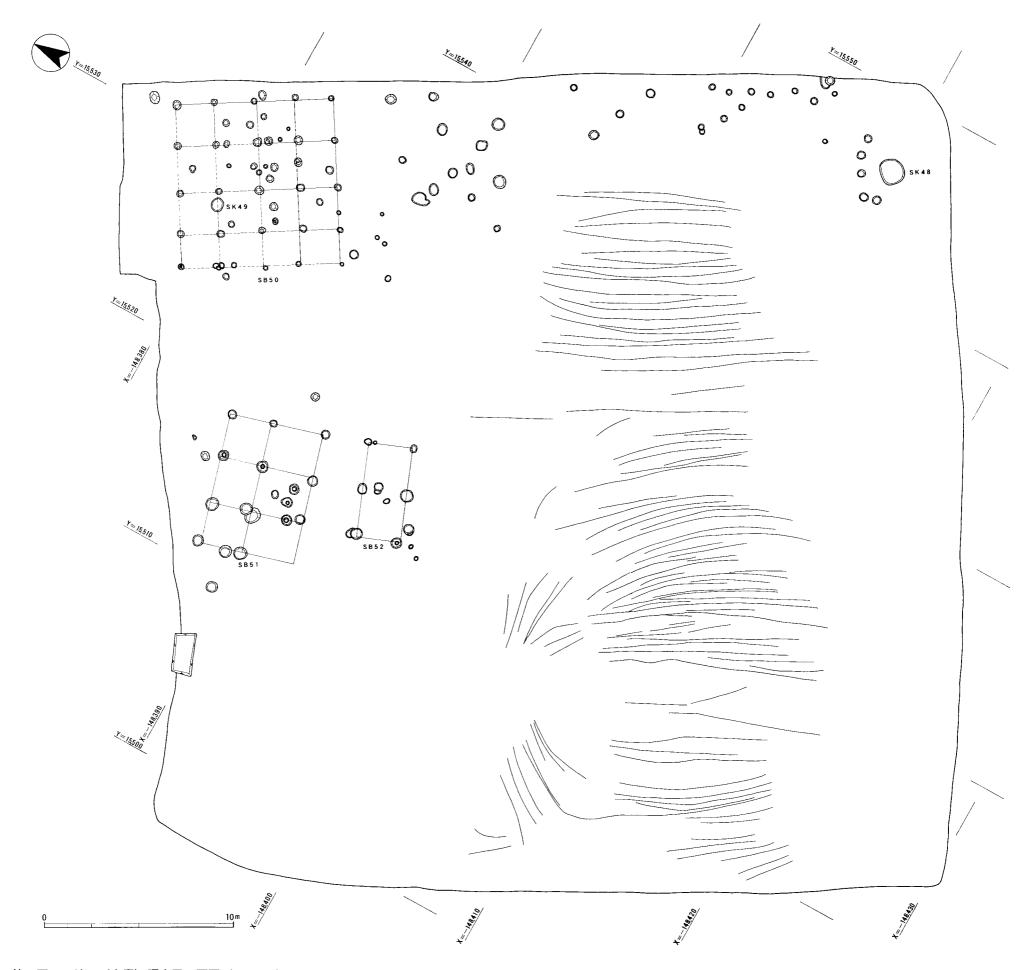
SH116 D地区中央付近で検出した不整方形の竪穴 住居である。本来は一辺約3.3m以上の方形と思われ、北辺中央にカマド跡と考えられる焼土がある。 削平が著しく残りは悪い。

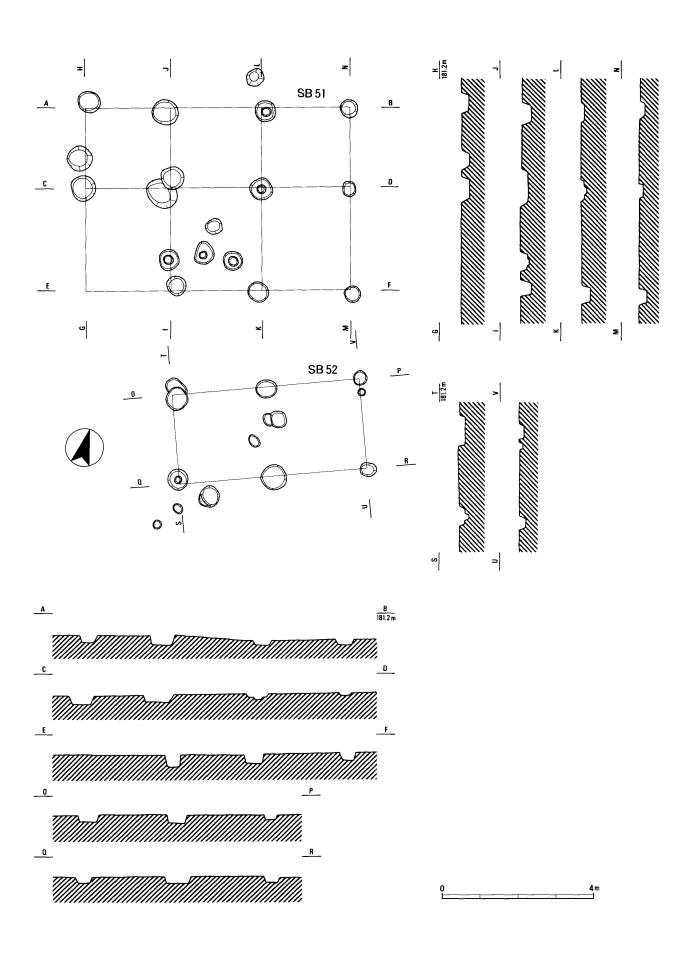
S H127 D地区東部で検出した。一辺約3.8m以上 の方形と思われる。北辺中央にカマド跡と考えられ る焼土がある。S K124・126と重複している。

SH133 D地区東部で検出した。北部分にカマド跡と考えられる焼土がある。検出した平面プランは、長辺4.1m×短辺2.8mの長方形で、深さが0.06mと浅い。

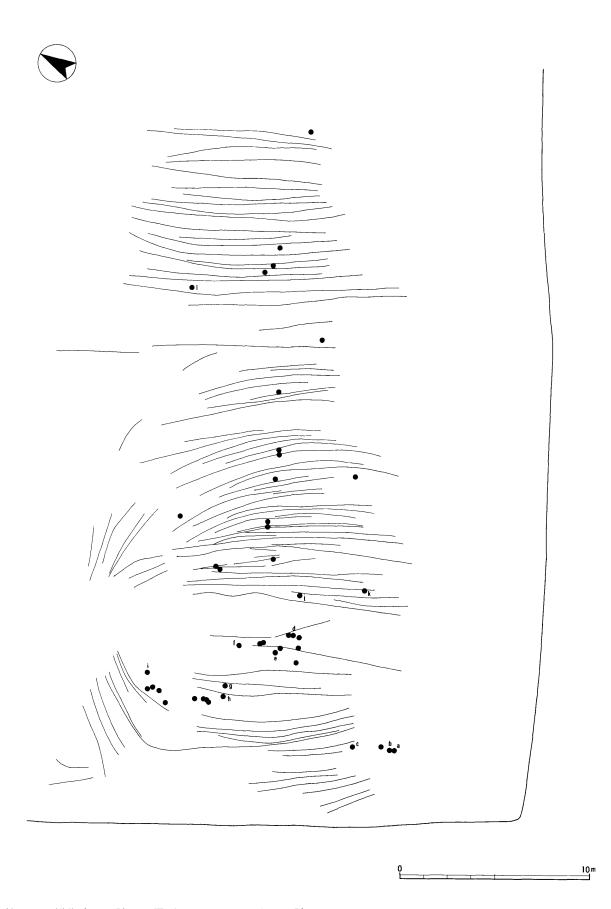


— 18 —





第22図 SB51・SB52実測図(1:100)



第23図 耕作痕・足跡平面図 (1:200) ●印は足跡

b 掘立柱建物

SB82 C地区南東部(下層)で検出した3間×3間の総柱建物である。桁行、梁行ともに不等間である。柱掘形は円形であるが径約0.4~0.7mと不揃いである。深さは、検出面から1mも下がるものもある。

SB83 C地区中央部(下層)で検出した3間×3間の総柱建物である。桁行、梁行ともに不等間である。柱掘形は径約0.5mの円形で、深さは検出面から0.6mも下がるものもある。

SB84 C地区南部(下層)で検出した4間×2間 以上の東西棟である。桁行、梁行ともに1.5mの等 間である。柱掘形は径約0.5mの円形で、深さは検 出面から0.6mも下がるものもある。柱穴内に拳大 の石があるものがあり、根石として機能していたも のと思われる。

SB85 C地区南西部 (下層) で検出した2間×2間の東西棟である。柱間は、桁行は3m、梁行は1.5mの等間である。柱掘形は円形であるが径約0.4~0.7mと不揃いである。

SB86 C地区中央部 (下層) で検出した2間×2間の建物である。桁行、梁行ともに不等間で、柱掘形は径約0.3~0.6mの円形である。

SB87 C地区西部(下層)で検出した 5 間× 4 間の南北棟である。検出できなかった柱穴もあるが、桁行、梁行ともに1.5mの等間であると考えられる。柱掘形は径約0.5~0.7mの円形である。

c 溝

SD3 A地区中央付近で検出した幅約0.7m、深さ約0.2mの南北方向の溝で、SH13と重複する。溝の北端は次第に浅くなっていき、調査区内で途切れる。縄文土器、須恵器、土師器、瓦器が出土している。SD9 幅約1m、深さ約0.25mの南北方向の溝で、非常に緩やかな弧を描きながら調査区外へと延びる。縄文土器、石鏃が出土している。

SD58 C地区南東部で検出した。幅約0.65m、深 さ約0.15mの東西方向の溝である。

SD61 C地区南東部で検出した。幅約0.9m、深 さ約0.25mで、SD58に平行する東西方向の溝である。

S D111 D地区中央付近で検出した。幅約0.6~1.4 m、深さ約0.2~0.3mの南北方向の溝である。

S D131 D地区中央付近で検出した。幅約0.1~0.3 m、深さ約0.4mの南北方向の溝である。

d 土坑

SK18 SH12の南辺中央付近で検出した約1.5m×約1.2mの長円形の土坑である。貯蔵穴と思われたが、瓦器椀が出土していることから別遺構と考えられる。

S K 24 1.5m×1 mの不整方形の土坑である。拳大から人頭大の石が数多く入っていたが、遺構の性格は不詳である。土師器、瓦器、陶器が出土している。 S K 31・39・44 いずれも埋土が炭のみの単層であった土坑である。 須恵器と土師器の小片が出土しただけであった。

SK117 D地区北西部で検出した。径約3.7mの円形の土坑である。土坑内には一部に規則的に配列されたように見える石組み状の部分もあるが、比較的新しい時期に大きく撹乱されているため、石組み井戸であるのか、単に石が集中しているのかは判断できなかった。このことにより、ここでは土坑としておく。SK130 D地区東南部で検出した。全体の1/4程度が調査区外へ及んでいると思われる。規模不明の方形土坑であるが、土坑内に拳大から人頭大程度の石が詰まっている。遺構の性格は不明である。

E 奈良時代以降の遺構

a 掘立柱建物

SB50 C地区北東部(上層)で検出した、4間×4間の総柱の東西棟である。柱間は、桁行が西から1.9m+2.2m+2.4m+2.2m、梁行が南から2.0m+2.0m+2.2m+2.0mとなっている。柱掘形は、径約0.3~0.5mの円形で、柱痕跡が残るものもある。

SB51 SB50の西側で検出した。4間×2間の総柱の東西棟である。柱間は、桁行、梁行ともに2.4mで、柱掘形は径約0.4~0.6mの円形である。

SB52 SB51の南側で検出した。2間×1間の東西棟である。柱間は、桁行、梁行ともに約2.4mの等間で、柱掘形は径約0.5mの円形である。

S B135 D地区中央付近で検出した。検出できなかった柱穴もあるが 4 間× 2 間の南北棟と考えられる。 桁行、梁行ともに不等間で、柱掘形は径約0.5mの円形である。

S B136 D地区中央付近で検出した。検出できなかった柱穴もあるが4間×3間の南北棟と考えられる。桁行、梁行ともに不等間で、柱掘形は径約0.3~0.5mの円形である。柱穴内に石が認められるものがあり、根石として機能していたものと思われる。

SB137 D地区西部で検出した。検出できなかった 柱穴もあるが5間×3間の東西棟と考えられる。柱 掘形は径約0.4~0.6mの円形である。

b 中世墓

SX41 B地区西部で検出した1m×0.5mの長円形の土坑である。SH23と重複している。土師器および瓦器、金属製品が出土している。中世墓の可能性も考えられることから、ここでは墓としておく。SX93 D地区中央付近で検出した約1.8m×約1.5m、深さ約0.5mの円形状の土坑である。金属製品が出土していることから、ここでは中世墓としておく。

c その他の遺構

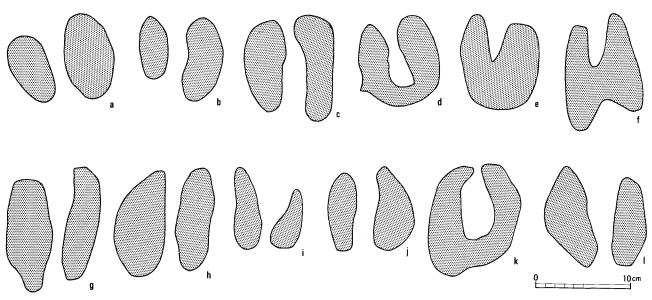
耕作痕 C地区(上層) 南側で検出した。検出面は 灰褐色または褐色土である。埋土は明灰色の砂もしくはシルトで、幅約10cm、深さ約3~5 cmと残存状 況はあまり良くない。耕作溝は、約0.2~1 mの間隔で南北方向に走っている。ただ、東側では非常に緩やかな弧を描くような形に、西側の外周部では径約25mの円を描くような形になっている。

足跡 耕作溝の周囲で径0.1mのピット状の遺構を 検出している。一部は牛の足跡であり、他のものも 牛の足跡と考えられる。足跡は、長さ約8~11cm、 幅7~10cmで、平均的な現代の牛の足のサイズと変 わらない大きさである。人間の足跡については可能 性も含めて確認できなかった。なお、図示したもの は、検出したものの一部で、掘削後、型取りをした ものである。

d 不明遺構

S Z 91 D地区中央付近で検出した。不整形の方形土坑である。検出段階では確認できなかったが、完掘状況から考えて複数の土坑が重ねっていた可能性がある。また、S B 136または S B 137に伴う南東隅土坑の可能性も考えられる。この遺構の西側部分には石が集中しているのが認められるが、意図的なものではないようである。

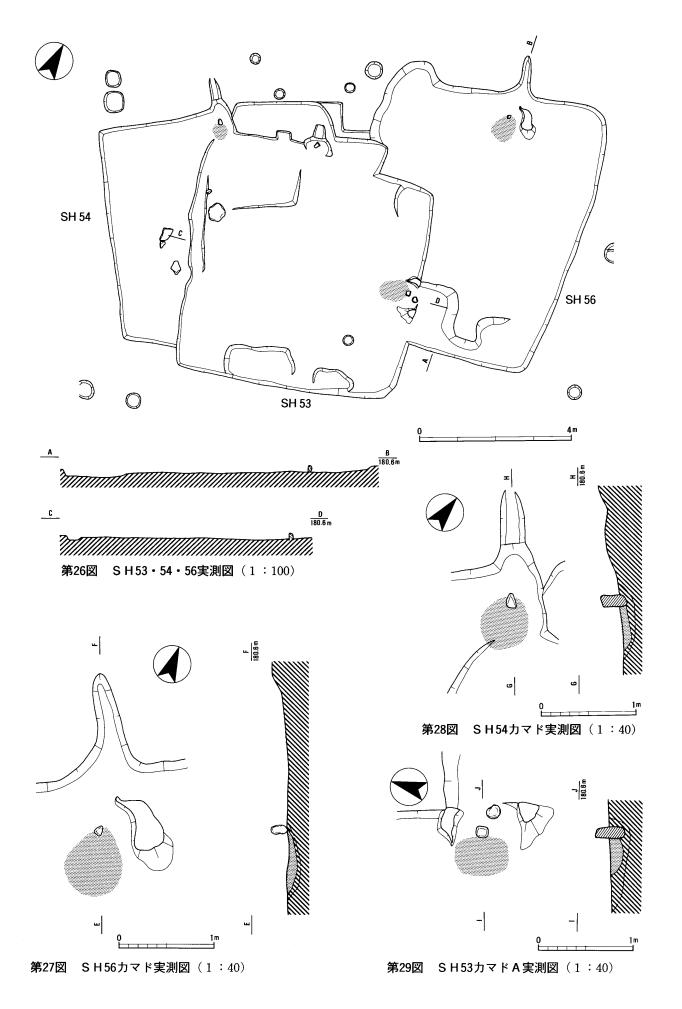
(船越重伸)

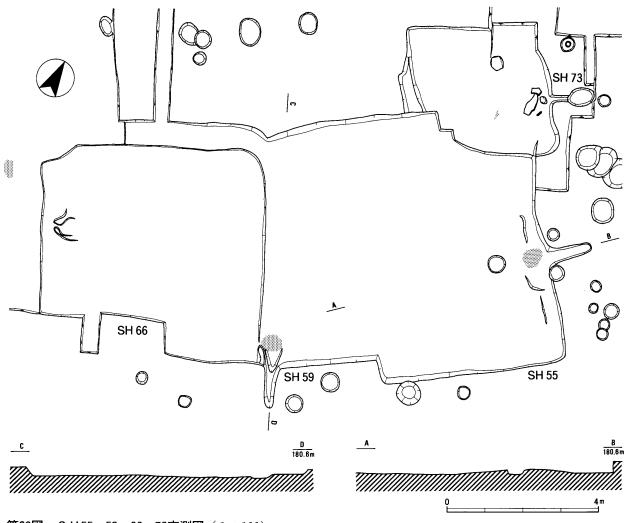


第24図 足跡実測図(1:4)

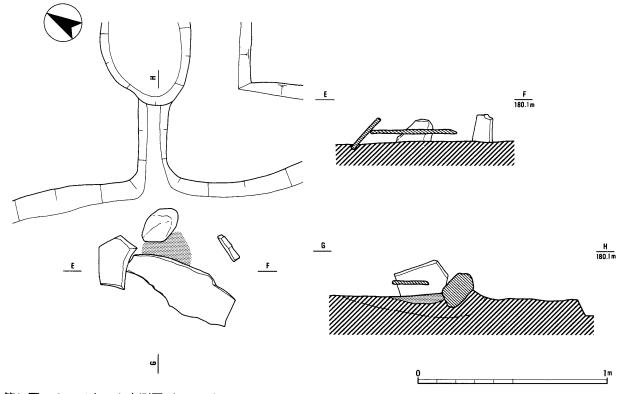


第25図 C地区(下層)調査区平面図(1:200)

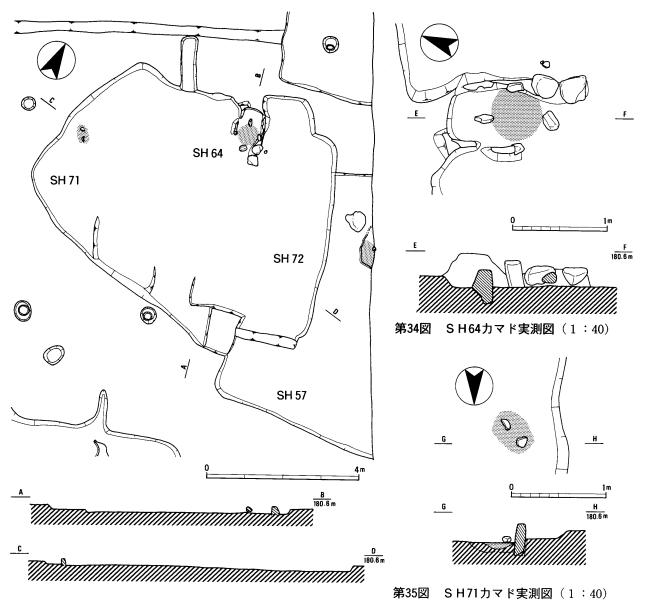




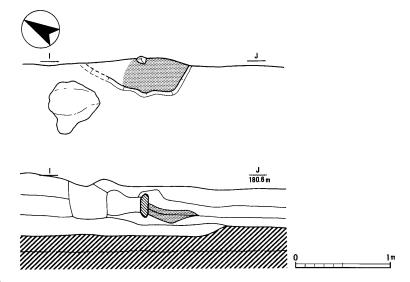
第30図 SH55・59・66・73実測図 (1:100)



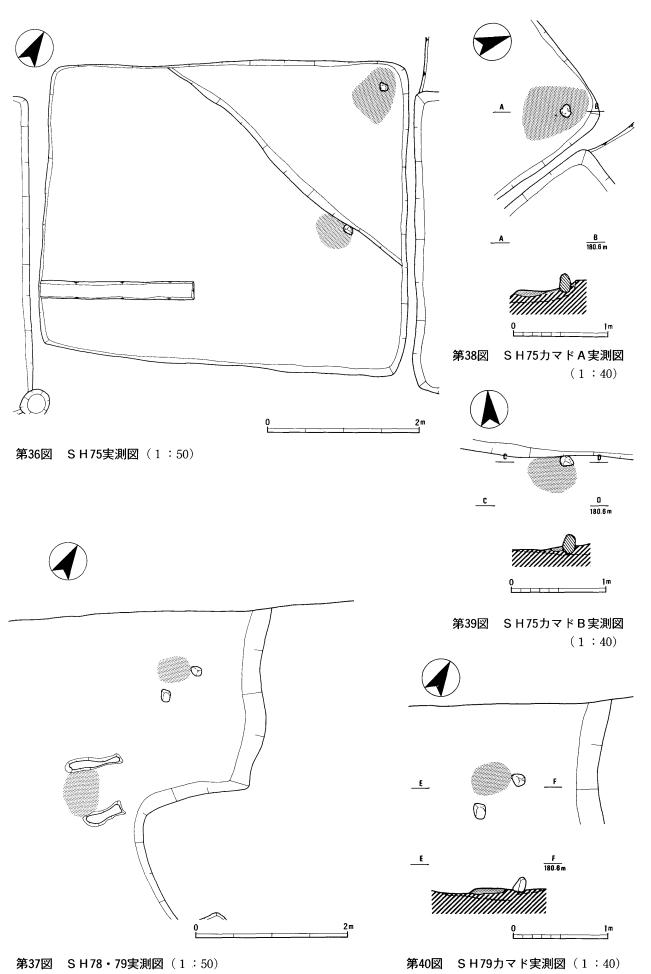
第31図 SH73カマド実測図(1:20)



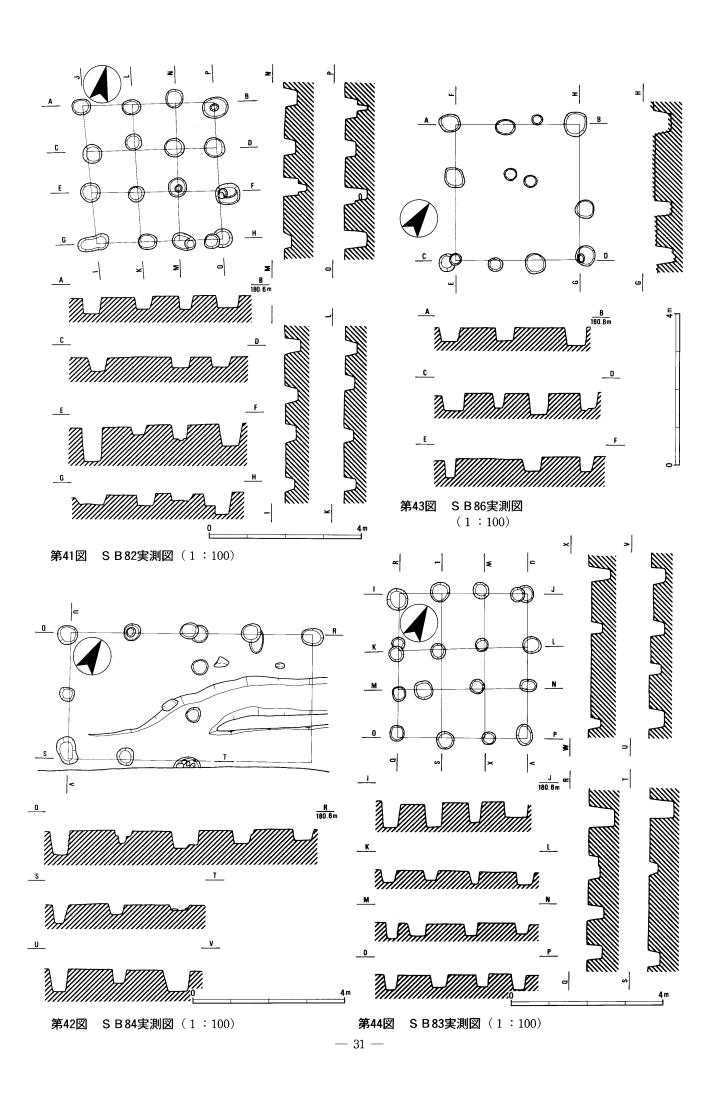
第32図 SH57・64・71・72実測図(1:100)

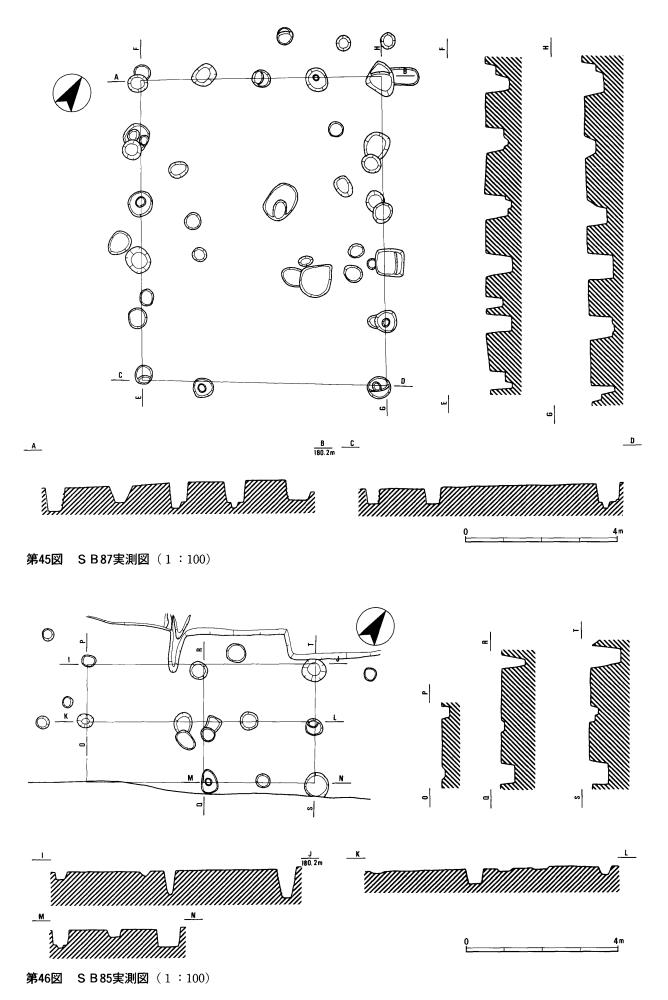


第33図 SH57カマド実測図 (1:40)



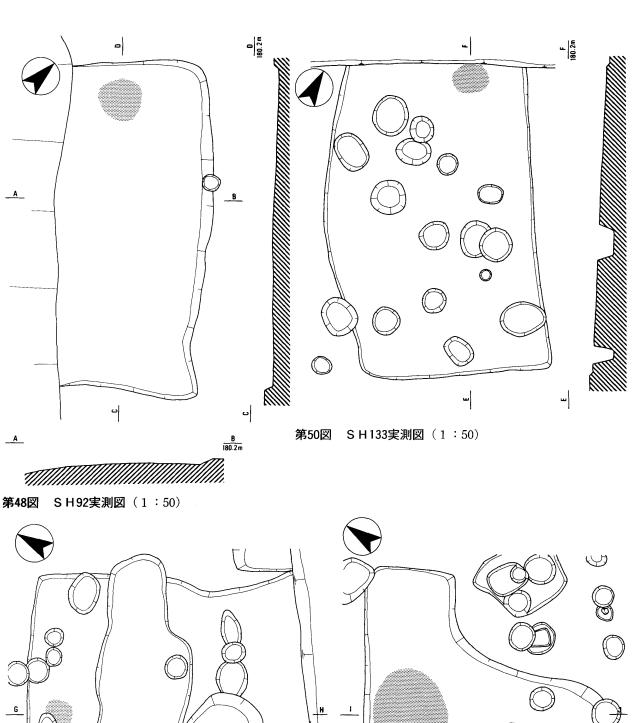
— 30 —

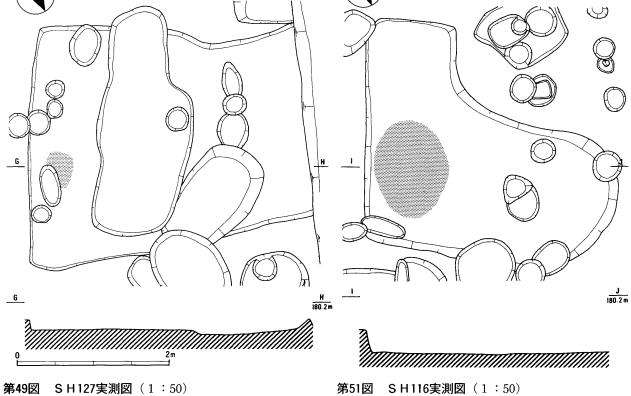




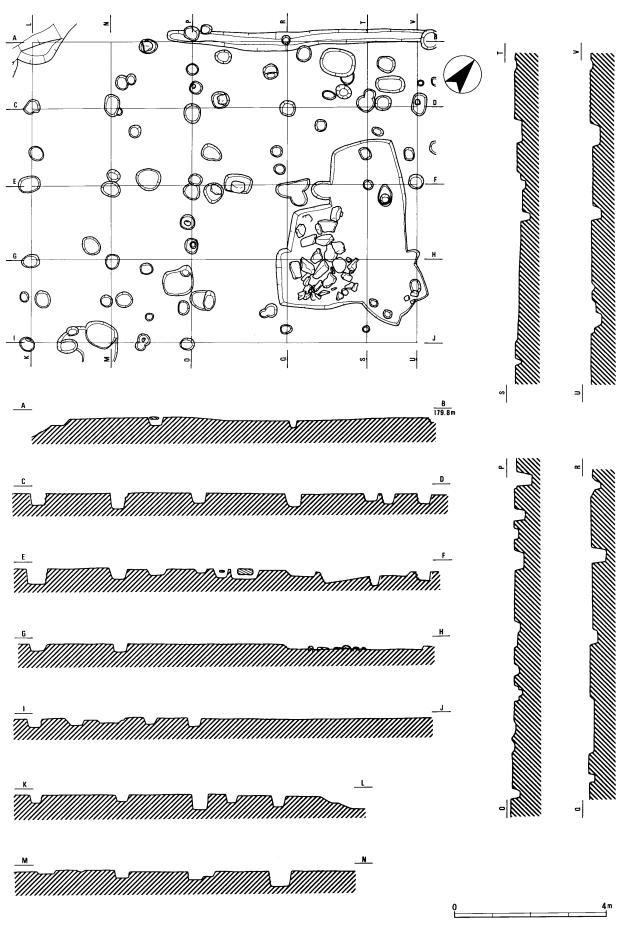
— 32 —



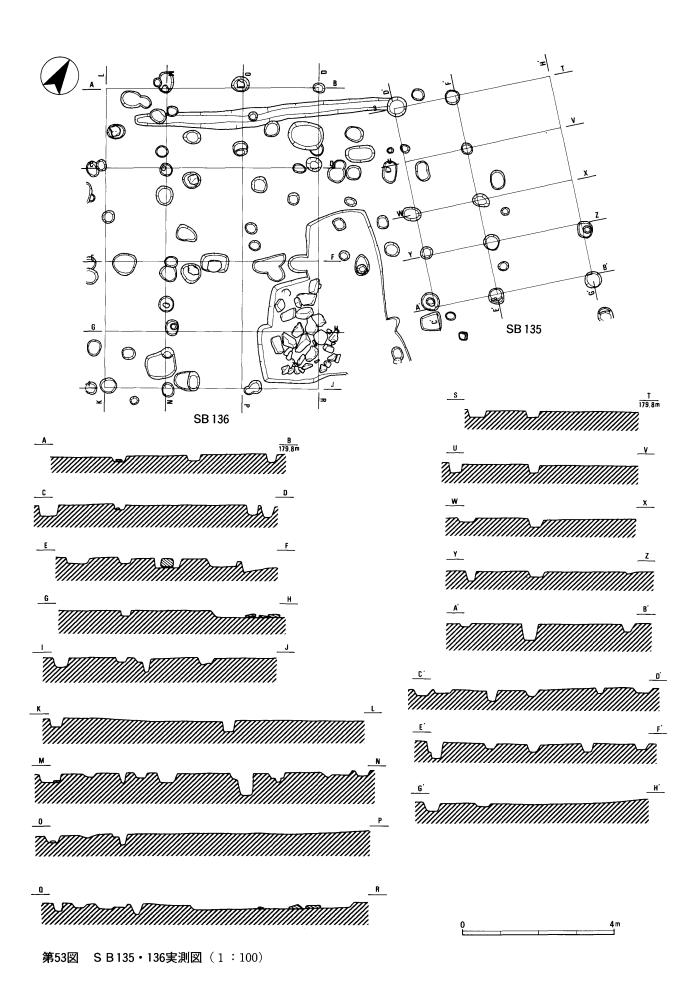




— 34 **—**



第52図 S B 137実測図(1:100)



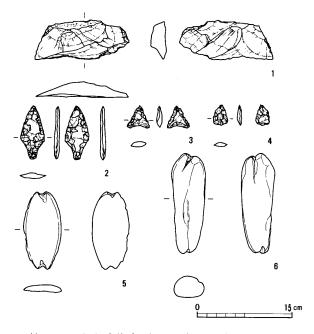
今回の調査によって出土した遺物は、コンテナにして約310箱(中島遺跡第1・2次及び中出向遺跡第3次の総計)である。遺物の時期は、縄文時代中期後葉から鎌倉時代にかけてのもので、古墳時代後期のものが最も多い。土器がほとんどで、石製品・土製品・金属製品を若干含む。個々の詳細については、遺物観察表(第1~10表)を参照されたい。

1 縄文時代

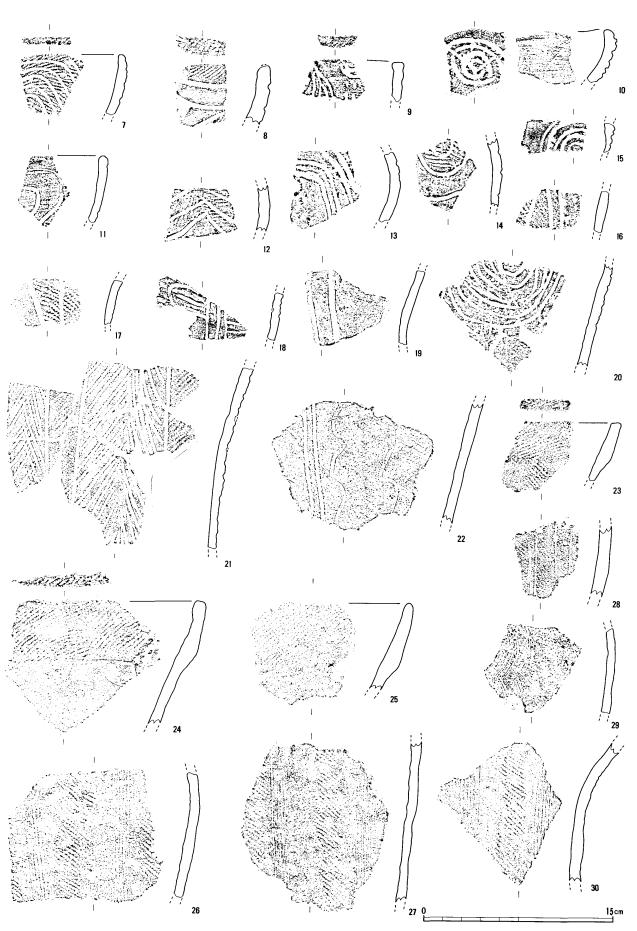
1は、ナイフ形石器である。石材は頁岩で、片縁部のみ調整がなされている。2は、有茎尖頭器である。両面を丁寧に調整している。石材は頁岩である。3~4は石鏃である。3は、平面上ほぼ三角形である。4は、石鏃とみられるが尖頭器かもしれない。5・6共に川原石の両端に切り込みを入れた切目石錘である。5は、やや長楕円形で一部欠損している。6は、隅丸長台形で厚みがある。

7~54は、縄文土器でありほとんどが深鉢とみら れる。7は、口唇部に縄文を施し、口縁部外面に6 条の沈線が弧状に周る。8は、口唇部上に縄文が施 され、外面に3条の沈線が弧状気味にめぐる。9は、 口唇部上に縄文が施され、外面に6条の沈線と刺突 が4ヶ所にある。10は、波状口縁の深鉢である。口 縁部がやや内彎気味に丸くまとまり、外面に沈線が 渦巻状にまわる。11は、口唇部が丸くまとめられ二 条の沈線文が弧状にまわる。12は、3条の沈線が波 形に巡る。13・14・20は、3条以上の沈線がやや弧 状を描く。15は、粘土紐を弧状に貼り付けるか沈線 によって弧状に巡る。16・17は、2ないし3条の沈 線が巡り、表面に縄文が施される。18は、沈線が弧 状ないし直線的に施される。19・22は同一個体であ ろうか。22は、2条の直線の沈線とジグザグを描く 曲線状の沈線によって文様がなされている。21は、 沈線が直線的に3条、その沈線を中心に綾杉文が沈 線ないし縄文によって施される。23~30は、おおよ そ同一個体と考えられる。23~25は、やや口縁部付 近に厚みを持つように成形されている。26~30は、 その体部とみられ条線文が直線的ないし曲線的に施

され、その間に斜方向の縄文が施されている。31は、 口唇部が内彎しその上に縄文が施される。外面には、 2条の沈線と縄文がある。32~34は、口縁部やや肥 厚し、32の内面には沈線が巡る。35~39は、口縁部 外面に粘土紐を貼り付け肥厚させて、前面に刻みも しくは沈線が施されている。40は、内彎気味に立ち 上がり外面に条線文が施される。41は、橋状突起で ある。破損著しい。42は、1条の沈線が弧状に巡り、 その上に縄文が施される。43・44は、粘土紐を貼り 付けて隆帯を作り、「」」の字状に隆帯を表現して いる。45は、口縁部が強く内彎して上下段になり、 沈線が弧状にまわる。口唇部には、縄文が施される。 46は、口縁部に円形刺突文が施され、口唇部に縄文 が施されている。47は、口唇部がT字形に肥厚させ 沈線をめぐらせ、その沈線の上下に縄文を施す。48 ~50は、同一個体であろう。口縁部が断面三角形で 細長い圧痕が施される。51・52は、同一個体であろ う。口縁部は、断面三角形状に調整し細長く圧痕が 上下段2段に施される。53は、やや強く屈曲した体 部下半に突帯状のものを貼り付け、その上部に鋭利 な直線状の沈線が施される。54は、鉢の底部で平底 である。縄文が底部にまで及んでいる。



第54図 出土遺物実測図1 (1:2)



第55図 出土遺物実測図2 (1:3)

2 弥生時代

55~62は、弥生土器である。55~57は、壷の頸部から体部にかけてのものとみられる。55・56は、共に体部上方でヘラ描沈線が巡り、その下方に刺突文が施される。57は、やや大型の壷の体部であろう。

中期頃のものであろう。58・59は、甕の口縁部〜体部にかけてのものであり、口縁端部が垂直に上方に伸びる受口状である。頸部には、ヘラ描沈線と刺突文が施される。60は、高杯の脚部で透孔が上下段に分かれて互い違いに穿孔されている。脚部全面がミガキによって丁寧に調整がなされている。61・62は、



第56図 出土遺物実測図3 (1:3)

甕の底部とみられる。63は、手焙り形土器で蔽部は 欠損している。突帯はやや丸みを帯びた体部に貼り 付けられ断面形が変則的なL字形をしており、その 外面には、刺突文が施されている。また、口縁部か ら頸部においても刺突文が施される。弥生土器は、 ほとんどが弥生時代後期とみられる。

3 古墳時代~平安時代

SH1出土遺物(64・65)

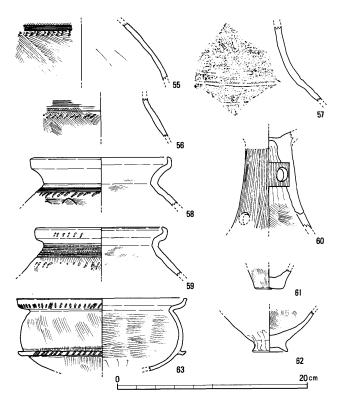
土師器鉢が出土した。共に底部が内面に向かって 窪み、高台部分が突出したようにでている。体部か ら口縁部にかけて緩やかに広がる。口縁部は、64が やや平らに、65が丸みをもってまとまる。

SH12出土遺物 (66)

9つの円孔が穿たれており甑と見られる。

S H 13出土遺物(67~71)

土師器甕・壷・甑が出土している。67~69は、体部が球形である。頸部は、やや緩く外方に開くか、強く直線的に屈曲する。口縁端部は、やや丸みを帯びてまとまる。68は、とりわけ外面をハケによって丁寧に調整される。70は、体部の中程の径が最大に



第57図 出土遺物実測図4 (1:4)

なるように広がり、底部に向かってすぼまる。外面は、ミガキでやや荒く調整されている。71は、底部に向かって緩やかにすぼまり、円形状の孔があいていたとみられる。体部下半で円形の穿孔がある。

S H 16出土遺物 (72~75)

土師器台付杯・小型丸底鉢・高杯が出土した。72 は、台部分がしぼりあげられて成形される。体部は、緩やかに丸みを帯び、口縁端部は、丸くまとまる。73は、一般的に小型丸底壷と呼ばれている。底部から丸くまとめられ、体部途中でやや外方に屈曲し、口縁端部は、先細にまとめられている。74は、高杯の杯部であるが内外面を丁寧にミガキによって調整されている。75は、ほぼ直線的にたつ脚部は、屈曲して外方に開く。杯部は、腰部において強く屈曲する。

S H 29出土遺物(76~80)

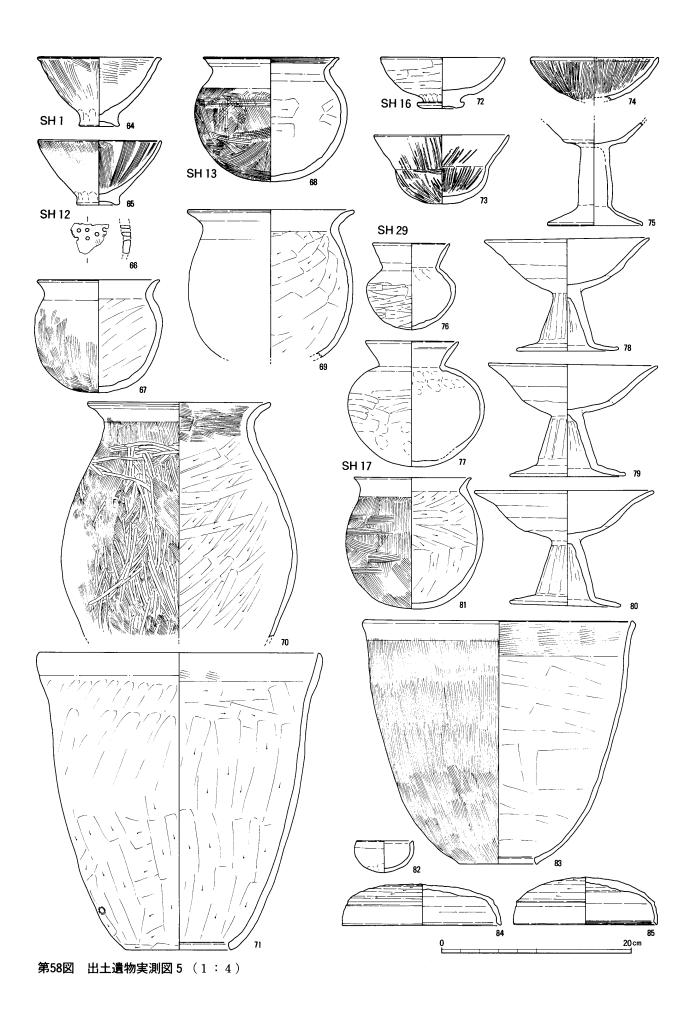
土師器壷・高杯が出土した。76は、上外方に直線的に開く口縁部と球形の体部によって成る。77は、体部から強く屈曲した口縁部を持ち、球形の体部によってなる。78~80は、非常に似通った器形をしている。脚部からかなり強く外方に屈曲する。杯部は、なだらかに直線的に開くものとやや屈曲して外方に開くものに分かれる。

SH17出土遺物(81~85)

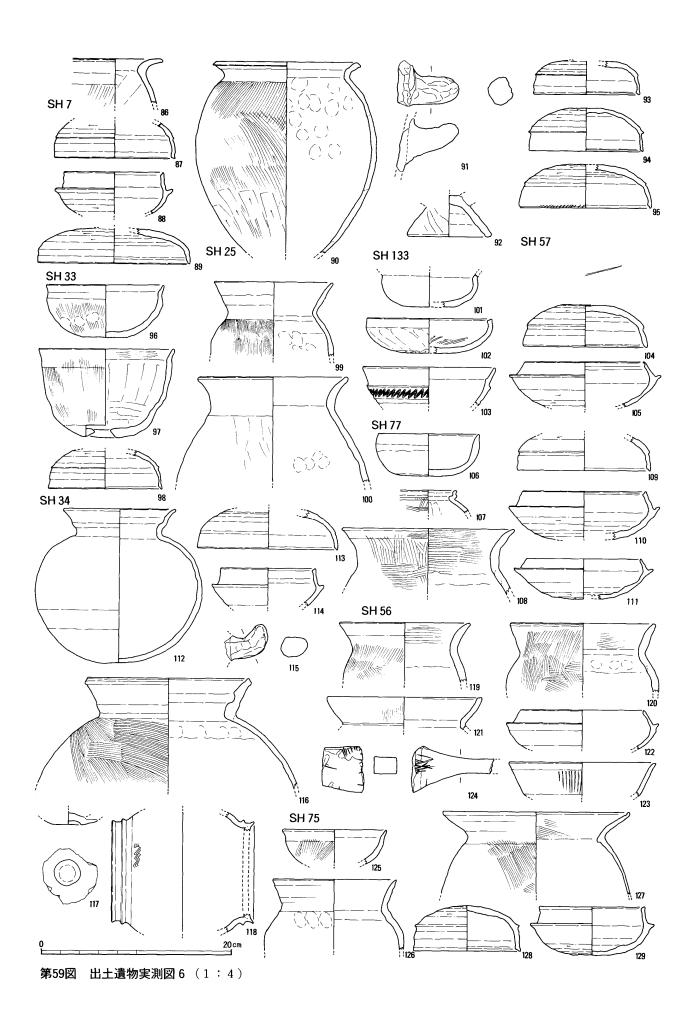
土師器甕・甑・ミニチュア土器椀・須恵器蓋が出土している。81は、球形の体部を持ち、頸部がやや屈曲して外反する。頸部の器壁は、厚い。口縁端部は、やや外反するようにつまみだされている。82は、ミニチュア土器の椀形である。普通のものと比較しても遜色は、ない。83は、全体的に柔らかい器形をし、底部には円孔がある。口縁端部は、内面側に尖り気味にまとめられている。84は、天井部がやや平らで緩やかに開く。稜部は、浅い沈線状によって作り出されている。口縁端部は、内面側に段差を持つようにまとめられている。ロ縁端部は、内面側に段差を持つようにまとめられている。

SH92出土遺物 (86~89)

土師器甕・須恵器杯蓋・杯身が出土した。86は、 頸部が「く」の字状に曲がり、口縁端部で細長くま とまる。87は、天井部分が欠損しているが緩やかに



— 41 **—**



— 42 **—**

開き、やや強い稜部を有する。口縁端部は、やや方形状にまとまる。88は、やや水平方向に開き下方に強く屈曲する。口縁端部は、やや尖り気味にまとまる。89は、底部が欠損するものの緩やかに立ち上がり、受け部は体部と異なる傾きで外方に開く。口縁部は、垂直に立ち口縁端部で尖り気味にまとまる。

SH25出土遺物(90~95)

土師器甕・台杯甕・土師器鍋か甑の把手部分・須 恵器杯蓋が出土した。90は、全体的に卵形を呈し、 頸部は、強く外方に屈曲し口縁端部は、やや台形の 底辺形でまとまる。92は、甕の底部で90と同一個体 であろう。91は、甑か鍋の把手部分である。ソケッ ト状の挿し込みである。93・94は、ともに天井部か ら緩やかに開き、やや強い稜部を有する。口縁端部 は、外方側に尖り気味にまとまる。95は、稜部が沈 線によって分けられている。口縁端部は、先端部分 がやや丸くまとまるものの内面側で緩い稜部を有し ている。

S H 33出土遺物 (96~100)

上師器椀・甑・壷・須恵器杯蓋が出土した。96は、 底部がやや平らで、体部から口縁部にかけて丸みを 帯びて広がる。口縁端部は、内面に平らな面を持つ ように調整されている。97は、底部に穿孔が施され ている。器形は、鉢形であるが用途としては甑であ ろう。98は、口縁部がやや斜め外方に直線的に開き、 端部は細長く丸みを帯びる。体部下半は、欠損して いるが大体的には、球形状にまとまるのであろう。 99は、大よそが楕円形とみられ、頸部から緩く外反 する。100は、体部から口縁部にかけて緩やかに 開き、稜部が摘み出されたように断面三角形状に なっている。口縁端部は内面に段が付く様に成形 される。

SH133出土遺物(101~103)

土師器椀・須恵器高杯が出土した。101は、口縁部内面が面を持つような椀であろう。102は、101と異なり底部から緩やかに立ち上がり口縁端部は、やや角のとれた方形である。103は、高杯の口縁部であろう。下半部では波状文が施される。

SH57出土遺物(104・105)

須恵器杯蓋・杯身が出土した。104は、天井部に 直線とみられるヘラ描き沈線がある。大部分が欠け ているが、一直線状のものとみられる。稜部は、丸 くなってやや不明瞭な感じを有する。105は、底部 が欠けているが緩やかに立ち上がり受け部が付く、 口縁部はやや内傾し、端部において細く丸みを帯び、 内面に段を有する。

SH77出土遺物(106~111)

土師器椀・台付甕・甕・須恵器杯蓋・杯身が出土した。106は、底部から丸く立ち上がる。口縁部近くは、器壁が厚く端部にかけて先細になる。107は、S字状口縁台付甕であろう。頸部は、強く屈曲し垂直に立ち上がる。108は、頸部が弱く緩やかに屈曲し、口縁端部がやや丸みを帯びてまとまる。109は、緩やかに開き稜部に沈線を巡らせることで境をつくりだしている。口縁端部は、内面に段を持つようにまとまる。110は、底部から緩く立ちあがり受部が上外方へのびる。立ちあがりは、やや内傾し口縁端部は、やや四角くまとまる。111は、口縁端部がやや細くまとまる。

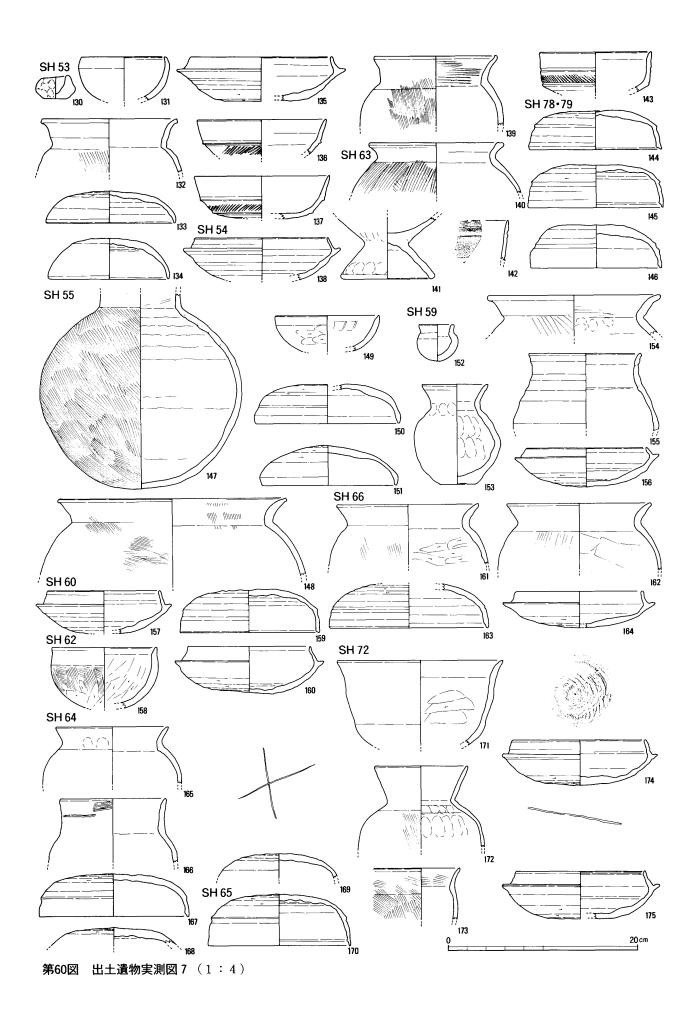
S H 34出土遺物(112~117)

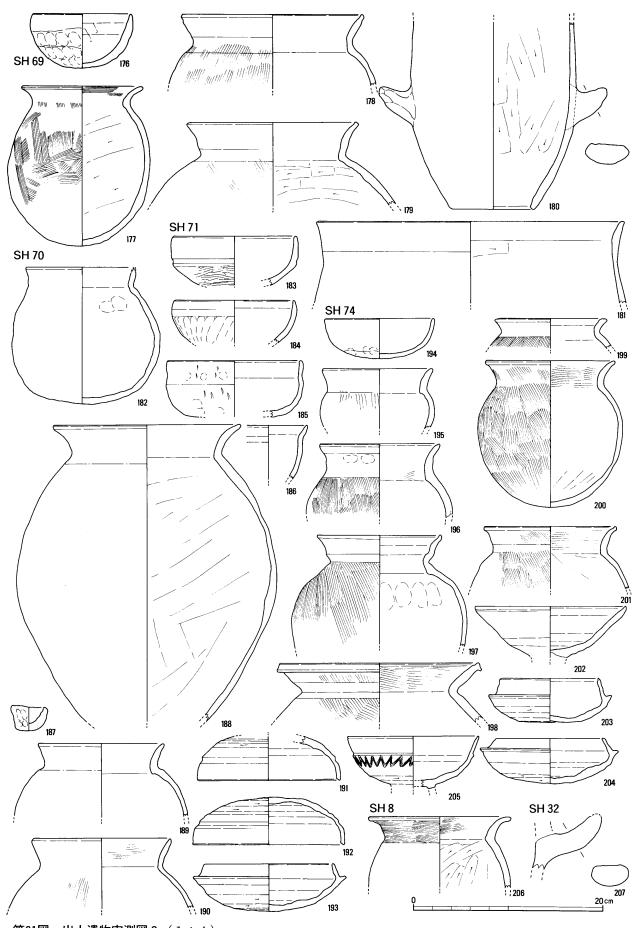
土師器壷・把手部分・須恵器杯蓋・杯身が出土した。112は、二重口縁壷の最終段階に近いものであろう。体部は、ほぼ球形で口縁部は、頸部からやや斜め外方に開く。口縁部内面には、幅が広く、浅い丸みを帯びた沈線が巡る。口縁端部は、丸くまとまる。113は、ほとんど114と同様である。口縁部内面は、116と比較してやや深い。口縁端部は、やや四角くまとまる。

SH67出土遺物(118)

S H 56出土遺物 (119~124)

土師器甕・須恵器杯身・砥石が出土している。 119は、外面が縦方向のケズリをもって仕上げられ 他にない特徴を有している。120は、内面側が柔ら かい曲線をもって仕上げられている。121は、布留 型甕の口縁部であろう。口縁部の残りは少なく、体 部もない。123は、杯身であろうか。高杯の可能性 も残る。体部外面に縦方向のケズリによって調整が なされており他に同様のものが出土していない。12 4は、砥面が4面である。一部に細長い溝状の砥面 が残る。



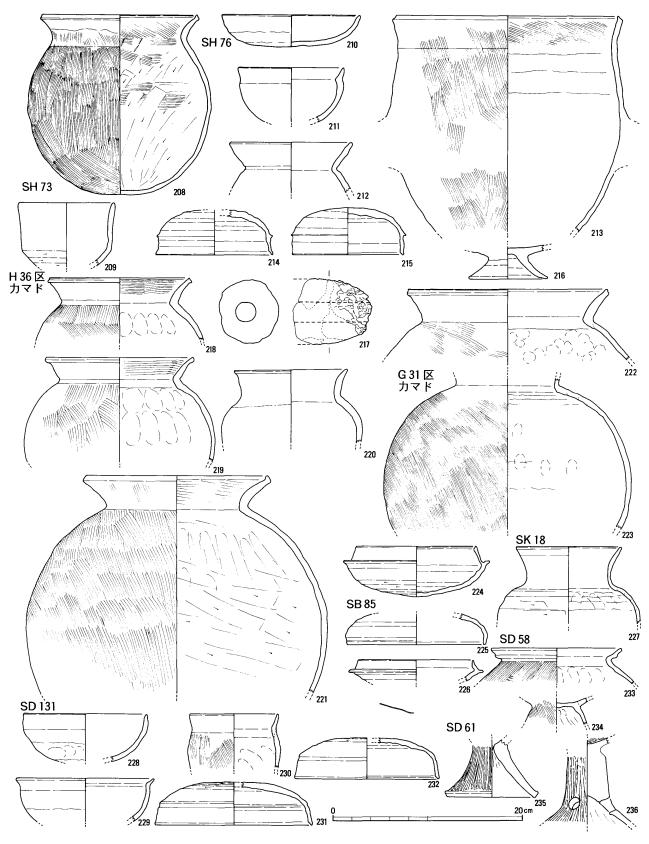


第61図 出土遺物実測図8 (1:4)

SH75出土遺物 (125~129)

土師器椀・壷・甕・須恵器杯蓋・杯身が出土している。125は、口縁部内面に面を有する様に調整さ

れている。126は、頸部から口縁部にかけて直線的 にやや斜め外方に立ちあがり、体部は、やや球形で あろう。127は、口縁部がやや斜め外方に突き出し、



第62図 出土遺物実測図9 (1:4)

口縁端部が外面に面を持つようにまとまる。128は、 天井部から緩やかに開き稜部がやや突出して境界を つくる。129は、底部から緩やかに立ちあがり、受 部横方向に広がる。立ちあがりは、ほぼ垂直に立ち あがり口縁端部は、やや台形の底辺状と同様に広が り気味にまとまる。

S H 53出土遺物 (130~137)

ミニチュア土器椀・土師器椀・須恵器杯蓋・杯身・ 高杯が出土した。130は、底部が平らに調整され、 器壁はかなり厚めに作られる。131は、全体的に丸 みを帯び、口縁部はやや内傾し、端部において先細 にまとめられる。132は、頸部において上方に屈曲 し、口縁部にかけて柔らかく外方に広がる。口縁端 部は、外面に面を持つようにまとめられる。133は、 天井部がやや平らで口縁部にかけて緩やかに広がり、 口縁端部はやや尖り気味にまとまる。134は、体部 に丸みを帯びて広がる。口縁端部は、やや丸く厚み をもってまとまる。135は、調整によって底部が平 らに成形され、受部はほぼ水平方向につくりだされ ている。立ちあがりはやや内傾し、端部は丸くまと まる。136・137は、両方とも杯部に明瞭な段差を有 しており、下段には列点文が全周する。脚部は欠損 してない。

SH51出土遺物(138)

須恵器杯身が出土した。杯身は、底部が欠損している。体部は、緩やかに広がる。受部は、やや屈曲する。立ちあがりは、内傾し器壁はやや薄い。口縁端部は、丸みを帯びてまとまる。

S H 63出土遺物 (139~143)

土師器甕・台付甕・須恵器杯身・高杯が出土している。139は、やや球形の体部に広めの口縁を有したものであろう。頸部はやや弧状のラインをもって成形されており、口縁端部は、やや丸くまとまる。140と141は、同一個体であろう。頸部は、強く屈曲し口縁端部は外方につまみだされる様に断面三角形状である。142は、器形が不明だが高杯であろうか。体部外面に櫛描波状文が施される。143は、高杯の杯部である。杯部には、浅い沈線によって上下段に分けられ、下段には櫛描列点文が施されている。杯部の腰部はかなりの角張りで調整されており、特徴的なものである。口縁端部は、やや外側にむいて尖

り気味にまとまる。

SH78·79出土遺物(144~146)

144~146は、よく似た器形をしている。 稜部は、強くつきだしているもの、浅い沈線状に区切っているもの、口縁端部は、内面に段差を有しているもの、やや丸みを帯びるもの、断面台形状のものに分かれる。

SH55出土遺物(147~151)

土師器椀・壷・甕・須恵器杯蓋が出土した。147は、口縁部が欠けてしまっており、非常に惜しい。 体部は、ほぼ球形である。148は、長胴甕かもしれない。頸部は、強く屈曲しており口縁部近くは器壁が厚い。口縁端部は、やや斜め外方に面を持つようにまとめられている。149は、丸みを帯びた体部を有し、口縁部にかけて厚みをます。口縁端部は、やや尖り気味にまとまる。150は、天井部がやや平らで口縁部にかけて緩やかに、口縁端部がやや丸みを帯びてまとまる。151は、天井部から緩やかに広がり、口縁部において強く内彎する。口縁端部は、丸みを帯びる。

S H 59出土遺物 (152~156)

ミニチュア土器壷形・土師器壷・甕・須恵器杯身が出土した。152は、全体的には壷形であるが椀形かもしれない。全体的に器壁は、厚く丸みを帯びる。153は、底部から全体的に丸みを帯び、頸部は「く」の字形に外反していく、口縁端部はやや丸みを帯びてまとまる。154は、頸部が強く外反する口縁端部は、丸くまとまる。155は、頸部の屈曲が非常に甘く、無頸に見える。口縁は、比較的に広い。口縁端部は、丸みを帯びてまとまる。156は、底部から緩やかに立ちあがり、受部は水平方向にのびる。立ちあがりは、内傾気味であり、口縁端部は先細り気味に丸くまとまる。

SH60出土遺物(157)

須恵器杯身が出土した。底部から緩やかに立ちあがり、受部は水平方向にのびる。立ちあがりは、やや内傾気味であり口縁端部は、尖り気味にまとまる。

S H 62出土遺物 (158~160)

土師器椀・須恵器杯蓋・杯身が出土した。158は、 やや大型のもので丸みを帯びた体部である。口縁部 は、僅かに内彎し内面に面があるように成形され、 端部においてやや尖り気味にまとまる。159は、天井部がやや平らで緩やかに傾斜して広がる。稜部は、やや摘み出す様に成形される。口縁端部は、断面がやや台形状である。160は、底部が平らで緩やかに広がり、受部が水平方向にのび、立ちあがりが内傾する。口縁端部は、先細にまとまる。

S H 66出土遺物 (161~164)

土師器甕・須恵器杯蓋・杯身が出土した。161・162は、共に頸部が「く」の字形に屈曲し、口縁部の器壁は、やや厚い。口縁端部は、丸みを帯びてまとまる。163は、天井部から緩やかに広がり、稜部は浅い沈線を用いて成形される。口縁端部は、やや丸みを帯びてまとまる。164は、底部から丸みを帯びて開き、受部はやや斜め外方にのびる。立ちあがりは、やや内傾気味で口縁端部は丸みを帯びてまとまる。

S H 64出土遺物 (165~169)

土師器壷・甕・須恵器杯蓋が出土した。165は、緩やかな体部をもち、頸部でやや垂直方向に屈曲し、口縁部で柔らかな曲線を描き口縁端部で丸くまとまる。166は、頸部における屈曲は、非常に甘く、不明瞭である。口縁部はやや垂直方向にのび、口縁端部においてやや先細り気味にまとまる。167は、天井部がやや平らで緩やかに広がり、稜部はやや体部を強くナデ調整することによってつくりだされている。口縁端部やや外側に尖り気味にまとまる。168

は、天井部がやや盛り上がっている。口縁部にかけて緩く広がる。169は、天井部に「×」状のヘラ描き沈線がある。器形は、天井部から緩やかに開いており、口縁部にかけては欠損している。

SH72出土遺物 (170)

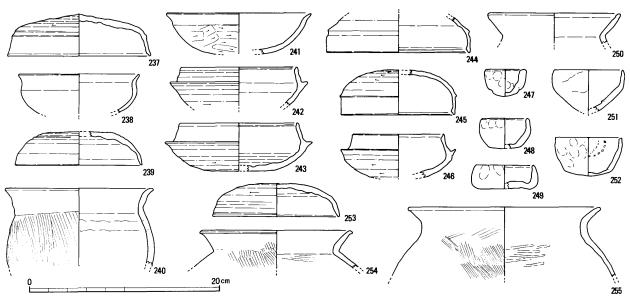
須恵器杯蓋が出土した。170は、天井部から緩やかに開き、稜部は浅い沈線によってつくられる。口縁端部は、内面に段差をつける様に表現される。

SH72出土遺物(171~175)

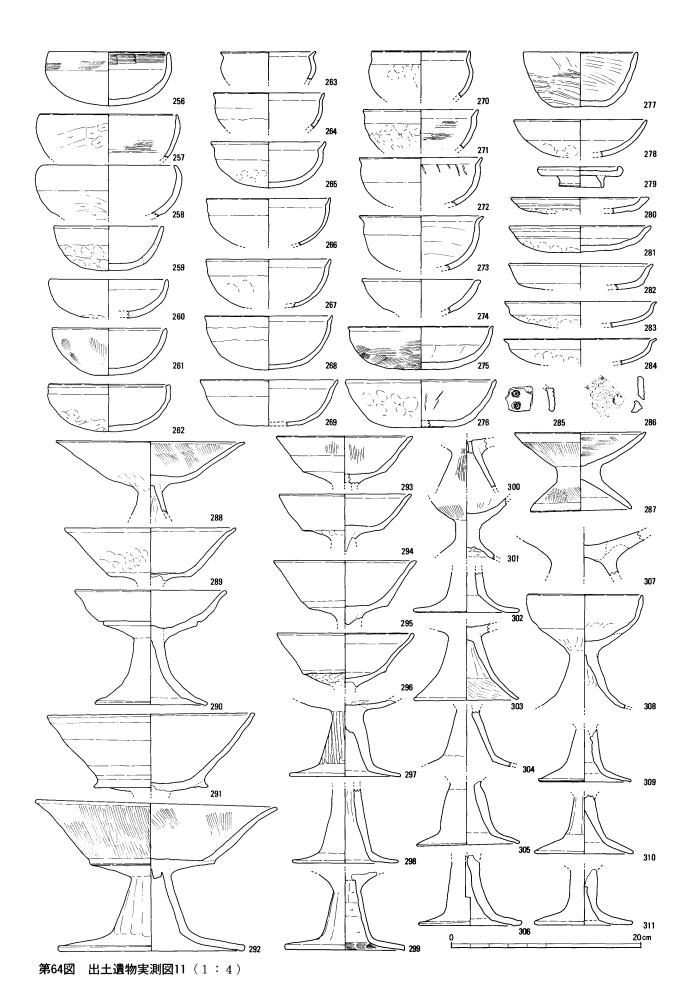
土師器鉢・壷・甕・須恵器杯身が出土した。171 は、底部が欠損しており、甑の可能性もある。体部は、下半からほぼ垂直に近く立ちあがり口縁部において外反する。口縁端部は、丸くまとまる。172は、やや球形の体部から頸部において屈曲し、斜め外方にほぼ直線的にのびる口縁を有する。口縁端部は、丸くまとまる。173は、頸部の屈曲が非常に甘く、口縁端部は丸くまとまる。174は、底部から緩やかに開き、受部がほぼ水平方向にのび、立ちあがりはやや内傾している。口縁端部は、かなり丸みを帯びてまとまる。内面の底に同心円文が残り、外面底部には、ヘラ描き沈線の「一」がある。175は、174と同様似通っているが、口縁端部が若干尖り気味にまとまる。

SH69出土遺物(176~181)

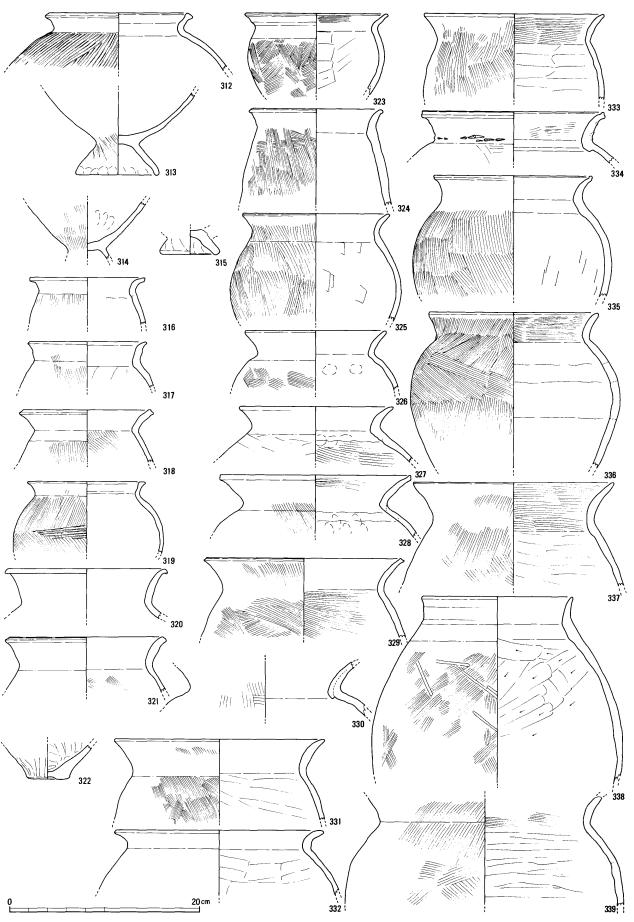
土師器椀・甕・壷・甑が出土した。176は、全体的に丸みを帯びている。口縁部は、器壁が厚く。端



第63図 出土遺物実測図10(1:4)



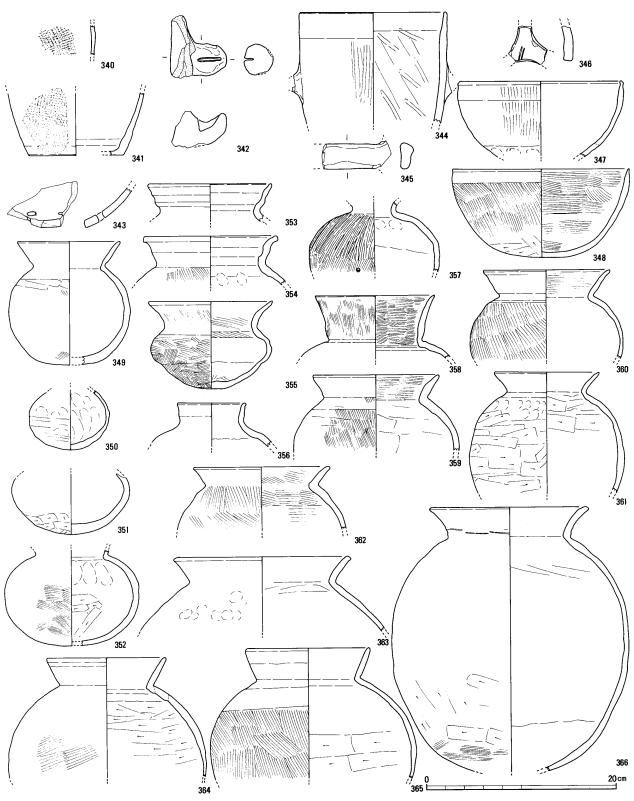
- 49 --



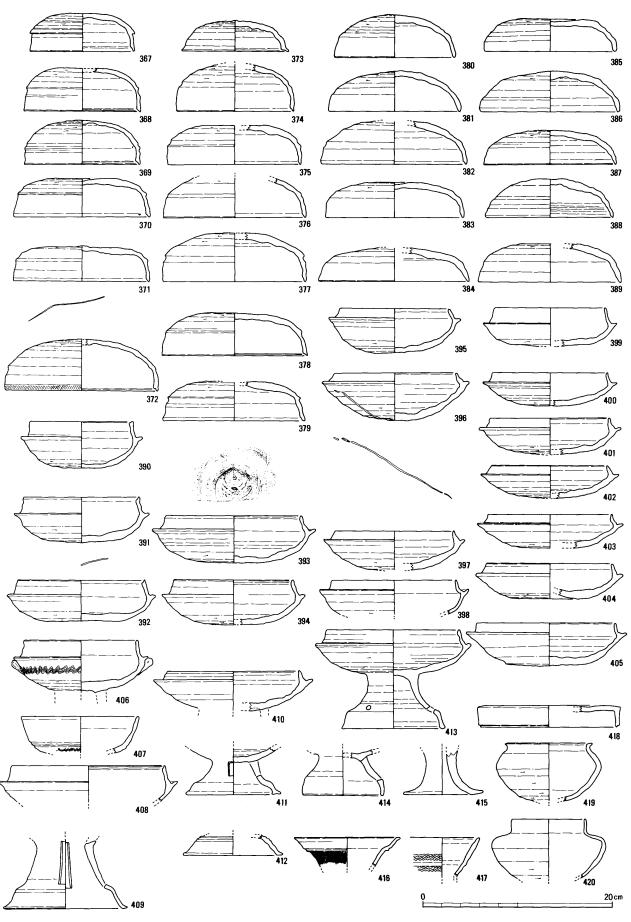
第65図 出土遺物実測図12(1:4)

部において尖り気味にまとまる。177は、やや楕円形の体部に、頸部において強く屈曲した口縁部が取り付く、口縁端部はやや厚く丸みをおびてまとまる。178は、長胴甕の可能性を有する。頸部は緩く屈曲し、口縁部は器壁が厚い、口縁端部は、外面に面を

もたせて成形している。179は、やや上方に屈曲し開く。口縁端部は、やや四角くまとめられている。180は、底部に円孔がある。外面には、挿し込むタイプの把手が付く。口縁部にかけては、欠損してない。181は、甑か甕か器種不明である。頸部は、非



第66図 出土遺物実測図13(1:4)



第67図 出土遺物実測図14(1:4)

常に緩い屈曲でしかなく、体部から口縁部にかけて境界が不明瞭である。全体的に器壁は、薄い。

SH70出土遺物(182)

土師器甕が出土した。体部は、ほぼ球形をしており、それにやや広めの口縁部が取り付く。頸部の屈曲は、やや緩い。口縁端部は、やや先細り気味にまとまる。

SH71出土遺物 (183~193)

土師器椀・ミニチュア土器椀・壷・甕・須恵器杯 蓋・杯身が出土した。183~186の中で183は、やや 特殊な趣をもつ。底部は、ヘラミガキによって調整 され体部中程で浅い沈線が全周する。器壁は、やや 厚みをもち、口縁端部は丸くまとまる。その他のも のは、口縁部の形態がやや尖り気味のもの、丸くま とまるもの、内面に面を持つものに分けられる。 187は、やや粗雑なもので器壁が厚く、器形がアン バランスである。188は、体部が卵形で、頸部が 「く」の字形に屈曲し、口縁端部は、やや丸くまと まる。189と190は、頸部が若干異なる。189では、 器壁が厚く口縁端部にかけてやや先細り気味にまと まる。190では、器壁が一定で口縁端部が丸くまと まる。191・192は、天井部から丸く開き、稜部を浅 い沈線によって成形し、口縁端部は尖り気味にまと まる。193は、底部から緩やかに広がり、受部やや 斜め上方にのびる。立ちあがりはやや内傾気味に上 がり、口縁端部は丸くまとまる。

S H 74出土遺物(194~204)

土師器椀・甕・壷・高杯・須恵器杯身・高杯が出土した。194は、全体的に丸みを帯び、器壁は、一定である。口縁端部は、やや尖り気味にまとまる。195・196・200・201は、やや球形ないし楕円形の体部にやや垂直気味に立ちあがる口縁部を有している。口縁端部は、丸みを帯びるか、やや先細り気味にまとまるか、外面に面を持つようにまとめられている。197は、二重口縁壷の最終段階のものであろう。口縁部内面に浅い沈線状の窪みが全周している。体部は、やや丸みを帯びている。198は、長胴甕かもしれない。頸部は、やや強めに屈曲し斜め外方に向く口縁端部に面を持つように斜め下方に摘まみ出されている。199は、宇田型甕の口縁部である。器壁は、やや厚い。口縁端部は断面形状が三角形であり、外

方に尖り気味にまとまる。202は杯部のみ残り、口縁部が外方に緩やかに開く。腰部は、弱く屈曲する。口縁端部は、やや摘み上げられたように上方を向く。203は、底部がやや窪み、緩やかに立ちあがる。受部は、やや斜め上方にのび、尖り気味にまとまる、立ちあがりは、やや内傾する。口縁端部は、内面に段差が生じるように先細りになっている。204は、やや丸みを帯びた底部から緩やかに立ちあがる。受部は、水平方向にのび丸くまとまる、立ちあがりは、内傾し断面形状が台形を呈するようにまとめられる。205は、ほぼ脚部との境で割れており、杯部だけが残る。外面には上下段の段差があるように調整され、下段に波状文が描かれている。

SH8出土遺物 (206)

土師器甕が出土した。やや丸みを帯びた体部から 頸部においてやや垂直方向にのびる口縁部がつく。 口縁部は、口縁部から端部にかけて外方に強よめに 屈曲する。端部は、丸みを帯びてまとまる。

SH32出土遺物(207)

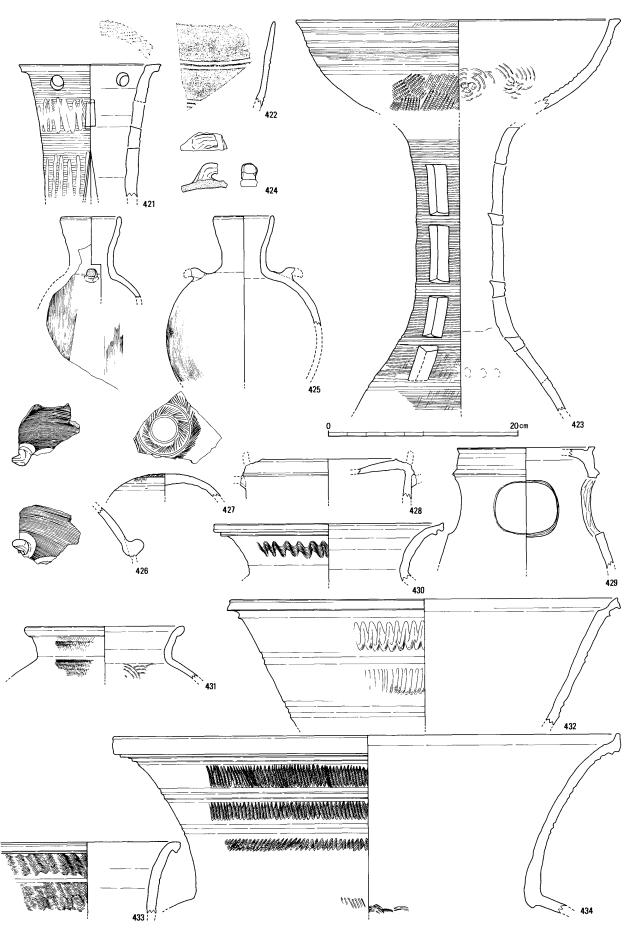
土師器鍋ないし甑の把手部分とみられる。ソケット状の挿し込み部分がのこる。

SH73出土遺物 (208・209)

土師器甕・須恵器椀が出土した。208は、体部がやや球形で頸部が「く」の字形である。口縁部は、斜め外方にのび、端部において外面に面を持つよりに成形される。209は底部が欠損し、腰部からやや屈曲しほぼ垂直に口縁部が立ちあがる。口縁端部は、やや丸みをおびてまとまる。

SH76出土遺物 (210~216)

土師器杯・椀・甕・須恵器杯蓋・高杯が出土した。 210は、丸みを帯びた体部からやや外反した口縁部をもつ。内面に面を持つように成形されている。口縁端部は、先細り気味にまとまる。211は、頸部がやや強く屈曲し口縁部がやや斜め外方に開く。口縁端部は、丸みを帯びてまとまる。212は、底部と把手部分が欠損しているが甑であろう。体部は、やや砲弾形である。口縁部はやや外側に開き、外面に面を持つように内面側が尖り気味にまとまる。213は、緩やかに外方に広がる低い脚部をもつ。杯部は、欠損している。214は、やや平らな天井部から丸みを帯びた腰部にかけて緩やかに広がる。口縁端部は、



第68図 出土遺物実測図15(1:4)

やや丸みを帯びてまとまる。215・216は、大体において近い器形である。天井部から柔らかい曲線によって広がり、稜部は突き出す様に調整されており、口縁部は垂直気味に下方に伸びる。口縁端部は、内面に段差が付く様にまとめられている。

SH14出土遺物 (217)

フイゴの羽口が出土した。一部だけであるが**、**風 化著しい。

カマド跡出土遺物 (218~224)

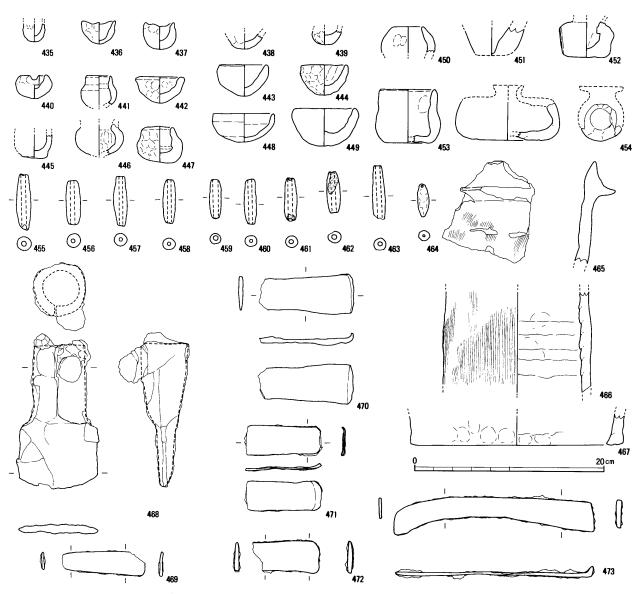
出土したものの多くが土師器甕・壷である。218 ~222は頸部がやや強く屈曲し、口縁端部が外面に面を持つようにまとめられている。220だけがやや 尖り気味にまとめられている。体部は、やや全体的に丸みを帯びたものが多い。223は、147とほぼ同様 の器形である。224は、やや丸みを帯びた底部から緩やかに立ちあがり、受部は水平に外方に伸びる。 口縁部は、端部が厚みをもち、内面に段差を有する様に成形される。

SB85出土遺物 (225・226)

須恵器杯蓋・杯身が出土した。225は、天井部が 欠損し全体的に丸みを帯びる。腰部からやや内彎気 味に口縁端部に至る。口縁端部は、丸みを帯びてま とまる。226は、底部が欠損し緩やかに開く、受部 は水平方向にのびる。立ちあがりは、やや内傾し口 縁端部は、先細り気味にまとまる。

S K 18出土遺物 (227)

土師器壷が出土した。球形とみられる体部にやや 丸く接合する口縁部を持つ。口縁部は、やや斜め外



第69図 出土遺物実測図16(1:4)

方に開き、口縁端部が丸みをおびてまとまる。

S D131出土遺物 (228~232)

土師器椀・甕・須恵器杯蓋が出土した。228・229では、口縁部が先細り気味にまとまるもの、内面に面をもち頸部で斜め外方に屈曲しながら端部で先細りでまとまるものがある。共に体部から底部にかけては、丸みを帯びていたとみられる。230は、小型のものであろう。頸部は、かなり弱い屈曲で不明瞭である。231・232は、天井部から緩やかに広がり、稜部において浅い沈線が巡り境界がつくられる。口縁端部は、内面側に段差が生じる様に外側が先細りにまとめられる。232では、天井部外面にヘラ描き沈線がある。

S D 58出土遺物 (233 · 234)

土師器S字状口縁台付甕が出土した。口縁部は外面で段が有る様に成形される。体部は、全くない。 台部分は、かなり欠損著しい。

SD61出土遺物 (235 · 236)

土師器高杯が出土した。235は、杯部が欠損し脚

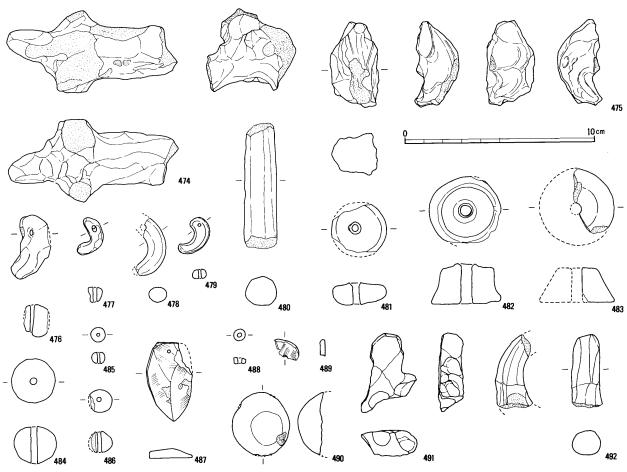
部のみである。杯部と脚部の接合部には、5 mm前後の孔がある。高杯でなく器台かもしれない。脚部の接地部分はやや台形状にまとまる。236は、杯部と脚部の一部が欠損している。脚部は、垂直気味に立ちあがり屈曲する部分で1 cm前後の円孔がある。

柱穴出土遺物(237~255)

土師器椀・甕・ミニチュア土器・須恵器杯蓋・杯 身が出土した。250は、布留型の甕の口縁部であろ う。口縁端部の内面のかえりがやや弱い。ミニチュ ア土器は、器種が椀形から皿形のものまで出土した。 それぞれ丁寧なものからやや荒いつくりのものまで ある。

包含層出土遺物(256~492)

土師器は、椀・高杯・甕・壷・甑・器台等がある。 土師器椀は、口縁端部が内側にやや内彎するもの、 外側に開くもの、面を持っているもの、丸くまとま るものに分けられ、丸底から平底のものまで多く出 土している。土師器器台(287)は、1点だけみら れた。土師器高杯は、杯部の形状が強く表現されて

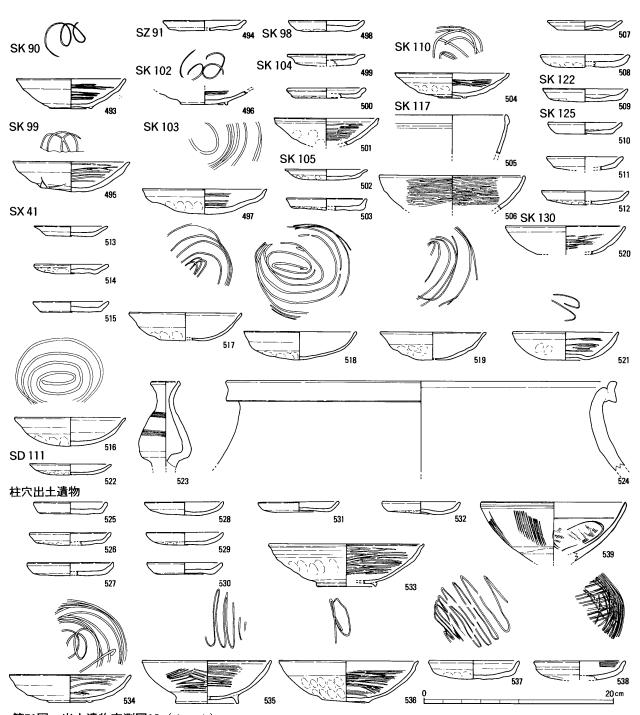


第70図 出土遺物実測図17(1:2)

いるものから、柔らかい曲線で表現されるものや脚部が外方に強く屈曲するもの、弱く屈曲するものがある。340~342は、韓式系土器の一部とみられ甑とみられる。

須恵器は、杯蓋・杯身・高杯・台付壷・器台・提 瓶・円面硯・壷蓋・壷・甕等が出土した。台付壷 (421) は、台部分のみで壷部との接合部近くで円 孔がある。台部分には、2段の波状文が巡る。器台 (422・423) は、集落出土として非常に珍しい。1 点は、口縁部のみでもう1点は、脚部から口縁部にかけて残存していた。円面硯(428・429)は、2点出土した。429は、やや細長の円孔があり脚部が非常に長いものとみられる。残存状況が悪く詳細は、不明である。

ミニチュア土器 (435~453) には、椀形・壷形・ 横瓶形のものがみられ非常に多彩である。土錘(455~464) は、長めのものから短めのものまである。 土管 (465~467) は、466の内面の調整が明瞭に残



第71図 出土遺物実測図18(1:4)

り成形状況がわかりやすい。

金属製品には、鉄斧(468)や鎌(469~473)が 出土した。動物形土製品(474)は、体部と四肢が 欠損しており原形は、不明だがおもしろい。

土製・石製勾玉 (476~479) 、土製丸玉 (484~486) 、土製紡錘車 (481~483) 、剣形石製品 (487) 、石製有孔円盤 (489) 等が出土している。集落跡からの出土遺物としては極めて珍しい例であろう。

4 中世以降

SK90出土遺物(493)

瓦器椀が出土した。493は、口縁部全体がやや大きく開き気味で、口縁端部内面の沈線はみられない。 高台部は、断面形が平べったい三角形が貼り付けられる。見込みの暗文は、同心円状か連結輪状であろう。

S Z 91出土遺物 (494)

土師器皿だけである。腰部の屈曲は、やや弱いも のの口縁端部は丸みを帯びてまとまり、器壁は厚め である。

SK99出土遺物(495)

495の見込みの暗文は、連結輪状であろう。高台部は、貼り付けられていたものが欠ける。

SK102出土遺物(496)

496の見込みの暗文は、連結輪状文である。高台部は、断面形が台形のものが貼り付けられる。

S K 103出土遺物 (497)

497は、器高が低く扁平な形である。高台部は最初からなく、見込みの暗文は同心円状である。

SK98出土遺物(498)

498は、底部に指頭圧痕がやや強く残り、凸凹が著しい。

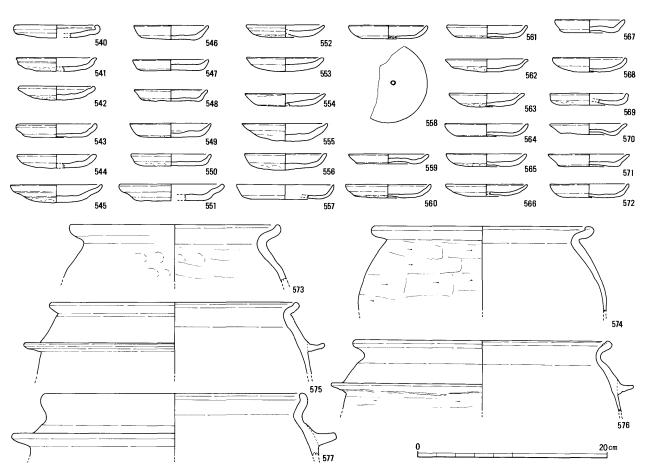
S K 104出土遺物 (499~501)

499は、やや口縁部が外方に引き出され端部において丸くまとまる。500は、腰部において屈曲し丸くまとまる。501は、口縁端部内面に沈線が施されないものの端部そのものがやや斜め上方に成形される。

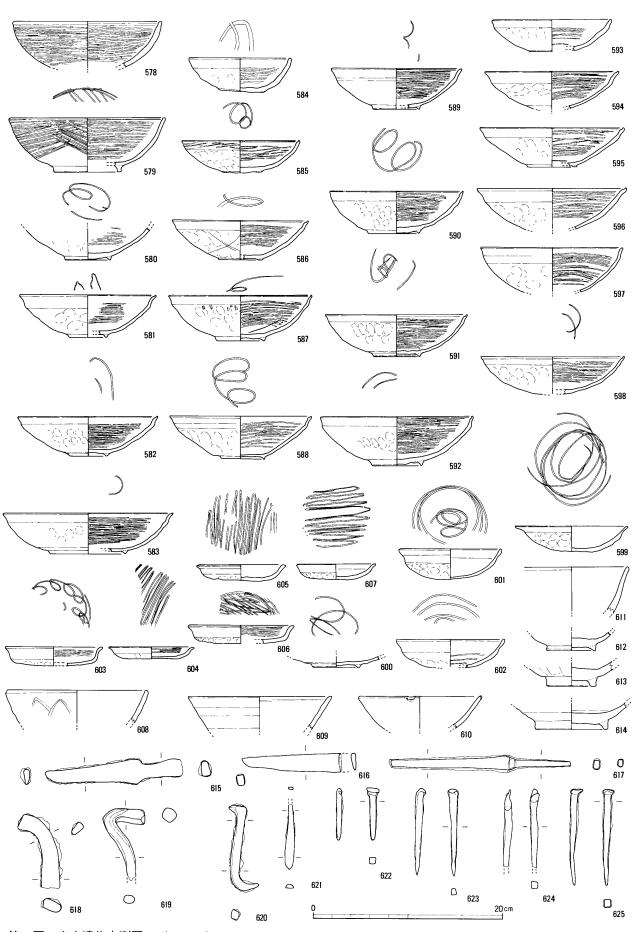
SK105出土遺物(502)

502は、器壁が全体的に薄い。口縁部が外方につまみだされている。

SK112出土遺物(503)



第72図 出土遺物実測図19(1:4)



第73図 出土遺物実測図20(1:4)

503は、腰部においてほぼ垂直に上方に伸び、口縁端部において丸くまとめられる。

S K 110出土遺物 (504)

504は、扁平な器形をし口縁端部は、四角くまとめられる。内面の沈線は、認められないが四角くまとめられることによって沈線状のものをつくりだしているかもしれない。見込みの暗文は、同心円状である。

SK117出土遺物(505~508)

505は、口縁部が厚く肥厚して丸くまとめられる。破片でしかないため口径等は、不明である。506は、かなり器壁の薄いもので底部が内側におしこまれている。口縁端部は、丸くまとめられる。508は、507と異なり器壁が口縁端部に至るまで厚く成形される。

509は、指頭圧によって器壁が一定でない。口縁端部は、斜め外方に伸び尖り気味にまとまる。

S K 125出土遺物 (510~512)

SK122出土遺物(509)

510は、口縁端部が僅かに内彎し丸くまとまる。 511は、器壁が厚く口縁部が斜め外方に伸びて丸く まとまる。512は先細り気味にまとまり器壁は、や や薄い。

S X 41出土遺物 (513~519)

土師器皿・瓦器椀が出土した。土師器皿は、それぞれ口縁端部が異なるものの大体的に良く似ている。 瓦器椀は、全て扁平なもので口縁部内面に沈線がなく、高台部分が貼り付けられないものである。見込みの暗文は、渦巻き状ないし同心円状である。

S K 130出土遺物 (520 • 521)

520は、口縁部内面に沈線がないものである。底部が欠損しており高台部分は、貼り付けられていたか不明である。暗文も分からない。

S D111出土遺物(522~524)

土師器皿・陶器花瓶・甕が出土した。523は、脚部が欠損しているものの胴部に2段の櫛目状横線が入る。仏具に類するものであろう。524は、一般的

【参考文献】

田辺昭三『須恵器大成』(角川書店 1981年) 中村浩『須恵器集成図録』第1巻近畿編I(雄山閣 1995年) 中村浩『須恵器集成図録』第2巻近畿編II(雄山閣 1996年) 山田猛「伊賀の瓦器に関する若干の考察」(『中近世土器の基礎 研究』II 1986年) な常滑の甕である。

柱穴出土遺物(525~539)

土師器皿・瓦器椀・皿・磁器椀が出土した。土師器皿は、曲線を描くもの、強く屈曲するものにわけられる。口縁端部は、丸みをおびるもの、尖り気味にまとまる。器壁は、全体的に厚いものが多い。大まかに腰部の立ちあがりが柔らかいい。瓦器椀は、口縁部内面の沈線が明瞭なもの、不明瞭なもの、高台部の断面形が扁平な三角形や隅丸台形や細長いものがみられる。見込みの暗文は、連結輪状・平行線状のもがある。539は、同安窯系青磁とみられる。

包含層出土遺物 (540~625)

主に土師器皿・鍋・羽釜・瓦器椀・皿・青磁椀等が出土している。土師器皿は、口縁端部が内側に折り込まれるものや丸くまとまるもの、やや先細り気味にまとまるものなどがある。なかには558のように底部に穿孔されているものもある。土師器鍋・羽釜は点数が少ないものの出土した。

瓦器椀は、多く出土したが欠損著しいものがほとんどである。口縁端部内面の暗文は、連結輪状のものが多くを占めているが、同心円状・平行線状のものもある。

瓦器皿は、腰部において強く屈曲して立ちあがるもの、柔らかな曲線を描いて立ち上がるものがある。口縁端部が丸みを帯びるもの、先細り気味にまとまるもの、やや尖り気味にまとまるものがある。見込みの暗文が連結輪状・平行線状・格子状のものがみられる。なかでも603は、見込みの連結輪状の暗文があり他のものと異なり珍しい。

青磁椀・白磁椀は、口縁部ないし高台部が出土している。552は、口縁部に注口があって遺物のなかでは、おもしろい。

金属製品には、刀子・釘がある。中世墓の存在を 窺わせる。また、不明の金属製品は、そういったも のに係わるものであろう。

山本信夫「土器の分類」(『太宰府条坊跡』II 太宰府市教育委員会 1983年)

羽根中島遺跡の試掘調査では、縄文時代から中世にかけての遺構が、現地表面から約0.4m~0.6m下に広がっていると考えられた。しかし、本調査の結果、遺構面は予想よりも浅く、現地表面から約0.3m下、床土直下に相当する部分に古墳時代の遺構面が存在することが明らかになった。

なお、平成8年度から行われていた羽根地区内に おける発掘調査は、今回の調査で一応終了すること になる。ここでは、今回の調査結果について少しま とめておきたいと思う。

縄文時代について

羽根地区内では、縄文時代早期の遺物が2遺跡から出土している。木津川左岸の東出遺跡[®]および前深瀬川流域の花代遺跡A地区からは押型文土器が出土している。花代遺跡A地区出土の遺物は、大川式の範疇に入る押型文土器とされており、報告者は「木津川を中心とした縄文文化のが伝播を考えさせるもの」とし、前深瀬川流域に「縄文時代早期の住居の存在を窺わせる」重要な資料と指摘している。[®]

羽根中島遺跡では、明確な時期決定のできる遺構は検出できなかった。しかし、調査で出土した遺物は、縄文時代中期末に属するものであった。縄文土器が出土したのはほぼA地区に限定される。A地区の検出面は、比較的不安定な砂質系もしくは砂層を中核とする検出面であった。また、B地区の東側は礫層であることから、今回の調査範囲は、旧流路の部分になるものと思われる。このことは、試掘調査において、遺跡の南東方向にある安楽寺の周辺で安定した地山面が見られたことからも推測できる。したがって、この土器を使用した集落を求めるとすれば、今回の調査範囲の東側に存在すると思われる。

瓦器について

遺構出土か、包含層出土かの違いはあるが、古いものから新しいものまで出土している。古いものは山田編年®のI段階1型式、新しいものはIII段階4型式まであり、出土した瓦器の多くはII段階4型式、

III段階1型式に相当し、概ね実年代では13世紀前半頃となる。

出土した椀の中には、椀というよりも杯に近い器形を持ち、底部内面のヘラミガキは、渦巻き状文という特徴を持つものがある。具体的には遺物番号が497・516・517・518・519・584・599・602の瓦器椀である。これらの瓦器椀は、一見しただけでは、いわゆる「大和型」の要素を持つように見える。川越編年[®]によれば、この時期の「大和型」は第Ⅳ段階になり、「湯吞形」の器形を持ち、内面のヘラミガキは消滅している。しかし、器形や調整、重ね焼き痕などから考えて「伊賀型」の比較的新しい時期、すなわち瓦器の最終末期頃のものと考えられる。

今回出土したものを子細に観察してみると渦巻き 状文は、複数回に分かれているものと一筆書き状の ものの2種類が認められる。口縁端部内面に微かに 沈線様の条線が見られる。口径は12cm程度、器高 は3cm程度であるが、器壁の厚薄やヘラミガキの 単位の差異など個体差が大きい。

このような瓦器椀の出土例は滝野氏城址、原出遺 跡(名張市)や安田中世墓(名賀郡青山町)に見ら れる。滝野氏城址の出土例では、「現在のところ最 も新しい要素をもつものである。浅く矮小化してき た椀が、高台を消失し、最終には口径をやや広げ皿 のように扁平化してしまう。(中略)内面のヘラミ ガキは連続しない圏線として別々に2~3条施され るのみで、見込みの暗文も大きなL字が器壁のヘラ ミガキとは別に描かれる。」と報告されている。® また、安田中世墓の出土例では、「これに対して当 例(52)は法量や器形上の差異がほとんどない。けれ ども内面のヘラミガキは体部のみとなり、底部に独 立して施すことを省略しているらしい。この体部内 面ヘラミガキも一段と疎らになっており、施す範囲 も底部にまで及ぶ程雑然と数回転させるのみである。 このように底部内面ヘラミガキの消失という一作業 工程の省略が進んだ、Ⅲ-4よりも後出的な例があ るらしい。関係資料は最近の伊賀における調査例中 に散見されだしており、さらに後出的な例さえある。



第74図 遺跡周辺古墳分布図(1:15,000)

当例はその器形やヘラミガキのあり方等から、大和等他地域からの搬入品の可能性は低い。それ以上に伊賀型瓦器の系譜上において最も合理的に位置付けが可能である。そこで当例(52)のように、内面ヘラミガキを1工程のみに省略したものをもって「III段階第5型式」と呼んでも差し支えないかと思われる。しかし型式名はなお一層前後の類例の増加を待つこととし、現段階ではIIIー4よりも後出的な伊賀型瓦器が存在する事実の確認にとどめておく。」としている。®

これらのことから、上記のような特徴、すなわち、杯や皿のような扁平な器形を持ち、内面へラミガキを底部と一連で、あるいは分けて行ってはいるが渦巻き状文を持つ瓦器椀は山田編年でいう「III段階第4型式」よりも後出的な伊賀型瓦器と言え、瓦器の編年の最終末期に新しい型式を設定することも可能であると思われる。

また、出土した皿の中には、底部内面のヘラミガキに連結輪状文が用いられているものがある。器形から見て、山田編年のI段階もしくはII段階に相当するものと考えられる。ヘラミガキだけに注目すると連結輪状文というイレギュラーなものであるが、数例の出土例があるようである。当初、系統を異にするものかと考えたが、椀の底部内面ヘラミガキの変化と関連づけて考えた場合、ジグザグ文以外に連結輪状文が施されている例があっても良いように思われる。

羽根中島遺跡の性格について

羽根中島遺跡は、木津川と前深瀬川が合流する地 点に立地しているが、この遺跡の性格を考える上で 注目したい点は、遺跡の北側および南側の丘陵上に 数多く存在する古墳群である。これらの古墳が集落

=1

- ① 『平成10年度三重県埋蔵文化財年報』(二重県埋蔵文化財センター 1999)
- ② 境宏ほか『川上ダム建設に伴う付け替え道路事業地内 埋蔵文 化財発掘調査概報 I 「花代遺跡(A・B地区)・西法花寺遺跡」』 (青山町教育委員会 1998)
- ④ 川越俊一「大和地方出土の瓦器をめぐる二、三の問題」(『文 化財論叢』 奈良国立文化財研究所 1983)

から隔絶されて存在するとは思われず、古墳群の周 辺にこれらの古墳を造営した集落が存在したものと 考えられる。

この古墳群と関係するであろう集落との関わりについては、平成9年度に実施した中出向遺跡第2次調査で、竪穴住居70棟を中心とする古墳時代後期の集落跡が検出されており、報告者は存在時期や立地条件などから考えて、この集落が古墳群の造営集団と関わりを持っていたことを指摘されている。®

また、祭祀に関係すると指摘される遺跡は、前述の中出向遺跡のほかに花代遺跡B地区がある。花代遺跡B地区は、検出された2条の流路から多数のミニチュア土器など非日常的な土器の出土している。また、古墳時代前期から中期にかけての高杯の出土が多いのが特徴的とされる。このことから、報告者は、この流路を祭祀に関わるものと推定している。®

羽根中島遺跡で検出された遺構は、竪穴住居や掘 立柱建物という一般的な集落跡を示すものであった。 しかし、出土遺物の中には、ミニチュア土器や器台、 勾玉形土製品のほか、勾玉や剣形石製品など非日常 的な遺物が多く含まれている。これらは、羽根中島 遺跡が一般的集落ではなく、何らかの形で祭祀に関 係した集落跡の一つである可能性を考えさせるもの がある。また、中出向遺跡や花代遺跡との関連性に も注目したいが、現時点では述べるだけの資料が少 ない。しかし、中出向遺跡は前深瀬川を挟んでいる とは言え、遺構や遺物はほぼ同時代のものであり、 羽根中島遺跡と中出向遺跡は6世紀代を中心とする 同一集落の可能性がある。この仮定に基づけば、何 らかの理由により住み分けがなされていたのであろ う。詳細な検討については調査事例の増加や既調査 の報告を待って行いたい。 (船越重伸)

- ⑤ 門田了三『滝野氏城址』(名張市遺跡調査会 1986)
- ⑥ 森川櫻男ほか『安田中世墓発掘調査報告』(青山町教育委員会 1988)
- ⑦ 濱辺一機『中出向遺跡(第2次)発掘調査報告-本文編-』 (三重県埋蔵文化財センター 2000)
- ⑧ ②に同じ

			* *	口径	98 X	その他		₩r ±	養成	4.	9 . #	
No.	整餘書号	# #	遺 構 出土位置 R 60	OB.	62		震整技法の特徴	* 1	#CALL			± ≥ 25.93 g
1	2003-05	ナイフ形石器	包含服 L 39	最き 3.15	7.5	厚さ 1.25 原本			\dashv			サヌカイト製、重さ2.73g
2	2105-01	有茎尖頭器	S H59	長さ 4.18	1.86	厚さ 0.4 浮み			Н			
3	1004-04	₩	P14 SD9	兼さ 1.7	1.78	0.4			_			重さ1.04g
4	2003-06	石巖	K35 包含屬	長さ 1.6	1.15	順き 0.34			Ш			重さ0.61g
5	1009-03	石舞	Q5 SKII	長さ 6.2	3.0							重さ13.7g
6	1009-04	石幢	Q 5 S K I I	長さ 8.0	韓 2. 6 5	-						± 550.4g
7	1017-02	縄文士器	S 16 S H 13	-	-	-	ナデ	やや粗		灰黄橋 10YR5/2		外面に縄文および沈幕あり
8	1021-04	縄文土粉	P 16 S H 12	_	-	-	ミガキ	やや根	並	内:にぶい権 7.5YR6/4 外:灰黄 2.5Y6/2		口縁端部および口縁部外面に縄文あり 外面に沈練あり
9	1017-03	縄文主器	Q23 包含層	-	-	-	ナデ	やや根	並	黒褐 7.5YR3/1		外面に沈線あり 口縁端部に縄文あり
10	1018-04	縄文土物	試掘 Na.サ	-	-		内:ミガキ 外:ナデ	令や報		内:にぶい黄橙 10YR7/3 外:浅黄橙 10YR8/3		外面に沈集あり
11	1024-02	縄文士器	Q6 遺傳上面	-	-		内:ナデ 外:ヨコナデ・ミガキ	やや相	並	内: 極灰・灰黄褐 10YR 4/1・4/2 外: 黒橋 7.5YR 3/1		外面に縄文および沈線あり
12	1021-05	縄文土器	P16 SD5	_	-	-	,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,,	粗		内: 灰黄 2.5YR7/2 外: 黒鶴 10YR3/2 灰黄褐 10YR5/2		
13	1016-04	機文士器	Q 5		_		† <i>f</i>	やや書		にぶい黄橙 10YR 7/3 梅灰 10YR 4/1		外面に沈頼あり
14	1020-03	縄文土器	S H12	_		_	ナデ	やや相		内:にぶい黄橙 10YR7/3 灰黄褐 10YR4/2		外面に沈線あり
\vdash					<u> </u>			****		外: 黒橋 2.5Y3/1 内: にぶい黄根 10YR7/2 外: 橋灰 10YR4/1		外面に沈頼あり
15	1024-06	縄文土器	Q 5 P 1			-	内:ナデ 外:ミガキ			外: 機灰 10YR 4/1 灰橋 7.5YR 4/2		外面に構文および沈線あり
16	1016-05	縄文主器	SD4		-	<u> </u>	ナデ	やや裾	_	4- F1 - WW - 10 V D Z - (0		外面に縄文および佐頼あり
17	1016-07	縄文土器	Q14 SD4	-			ナデ	やや粗		灰黄褐 10YR 6/2		
18	1024-01	縄文土器	遺傳上面				内:ナデ・ミガキ 外:ミガキ	************************************	<u> </u>	無梅 7.5YR3/1		外面に沈線あり
19	1016-03	縄文土粉	A地区 北側	-		-	内:ナデ・ミガキ 外:ナデ	やや根		にぶい黄橙 10YR7/3		外面に沈練あり
20	1019-03	縄女士器	Q6 SHII	-	-	-	† 	粗	故	内: 黒橋 10YR3/1・3/2 外: におい黄橋 10YR6/4・6/3 楊灰 10YR4/1		外面に沈線あり
21	1025-01	縄文土器	P14 · 15 S D 4	-	L-	-	ナデ・オサエ	やや租		灰黄 2.5Y7/2・6/2		外面に沈練あり
22	1020-05	縄文主義	A地区 賽土除去	-	-	-	ナデ	相	並	内: 浅質 2.5Y7/3 灰黄褐 10YR6/2 外: 黄灰 2.5Y5/1・4/1 灰 N4/		外面に条線あり
23	1017-05	縄文土器	A地区 表土除去	-	-	-	ナデ	M	並	浅黄 2.5Y7/3		口縁機能から外面にかけて縄文あり
24	1019-02	縄文土器	P 15 S H 12	-	-	-	ナデ	粗	並	内:権 5YR6/6 にぶい権 5YR6/4 外:にぶい権 7.5YR5/3・5/4		口緑増部に刺突あり 口緑部外面に縄文あり
25	1020-01	美文主義	P15	_	-	-	ナデ	#L	並	内:にぶい黄橙 10YR6/4 浅黄 2.5Y7/3 外:にぶい黄橙 10YR7/4・6/4 暗灰黄 2.5Y5/2		口縁始節から口縁外面にかけて縄文あり
26	1017-01	縄文土器	SHI2 A地区 表主除去	_	-	<u> </u>	ナデ	\$\phi_0		外: 福灰 5 Y R 4 / 1 内: にぶい黄橙 10 Y R 7 / 2		外面に縄文および沈線あり
\vdash			P12		- -	-	ナデ・オサエ	やや根		内:にぶい黄檀 10YR7/2 内:にぶい黄檀 10YR7/4 浅黄 2.5Y7/3 外:にぶい黄檀 10YR6/3 灰黄褐 10YR5/2		外面に縄文および条練あり
27	1019-04	縄文土器	包含層 P15		├	-	<u> </u>					外面に縄文および条練あり
28	1021-02	縄文土器	S H12				†#	やや粗	_	内: にぶい権 7.5YR 6/2 外: 灰黄橋 10YR 6/2		
29	1016-02	美文士器	Q22 暮ち込み				ナデ	やや難		にぶい黄橙 10YR 6/4		外面に条練あり
30	1020-02	縄文土器	P12 包含欄				ナデ	#L	*	内:にぶい黄橙 10YR7/3 にぶい橙 7.5YR7/4 外:黒褐 10YR2/2 灰褐 7.5YR5/2		外面に縄文および条線あり
31	1018-05	縄文土器	Q16 S D 3	-	<u> </u>		† *	#6.	並	内:にぶい他 7.5YR7/4 外: 他 7.5YR6/6		端部に縄文あり 外面に沈線あり
32	1020-06	異文主题	Q 6 S K 20	-	-		ミガキ	やや相		内:にぶい黄橙 10YR7/3・7/2 灰黄褐 10YR6/2		口縁内面に此株あり
33	1019-01	親文主器	Q 5 P 1	18. 6	-	-	内:ミガキ 外:ナデ	粗	並	内:灰黄褐 10YR4/2 褐灰 10YR4/1 外:灰黄 2.5YR7/3 にぶい黄檀 10YR7/3		
34	1018-01	縄文土器	Q5 P1	22. 0	-	-	ミガキ	やや粗	並	概灰 10YR6/1・4/1	□練:1/4	
35	1021-03	縄文土器	P15 SD4	-	-	-	ナデ	ML .	並	内:機灰 10YR6/1 外:にぷい黄檀 10YR7/2		
36	1019-05	縄文士器	P15 SD4	-	_	-	ナデ	粗		内: 黄灰 2.5 Y 7 / 3 外: 黄灰 2.5 Y 5 / 1 暗灰黄 2.5 Y 5 / 2		口縁端部に刺突あり
37	1025-02	農文士器	Q.5	-	-	_	ミガキ	やや粗	並	内:にぶい黄檀 10YR7/4 梅灰 10YR5/1 外:にぶい黄檀 7.5YR6/4		外面にキザミおよび沈線あり
38	1017-07	縄文土器	SKII Q6	_	-	-	ミガキ	**************************************		機狀 7.5YR4/1 無傷 7.5YR3/1		口縁部外面にキザミ
39	1018-06	與文土器	包含層 P12		-	- -	ナデ	***	-	内:灰白 10YR8/2		突帯気に構文わり
-			包含階 Q14	-	-	-	+#	40	_	外:灰貨 2.5Y7/2 内:灰白 2.5Y7/1		外面に沈練あり
40	1016-06	縄文土器	SD4			 	<u> </u>	HL.	_	外:浅黄橙 7.5YR8/3		771111111111111111111111111111111111111
41	1020-04	縄文土器	SD4				†#	AL	並	に示い負債 10YR7/3 炭黄権 10YR5/2・6/2		ļ
42	1016-01	親文士器	試搬 No.サ	_		-	+==		並	にがい種 5YR6/4 灰橋 7.5YR5/2 茂黄橙 10YR8/3		外面に縄文および沈線あり
43	1021-01	異文士器	Q13 S D 4			-	ミガキ	44		内:黄灰 2.5Y4/1 外:灰黄 2.5Y6/2		
44	1021-06	縄文土器	P · Q14 SD4	-	-	-	ミガキ	粗	並	内:黄灰 2.5Y4/1・5/1 外:にぶい後 10YR6/3・6/4・7/3		
45	1018-07	異文主聯	Q13 S D 4	-	-	-	ナデ	やや粗	並	黒傷 7.5YR3/1 灰傷 7.5YR4/1 にぶい黄樹 10YR7/3		機能に縄文あり 外面に沈頼あり
46	1018-03	縄文土器	Q13 S D 4	-		_	ナデ	やや粗	並	内: 無傷 10YR3/1 外: にぶい黄檀 10YR7/2 灰: N5/0		口級場部に縄文あり 外面に半載竹管の戦突あり
47	1025-03	異文士器	Q13 SD4	-	-	-	ナデ	粗	业	浅美橙 10YR 8/3		外面に縄文および沈線あり
48	1024-03	異文主器	P14 SD9	-	-	-	ナデ	楓	並	にぶい黄橙 10YR 8/3		外面に羽状圧痕あり
49	1024-04	縄文土器	R16 遺傳上面	-	_	-		粗	並	にぶい黄橙 10YR7/2		
51	1017-06	異文主報	Q13	-	-	-	ナデ	粗	並	内: 浅黄糠 10YR 8/3 外: 灰白 2.5Y7/1 灰 N4/0		
52	1017-04	典文士器	SD4 Q21 包含用		-	-	ナデ	やや相	*	カ: 灰日 2.587/1 灰 N4/0 内: にぶい黄橙 10YR7/3 外: にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい黄褐 10YR5/3		
53	1024-05	美文主器	包含用 Q 5 P 1		-		 	やや粗		外:にぶい質権 10YR7/4 にぶい責務 10YR5/3 灰黄穂 10YR6/2		
\vdash			Q20		├ ──	1					1600 - 1 - 1 - 1	外面に縄文あり
54	1018-02	異文士器	包含層			底径 8.0	ウ・エミナデ	やや組		内:灰黄種 10YR5/2 外:におい黄種 10YR7/4 黄灰 2.5Y4/1 内:連番種 7.5YR8/4	acm : 1 / 6	外面に両又あり 外面に凹鏡および刺突あり 内面に工具あたり痕あり
5.5	1029-01	券生上器 量	包含層	-			内: 工具ナデ 外: ハケメ (8 本/1.6cm)	やや程		内: 浅黄槿 7.5YR 8/4 外: におい糧 7.5YR 7/4		内面に工具あたり痕あり 下部に僅が付着 外面に回線および制突あり
56	1029-04	外生土器 最	Q13 SD4	-			内: ナデ 外: ハケメ (7本/ca)	やや相	_	にぶい後 7.5YR7/4		外面に関係および明矢あり 内面に媒が付着
57	2057-04	弥生土駿 鲞	J 31 · 32 包含層	-				租 ~2mmの小石含む	並	にぶい後 7.5YR7/4		
58	1029-03	券生土器 要	P 15 S D 4	15. 0		l	内:ヨコナデ 外:ヨコナデ・ハケメ(8本/cm)	やや粗	Ŗ	權 5YR7/6	頻節:1/5	外面に凹線および刺突あり 口線部から類部にかけて集が付着
59	1029-02	茶生土糖 豐	QI3 SD4	14. 0	-	-	内:ヨコナデ・ナデ・ハケメ 外:ヨコナデ・ハケメ(8本/1.6cm)	組 6 ■の小石が提じる	_	にぶい機 7.5YR7/4	類部:1/6	外面に凹線および刺突あり
60	1023-02	条生土器 高杯	Q14 S D 4	-	-	-	内:シボリ痕・ハケメ(7本/cm) 外:ミガキ	やや鹿	並	にぶい黄檀 10YR7/3 灰白 2.5Y8/2 灰黄 2.5Y7/2		円形通孔2級あり 上級1方向、下級3方向
61	1023-06	养生土器	P15 SD4	-	-		内:ナデ 外:ハケメ・ナデ	やや者		内:にぶい機 7.5YR7/2 外:にぶい機 7.5YR7/3	底部: 完存	外面に赤色銀料 黒斑あり
62	1023-05	**生士聯	P14 · Q13	-	-	台径	内:ハケメ (8本/cs) 外:ナデ	やや密	业	内: 灰白 10YR 7/1・2.5Y 7/1 外: 浅黄檀 10YR 8/3	台部:1/3	
63	1004-01	要 	SD4	8.0	-	つば径	内:工具ナデ・ハケメ・ケズリ?	やや樹		カ: 茂美権 10 Y K 8 / 3 にぶい橋 7.5 Y R 6 / 3 灰橋 7.5 Y R 6 / 2		口縁部外面およびつば修に刺突あり
64	1008-04	土師聯	SD4	13.0	7.3		外: ハケメ 内: 工具ナデ?・ナデ 外: ナデ・ハケメ・オサエ	00H	*	次務 7.5YR 6/2 内: にぶい黄種 10YR 6/4 外: にぶい黄種 10YR 7/3		内面に無変部あり
\vdash	\vdash	上師器	SHI	13.0	 			~3mmの砂粒を含む 粗			麻那:ほぼ完存 口線:7/8	内面に媒が付着
65	1008-03	神	Q 8 S H 1	13.8	6.8	遊径 4.5	内:ハケメ 外:ナデ・ハケメ・オサエ	~4mの小石を多く含む	业	内:灰黄褐 10YR6/2 にぶい黄橙 10YR6/3 外:にぶい黄橙 10YR6/3 灰黄褐 10YR5/2	遊鄉: 完存	アリ地に味がりる

第1表 出土遺物観察表(1)

			油 根	口径	85 ×	その他		1	- a		T	I
No.	登録番号	上師器	建 標 出土位置 Q15	con	_ ca	その他 cm	調整技法の特徴	% ±	焼成	色 調	费存	備考
66	1030-05	土師器	S H12 R16	-	-	体部径	ナデ 内:ョコナデ・工具ナデ・ナデ・オサエ	根やや相	A		D₩:2/3	円形の穿孔が9カ所あり
67	2025-04	土師器	5 H13	12.8	11.9		内: ヨコナデ・工具ナデ・ナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケメ (6~7本/1cm) 内: ヨコナデ・ハケ・ナデ (丁目#4-8)	~2mの砂粒を含む やや密	並	開放 7.59 R 5 / 1	口號:2/3 体部:2/3	
68	1005-02	土前器	S H13	14. 2	13.1	-	内:ヨコナデ・ハケ・ナデ (工具痕あり) 外:ヨコナデ・ハケ (6本/cm)	~2 mの砂粒を含む	A	灰橋 7.5YR5/2	1/4	外面に媒が付着
69	2025-01	9	5 H 13	17. 4	-	t	内: ヨコナデ・ケズリ 外: ヨコナデ・ナデ	粗 ~2.5mmの砂粒を含む	₩	にぶい権 5 Y R 6 / 4 にぶい赤橋 5 Y R 5 / 4 内:にぶい権 7.5 Y R 7 / 3 灰黄橋10 Y R 6 / 2	口味: 2/5 体部: 1/8	
70	1005-01	土師器	S H13	19. 2		-	内: ヨコナデのちハケ (10本/cm)・ケズリ 外: ヨコナデ・ハケのちミガキ	組 ~4 ■の小石を含む	R	内:にぶい権 7.5YR7/3 灰黄橋10YR6/2 外:にぶい責権 10YR7/4 にぶい権 7.5YR6/4 にぶい責集 10YR5/3		外面に僕が付着
71	1028-01	上解器	S H13 カマド	30. 0	31.3	11.0	内: ヨコナデ・ケズリ 外: ヨコナデ・オサエ・ナデ・ケズリ	やや粗 3.5 m~の小石を含む	2	71: 10 2.51 K 0 / 0 K 25V 10 1.51 K 1 / 4	口練:1/5 底部:小片	Na. 4
72	1008-02	土師器 台付稿	P24 S H16	13. 0	5. 4	底径 4.9	内:ナデ 外:工具ナデ・シボリ痕・ナデ	やや租 ~3mmの砂粒を含む	並	か:にかい程 1.51 K G / 4	日録: 1/4	外面に黒斑あり
73	1008-05	土師器 丸底量	P24 S H16	14.0	7.2	-	ナデ・ミガキ	やや密 ~ 1 mmの砂粒を含む	並	内:にぶい使 7.5YR6/4 外:にぶい使 7.5YR6/4 黒 10YR2/1	口線:1/2	
74	1008-01	土師器 高杯	P24 S H16	14.0	-	-	内:ミガキ 外:ナデ・ミガキ	やや粗 ~2mの砂粒を多く含む	*		日韓:1/2	
75	2024-02	上師器 高杯	P 16 S H 16	-	-	台径 10.0		やや租 ~1 mmの砂粒を含む	2	浅黄橙 10YR 8 / 3 にぶい橙 7.5YR 7 / 4	台第:1/4	
76	1002-02	土師器 畫	P51 S H29	8. 1	9. 1	体部径 9.4	内:オサエ・ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・ケズリ	やや粗 ~2mの砂粒を含む	盏	上部:にぶい橙 5YR6/4 下部:梅灰 7.5YR5/1・4/1	完彩	No. 1
77	1001-03	土師器 概	P 51 S H29	10.0	13. 2	体部径 14.3	内:ョコナデ・ナデ・オサエ 外:ョコナデ	粗 ~4㎜の小石・砂粒を含む	2	にぶい権 5YR7/3・6/3・2.5YR6/4	口線:2/5 体部:完存	外面に媒が付着 Na.7
78	1001-01	土鮮器 高杯	P 51 S H29	16.9	11.4	底径 10.2		租 ~4.5mmの小石・砂粒を含む	並	にぶい後 7.5YR 7/4・6/4 にぶい黄板 10YR 7/4	完影	No. 6
79	1001-02	土師器 高杯	P 51 S H 29	18.0	11.9	底径 12.2		やや租 ~2mの砂粒を含む	#	にぶい権 7.5YR6/4・5YR6/4 にぶい赤橋 2.5YR5/4 にぶい権 7.5YR7/3	口線:3/5	Ns. 3
80	1002-01	土師器	P51 S H29	19. 0	13.0	維提 11.5		やや租 ~1.5mの砂粒を含む	¥	にぶい数 7.5YR6/3 にぶい黄煙 10YR6/3 灰黄梅 10YR5/2 掲灰 10YR5/1・4/1・7.5YR5/1・4/1	口録:1/3 底部:2/5	Na.2 · 4 · 5
81	1026-01	上師器	R15 SH17	12. 3	13.9		内:ケズリ・ヨコナデ 外:ヨコナデ・ハケメ (8本/ca)	やや相	¥	におい物 5YR6/4	日報:1/3	
82	2026-02	モニチュア	カマド S15 SH17	6.0	3.3		外: ヨコナデ・ハケメ (8本/cm) 内: ナデ 外: ナデ・オサエ	やや相	#		D#:1/2	
\vdash	-	上師器	S H17 R I5 S H17		 			~1. 5 mの砂粒を含む	╁	機灰 10YR 5/1 内: にぶい黄橙 10YR 7/2		
83	1027-01	須恵器	R15	29. 0	25. 6		内: ヨコナデ・ハケメ・ケズリ・工具ナデ 外: ヨコナデ・ハケメ(8本/ca) 内: ロクロナデ	やや粗	単やや	外:におい機 7.5YR7/4	底部:1/3	na o
84	2025-02	杯蓋	SH17 カマド R15 SH17	16. 7	4. 3		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	~2.5㎜の砂粒を含む	- W	にぶい黄橙 10YR7/3	日献:1/4	
85	1007-01	須恵器 杯蓋	カマド	15. 0	5. 0		内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや密 ~2mの砂粒を多く含む	¥	灰白 7/	日銀:1/3	外面に自然和
86	2045-02	世	T58 SH7	-	-		内: ヨコナデ・工具ナデ 外: ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1mmの砂粒含む	並	内:灰傷 7.5YR4/2 外:にぶい権 5YR4/2		
87	2046-06	須恵器 杯畫	T 59 S H 7	13. 0	-		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	鹿	良	K N5/	□#:1/8	外面に自然軸
88	2047-05	須恵器 杯身	T 59 S H 7	10.0	5. 0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~3mmの砂粒含む	良	灰 N6/	受部:1/4	
89	2046-05	須恵器 杯蓋	T59 SH7	16, 0	3.7		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~ 1 mmの砂粒含む	Ą	灰白 N7/	日練:1/8	
90	1006-01	土師器 台付費	Q53 S H25	15. 5	-		内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケ(5本/cm)・ケズリ	租 ~4 mmの小石を含む	Ŗ	内:にぶい黄梗 10YR7/3 にぶい橙 7.5YR7/4 外:にぶい橙 7.5YR7/3	1/7	媒が付着
91	1030-06	土郵 駿 把手	Q53 S H25	-	-	-	内:ナデ 外:ナデ・ケズリ	やや粗	ß	にぶい黄橙 10YR 7/2		
92	1029-05	土節器 台付費	Q53 S H25	ı	-	台極 8.9	ナデ	やや風	Ŗ	にぶい機 5YR7/4	台部:完存	
93	1032-01	須恵器 杯蓋	Q53 S H25	11.0	3. 6		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	æ	Ŗ	沢 N5/ 衆沢 5RP6/1	口線: 1/4	外面に灰かぶり
94	1007-02	須恵器 杯畫	Q53 S H25	12. 0	4.5	-	内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや密 ~5mmの小石を含む	並		口線: 1/3	
95	1030-07	須恵器 杯蓋	カマド Q53 S H25	14. 0	4. 6		内: ロクロナデ 外: ロクロケズリ・ロクロナデ	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Д	灰白 5 Y 7 / 1	口縁:1/6	口縁部外面にキザミ
96	1010-02	土師器	P50 焼土上	12. 3	5. 5		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ハケ・オサエ・ナデ	やや租 ~2mの砂粒を含む	*	内: 県 N2/ 外: 暗青灰 5PB3/1 にぶい黄橙 10YR3/2・2/2	完形	
97	1003-01	土師器	(SH33) P50 SH33	-	_		カ: ココナア・ハク・オサユ・ナア 内: ハケメ?・工具あたり底 外: ヨコナデ・ハケメ (7本/cm)	~2mの砂粒を含む やや相 ~2mの砂粒を含む		灰黄格 10YR4/2 無格 10YR3/2・2/2		底部に穿孔あり &本に異似なり
98	1032-02	製 須恵器 杯蓋	P 50	12. 0	4. 5		外: ヨコナデ・ハケメ (7本/cm) 内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	~ 2 mの砂粒を含む やや粗	-	外:にSN資権 10YR7/2 権 5YR6/6 灰 N6/	□ # :1/8	外面に無斑あり
							pr					
99	-	土解聯	S H33	12.0				やや密	-	内: にぶい権 7.5YR 6/4		外面に媒が付着
99	1003-02	土師器 畫 土師器	P 50 S H33	12. 0 12. 5	-		内: ヨコナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケメ (20本/cm)	~2曲の砂粒を含む	22	内:にぶい権 7.5YR6/4 外:にぶい梅 7.5YR6/3 にぶい典権 10YR6/3 にぶい典権 10YR6/3	□雠:3/4	外面に媒が付着 口線内面に抱煙?あり
\vdash	-	土師器 畫	P50 S H33 Q50 S H33 R56	12.0	-	-	内: ヨコナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケメ (20本/cm)	~ 2 mの砂粒を含む やや粗 ~ 1.5 mの砂粒を含む やや密	並	にぶい糞橙 10YR6/3 蝿灰 10YR4/1		外面に集が付着 口臓内面に物煙?あり
100	1003-02 2026-01 2043-03	土師器土部器生態	P50 S H33 Q50 S H33 R56 S H133	12. 0 ~ 12. 5 15. 8	-	-	内: ヨコナデ・オサエ 分: ヨコナデ・ハケメ(20本/ca) ナデ	~ 2 mの砂粒を含む やや根 ~ 1. 5 mの砂粒を含む やや密 敷砂粒含む やや相	业业	にぶい黄檀 10YR 6 / 3 横灰 10YR 4 / 1 内 : 灰 N 3 外 : にぶい黄檀 10YR 7 / 3	□雠:3/4	外面に成が付着 口輪内面に物態であり
100 101 102	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03	土師器	P50 S H33 Q50 S H33 R56 S H133 R56 S H133	12. 0 12. 5 15. 8	- - 3.7	-	内: ヨコナデ・オサエ 分: ヨコナデ・ハケメ(20本/m) ナデ 内: ヨコナデ・ナガキ 分: ヨコナデ・ナガ・ケメリ	- 2mの砂粒を含む	业业	によい異様 10YR6/3 機灰 10YR4/1 角 I F N3/ 外 にぶい黄後 10YR7/3	口練: 3/4	
100 101 102 103	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07	主解器生物 经收益 计电路 电电路 电电路 电电路 电电路 电电路 电电路 电电路 电电路 电电路	P50 SH33 Q50 SH33 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133	12. 0 12. 5 15. 8 — 13. 0	3.7	-	 ☆: 3 = ナデ・オヤエ ☆: 3 = ナデ・ハケメ (20 ★/m) ナデ ☆: 3 = ナデ・ミガキ ☆: 3 = ナデ・ナデ・ケメリ □2 ロナデ・カメリ 	- 2 mの参数を含む - 2 mの参数を含む - 1.5 mの参数を含む - 中や密	业业业业业	におい理像 10YR6/3 開放 10YR4/1 所次 N3/ かにより調像 10YR7/3 2.5Y6/6 所決 N5/ 外: 米 N6/	口練: 3/4 口練: 1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04	土部最上的。	P50 SH33 Q50 SH33 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133 H32 SH57	12. 0 12. 5 15. 8 - 13. 0 14. 1	3.7	-	外:ヨコナデ・キャエ デ:ヨコナデ・ハケメ(20本/四) ナデ 内:ヨコナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・ケズリ ロクロナデ 内:ロウロナデ・ロクロケズリ	~ 2 mm/の形を含む やや根 ~ 1. 5 mm/の形を含む ややを数 服务的ななむ やや様 世 世 世 を を を を を を を を を を を を を	並並	におい機能 10YR 6/3 開版 10YR 4/1 内沢 N 3/ サドにより機能 10YR 7/3 2. Y8 6/6 内沢 N 5/ 大 N 6/ 大 N 6/	D練:3/4 D練:1/6	
100 101 102 103 104 105	2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03	主解器生物 建二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	P50 S H33 Q50 S H33 R56 S H133 R56 S H133 R56 S H133 R56 S H133	12. 0 12. 5 15. 8 - 13. 0 14. 1 13. 0	- 3.7 - 4.4 5.0		内: ヨコナデ・オサエ 另: ヨコナデ・ハケメ (20 k/a) ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・ 内: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ 内: ロクロナデ・ロクロケズリ 内: ロクロナデ・ロクロケズリ 另: ロクロナデ・ロクロケズリ 另: ロクロナデ・ロクロケズリ	~ 2mmの報を含む ~ 2mmの報を含む ~ 1. 5mmの報を含む ~ 2mmの報を含む ~ 2mmの報を含む ~ 2mmの報を含む ~ 2mmの報を含む ~ 2mmの報を含む # # # # # # # # # # # # # # # # # # #	並並を	におい機能 10YR 6 / 3 機能 10YR 4 / 1 内 灰 N 3 / かにより機能 10YR 7 / 3 2 SY6 / 6 内 灰 N 8 / 灰 N 6 / 灰 N 6 /	口練:3/4 口練:1/6 口練:1/7 使郎:1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105	2026-01 2043-03 2038-03 2038-04 2044-07 2085-04 2095-03	土師報告主師報告主師報告主師報告主師報告主師報告主師報告主師報告主師報告述明本書所書書「東京」等本書「東京」等本書「東京」等本書	P50 SH33 Q50 SH33 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133	12. 0 12. 5 15. 8 - 13. 0 14. 1	- 3.7 - 4.4 5.0		外:ヨコナデ・オサエ サ:ヨコナデ・ハケメ(20年/四) ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ カ:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロウロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ・ロクロケズリ カ:ロクロナデ・カクロケズリ カ:ロクロナデ・カクロケズリ	~ 2mの砂板を含む	並並及良良	におい機能 10VR 6 / 3 機既 10VR 4 / 1 内: 灰 N 3 / 方: 下下・大変性 10VR 7 / 3 2. VF 6 / 6 内: 灰 N 6 / 灰 N 6 / 灰 N 6 /	D練:3/4 D練:1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03	土師養土師養土師報告報報的報報的報報的報報的報報的報報的報報的報報的報報的報報的報報的報報的報報	P50 SH33 Q50 SH33 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133 R52 SH57 H32 SH57 D40 SH77	12.0 12.5 15.8 - 13.0 14.1 13.0 10.5	3.7		: ヨコナデ・オキエ : ヨコナデ・ハケメ (20 k/a) : ヨコナデ・(ガキ : ヨコナデ・ナデ・ケメリ コワロナデ : ロフロナデ : ロフロナデ・ロフロケズリ : ロフロナデ・ナフ : コフナデ・ナア : コフナデ・オキエ : ヨコナデ・ハウメ	~ 2mの砂板を含む	並並良良良並	に広い実施 10VR 6 / 3 機反 10VR 4 / 7 内に 反 Na / 7 たにない実施 10VR 7 / 3 2.5V8 / 6 内に 反 Na / 7 反 Na / 7 反 Na / 7 にない実施 10VR 7 / 4 によい実施 10VR 7 / 4	口練:3/4 口練:1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03	土師監查 計算的 計算的 計算的 計算的 計算的 計算的 計算的 其所 其所 其所 其所 其所 其所 其所 其所 其所 其	P50 SH33 Q50 SH33 R56 SH133 R56 SH133 H32 SH57 D40 SH77 D40 SH77	12.0 12.5 15.8 - 13.0 14.1 13.0 10.5	3.7 		外: ヨコナデ・オサエ サ: ヨコナデ・ハケメ (20年/四) ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ カ: ロクロナデ・クラロケズリ 内: ロクロナデ・ロクロケズリ カ: ロクロナデ・カラロケズリ カ: ロクロナデ・カラロケズリ カ: ロクロナデ・カラロケズリ カ: ヨコナデ・オナエ 内: ヨコナデ・ハケメ (4~5年/四)	~ 2 mm/砂砂を含む	业业业业民民	におい業権 10VR 6 / 3 機能 10VR 4 / 1 内: 灰 N3 / か、により機能 10VR 7 / 3 2 V8 6 / 6 内: 灰 N5 / 灰 N6 / 灰 N6 / におい資権 10VR 7 / 4 におい資権 10VR 7 / 3 機能 10VR 7 / 3 たらの資産 10VR 7 / 3	口練:3/4 口練:1/6 口練:1/7 使郎:1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2098-03	土師監查 計畫 計算 計學	P50 SH33 Q50 SH33 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133 R42 SH57 H32 SH57 D40 SH77 D40 SH77	12.0 12.5 15.8 - 13.0 14.1 13.0 10.5	3.7 	- - - - - - - - - - - - - - - - - - -	内: ヨコナデ・オサエ デ: ヨコナデ・ハケメ (20年/四) ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ カ: ロクロナデ・クラロケズリ カ: ロクロナデ・クラロケズリ カ: ロクロナデ・クラロケズリ カ: コフナデ・オナエ カ: ヨコナデ・ハウメ 内: コフナデ・ハウメ ド: ヨコナデ・ハウメ (4~5年/四) 内: ロクロナデ カ: コフロナデ・カウエブリ	~ 2 mm/砂板を含む	並並良良量並立立	におい実施 10VR 6 / 3 機数 10VR 4 / 1 内: 灰 N3 / ハール・エリ (10VR 7 / 3 シャ・スト (10VR 7 / 3 大 (10VR 7 / 4 におい実施 10VR 7 / 3 機能 10VR 7 / 3 機能 10VR 7 / 3 におい実施 10VR 7 / 3 によい実施 10VR 7 / 3 によい実施 10VR 7 / 3 によい実施 10VR 7 / 3	D線: 3/4 D線: 1/6 D線: 1/7 硬部: 1/6 受那: 1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2088-01 2098-08	土師語意義的意義的意義的意義的意義的意義的意義的意義的意義的意義的意義的意義的意義的意	P50 SH33 Q50 SH33 R56 SH133 R55 SH133 R32 SH57 SH27 SH57 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77	12.0 12.5 15.8 - 13.0 14.1 13.0 10.5 - 18.0 14.0	- 3.7 - 4.4 5.0 4.4 5.3		: ヨコナデ・オサエ : ヨコナデ・ハケメ (20 k/a) : ヨコナデ・ハケメ (20 k/a) : ヨコナデ・ナデ・ケメリ : ココナデ・ナデ・ケメリ : ココナデ・カー : ココナデ・カー : ココナデ・ハウメ : ヨコナデ・ハウメ : ヨコナデ・ハウメ : ヨコナデ・ハウメ (3 k/a) : ヨコナデ・カー : ココナデ・カー : ココロナデ・カー : : ココロナデ・カー : : ココロナデ・カー : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	~ 2mの砂板を含む	並並良良	におい実施 10VR 6 / 3 機成 10VR 4 / 7 内に RV Na / かいにかい実施 10VR 7 / 3 2.5V6 / 6 内に RV Na / かいにかい実施 10VR 7 / 4 におい実施 10VR 7 / 4 におい実施 10VR 7 / 3 機動能 10VR 7 / 3 展 Na / 7 R Na /	口練:3/4 口練:1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2088-01 2098-08 2084-05 2091-03	土板 整 土 解 整 土 解 整 土 数 整	P50 SH133 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133 H32 SH57 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77	12. 0 12. 5 15. 8 - 13. 0 14. 1 13. 0 10. 5 - 18. 0 14. 0 13. 0	3.7 			~ 2 mmの物化含む	业业业业业人民民主业业业人民民主业业业人民民主业业业人民主业业业人民主办公司。	におい業権 10VR 6 / 3 機関 10VR 4 / 1 対 2 NA / **・によい業権 10VR 7 / 3 2 5V8 / 6 対 2 N6 / 2 反 N6 / 2 区 N6 / 2 区 N6 / 2 区 N6 / 2 区 N6 / 3 区 N6 / 3	D線: 3/4 D線: 1/6 D線: 1/7 硬部: 1/6 受那: 1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2096-03 2094-05 2098-01 2098-01 2098-02 2098-02 2099-03 2099-03	土 超	P50 SH133 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH133 R54 SH57 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 R57 SH77	12. 0 12. 5 15. 8 - 13. 0 14. 1 13. 0 10. 5 - 18. 0 14. 0 13. 0	- 3.7 - 4.4 5.0 4.4 5.3 - 16.3		: ヨコナデ・オサエ : ヨコナデ・ハケメ(20 k/a) ナデ 	~ 2 mm/の砂板を含む	业业业业及及及业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业	におい業権 10VR 6 / 3 機関 10VR 4 / 1 内に 20 Na / かいによい業権 10VR 7 / 3 2.5V8 / 6 内に 20 Na / かいだい 20 Na / 2 反 Na / 3 反 Na / 3 C	□雑: 3/4 □雑: 1/6 □雑: 1/7 〒部: 1/6 □雑: 1/6 □雑: 1/6 □雑: 1/6 □雑: 1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2088-01 2098-08 2084-05 2091-03	上 经验证 电子 经验证 电子 经验证 电子 经验证 电子 经验证 电子 经验证 电子 经验证 医皮肤	P50 P510 P510 P510 P510 P510 P510 P510 P	12. 0 12. 5 15. 8 - 13. 0 14. 1 13. 0 10. 5 - 18. 0 14. 0 13. 0	3.7 		: ヨコナデ・オサエ : ヨコナデ・ハケメ(20 k/a) ナデ・カー・	~ 2 mm/砂砂を含む	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	に広い機能 10VR 6 / 3 機形 10VR 4 / 7 内に W N N 2 / 7 たになり機能 10VR 7 / 3 2.5V8 / 6 所 W N 6 / W N 6 / W N 6 / W N 7 / W N 7 / W N 8 / W N 7 / W N 8 / W N 8 / W N 7 / W N 8 / W N 8 / W N 7 / W N 8 / W N 8 / W N 8 / W N 9 / W N	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2098-01 2099-08 2094-05 2091-03 2092-02 2047-02	上 经验证 电子 经验证 电子 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经	P50 SH3 G50 SH33 R56 SH133 R56 SH133 R56 SH132 SH57 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 D40 SH77 R517 R5116 R51	12. 0 12. 5 15. 8 - 13. 0 14. 1 13. 0 10. 5 - 18. 0 14. 0 13. 0	- 3.7 - 4.4 5.0 4.4 5.3 - 16.3		: ヨコナデ・オサエ : ヨコナデ・ハケメ(20 k/a) ナデ 	~ 2 mm/の砂板を含む	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	におい業権 10VR 6 / 3 時度 10VR 4 / 3 時度 10VR 4 / 3 2.5V6 / 6 所度 10VR 7 / 3 2.5V6 / 6 所度 10VR 7 / 4 におい業権 10VR 7 / 4 におい業権 10VR 7 / 3 機能器 10VR 7 / 3 反 N 6 / 7 反 N 6 / 7 反 N 7 / 9 反 N 8 / 7 反 N 8 / 7 © N 8 / 7	□雑: 3/4 □雑: 1/6 □雑: 1/7 〒部: 1/6 □雑: 1/6 □雑: 1/6 □雑: 1/6 □雑: 1/6	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112	1003-02 2026-01 2043-03 2036-03 2036-03 2044-07 2085-04 2095-03 2094-05 2096-03 2096-0	上 经验证 电子 经验证 电子 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经	P50 S143 Q50 S143 Q50 S143 S143 R56 S143 R56 S143 R56 S143 R56 S143 R132 R132 R132 R132 R132 R132 R132 R13	12.0 12.5 15.8 - 13.0 14.1 13.0 10.5 - 18.0 14.0 13.0 12.0 12.0 13.0	3.7 			~ 2 mm/砂砂を含む	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	に広い機能 10VR 6 / 3 機段 10VR 4 / 1 内に RV No / かいにかり機能 10VR 7 / 3 2.5V6 / 6 所に No / 7 次 No / 7 ※ ※ ※ * * * * * * * * * * * * * * * * *	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/4 - 体格: 1/2 □除: 1/3	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2098-01 2099-08 2094-05 2091-03 2092-02 2047-02	上 经验证 电子 经验证 电子 经验证 电子 经验证 电子 经验证 电子 经验证 电子 经验证 医二十二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲	P50 S143 Q50 S143 Q50 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143	12.0 12.5 15.8 - 13.0 14.1 13.0 10.5 - 18.0 14.0 12.0 12.0 12.0 13.0 14.0 15.0 16.0 17.0 18.0 19.0	3.7 		: ヨコナデ・オサエ : ヨコナデ・ハケメ(20 k/a) : ヨコナデ・ハケメ(20 k/a) : ヨコナデ・ラゲ・ケメリ : ココナデ・ラゲ・ケメリ : ココナデ・カー : ココナデ・カー : ココナデ・カー : ココナデ・カー : ココナデ・オー : ココナデ・カー : : : : : : : : : : : : : : : : : : :	~ 2 mm/の単位表立	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	におい業権 10VR 6 / 3 時度 10VR 4 / 3 対 2 5V6 / 6 対 2 5V6 / 6 対 2 5V6 / 6 対 2 5V6 / 6 対 2 5V6 / 6 だい業権 10VR 7 / 4 におい業権 10VR 7 / 3 機能器 10VR 7 / 3 機能器 10VR 7 / 3 反 N 6 / 7 反 N 6 / 7 反 N 7 / 7 反 N 8 / 7 所 2 5V8 / 1 権 5 VR 7 / 6 特 反 7 VR 7 / 8 10 VR 7 / 2 VR 7 / 8	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/4 - 体格: 1/2 □除: 1/3	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2096-03 2098-03 2098-03 2098-05 2099-08 2099-08 2099-08 2099-08 2099-08 2099-08	上 经验证 电子 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经	P50 S143 Q50 S143 Q50 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143	12.0 12.5 115.8 13.0 14.1 13.0 10.5 10.5 118.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0 119.0	3.7 - 4.4 5.0 4.4 - - - 5.3 - 16.3 - -			~ 2 mm/砂砂を含む	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	に広い機能 10VR 6 / 3 機段 10VR 4 / 1 内に RV No / かいにかり機能 10VR 7 / 3 2.5V6 / 6 所に No / 7 次 No / 7 ※ ※ ※ * * * * * * * * * * * * * * * * *	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/7 □除: 1/7	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2096-03 2094-05 2098-03 2098-03 2098-05 2098-02 2098-02 2098-05 2098-05 2098-05 2098-05 2098-05 2098-05 2098-05 2098-05 2098-05 2098-05 2098-05 2098-06 2098-0	上 经验证 电子 经 经 经	P50 S1H33 C159 S1H33 R56 S1H133 R56 S1H133 R56 S1H133 H127 S1H57 D40 S1H77 D40 S1H77 D40 S1H77 D40 S1H77 D40 S1H77	12.0 0 12.5 115.8	3.7 - 4.4 5.0 4.4 - - - - 16.3 4.5		内: ヨコナデ・オヤエ カ: ヨコナデ・スケメ (20年/四) ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ カ: ロクロナデ・クタリ コクロナデ・カーのロケズリ カ: ロクロナデ・カーのロケズリ カ: ロクロナデ・カーのロケズリ カ: ココナデ・オヤエ カ: ヨコナデ・オウス カ: ヨコナデ・オウス カ: ココナデ・オース カ: ヨコナデ・オース カ: ココナデ・カータ カ: ロクロナデ・カーのロケズリ カ: ロクロナデ・カーのロケズリ	~ 2 mmの砂板を含む	业业业业人民民政党、政党、政党、政党、政党、政党、政党、政党、政党、政党、政党、政党、政党、政	におい業権 10VR 6/3 (M) (W) (N) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/7 □除: 1/7 □除: 1/7	外面に被吹欠あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2098-03 2098-03 2098-03 2098-02 2098-02 2098-02 2098-03 2098-05 2098-05 2098-06 2098-0	上 经验证 电子 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经 经	P50 S143 Q50 S143 Q50 S143 R56 S1433 R56 S1433 R56 S1433 R56 S1433 R56 S1433 R56 S1432 S1457 D40 S147 D40 S147 D40 S147 D40 S147 D40 S147 D40 S147 S147 S147 S147 S147 S147 S147 S147	12.0 12.5 15.8 - 13.0 14.1 13.0 10.5 - 18.0 14.0 12.0 10.5 - 18.0 11.0 12.0 10.5 - 11.0	3.7 - 4.4 5.0 4.4 - - - 16.3 4.5		内: ヨコナデ・オサエ カ: ヨコナデ・スケメ (20年/四) ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロフロナデ カ: ロフロナデ・フェッスリ カ: ロフロナデ・ロフロケズリ カ: ロフロナデ・カーロケズリ カ: ロフロナデ・カーロケズリ カ: ロフロナデ・カーロケズリ カ: ココナデ・オナスト カ: ヨコナデ・オナスト カ: ココナデ・オースト カ: ココナデ・カースト (3年/四) カ: ロフロナデ・カーロケズリ カ: ロフロナデ・カーロケズリ カ: ロフロナデ・カーロケズリ カ: ロフロナデ・カーロケズリ カ: ロフロナデ・カーロケズリ カ: ロフロナデ・カーロウズリ カ: ロフロナデ・カーロウズリ カ: ロフロナデ・カーロウズリ カ: ロフロナデ・カーロウズリ カ: ロフロナデ・カーロウズリ カ: ココナデ・オーターロケズリ カ: ロフロナデ・カーロウズリ カ: ロフロナデ・カーロウズリ カ: ロフロナデ・カーロウズリ カ: ココナデ・カーア・カーロウズリ カ: ココナデ・カーア・カーロウズリ カ: ココナデ・カーフロケズリ カ: ココナデ・カーフロケズリ カ: ココナデ・カーア・カーロウズリ カ: ココナデ・カーア・カーフロケズリ カ: ココナデ・カーア・カーロケズリ カ: ココナデ・カーア・カーフロケズリ カ: ココナデ・カーア・カーフロケズリ カ: ココナデ・カーア・カーア・カーア・カーア・カーア・カーア・カーア・カーア・カーア・カーア	~ 2 mmの砂板を含む	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	におい業権 10VR 6 / 3 時度 10VR 4 / 3 対策 10VR 7 / 3 2.5V6 / 6 所 度 10VR 7 / 3 2.5V6 / 6 所 度 10VR 7 / 4 におい業権 10VR 7 / 3 機関 10VR 7 / 3 機関 10VR 7 / 3 機関 10VR 7 / 3 成 N 6 / 7 反 N 6 / 7 反 N 7 / 7 反 N 7 / 7 反 N 8 / 7 反 N 8 / 7 所 2 5V8 / 7 株 2 5V8 / 7 東 N 8 / 7 	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一般形: 1/6 一般形: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/7	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2094-05 2098-03 2094-05 2097-02 2047-02 2047-02 2047-02 2047-04 2047-04 2047-06	上 经验证 电子 经 经 经	P50 S143 Q50 S143 Q50 S143 R56 S1433 R56 S1433 R56 S1433 R56 S1432 S1437 D40 S147 D40 S147 D40 S147 D40 S147 D40 S147 D40 S147 S147 D40 S147 S147 S147 S147 S147 S147 S147 S147	12.0 12.5 15.8 15.8 15.8 15.8 16.1 13.0 14.1 13.0 10.5 12.0 12.0 12.0 12.0 15.0 17.4 17.4 17.4	- 3.7 - 4.4 5.0 - 4.4 5.3 16.3		内: ヨコナデ・オヤエ カ: ヨコナデ・スケメ (20年/四) ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ カ: ロクロナデ・クタリ コクロナデ・カーのロケズリ カ: ロクロナデ・カーのロケズリ カ: ロクロナデ・カーのロケズリ カ: ココナデ・オヤエ カ: ヨコナデ・オウス カ: ヨコナデ・オウス カ: ココナデ・オース カ: ヨコナデ・オース カ: ココナデ・カータ カ: ロクロナデ・カーのロケズリ カ: ロクロナデ・カーのロケズリ	~ 2 mmの砂板を含む	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	におい業権 10VR 6/3 (M) (W) (N) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A) (A	□除:3/4 □除:1/6 □除:1/7 一切除:1/7 一切除:1/6 □除:1/6 □除:1/6 □除:1/2 □除:1/2 □除:1/7 □除:1/7	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2094-05 2098-03 2094-05 2092-02 2047-02 2047-02 2047-02 2047-06 2047-06	上 经验证 电子 经 经 经	P50 S1H33 Q50 S1H33 Q50 S1H33 R56 SH33 R56 SH33 R56 SH33 R56 SH32 SH32 SH37 D40 SH7 SH116 R51 SH116 R51 SH116 R51 SH116	12.0 12.5 15.8 15.8 16.1 13.0 14.1 13.0 10.5 14.0 11.0 12.0 12.0 10.0 17.4 1.1 13.0 11	- 3.7 - 4.4 5.0 - 4.4 		内: ヨコナデ・オサエ カ: ヨコナデ・スケメ (20 k/a) ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロフロナデ カ: ロフロナデ・フェリスリ カ: ロフロナデ・フェリスリ カ: ロフロナデ・フェリスリ カ: ロフロナデ・フェリスリ カ: ロフロナデ・ファンスリ カ: ココナデ・オナエ カ: ヨコナデ・オテスト カ: ヨコナデ・オテスト カ: ココナデ・カウメ (4~5 k/a) カ: ロフロナデ・ロフロケスリ カ: ロフロナデ・ロフロケスリ カ: ロフロナデ・ファリスリ カ: ロフロナデ・ファリンスリ カ: ロフロナデ・ファリンスリ カ: ロフロナデ・ファリンスリ カ: ロフロナデ・ファリンスリ カ: ロフロナデ・アナットフィーアデ・ハケメ (4~5 k/a) カ: ココナデ・ナデ・ハケメ (4~5 k/ca) カ: ココナデ・ナデ・ハケメ (4~5 k/ca)	~ 2 m/の砂を含む	业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业业	におい業権 10VR 6 / 3 時度 10VR 4 / 3 対策 10VR 7 / 3 2.5V6 / 6 所 度 10VR 7 / 3 2.5V6 / 6 所 度 10VR 7 / 4 におい業権 10VR 7 / 3 機関 10VR 7 / 3 機関 10VR 7 / 3 機関 10VR 7 / 3 成 N 6 / 7 反 N 6 / 7 反 N 7 / 7 反 N 7 / 7 反 N 8 / 7 反 N 8 / 7 所 2 5V8 / 7 株 2 5V8 / 7 東 N 8 / 7 	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/2 □除: 1/7 □除: 1/10 □R: 1/10 □R: 1/10	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 1	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2038-03 2085-04 2085-04 2098-03 2088-01 2098-08 2088-01 2098-08 2098-08 2091-03 2091-03 2091-03 2091-03 2091-03 2091-04 2091-0	上 经卸金 全 上 经 经	P50 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143	12.0 12.5 15.8 15.8 15.8 15.8 15.8 15.8 15.8 15	- 3.7 - 4.4 5.0 - 4.4 		内: ヨコナデ・オサエ カ: ヨコナデ・スケメ (20 k/a) ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロフロナデ カ: ココナデ・ナデ・ケメリ ロフロナデ・カーロッズリ カ: ロフロナデ・カーロッズリ カ: ロフロナデ・カーロッズリ カ: ココナデ・オナエ カ: ヨコナデ・オナス カ: ココナデ・オース カ: ココナデ・オース カ: ココナデ・カース カ: ココナデ・カース カ: ココナデ・カース カ: ココナデ・カース カ: ロフロナデ・カーロッズリ カ: ココナデ・ナデ・カース カ: ココナデ・ナデ・カースリ カ: ココナデ・カース カ: カース カ:	~ 2 mmの砂板を含む	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	によい実施 10VR 6 / 3 例: W N3 / か: によい資産 10VR 7 / 3 2.5V8 / 6 州: W N5 / 5 W N6 / W N6	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/2 □除: 1/7 □除: 1/10 □R: 1/10 □R: 1/10	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2038-03 2085-04 2085-04 2098-03 2088-01 2098-08 2088-01 2098-08 2091-03 2091-03 2091-03 2091-04 2091-0	上 经数据	P50 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143	12.0 12.5 15.8 15.8 15.8 13.0 14.1 13.0 10.5 10.5 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0 17.4 1.1 13.0 11.0 11.0 11.0 11.0 11.0 11.0	- 3.7 - 4.4 5.0 4.4 5.3 - 16.3 4.5		内: ヨコナデ・オサエ カ: ヨコナデ・スケメ (20 k/a) ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロフロナデ カ: ロフロナデ・フェリスリ カ: ロフロナデ・フェリスリ カ: ロフロナデ・フェリスリ カ: ロフロナデ・フェリスリ カ: ロフロナデ・ファンスリ カ: ココナデ・オナエ カ: ヨコナデ・オテスト カ: ヨコナデ・オテスト カ: ココナデ・カウメ (4~5 k/a) カ: ロフロナデ・ロフロケスリ カ: ロフロナデ・ロフロケスリ カ: ロフロナデ・ファリスリ カ: ロフロナデ・ファリンスリ カ: ロフロナデ・ファリンスリ カ: ロフロナデ・ファリンスリ カ: ロフロナデ・ファリンスリ カ: ロフロナデ・アナットフィーアデ・ハケメ (4~5 k/a) カ: ココナデ・ナデ・ハケメ (4~5 k/ca) カ: ココナデ・ナデ・ハケメ (4~5 k/ca)	~ 2 m/の砂を含む	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	におい業権 10VR 6 / 3	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/2 □除: 1/7 □除: 1/10 □R: 1/10 □R: 1/10	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 110 111 111 115 116 117 118 119 122 123	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2065-04 2065-03 2094-05 2091-03 2092-02 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06 2047-06	上 经验证 电子电子 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性 医多种性	P50 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143	12.0 12.5 15.8 15.8 13.0 14.1 13.0 10.5 10.5 14.0 12.0 12.0 12.0 15.0 10.0 17.4 14.0 15.0 15.0 15.0 15.0	- 3.7 - 4.4 5.0 4.4 		内: ヨコナデ・トケメ (20年/四) ナデ カ: ヨコナデ・大ブト (20年/四) カ: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ カ: ロクロナデ・カーロクズリ カ: コフナデ・カーフロケズリ カ: コフナデ・カーフロケズリ カ: コフナデ・カースリ カ: カーステーストリ カ: カーステーストリ カ: カーストリ カ	~ 2 m/の砂板を含む	业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业 业	におい業権 10VR 6 / 3 例に 10VR 4 / 3 例に 10VR 4 / 3 2.5V8 / 6 所に 10VR 7 / 3 2.5V8 / 6 所に 10VR 7 / 4 におい業権 10VR 7 / 3 機関数 10VR 7 / 3 機関数 10VR 7 / 3 機関数 10VR 7 / 3 反 N 6 / 5 反 N 6 / 5 反 N 6 / 5 反 N 7 / 3 反 N 8 / 5 反 N 8 / 5 反 N 8 / 7 反 N 8 / 7 6	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/2 □除: 1/7 □除: 1/10 □R: 1/10 □R: 1/10	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2065-04 2065-03 2094-06 2096-03 2094-06 2094-06 2047-02 2047-02 2047-06 2039-02 2047-06 2039-02 2047-06 2039-02 2048-04 2048-0	上 经验证 电子	P50 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143	12.0 12.5 15.8 15.8 13.0 14.1 13.0 10.5 10.5 14.0 12.0 12.0 12.0 12.0 12.0 13.0 14.0 15.0 16.0 17.4	- 3.7 - 4.4 5.0 4.4 		内: ヨコナデ・ハケメ (20年/四) ナデ ハ: ヨコナデ・ハケメ (20年/四) カ: ヨコナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ カ: ロクロナデ・ククリ コクロナデ・カークロケズリ カ: ロクロナデ・カークロケズリ カ: ココナデ・ハウメ (3年/四) カ: ココナデ・オークス (3年/四) カ: ココナデ・オークス (3年/四) カ: ココナデ・カークロケズリ カ: ココナデ・カークス (3年/四) カ: ココナデ・カークス (3年/四) カ: ココナデ・カークロケズリ カ: ロクロナデ・カークロケズリ カ: ロクロナデ・カークロケズリ カ: ロクロナデ・カークロケズリ カ: ココナデ・カークロケズリ カ: ココナデ・カークス (4~5年/四) カ: カーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカーカ	~ 2 mm/砂砂を含む	业业业业业人民政治、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、	によい機能 10VR 6/3 納沢 10VR 4/3 神沢 10VR 4/3 カ : 東 N 3/ ル: 上ボル機能 10VR 7/3 2.5V6/6 川沢 10VR 7/4 にぶい機能 10VR 7/4 にぶい機能 10VR 7/3 機能器 10VR 7/3 機能器 10VR 7/3 反 N 6/ 反 N 6/ 反 N 6/ 反 N 6/	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/2 □除: 1/7 □除: 1/10 □R: 1/10 □R: 1/10	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 111 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2086-03 2094-05 2098-03 2094-05 2094-05 2094-05 2094-05 2094-05 2094-05 2094-06 2045-04 2106-01 2047-06 2045-04 2045-0	土 经卸金 土 经 经	P50 S1133 Q50 Q50 Q50 S1433 R56 S1433 R56 S143 S145 S145 S147 S147 S147 S147 S147 S147 S147 S147	12.0 12.5 15.8 15.8 13.0 14.1 13.0 10.5 10.5 14.0 13.0 12.0 14.0 13.0 14.0 15.0 16.0 17.4 18.0 16.0 17.4 18.0 16.0 17.4 18.0	- 3.7 - 4.4 5.0 4.4 		内: ヨコナデ・ハケメ (20年/四) ナデ カ: ヨコナデ・スタリ ロクロナデ カ: ココナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ カ: ロクロナデ・カーのクスリ カ: ロクロナデ・カーのクスリ カ: コフナデ・オークメ (3 ロカロナデ・カークメ カ: ロクロナデ・カーのクスリ カ: コフナデ・オークメ カ: コフナデ・オークメ カ: コフナデ・オークメ カ: コフナデ・オークスリ カ: コフナデ・オークスリ カ: カロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: コフナデ・オークスリ カ: コフナデ・カーのカースリ カ: コフナデ・カーのカースリ カ: コフナデ・カーのカースリ カ: コフナデ・カースリ カ: ココナデ・カースリ カ: ココナデースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココースト	~ 2 mmの砂板を含む	业业业业人民政治、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、企业、	によい実施 10VR 6 / 3	□除: 3/4 □除: 1/6 □除: 1/7 一切終: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/6 □除: 1/7 □除: 1/7 □除: 1/7 □除: 1/7 □除: 1/7	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 122 123 124 125 126 100 100 100 100 100 100 100 100 100 10	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2094-05 2096-03 2094-05 2096-03 2094-05 2096-03 2094-05 2096-03 2096-03 2096-03 2096-03 2096-03 2096-03 2096-04 2096-03	上级 经金 上级 经 计 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化 化	P50 S143 Q50 S143 Q50 S143 R54	12.0 12.5 15.8 15.8 13.0 14.1 13.0 10.5 10.5 14.0 13.0 12.0 14.0 13.0 12.0 12.0 15.0 14.0 15.0 15.0 16.0 17.4 16.0 15.0 16.0 16.0 17.4 17.4 17.4 18.0	- 3.7 - 4.4 5.0 4.4 		1: コナデ・ハケメ (20年/m) 1: コナデ・ハケメ (20年/m) 1: コナデ・スケリ (20年/m) 1: コナデ・オケ (20年/m) 1: コナデ・オケ (20年/m) 1: コナデ・オケ (20年/m) 1: コナデ・オケ (20年/m) 1: コカナデ・オケ (20年/m) 1: コカナデ・カケ (20年/m) 1: コカナ・カケ (20年/m) 1: コカナデ・カケ (20年/m) 1: コカナ・カケ (20年/m)	~ 2 mmの砂板を含む	业 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	によい機能 10VR 6/3 納沢 10VR 4/3 神沢 10VR 4/3 カ : 東 N 3/ ル: 上ボル機能 10VR 7/3 2.5V6/6 川沢 10VR 7/4 にぶい機能 10VR 7/4 にぶい機能 10VR 7/3 機能器 10VR 7/3 機能器 10VR 7/3 反 N 6/ 反 N 6/ 反 N 6/ 反 N 6/	□雑: 1/6 □雑: 1/7 □雑: 1/6 □雑: 1/7 □雑: 1/7 □雑: 1/7	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり
100 101 102 103 104 105 106 107 108 109 110 111 112 113 114 115 116 117 118 119 120 121 122 123 124 125 126 127	1003-02 2026-01 2043-03 2038-03 2044-07 2085-04 2085-03 2094-05 2098-03 2094-05 2096-03 2094-05 2096-03 2094-05 2096-03 2094-05 2096-03 2096-03 2096-03 2096-03 2096-03 2096-03 2096-04 2096-04 2096-04	土 经卸金 土 经 经	P50 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143 S143	12.0 12.5 15.8 15.8 15.8 13.0 14.1 13.0 10.5 10.5 14.0 13.0 12.0 12.0 12.0 13.0 14.0 15.0 16.0 17.4 16.0 15.0 16.0 15.0 16.0 15.0 16.0 15.0	- 3.7 - 4.4 5.0 4.4 		内: ヨコナデ・ハケメ (20年/四) ナデ カ: ヨコナデ・スタリ ロクロナデ カ: ココナデ・ナデ・ケメリ ロクロナデ カ: ロクロナデ・カーのクスリ カ: ロクロナデ・カーのクスリ カ: コフナデ・オークメ (3 ロカロナデ・カークメ カ: ロクロナデ・カーのクスリ カ: コフナデ・オークメ カ: コフナデ・オークメ カ: コフナデ・オークメ カ: コフナデ・オークスリ カ: コフナデ・オークスリ カ: カロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: ロクロナデ・カーのカースリ カ: コフナデ・オークスリ カ: コフナデ・カーのカースリ カ: コフナデ・カーのカースリ カ: コフナデ・カーのカースリ カ: コフナデ・カースリ カ: ココナデ・カースリ カ: ココナデースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココナ・カースリ カ: ココースト	~ 2 mmの砂板を含む	业 · · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	におい業権 10VR 6 / 3	□除: 1/6 □除: 1/7 □除: 1/7 □除: 1/6	外面に彼状又あり 天井都にヘラ配号あり

第2表 出土遺物観察表(2)

\Box	r		*	f) Sy	50 *	204		I	T., 1			
No.	登録番号	## # 1	進構出化置	D AŽ OM	SS AS	その他 CE	調整技法の特徴	fr t	焼成	e a	我 存	(A) *5
129	2052-05	須恵器 平身	F 39 S H75	11.0	5. 1	受部径 13.0	内 : ロクロナデ 外 : ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~ 3 mmの砂粒含む	差	内: 灰 N 5 / 0 外: 灰白 N 7 / 1	口練:1/5 受部:1/2	
130	2086-04	ミニチュア 概	J 35 S H53	2.7	2. 5	-	ナデ・オサエ	やや姐 ~ 1 msの砂粒含む	披	にぶい黄権 10VR 6 / 4		
131	2089-03	- ±:00.98	1 34 S 1453	9. 0	-	-	内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや粗 ~1.5mmの砂粒含む	拉	にぶい黄橙 10YR7/3	四級:1/5	
132	2088-03	上師器	K34 · 35	14. 0	-	類部径	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・ハケメ?	やや相 ~ 2 mmの砂粒含む	蒙	内: 灰黄橋 10YR 6 / 2 外: にぶい板 7.5YR 6 / 4 - 灰橋 7.5YR 5 / 2	類部:1/6	
133	2085-02	須恵器	S 1159 J 34 S 1153	13.4	3. 4		外: ヨコナア・アア・ハケメ? 内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	~ 2mmの砂板含む 老 ~ 1.5mmの砂粒含む	R	が: にかい世 / 51R 5/4 次略 / 51R 5/2 沢 N7/	DM: 1/2	
\vdash		杯畫				_	火・ロクロナデ	やや体		内: 灰 10YR 6 / 1 外: 反 7.5Y 6 / 1	日報:1/2	
134	2008-03	須恵器 杯畫 御書等	J 34 S H53 J 35	12.5	4. 2		外:ロクロナデ・ヘラキリ	~ 2 mmの砂粒含む やや粗				
135	2087-02	須恵器 杯身	S H53	15. 0	4.8		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや祖 ~3.5mmの砂粒含む	-	択 N 6 / 0	受部:1/8	
136	2039-03	須恵器 高杯	J 34 S H53	13.6	-		ロクロナデ	密 微砂粒含む	良	内: 青灰 5.8.6 / 1 外: 庆 N.4 / 0		
137	2094-01	須恵器 高杯	J 34 · 35 S H53	14.0		-	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~ 4. 5 mmの小石含む	at.	灰白 N7/	日報:1/2	解部にキザミあり
138	1006-02	須惠器 杯身	S H54	14. 0	-	-	ロクロナデ	やや密 ~3㎜の砂粒を含む	良	灰白 10Y 7 / 1 灰 N 5 /	1/3	
139	2030-04	土飾器	C地区 SH63	12.7	-	-	内:ハケメ (5 本/cm) 外:ヨコナデ・ハケメ (7 本/cm)	rii.	J#.	内: 灰黄褐 10YR5/2 楊灰 10YR5/1 外: にぶい橙 2.5YR6/4 にぶい黄橙 10YR7/3		
140	2037~01	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	#-7 F F 38	14. 2	-	_	外: ヨコナア・ハケメ (マ本/cm) 内: 摩城のため不明 外: ヨコナデ・ハケメ (12本/2.9cm)	~ 2 mmの砂粒含む 程	12	内: 浅黄権 7.5YR8/4 外: 浅黄権 10YR8/4	口株:1/4	
\vdash		2	S H63			此符	外: 3コナデ・ハケメ (12本/2.9cm) (A) - 3コナデ・ナデ	~ 3 mmの砂粒含む やや薬	\vdash		底部:ほぼ完存	
141	2033-06	上師器 台付費	F 38 S H63	-	-		内: ヨコナデ・ナデ 外: ナデ・オサエ	~4 manの小石含む	並	におい後 5YR7/4 におい後 7.5YR6/3	asm : 1212 /c1f	
142	2039-04	須惠聯 高杯	G35 · H36 S H63	-	-		ロクロナデ	後砂粒含む	良	灰 N5/0		口縁部波状文あり
143	2039-01	須恵器 高杯	E 37 S H63	12.0	-	-	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	密 ~1 mmの砂粒含む		灰 N6/0	□練:1/8	外面に朝突文あり
144	2032-04	須恵器 杯蓋	E 38 S H 78 · 79	14.0	4.1	-	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや桐	遊	内:灰 N6/0 外:灰 N5/0	口練:1/2	
145	2030-01	須恵器 杯蓋	E38 S1178 · 79	14. 2	4. 5		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~ 2. 5 maの砂粒含む		灰 N6/1・5/・4/		
146	2030-03	杯蓋 須恵器 杯蓋	E 38	13.8	4. 5		外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや床		内: 暗灰 N2/ にぶい黄樹 10YR7/4 外: 橙 7.5YR7/6 黒楊 10YR3/1		
\vdash	_		S H78 · 79 K38	L				~3㎜の砂粒含む				
147	2078-01	土前器	SH55 カマド酢			-	内:ナデ・工具ナデ 外:ナデ・ハケメ(5~7本/cm)	やや産	並	内: 灰白 2.5Y8/2 灰黄梅 10YR6/2 外: にぶい黄檀 10YR7/3 にぶい巻 7.5YR6/3		外面に黒変能あり
148	2019-02	土粉粉 使	K38 S H55	24. 0	-	-	ハケのちョコナデ・ナデ	やや租 ~ 2 mmの砂粒含む	推	内:にぶい権 1.5YR7/4・7/3 外:政権 5YR8/4 にぶい権 5YR6/4・7.5YR6/4		
149	2086-03	士的報 報	K39 S H55	11.0	4. 0	-	内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ケズリ	租 ~3mmの砂粒含む		₩ 5YR7/6	□輸:1/8	
150	2056-01	須惠器	L 38 S H 55	15. 0	-		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	やや祖 ~ 6. 7mmの小石含む	並	内: 灰 N 6 / 外: 灰 N 5 /	□ ₩ :1/3	
151	2010 01	杯盖 須底器	K38 S H55	14.5	_		外:ロクロナデ・ロクロテスリ 内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ケズリ	やや密	-	灰 N5/・6/	日禄:1/2	
151	2019-04	須恵器 杯蓋 ミニチュア	S 1155 L 39	14.5				やや相	⊢-			
152	2016-06	*	S H59	3.7~3.8	3. 9		ナデ	~2mmの砂粒含む		内: 暗灰 N3/0 外: にぶい権 7.5YR7/4・7/3	完存	
153	2031-02	土師器 者	J 38 S H59	6.9	10. 5	底径 3.5	Bコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~ 1 mmの砂粒含む	並	にぶい黄椎 10YR 7 / 4 掲 7.5YR 4 / 6	日禄:1/3	
154	2088-02	土師器 使	K 40 S H 59	18. 0	-	類部径 15.0	内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケメ (3本/cm)	やや粗 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄橙 10VR7/3・7/4	口縁:1/8 受郎:1/8	
155	2084-02	土師器	K 40 S H59	12.0	-		ヨコナデ・ナデ	やや組	並	灰褐 7.5YR6/2	口録:1/3	
156	2084-04	31,6138	カマド K39	13. 0	4.1	受部径	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや粗	В	# 灰 5B6/1	□縁:1/2	
-		杯身 須息器	S H59 G35					~ 2 mmの砂粒、6.5 mmの小石含む やや密	-			底部外面に自然輪
157	2087-03	須恵器 杯身	S H60	11.7	-		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ カ: ココナデ・ログ・ケブ!	~1. 5mmの砂粒、5mmの小石含む	-	灰白 N7/0	口禄:1/8 受部:1/6	本中77
158	2089-08	七鲜器 梅	G36 S H62	11.0			内:ヨコナデ・ナデ・ケズリ 外:ヨコナデ・ケズリ・ハケメ(7 本/cm)	やや租 ~ 3 mm の砂粒含む	並	にぶい種 5YR6/4	□輸:1/8	
159	2007-03	須恵器 杯蓋	G36 S H62	14. 7	4. 4	-	内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや租 ~ 2. 2 mmの砂粒含む	旋	灰 N7/		
160	2033-01	須恵器 杯身	G36 S H62	13. 0	4.7	-	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや粗 ~5mmの小石含む	並	灰黄 2.5Y6/2 黄灰 2.5Y4/1	口練:1/2	
161	2036-03	土師器	K40 · 41	15.0	-	-	内:ヨコナデ・ナデ・ケズリ 外:ヨコナデ・ハケのちナデ?	粗~1.5mmの砂粒含む	婎	内:にぶい黄拠 10YR5/3 外:極 5YR6/6	□ ₩ :1/5	
162	2065-02	生的器	S 1166 K41	15.0	<u> </u>		外: はコナデ・ハケのちナデ? 内: ヨコナデ・上具ナデ 外: ヨコナデ	~ 1. 5 mmの砂粒含む やや密	#	外: 種 5VR6/6 内: 灰褐 7.5VR4/2 外: にぶい種 5VR6/4 にぶい赤褐 5YR5/4	<u> </u>	
-		2	S H66	<u> </u>	 			やや風	-		ntr · · ·	
163	2036-04	須恵器 杯畫	J 41 S H66	17. 0	4.7		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ p:ロクロナデ	~ 2 100の砂粒含む	├-	灰 №6/	日禄:1/3	
164	2066-01	須恵器 杯身	K41 S H66	13.5		16.0	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや寄 ~ 4 mの小右含む	推	灰白 N7/	口録:1/3	
165	2035-03	土所料 使	F 37 S H64	12. 0	-		内:ヨコナデ・工具ナデ 外:ヨコナデ・ナデ	やや租 ~ 1 mmの砂粒含む		にぶい黄橙 10YR 7/3	日献:1/4	
166	2100-04	土師器	F 37 S H64	11.2	-	-	内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・ミガキ?	やや書	推	内:にぶい義権 10YR7/2 灰褐 7.5YR4/2 外:にぶい義権 10YR7/3	口練:1/5	
167	2098-04	須恵器 杯蓋	G32 S H64	16. 0	4. 5		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む		灰 7.576/1	口線:1/3	
168	2098-06	須恵器	G32		-		内: ロクロナデ	0.0E	- -	灰色 N7/		
-		杯蓋 須息器	S H64 F 37				外:ロクロナデ・ロクロケズリ	4mmの小石、~1.5mmの砂粒含む やや細	├-			
169	2007-02	杯戲	S 1164				内: ロクロナデ 外: ロクロケズリ・ロクロナデ	~3mの砂粒含む	├-	灰 N6/・5/		
170	2009-05	須恵器 杯蓋	E 33 S H65	15. 0	5. 4		内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや相 ~ 5 mmの小石含む	业	灰 7.5YR6/1	□縁:1/6	
171	2084-01	土師器 幹	G33 S H72	17. 0			内:ケズリ 外:摩滅のため不明瞭	粗 ~3.5mmの砂粒含む	#	にぶい黄橙 10YR 7/3	日禄:1/3	
172	2031-01	上新器	G32 S H72	9. 8	-	-	内:ヨコナデ・オサエ・ナデ 外:ヨコナデ・ハケメ	型 ~4mmの小石含む	拢	内:にぶい黄褐 10YR5/4 にぶい橙 5YR6/4 外:橙 7.5YR7/6		
173	2089-07	土師器	F 33	_	_		内:ヨコナデ・ハケメ 外:ヨコナデ・ハケメ 外:ヨコナデ・ハケメ (6~8本/cm)	粗 ~2mmの砂粒含む		にぶい橙 7.57R7/4		
174	2087-01	領意器	S H72 G32	14.0	4.7		外: ヨコナテ・ハケメ (6~8本/cm) 内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	わめ田	-	版 N6/0·5/0	□縁:2/3	直部外面にヘラ記号あり 直部内面に当て具痕あり
-		杯身	S H72			16.4 受郵径	外:ロクロナデ・ロクロケズリ 内:ロクロナデ	~4mmの砂粒含む おお金	-			底部内面に当て具痕あり
175	2084-03	須恵器 杯身	G33 S H72	14.0	5.0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	~ 3 mm の砂粒、 6. 5 mm の小石含む	l l	灰 N6/	日献:1/2	
176	2007-04	士師器 椀	E 32 S I 169	10.3	5. 7		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや相 ~ 2 mmの砂粒含む		内: 権 2.5YR6/8 灰白 5YR8/2 外: 灰白 10YR8/1 権 5YR8/2		
177	2042-01	土師器 使	D32 S1169 カマド酢	12. 4	16.8	-	内:ハケメ (6本/cm) ・ケズリ 外:ヨコナデ・ハケメ (7~8本/cm)	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	整	内:にぶい黄橙 10YR7/4 外: 無 5YR1.7/1 灰白 10YR8/2	□練:1/3	
178	2034-01	土的39	カマド D32 S H69	L9.0	_		内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ハケメ	やや相 ~2.5mmの砂粒含む		内:にぶい権 7.5YR6/4 外:にぶい権 5YR6/4 灰褐 7.5YR5/2	日報: 1/4	
179	2017-05	土師器	カマド D32 S H69	18. 0	-		外: ヨコナケ・ハケメ 内: ヨコナデ・ケズリ 外: ヨコナデ・ハケのちナデ	やや斑		外:におい種 5 Y R 6 / 4 - 次朝 7.5 Y R 5 / 2 内:におい種 7.5 Y R 6 / 4・7 / 4 外:権 2.5 Y R 6 / 6・5 Y R 7 / 6		<u> </u>
\vdash		*	S H69 カマド略 D32		_			6 mm大の小石、~2 mmの砂粒含む				
180	2034-02	士師籍 飯	S H69 カマド略	-	-		内:ケズリ 外:ナデ・オサエ	やや祖 ~3mmの砂粒含む		にぶい機 7.5YR7/4	底部:1/4	
181	2019-01	土所報 概	D32 S H69	32. 0	-	-	内:ヨコナデ・ケズリ? 外:ヨコナデ・ケズリのちナデ	やや相 ~1.5mの砂粒含む	22	内:にぶい物 7.5YR5/3 外:にぶい機 7.5YR6/6 機 7.5YR6/4		
182	2092-01	土飾器	カマド F 32 S H 70	11.3	14.4	体部最大径	内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ナデ	相 ~2mmの砂粒含む		灰黄梔 10YR 6/2	日報:1/3	
183	2089-04	型 土的被	F 32	13. 0	-	沈線部径	外: ヨコナテ・ナア 内: 摩破のため不明瞭 外: ミガキ	Ħ	-	橙 5YR5/6	沈柳郎:1/4	
Н		1668	S H71 G32		<u> </u>			~3 mmの砂粒含む	Н			
184	2088-04	椴	S H71	12.5	-		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや組 ~1.5mmの砂粒含む		にぶい板 7.5YR7/4	口縁:2/5	
185	2085-05	土師器 概	F 32 S H71	14. 0	-	-	内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・オサエ	やや租 ~ 2 mmの砂粒含む	按	内: 暗灰 N3/ 外:にぶい黄橙 10YR7/2	日軸:1/6	
186	2089-05	土師器	F 32 S H71	-	-	-	Bコナデ・ナデ・オサエ	やや組 ~ 2 mmの砂粒含む				
187	2086-02	ミニチュア	G32 S H71	3. 5	2.6	-	ナデ・オサエ	やや租 ~ 1. 5 mmの砂粒含む	並	極 5YR7∕6		
188	2083-01	1:8589	F 33 S H71	19.5	-	-	内:ヨコナデ・工具ナデ 外:ヨコナデ・ナデ	~ 1. 5mmの砂粒含む やや組 ~ 3mmの砂粒含む		内:にぶい黄椎 10VR7/3 外:にぶい黄椎 7.5VR6/4		
Н		4	カマド 跡 F33			-		bbs				
189	2036-01	土節器	S H71 カマド酢 F33	13. 0	-		ヨコナデ・ナデ	やや框 ~ 1. 5 mmの砂粒含む	並	にぶい権 7.5YR7/4	日報:1/3	
190	2035-02	土的報 費	S H71	15. 0	-	-	内:ョコナデ・ナデ 外:ョコナデ・ハケメ	利 ~2mmの砂粒含む	推	浅黄橙 10YR8/3		
191	2085-01	須恵器 杯養	カマド略 F32 S1421	15.0	5. 0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	ŧ	R	灰 N6/	日報:1/3	
L "]		作業	S H71				77. ロッピファ・ロッログスリ	3 mmの砂粒含む				

第3表 出土遺物観察表(3)

N.	登録番号	28 15	遺 構 出土位置	口程	86 A	その他	御整技法の特徴	Mr I:	绕成	e M	表行	(4) 考
Pin.		20 m	出土位置 G33	CM.	(E	CIR.	内・ロクロナデ	8-8-W	+		D級: 1/3	
192	2030-02	杯蓋 領意器	S H71 F33	16. 0	5.0	- 受郵径	外:ロクロナデ・ロクロケズリ	~ 1. 5 mmの砂粒含む やや粗	40	灰白 N 7 / 灰 N 6 /		
193	2055-01	杯身	SH7i カマド略	13.5	5.0	16.1	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	~ 2 mmの砂粒含む	Œ	内: 灰白 5 Y 7 / 1 外: 灰 5 Y 5 / 1	日献 1/2 受部 1/2	
194	2033-03	,主師器 権	F 38 S H74	11.5	4. 2		内: ヨコナデ・ (.月ナデ 外: ヨコナデ・ナデ	やや密 〜 1 mmの砂粒含む	並	2F. 1044 12 1.01 K 12 4		
195	2037-04	土師器 使	E 38 S H74	11.6			内:ヨコナデ・『具ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ・ハケ(4 本/1. lcm)	やや密 ~1mmの砂粒含む	#	内:にぶい根 7.5YR6/4 灰黄樹 10YR4/2 外:にぶい根 5YR7/4 にぶい褐 7.5YR6/3	口線:1/8	
196	2035-01	土的器 雙	E 38 S H74	13. 0	-	-	内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ハケメ (12本/1.5cm)	粗 ~2.5mmの砂粒含む	整	にぶい機 7.5YR7/3	日練:1/3	
197	2080-02	士町器 童	F 38 S H74	13. 1	-	-	内:ョコナデ・ナデ・オサエ 外:ョコナデ・ハケメ(4~5本/cm)	租 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい黄檀 10YR 6/3 黒褐 10YR 3/2		
198	2037-02	上純粋	F 38 S H74	21. 0	-		内:3コナデのちハケ(4~5本/cm)・ナデ 外:3コナデのちハケ(4~5本/cm)・ハケメ(3本/cm)	やや密 ~1mmの砂粒含む	数	にぶい黄橙 10YR7/3	□Q:1/4	
199	2037-03	± 85 83	E 38 S H74	11.8	-		内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ハケメ (6本/cm)	やや密 ~1mmの砂粒含む	推	灰黄褐 10YR 5/2	日練: 1/4	
200	2082-02	上的製	F 38 · 39 S H 74	13, 5	15.4	_	内:ナデ・工具ナデ・ハケメ 外:ナデ・ハケメ (5 本/cm)	やや用	推	内:にぶい黄樟 10YR 7/4 外:にぶい橙 5YR 6/4 にぶい楊 7.5YR 5/3	口線:1/4	内面に媒付着
201	2019-03	生師器	F 38	14. 0	-	_	外: ブァ・ハゲメ (5 本/cm) 内: ハケメ・工具ナデ 外: ヨコナデ・ハケメ (5~7本/cm)	~ 2 mmの砂粒含む やや粗	32	内: 黒袖 10YR3/1 にぶい貨権 10YR6/3 外: 灰黄褐 10YR6/2 掲戻 10YR5/1		
\vdash		# 1:00 88	SH74 F39 SH74・75境		 	l	l .	~3mmの砂粒含む やや家	+	外: 灰黄褐 10YR 6/2 掲訳 10YR 5/1 内: 橙 2.5YR 7/6 外: にぶい橙 5YR 6/4		
202	2007-01	高杯	- 8	15. 9	-		ヨコナデ・ナデ	~3mmの砂粒含む	22		E14. 1. / 0	
203	2032-02	須恵器 杯身	F 38 · 39 S H74	10. 5	4. 6		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや相 ~ 2 mmの砂粒含む	推	灰 N5/0	口縁:1/2 受部:1/2	外面に自然箱
204	2008-04	須恵器 杯身	E 38 S H74	11.4	4. 7	-	内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	相 ~ 4. 5 mmの小石含む	业	灰白 N 7 / 炭 N 6 /		歪みが大きい
205	2032-01	須恵器 高杯	F 38 · 39 S H74	13. 8	-	_	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	æ	д	炭 N5/0	口練:1/2	杯部外面に彼状文あり
206	1009-01	土所料 雙	P 5 S H 8 カマド	15. 0	-	-	内:ナデ・ハケメ・ケズリ 外:ナデ・ハケメ	やや租 ~ 2 mmの砂粒を含む	₩.	内:にぶい黄檀 10YR7/2 にぶい黄褐 10YR5/3 黒褐 7.5YR3/1 外:にぶい根 7.5YR7/3 梯駅 10YR4/1	п₩:1/4	内面に煤が付着
207	1009-02	土師器 杷手	Q52 S H32	-	-	-	内:ナデ 外:オサエ・ナデ	やや相 ~ 2 mmの砂粒を含む	並	にぶい黄橙 10YR 6/3	-	
208	2095-01	±###	J 38 S H73	16.5	18.9		内:ハケメ・ケズリ・工具ナデ 外: ヨコナデ・ハケメ	やや書 ~ 1 mmの砂粒含む	#	内:灰樹 7.5YR4/2 外:はぶい機 75YR6/4	日禄:1/4	
209	2098-05	領意器	J 39 S H73	10.0	-		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~ 2. 5 mmの砂粒含む	被	内: 灰 N 4 / 外: 灰白 N 7 /	日禄:1/4	
210	-	指 士師器杯	F 40	14.0	3, 4		外:ロクロナデ・ロクロケズリ ナデ	やや和	#	外: 灰白 N7/ にぶい黄根 10YR 6/4	ほぼ完存	
1	2033-02	土師器杯	S H76	14.4				~4 mmの小石含む やや家	+		 	
211	2033-05	棉	S H76	11.0	-		内: ヨコナデ・工具ナデ 外: ヨコナデ・ナデ	~4㎜の小石含む	被	内: 単帖 2.5Y3/1 外:にぶい権 7.5YR7/4	口練:1/6	洪英
212	2035-04	土師器	F 40 S H76	13.0	-	-	Bコナザ・ナザ	組 ~4 mmの小石・砂粒含む	故	にぶい権 5YR6/4	口線:1/6	
213	2081-01	1:8688 版	E 40 · 41 S H76	-	-		内:ヨコナデ・ナデ・ハケメ (6本/ca) 外:ヨコナデ・ハケメ (6本/ca)	やや相 ~ 2 mmの砂粒含む	被	明黄褐 10YR7/6 浅黄檀 10YR8/3 沢黄褐 10YR5/2 黒褐 10YR3/2		
214	2035-05	須恵器 杯蓋	F 40 S H 76	12.0	4. 7	-	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや組 ~ 2 mmの砂粒含む	良	灰 N5/	口練:1/3	外面に自然種
215	2036-05	須恵器 杯蓋	F 40 S H76	12.0	5. 0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~1mmの砂粒含む	Ą	灰 N6/	日級: 1/5	外面に自然軸
216	2037-06	土邮器	F 40 S H76		-	底径 8.3	ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1mmの砂粒含む	业	にぶい権 5YR7/4 権 5YR7/6	底部:1/2	
217	1006-04	フイゴ羽口	5 H14 カマド	-	-	-	-	やや密 ~2mmの砂粒を含む	业	オリーブ灰 2.5GY6/1 灰白 5Y8/2 紫黒 5PL7/1 にぶい黄檀 10YR7/3		
218	2008-02	土邮器	H36	14.6	-		内:ハケ・ナデ・オサエ 外:ハケ	やや相	#	内:浅黄樹 7.5YR8/4 にぶい機 7.5YR7/4	日練:1/3	
219	2008-01	型 土前器 型	カマド跡 2 H36	15. 4	-		外: ハゲ 内: ヨコナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケ (5本/cm)	~ 1. 8 mmの砂粒含む やや密	並	外: にぶい種 7.5YR7/4 にぶい種 7.5YR 浅黄種 10YR8/3	日練:1/6	
		土師器 使	カマド酢 2 H36	<u> </u>			外: ヨコナデ・ハケ (5本/cm) ヨコナデ・ナデ	~4mmの砂粒含む やや密	*	にぶい機 5YR7/3 灰白 10YR8/2	山麓: ほぼ完存	
220	2080-04	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	カマド 林 2 H36	11.8	.			~1mmの砂粒含む やや薬	_1	果 2.5 7 2 / 1	1	
221	2077-01	4	カマド酢2	20.0	-		内:ヨコナデ・工具ナデ・ケズリ 外:ヨコナデ・ハケメ (4~5本/cm)	~1mmの砂粒含む		内: にぶい赤根 5YR5/4 にぶい黄橙 10YR7/3 外: にぶい黄橙 10YR7/3 灰黄褐 10YR6/2	口線:1/8	外面に無斑あり
222	1023-01	土部器	A 地区 カマド跡 1	21.0			内:ヨコナデ・オサエ・ナデ 外:ヨコナデ・ハケメ (5本/cm)	やや相	並	にぶい機 7.5YR 7/4・5YR 7/4 内面体部:にぶい黄橙 10YR 7/3	日献:1/3	
223	2079-01	土前器	G31 カマド酵3	-	-		内:ナデ・オサエ 外:ナデ・ハケメ(9本/cm)	やや接 ~1.5mmの砂粒含む	並	内:にぶい機 7.5YR6/4 外:根 2.5YR6/6 にぶい権 2.5YR7/4		
224	2007-05	須恵器 杯身	H36 カマド齢 2	12.7	5, 3	-	内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや粗 ~ 3. 5 mmの砂粒含む	谜	膏灰 5PB6∕1	□林:1∕3	
225	2023-07	須恵器 杯蓋	M39 Pit 2	14. 6	-	-	ロクロナデ	やや密	æ	灰 N4/0 灰白 N7/0	口縁:1/7	
226	2103-04	須恵器 杯身	L41 Pit 1	12.0	-	-	ロクロナデ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む		灰白 7.5Y7/1	口練:1/4	
227	1006-03	土師器	Q15 S K 18	11.1	-	-	内:ヨコナデ・ナデ・オサエ 外:ヨコナデ・ナデ・ケズリ	やや相 ~3mの砂粒を含む	ß.	内: にぶい権 7.5YR7/3 灰褐 7.5YR6/2 外: にぶい機 7.5YR6/3 灰黄褐 10YR6/2	ψL	内面に炭化物?が付着
228	2091-04	北部聯	S 58	13.0			内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	***		におい種 7.5YR6/4	□號:1/4	
229	2101-06	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	S D131 S 58	14.5	_	_	外: ヨコナテ・ナテ・オサエ ヨコナデ・ナデ	~2mmの砂粒含む		内:にぶい機 7.5YR6/4 外:権 5YR6/6 にぶい貨権 10YR7/3	1114: 1/10	
-		#G #-8688	S D131		 		内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケメ (6~7本/cm)	**************************************	1	外: 橙 5 Y R 6 / 6 にぶい黄橙 10 Y R 7 / 3 栂 7.5 Y R 6 / 6		
230	2100-03	土前器 雙 須恵器	S D131 S 58	9. 4				~ 3 mmの砂粒含む やや粗	+		口線:1/6	
231	2090-02	杯蓋	S D131	16. 5	-		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	~4㎜の小石含む	22	灰白 5 Y 7 / 1	口線: 1/2	
232	2090-03	須恵器 杯養	R 58 S D 131	15.0	-		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや뿐 ~ 5. 5mmの小石含む		灰 10Y6/1	口録:1/4	天井部にヘラ記号あり
233	2091-05	土師器 台付 斐	L 33 S D58	14. 0	-	-	内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケメ (5本/cm)	やや相 ~ 2. 5 mmの砂粒含む	1	灰白 10YR 8/2	DMR: 1/8	
234	2098-02	土師器 台付甕	L 33 S D58		<u></u>	-		やや密 機砂粒含む		内:浅菌橙 10YR8/3 灰菌褐 10YR6/2 外:灰黄褐 10YR6/3		
235	2091-07	土師器 高杯	L 32 S D61	-	-	政務 10.0		やや密 ~ 2. 5 mmの砂粒含む		内:灰黄褐 10YR5/2 外:にぶい橙 7.5YR6/4 にぶい黄橙 10YR6/3	底部:1/4	
236	2091-08	土師器 高杯	L36 S D61	-	-	-		やや密 ~3mmの砂粒含む		にぶい黄橙 10YR7/4 にぶい橙 7.5YR7/4	I	
237	2023-05	須恵器 杯蓋	E33 Pit 6	15. 0	4.4	-	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや相 ~2mmの砂粒を含む		灰 N5/0 灰白 N7/0	日練: 1/4	
238	2028-04	土8688	E 37	12. 6	_		ヨミナデ・ナデ	~ 2 msの砂粒を含む ~ 2 msの砂粒含む		内:暗灰 N3/0 内:暗灰 N3/0 外:にぶい黄梗 10YR6/3		
239	2103-01	押 須恵器	Pit 8 E 37	13. 0	-		th and notes	わや家	_	外:にぶい黄橙 10YR 6/3 灰 7.5YR 6/1	日練:1/4	
-		杯蓋 土師器	Pít 1 F 35				外:ロクロナデ・ナデ	~ 5 mmの砂粒含む やや相			日報:1/4	
240	2011-02	土所器	P 1	15. 5	-	-	ハケメ (4本/1cm) カ・ナデ	3mm~の砂粒含む やや相		内:にぶい機 7.5YR7/4・6/4 権 7.5YR7/6 外:にぶい機 7.5YR7/4・6/4		
241	2028-03	R	Pit 3	15. 0			内: ナデ 外: ナデ・工具ナデ	~2mmの砂粒含む	+	にぶい機 7.5YR6/4	日報:1/3	
242	2023-03	須恵器 杯身	F41 Pit 1	12. 2	-		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや刑 〜2mmの砂粒を含む		近 N6 /0	口練:1/6 受部:1/7	
243	2023-02	須恵器 野身	G41 Pit 2	12.5	5. 0	15. 2	内 : ロクロナデ 外 : ロクロナデ・ロクロケズリ	やや相 ~ 2 mmの砂粒を含む		灰 N6/0 断面: 柴灰 5P5/1	口縁:わずか 受部:1/4	
244	2103-03	須恵器 杯蓋	1139 Pit 5	15. 0			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや相 ~3mの砂粒含む	22	灰白 7.5Y7/1 炭 10Y5/1	口献:1/8	
245	2103-02	須恵器 杯養	H41 Pit 3	12. 0	-		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや粗 ~ 5 mmの砂粒含む		灰 N5/0 炭 10Y6/1	UMR: 1∕4	
246	2103-04	須恵器 杯身	H41 Pit 3	9. 5	-		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~ 3 mmの砂粒含む		灰 7.5Y6/1 灰 10Y4/1	口縁:わずか	
247	2104-06	ミニチュア 複	H41 Pit 3	4. 5	2. 8		ナデ・オサエ	やや祖 ~1.5mmの砂粒含む		にぶい権 7.5YR6/4	DM: 1/4	
248	2104-05	ミニチュア	H41	5. 0			内: ナデ 外: ナデ・オサエ	~1.5mmの砂粒営む やや相 ~3.5mmの小石含む	+	にぶい様 7.5YR7/4	口縁:わずか	
249	2104-04	ミニチュア	Pit 3 H41	6.0	2. 5		外:ナデ・オサエ ナデ	やや相	+	におい種 7.5YR7/4		
\vdash	\rightarrow	上新器	Pit 4		_			~2mmの砂粒含む	+		日禄:1/6	
250	2104-07	2	I 40 Pit 3	14.0	-		<i>ナデ</i>	やや密 ~ 2 maの砂粒含む		にぶい板 5YR6/4	日報:1/8	
251	2104-02	ミニチュア 組	H41 Pit 4	7. 0	-		ナデ	やや程 ~3mmの砂粒含む	並	にぶい真権 10YR 7 / 4 後責権 10YR 8 / 3	日禄:1/4	
252	2104-03	ミニチュア 椀	H41 Pit 4	7. 0	4. 0	-	内 : ナデ 外 : ナデ・オサエ	やや框 ~ 2. 5mmの砂粒含む	₩.	浅黄橙 10YR 8/3	日献:1/5	内面に刺突文あり
253	2023-06	須恵器 杯蓋	L41 Pit 1	13. 4	3. 5		内 : ロクロナデ 外 : ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密	菱	灰 N5/0	Π₩:1/8	
264	2028-02	土師器 費	M32 Pit 3	16. 0	-		内:ヨコナデ・工具ナデ 外:ヨコナデ・ハケメ(4 本/1 cm)	やや組 ~2mmの砂粒含む	推	にぶい黄檀 10YR6/3	日韓:1/7	
255	2028-01	土印器	U59 Pit 1	20. 0			内:ナデ・ミガキ 外:ナデ・ハケメ	やや密 ~2mの砂粒含む	披	にぶい黄権 10YR6/3	日禄:1/4	
ــــــ		ж.	att				W-17-19-6	A MINISTER OF	ا ا			

第4表 出土遺物観察表(4)

数	現 作	(個 考
257 2069-02 上前脚 14.0 -	日報: 1/5 日報: 1/7 日報: 1/2 日報: 1/2 日報: 1/2 日報: 1/3 日報: 1/3 日報: 1/4 日報: 1/4 日報: 1/8	內面に循系付着
250 2002-00 上端線 50	D線: 1/7 D線: 1/2 D線: 1/2 D線: 1/8 D線: 1/8 D線: 2/3 D線: 2/3 D線: 1/4 D線: 1/8 完存 D線: 1/8	內面に進が付着
255 2000-00 上端 日本の 14.0 -	日線: 1/2 日線: 1/2 日線: 1/8 日線: 1/8 日線: 1/4 日線: 1/4 日線: 1/8	內面に應が付着
259 2016-02 上端鏡 11.5 4.7 一 月、ヨコナデ・ナデ オウエ つの砂胞をむ 25 月、緑 5 Y R S / 6 / 6 12.5 一 月、ヨコナデ・ナデ・オウエ つの砂胞をむ 25 12.5 円 月、日本 1.5 12.5 一 月、ヨコナデ・ナデ・オウエ 一 1.5 12.5 一 月、ヨコナデ・ナデ 12.5 一 月、ヨコナデ・ナデ 13.5 一 月、ヨコナデ・ナデ 一 1.5 12.5 1	16/4 日報: 1/2 日報: 1/8 日報: 1/8 日報: 1/3 日報: 2/3 日報: 1/4 日報: 1/8 元存	內面に視が付着
250 2007-02 1.58	16/4 日報: 1/2 日報: 1/8 日報: 1/8 日報: 1/3 日報: 2/3 日報: 1/4 日報: 1/8 元存	内面に成が付着
201 209-02 158	16/4 日報: 1/2 日報: 1/8 日報: 1/8 日報: 1/3 日報: 2/3 日報: 1/4 日報: 1/8 元存	内面に液が付着
252 2011-02 上端 258 12.7 5.0 一 内: サーラ・スケリ 一 中の一ををむ 25 上述の 1.4 5.7 kg / 0 1.5 kg 1.4 1.6 一 1.3 コナデ・ナデ 一 中の一ををむ 25 上述の 1.4 1.6 一 1.3 コナデ・ナデ 一 中の一ををむ 25 上述の 1.4 1.6 一 1.3 コナデ・ナデ 一 中の 1.4 1.6 一 1.5 コナデ・ナデ 一 中の 1.4 1.6 一 1.5 コナデ・ナデ 一 中の 1.4 1.6 一 1.5 コナデ・ナデ 1.4 1.6 一 1.5 コナデ・ナデ 1.4 1.6 一 1.5 コナデ・ナデ 1.5 1.	16/4 日報: 1/2 日報: 1/8 日報: 1/8 日報: 1/3 日報: 2/3 日報: 1/4 日報: 1/8 元存	內面に減が付着
252 206-06	口練:1/8 口練:1/3 口練:2/3 口練:2/3 口練:1/4 口練:1/8 完存	內面 (達が付着
264 2037-06 上級海 1-41 11.6 - - 月、ヨコナデ・ナデ 中本書 中本書 企業・日本の砂地会む 並、月機 10YR 7/3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	口線: 1/3 口線: 2/3 口線: 1/4 口線: 1/8 元存	
264 2037-06 上級海 1-41 11.6 - - 月、ヨコナデ・ナデ 中本書 中本書 企業・日本の砂地会む 並、月機 10YR 7/3 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	口練: 2/3 口練: 1/4 口練: 1/8 元存 口練: 1/8	
25 205-00 比較	口練: 2/3 口練: 1/4 口練: 1/8 元存 口練: 1/8	
256 2101-02 上盤樹 トピナー 13.0 - - 3コナデ・ナデ やや響 遊 門におい機 1978 ア/4 257 2101-01 上盤樹 トピナー 13.2 - - 内:コナデ・ナデ やや相 受力・におい機能 1078 ア/4 会社におい機能 1078 ア/4 会社におい機能 1078 ア/4 会社 200-00 株式を担い場所 1078 ア/4 会社 200-00 株式を担い場所 1078 ア/4 会社 200-00 株式を担いる 200-00 とします。 200-00 株式を担いる 200-00 株式を見からなとのよる 200-00 株式を見からな 200-00 株式を見からな 200-0	口報: 1/4 口報: 1/8 元存 口報: 1/8	
257 2010-01 上部 下41 13.2 -	口線: 1/8 完存 口線: 1/8	
268 205-02 土飯園 トリナ は3.4 5.7 ー ココナデ・ナデ へきまっかの砂塩をむ 変 光・度 5 VR 8/2 6 度種 10 VR 8/4 269 205-03 土飯園 13.2 14.4 ー ココナデ・ナデ で で で のの砂塩をむ 変 光・圧がり戻する 10 VR 8/3 270 2038-04 土飯園 25素園 14.4 ー ココナデ・ナデ で で で で のの砂塩をむ 変 光・圧がり戻する 10 VR 7/3 271 2017-04 土飯園 25素園 12.0 ー カ・ココナデ・ナデ・オナエ で で のの砂塩をむ 変 光・圧がり戻する 10 VR 7/3 で 12.5 271 2017-04 土飯園 25素園 13.0 ー カ・ココナデ・ナデ オナエ で で で のの砂塩をむ 変 光・圧がり戻する 13.0 ー カ・ココナデ・ナデ で で で の のの砂塩をむ 変 光・圧がり戻する 13.0 ー ココナデ・ナデ で で で の のの砂塩をむ 変 光・圧がり戻する 13.0 ー ココナデ・ナデ で で で 1 上飯園 25素園 13.0 ー カ・ココナデ・ナデ で 1 上面の砂塩をむ 変 光・圧がり戻する 13.0 ー カ・ココナデ・ナデ で 1 上面の砂塩をむ 変 25素 12.5 ア・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス・ス	完存 口縁: 1/8	
259 2056-03 土壌園 税 計算 投稿 14.4 ー ー ヨコナデ・ナデ か、ヨコナデ・ナデ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□ ik : 1/8	
259 2056-03 土壌園 税 計算 投稿 14.4 ー ー ヨコナデ・ナデ か、ヨコナデ・ナデ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		
270 2038-04 大倉橋 164 10.5 - 内:コンディンデ 中で表している。 ウェンドルライン。 ウェンドルフィン。 ウェンドルフィン・		
271 2017-04 上級報 25	Dex: 1/8	
272 2012-03 上級的 税 力が 政 13.0 ー ー ココナデ・ナデ 老 点 に応い課程 10YR7/3 273 2098-01 土城的 税 C/MK 13.0 ー 一 内:ヨコナデ・ナデ へや老 大:ヨコナデ・ナデ ウ 内:田・ア・5YR7/4 に応い場て 7.5YR7/4 でも他 中で 中で 中で 中で 中で 内:に広い場で 7.5YR7/4 に広い場で 7.5YR7/4 アンドア・フィイタ アンドア・フィイタ アンドア・フィータ アンドア・フィータ 中で 中で 中で アンドア・フィータ		
273 2098-01 上野部 25素 13.0 -		
274 2009-07 北美樹 25 周 12.5 - - ナゲ やや電 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	□飜:1/6	内面に暗文あり
274 2009-07 北美樹 25 周 12.5 - - ナゲ やや電 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	口線: 1/4	
275 2008-02 土価値 機 N39 公会権 15.0 4.5 一 所: ヨコナデ・ナゲ 外: ヨコナデ・ハケメ(8~9本/cm) やや他 〜1. 5mmの砂粒含む 並 所: におい養種 10YR 7/3 外: におい種 7.5YR 6/4・7/4	口練:1/8	
		M 201-18/1-18
276 2070-03 土腹線 E41 16.0 5.0 一 内:ヨコナデ・ナデ・オサエ やや密 心含層 2011		外面に煤付着
277 2097-05		
	D#: 1/8	内面が黒変
2/9 2013 ⁻⁰³ 台付車 包含層 9.0 2.0 ⁻⁰² 2 4.8 ⁻⁰⁵ .0 / ⁷ ~ 3mの砂粒含む ゼール・ディスタ 101 K 7 / 3	つまみ:完存	
280 2101-05 土飯館 RS7 21:66 内:ヨコナデ・ナデ 中や密 並 内:にぶい実施 10VR7/3 方:泉沢 10VR5/1	口線:1/2	
281 2024-01 土越路 C地区 14.8 2.8 一 内、ヨコナゲ・ナヴ 中の帆 世 内:によい連携 2.5VR 5./4 2.5VR 5.	□#:1/3	
282 2033-04 土部数 M36 15.0 -	□ ₩ :1/6	
R61		
284 2069-03 土板路 木 K32 臼倉棚 16.0 ー 内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 密 並 使 5YR7/6	□輸: 1/10	
285 2074-04 土崎陽 R62 中や密 堤 内:に応い場 578.7/4 分で表 10世帯		竹管文あり
2016 2014-02 上部 E35 ナデ ヤモ トデ		円形の穿孔あり
POT 2001 0. 土飯器	口練:3/4 底部:1/3	
200 2015-01 高水 包含層 15.5	日練: 1/4	
259 2012-01 土崎島 E35 18.0 - 内: ヨナデ・ナデ 小電 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大き 大		杯部外面に黒斑あり
290 2074-05 土新脚 136-77 16.0 12.0 直径 やや根 変 にぶい実施 10YR7/4	口線: 1/6 底部: 1/10	
で 1 000 p. 上紙幣 140 p. c. 使 2.5YR6/8 にぶい慢 7.5YR6/4	□縁:1/3	
	DM 1/4	
25.2 2040-01 高杯 包含層 25.4 15.9 19.6 空間 25.7 個 5 YR 6 / 4	底部 1/2	
293 2070-02 土角製 D36 (35層 14.0 甲級のため不明教 覧 で3.5mmの多数、小石含む 逆 機 5 Y R 7 / 6	□縁:1/4	
284 2049-02	口練:1/2	
205 00.0 00 ±66時 E33 150 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0	□ i #:1/4	
	口線:1/2	
297 2016-04 土価額 素所 L32 公式報 - - 直接中 11.7 内:ヨコナデ・ナデ やや密 並 に応い実権 10YR 8/3 灰白 10YR 8/2 に応い実権 10YR 7/2 所産:母灰 N3/0	底部:1/2	杯部内面に工具痕あり
288 2045-01 上銅器 M55 近日 点体 25層 10.0 ナデ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	底部:1/4	<u> </u>
299 2072-02 北新島 1.33 - - 底径	底部:完 存	
100 2021-01 上前節 F36 -		杯部底部に下方からの穿孔あり
- 2 = の砂粒含む - 2 = 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1 - 1		
302 2017-02 土銅器 E.36 - 塩性 11.0 ヨコナデ・ナデ やや密 並 折貨権 10YR 6/2	底部:1/6	
303 2040-40 土越樹 GG2 - 監督 - 11.0 - 4.5mmの小古査む 並 に応 増 7.5YR6/4	底部:1/5	
304 2017-0 土納盤 F-39		
205 2000 04 土卸器 L32 底径 内:工具ナデ・ナデ やや粗 サービアン語 7.5 VP 7.7 (2)	底部: 1/4	
本	底部:3/4	
307 2034-03 土崎間 1-0 カー カー ナデ 中央密 カー・使 5 ドステノ6 大・治療性 10VE 8 / 4		
308 2072-01 土郷節 F32 12.0 -	□ # :1/8	
mm	底部:1/2	
308 318		
10.5 外: ヨコナデ・ナデ・画取り ~2 = の砂粒合む 2 10.7	底部:1/3	
311 2056-03 土解節 1.36 - 底径	底部:1/2	
	日畿: 1/5	
312 2072-03 土価値 S59 15.5 ー ー 内: ヨコナデ・ナゲ やや老 外: ヨコナデ・ハケメ (4本/cm) やや老 ~ 3mmの砂粒含む 立 にぶい実種 10YR 6/3		
1312 2072-03 1588 559 15.5 -		
312 2072-03		
312 2072-03		
1312 2072-03	口線:1/4	
312 2072-03 生態的 559 15.5 - 所: ヨコナデ・ナデ 一 一 一 一 一 一 一 一 一	日練: 1/4	' I
312 2072-03 生態的 25.5	Π∰: 1∕3	
312 2072-03 生態的 559 15.5 - 所: ヨコナデ・ナデ 一 一 一 一 一 一 一 一 一		

第5表 出土遺物観察表(5)

	T		2 4	n #	粉素	その他		T	焼成	é a	表布	4 5
No.	登録番号	静 種 土師器	出土位置 D37		- ca -	· ca	調整技法の特徴	新士 やや租	-	にぶい権 7.5YR7/4	D# : 1/3	- 7
320	2009-01	2	包含屬 D35	17. 0	-	<u> </u>		~6mの小石含む	╁			
321	2051-02	土師器 雙	包含層	17. 0	-	虚符.	内: ヨコナデ 外: ヨコナデ・ナデ	やや租 ~3mの砂粒含む	22	浅黄橙 10YR 8/3	口軸:1/6	
322	1023-04	土師器	包含層		-	4.5	<i>† † † † † † † † † †</i>	やや他	並	にぶい黄権 10YR7/2 内:にぶい権 5YR6/4 にぶい赤衛 5YR5/3	底部:完存	
323	1011-02	土師器 隻	A地区 表土除去	15.0	-		内: ヨコナデ・工具ナデ 外: ヨコナデ・ハケ(7本/cm)	やや相 〜1mmの砂粒を含む	並	内: にぶい板 5YR6/4 にぶい赤橋 5YR5/3 灰橋 5YR5/2 梅灰 5YR4/1 外: にぶい橋 7.5YR6/3・5/3 梯灰 7.5YR4/1	口録:1/10	
324	2074-02	土師器	E40 包含層	4.0	-		内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ハケメ(7~9本/cm)	やや程 ~2mの砂粒含む	12	₩ 5YR6/6		
325	1011-05	土解器	Q22 包含層	15. 4	-		内: ヨコナデ・工具ナデ 外: ヨコナデ・ハケ(4 本/cs)	やや密 ~1mの後砂粒を含む	雅	内:灰白 2.5Y8/2 灰褐 7.5YR5/2 黒褐 7.5YR3/2 外:にぶい橙 7.5YR7/3 5YR7/3 にぶい褐 7.5YR6/3	四線: 1/6	
326	2046-01	土師磐 喪	D39 包含層	15. 0	-	-	内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケメ (11本/1.5cm)	やや和 ~ 4 mの砂粒含む	並	にぶい黄橙 10YR7/2	日輸:1/3	
327	2097-01	主節器 型	F 38 包含屬	16.0	-	-	内:ョコナデ・ハケメ 外:ョコナデ・ケズリ	やや後 ~1mの砂粒、微砂粒含む	並	にぶい黄橙 10YR 7/3		
328	2100-02	土師器	F41 トレンチ	20. 0	-	-	内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 外: ヨコナデ・ハケメ (5~6本/cm)	やや他	誰	浅黄橙 10YR 8/3	日禄:1/7	
329	2006-01	土無器 雙	S 63 包含層	21.0	-	-	ナデ・ハケメ (6本/四)	やや頬	披	内:灰黄幡 107R4/2・5/2・6/2 にぶい黄橙 107R7/2・7/3 外:橙 5YR6/6 にぶい黄橙 10YR6/4		
330	2074-01	土師器	C 地区 包含層	-	-	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ハケメ (3本/cm)	やや書 ~2mの砂粒含む	並	にぶい世 7.5YR7/4		
331	2065-01	土師器	F 40 包含層	22. 0	-		内: ヨコナデ・ハケメ 外: ヨコナデ・ハケメ (9本/cm)	***	並	内:にぶい黄檀 10YR6/3 外:にぶい黄檀 7.5YR7/4・6/4		
332	2065-02	土蚜器	R 60 包含層	22. 0			内:ヨコナデ・工具ナデ 外:ヨコナデ	やや根 ~3mの砂粒含む	业	内:にぶい養格 10YR7/4 浅黄橙 10YR8/4 外:にぶい養格 10YR7/4	□ ₩ :1/5	
333	2097-03	土解器	F41 トレンチ	19.0	-	-	内:ヨコナデ・工具ナデ・ハケメ (5本/cm) 外:ヨコナデ・ハケメ (5本/cm)	やや権 ~1.5mの砂粒含む	22	内:にぶい者 7.5YR5/3 にぶい種 7.5YR7/4 外:にぶい種 5YR6/4・7.5YR6/4	口線: 1/4	
334	2046-02	生新器	D39 包含權	19. 0	-	-	内:ョコナデ・ナデ 外:単級のため不明瞭	祖〜5mの砂粒、小石含む	业	浅黄橙 7.5YR8/4	口録:1/4	層部に刺突あり
335	2051-01	土師器	S 58	16. 8		-	内:ヨコナデ	448	#	内:灰黄橋 10YR6/2 外:にぶい橙 7.5YR7/3 にぶい掲 7.5YR6/3	□ M :1/2	
336	2004-01	土部器	包含層 G38	17. 9	-		外: ヨコナデ・ハケメ (4~5本/cm) 内: ナデ・ハケメ (4本/cm)	~1mの砂粒含む やや租	#	内: 浅黄曜 7.5YR 8/4 梅灰 5YR 4/1 外: にぶい権 7.5YR 7/3		
337	2054-02	型 土師設 型	包含層 C地区	21.0	-	-	外:ハケメ (5本/cm) 内:工具ナデ・ハケメ	やや書	**	外:にぶい程 7.5YR7/3 内:にぶい者 7.5YR7/4 外:権 5YR6/6	日献: 1/4	-
\vdash			包含層 A地区	21.0	_		外: ヨコナデ・ハケメ (5本/cm) 内: ヨコナデ・ケズリ 外: ヨコナデ・ハケ (6本/cm) のちミガキ	~ 2 mの砂粒含む 粗	22	外:権 5YR6/6 内:にぶい機 7.5YR6/4 無機 7.5YR3/2 にぶい掲 7.5YR6/3 外:にぶい機種 10YR7/4 灰黄褐 10YR5/2・4/2		
338	1012-01	土師聯 費 土師器	授士除去 C地区				内:ナデ・エ具ナデ	~3mの砂粒を含む やや粗	-	内:#P 7.5YR6/6		
339	2054-01		包含層		-		外:ハケメ	~3.5mmの小石、砂粒含む やや密	推	外:におい他 10YR7/3 権 7.5YR6/6		
340	2039-07	株式系上器	包含屬 N32	-	-	- nt #8	ココナデ	~2mの砂粒含む やや相	22	内: にぶい根 5YR6/4 外: にぶい根 7.5YR7/3		
341	2094-06	株式系士器	包含層	-	-	底径 10.0	内:ナデ 外:ナデ・ケズリ	~ 2 mの砂粒含む	Đ.	にがい権 7.5YR7/4		
342	2013-04	土師器 把手	D36 包含層	-	-	-	ナデ	租 ~2mの砂粒含む	並	にぶい機 5YR6/4		
343	2049-07	生新器 版	D地区 北排水構	-	-	-	† *	やや表 ~ 2mの砂粒含む	並	にSい黄檀 10YR6/4		
344	2097-02	土師器 版	C地区下層 包含層	15. 5	-	-	内:ヨコナデ・ケズリのちミガキ? 外:ヨコナデ・ハケメ	やや密 ~1.5mの砂粒含む	並	内:浅黄橙 10YR8/3 にぶい橙 7.5YR6/4 外:灰白 10YR8/2 浅黄樹 10YR8/3	口輸:1/5	
345	2067-03	土師器 籔	M41 包含層	~	-	-		やや物	並	にぶい権 7.5YR7/4		
346	2024-05	土師器 版	R 56 包含層	-	-	-		やや相 ~1 mの砂粒を含む	业	にぶい種 7.5YR6/4・7/3		
347	2016-05	士師報 幹	C 地区 包含層	17.4	-	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ハケメ (4本/cm) ・オサエ	やや租 ~ 3 mmの砂粒含む	业	にぶい機 5YR6/4		
348	2016-01	土師聯 幹	C 地区 包含層	18. 4	9.3	-	内: ヨコナデ・ハケメ (6本/cm) 外: ヨコナデ・ハケメ (6本/cm) ・ケズリ	やや相 ~3mの砂粒含む	並	内:にぶい権 5YR7/4 外:にぶい権 5YR6/4	日練:1/4	外面に黒斑あり
349	2042-03	土師器	C 地区 包含層	10.8	-	-	ヨコナデ・ナデ	やや後 ~1.5mの砂粒含む	並	内:灰 5 Y 4 / 1 外:灰白 2.5 Y 7 / 1 灰黄 2.5 Y 7 / 2 曜灰 N 3 /	日縁:1/3	
350	1026-03	土師器 童	試組 No.テ	-	-	-	内:指ナデ 外:オサエ・ナデ	やや粗	並	内:にぶい黄橙 10YR 6/3 外:にぶい欖橙 7.5YR 6/4		体部下半に無変能分あり
351	2015-02	±MS ●	S 59 包含層	-	-	-	内:ナデ 外:工具ナデ・ケズリ?	やや後 ~1.5mmの砂粒含む	並	内:橙 2.5YR7/6 外:橙 5YR6/6		
352	2080-03	土師器	L32 包含層	_	-	類部径 7.6	内: ヨコナデ・ナデ・オサエ・ケズリ 外: ヨコナデ・ナデ・ハケメ (7~8本/cm)	やや租 ~ 2. 2mの砂粒含む	222	灰白 7.5YR8/2 浅黄檀 7.5YR8/3	類部:1/5	
353	2049-05	土解器	R 59 包含層	13. 0	-	-	ナデ	やや後 ~3mの砂粒含む	並	内: にぶい権 7.5YR6/3 外: 黒梅 7.5YR3/1	D練: 1/4	
354	2046-03	土師器	D39 包含層	14.0	-	_	内:ヨコナデ・ナデ・オサエ 外:ヨコナデ・ハケメ (9本/1.5cm)	程 ~ 4. 5 = の砂粒、小石含む		浅黄橙 10YR8/3	口練:1/2	
355	2043-01	土所器	D39	13. 0	9. 2	-	内: ヨコナデ・工具ナデ 外: ヨコナデ・工具ナデ 外: ヨコナデ・ハケメ (7本/cm)	やや後 ~1.5mmの砂粒含む	並	内:にぶい機 5YR6/4 掲灰 7.5YR4/L 外:機 5YR6/6 にぶい機 5YR6/4		
356	2091-06	土師器	包含層 N40	7.0	_	_	外:ヨコアア・ハウス(r本/cm) ナデ	~1. Smioの利益な~や後~3moの利益なむ	$\overline{}$	にぶい権 7.5YR7/4	□ ₩ :1/6	
Н	_	土師器	包含層 P.4	-		体部径	A	やや相	╁	内:黒梅 10YR3/1 黒 10YR2/1 にぶい黄権 10YR7/3 掲択 10YR4/1・5/1		
357	1011-01	*	建構上面	-	_	11.6	内:ョコナデ・オサエ・ナデ 外:ョコナデ・ハケのちミガキ	~2mの砂粒を含む	*	外: 浅黄橙 10YR8/3 にぶい黄橙 10YR7/2 掲灰 10YR4/1 黒褐 10YR3/1 黒 10YR2/1	_	体部に1ヶ所穿孔あり
358	2049-04	土所製 量	J 31 包含層	12. 5	-	-	ハケメ・ナデ	やや権 ~3mmの砂粒含む	並	にぶい掲 7.5YR5/3	日練: 1/4	
359	1013-02	土師器	P 55 包含層	13. 0	-	-	内:ヨコナデ・ハケメ(7本/cm)・工具ナデ 外:ヨコナデ・ハケメのちナデ	やや後 徹の粒を含む	並	内: 灰黄楊 10YR5/2 にぶい黄樹 10YR7/2 外:にぶい黄樹 10YR6/3 にぶい橙 7.5YR6/4	日練:1/3	
360	2025-03	土師器	A地区 表主	13. 3	-	-	内:オサエ・ナデ・ハケメ (6本/1cm) 外:ヨコナデ・ハケメ (4~5本/1cm)	租 ~5 mmの砂粒、小石を含む	並	にぶい黄権 10YR6/3・7/3 灰黄褐 10YR5/2	口線:1/2	体部外面に煤が付着
361	1026-02	±mas	試掘 Na.ト	11.0	-	-	内: ヨコナデ・ケズリ・ナデ 外: ヨコナデ・オサエ・ケズリ	やや後	业	内:にぶい黄橙 10YR6/3 外:にぶい黄橙 10YR7/4	口練:1/3	口縁部および体部下半に媒が付着
362	2009-02	土約28	I 40 包含層	14.0	-	-	内:ハケメ 外:ヨコナデ・ハケメ (3本/cm)	やや物 ~2mの砂粒含む	业	浅黄檀 7.5YR 8/4	日線:1/4	口練部外面に媒が付着
363	2017-06	土新器	I 40 包含層	18. 5	-	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや租 ~ 2 mの砂粒含む	-	₩ 5YR6/6	口線:1/5	
364	2041-02	土師器	1.33 包含層	12. 6	-		内: ヨコナデ・ケズリ 内: ヨコナデ・ケズリ 外: ヨコナデ・ナデ・ハケメ(3~6本/cm)	やや相 ~ 2 mの砂粒含む		内: 浅黄橙 10YR8/3 外: 灰白2.5Y8/2 楊沢 10YR4/1	口線:3/8	
365	2041-01	上解器	1.32 包含層	13. 2	_		外: ココナア・ア・ハクス (3~6本/cm) 内: ヨコナデ・ナデ・ケズリ 外: ヨコナデ・ハケメ (5~6本/cm)	~ 2mの砂粒含む ~ 2mの砂粒含む	-	次白 10YR 8 / 2・2.5Y 7 / 1	口練: 1/4	外面に媒付着
366	2082-01	土師器 ・	包含層 1 40 包含層	16. 5	_		外: ヨコナテ・ハケメ (5~6本/cm) 内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨミナデ・ナデ・ケズリ・ハケメ	~ 2 mmの砂粒含む やや相 ~ 5 mmの小石含む		- W. W. W. C.	日線:1/3	
367	2047-03	須恵器	R64	11.0	4.0		外: ヨミナデ・ナデ・ケズリ・ハケメ 内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	~ 5 mmの小石含む 密		にぶい機 7.8YR7/4 灰白 N7/	後部:1/3	
368	1014-01	杯蓋 須惠器 杯蓋	원출 분 Q50	12. 0	4.5	10.53	m. a hade	やや有 ペート・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・		灰 N6/	0歳:1/4	
369	1014-02	杯着 須恵器 杯蓋	包含層 Q53 遺標上面	12.0	4.6		外: ロクロナデ・ロクロケズリ 内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	全た わや体	A		検部:1/3 口縁:1/4 検部:1/3	
370	2032-06	杯畫 須惠器 杯畫	遺構上面 E31・32 包含層		4.0		外: ロクロナデ・ロクロケズリ 内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	~ 1mの砂粒を含む やや核 ~ 3mの砂粒含む	⊢	灰白 N7/0	検部:1/3 口練:1/4	
371	-		E 31 · 32	14.4	_				┝	内: 版白 N7/0		
Н	2032-05	須恵聯 杯畫 須恵聯	包含層 G34	14. 2	3.7		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ 内: ロクロナデ	やや意		外:灰 N 5 / 0 内:灰白 N 7 /	口級:1/4	口縁部外面にキザミ
372	2010-04	須恵聯 杯蓋 領官籍	包含層 G41	16. 0	5. 4		外:ロクロケズリ・ロクロナデ	~3.5 mの小石、砂粒含む	<u> </u>	外: 庆 N6/		口縁部外面にキザミ 天井部外面にヘラ記号
373	2070-04	須恵籍 杯蓋	包含層	11.0	-		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ カ: ロクロナデ	やや害 ~ 1 mmの砂粒含む		灰 N4/		天井都に自然軸
374	2090-04	須恵器 杯蓋	E32 包含層	12. 5	-		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	やや書 ~1.5mmの砂粒含む		灰 10Y6/1 灰 7.5Y5/1	□#:1/3	
375	2066-06	須恵器 杯壷	D40 包含層	14.0	-		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	やや程 ~3mの砂粒含む	-	内: 機灰 7.5YR6/1 外: 灰 5Y6/1		
376	2066-04	須恵聯 杯蓋	E34 包含層	15. 0	-		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや後		灰 N6/		
377	2066-03	類意器 杯蓋	F38 包含層	15. 0	5, 1		内 : ロクロナデ 外 : ロクロナデ・ロクロケズリ	やや接 ~3mの砂粒含む	並	内:明青灰 5B7/1 外:青灰 5B6/1	□練: 1 ∕ 6	
378	2044-06	須恵器 杯蓋	E 38 包含層	15. 3	4. 5		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~ 1. 5 mmの砂粒含む		灰白	口線:1/2	
379	2047-04	須恵器 杯盖	R64 包含層	15. 0	4. 2		内:ロクロナデ・ケズリ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	老	Д	灰 N6/ 新蔵:赤灰 5R6/1	後部:1/6	
380	2010-05	須恵器 杯蓋	C地区 包含層	13. 0	4. 5		内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや者 ~ 2. 5 mmの砂粒含む	並	内:灰白 N7/ 外:灰 N4/ 灰白 N7/	日練:1/4	
381	2010-01	須恵器 杯養	N39 包含層	12. 0	4.3	-	内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや後 ~4mの小石、砂粒含む		炙白 N7/	□練:8/9	
382	2047-01	須恵器 杯畫	D39 包含欄	15.0	4.5	-	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	租 ~6mmの砂粒含む	良	未灰 5R6/1	口線:1/2	
T	2010-03	須恵器 杯畫	E 35 包含層	14.5	3.7		内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや後 液砂粒含む	並	灰 N6/	日報:1/3	
383								1		L		

第6表 出土遺物観察表(6)

1		_		· · · · · · ·	70 Y	4 5 65			_			
No.	登録番号	8 HL	遺 構 出土位置	II 務	(B	(B)	調整技法の特徴	Mr I:	绕缝	色 湖	模 (i	備考
384	2062-06	須恵器 杯蓋	E 41 包含編	16.0	-		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや相 5mmの小石、~2mmの砂粒含む		灰白 5 Y 7 / 1 灰 7.5 Y 5 / 1	口練:1/7	
385	2010-02	須恵器 杯蓋	C 地区 包含層	14.0	3. 1	-	内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや客	按	内: 灰 N 7 / 外: 灰白 N 6 /	日練: 3/4	
386	1010-01	須恵器 杯敷	P 48 遺構 l:面	14.6	4.3		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	常 ~1mmの微砂粒を含む		灰白 N7/・6/	□₩:1/2	
387	2068-03	組患器	M39	14. 0	3. 6		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	*	庭	灰白 N 7 /	日献:1/4	
-		杯蓋 須惠器	包含層					(P) (P) (P)		内: 灰袍 7.5YR6/2 外: 灰褐 7.5YR6/2 にが中 5YR6/4	UM: 1/4	
388	2016-03	杯蓋	C池区 包含層	13. 5	1.0		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ヘラ切り	やや祖 ~ 2 mmの砂粒含む		BFIG : 円 数次		
389	2066-05	須惠器 杯養	C 地区 包含層	15. 0	_		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	\$0.40 M	15	内: 灰白 - N 7 / 外: 灰 - 7.5 Y 6 / 1	日韓:1/4	
390	1014-04	須恵器 杯身	B地区 表上除去	11.0	4.9	受け新径 13.0	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~1.5mmの砂粒、微砂粒を含む	į.	K N6/	日練:1/4 受部:1/4	
391	2032-03	須恵器 杯身	D38 包含層	12. 2	4.8		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや相 ~ 2 mmの砂粒含む	JE.	₩ N6/0	口練 1/6 受部 3/8	底部外面にヘラ記号あり
392	2056-02	製惠器	D地区	15. 2	4.3		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	නම්	#	内:明春灰 5 P B 7 / 1 外:灰白 N 7 / 灰 N 6 /	日献:1/4	
\vdash		新水粉	包含層					~3. 2mmの砂粒含む やや组 ~2mmの砂粒を含む		ゲ N 5 / 0	DM: 3/8	内面に青海波文
393	2023-01	刻恵器 終身	包含層 H32	14. 2	5. 0		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	~ 2 mmの砂粒を含む やや咀	-	K N6/0		Figure 4 react
394	2059-02	須恵器 杯身	包含屬	12.6	4.7		内: ロクロナデ・ナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	~2. 5 mmの砂粒含む	IX.	青灰 5 PB 6 / 1	日棟:1/3 受部:1/3	
395	1023-03	須恵器 杯母	A 地区 表上除去	11.4	-	受部径 13.2	内:ナデ・ロクロナデ 外:ロクロナデ・ケズリ	やや相	а	内: 灰 10Y 6/1・5/1 外: 灰 N 6/0~5/0	日練:3/5 受部:1/2	
396	2059-01	須恵器 杯身	D39 包含層	13. 0	5. 0	受部径 15.5	内:ロクロナデ・ナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	税 ~3mmの砂粒含む	£	₩ N6/0	□縁:3/4 受部:ほぼ完存	外面にヘラ記号あり
397	1014-03	須恵器 野身	Q54 包含屬	12.5	-		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや根 ~3 瞳の砂粒を含む	ß	内: 灰 N 6 / 外: 灰 N 5 / 灰亦 2.5 Y R 5 / 2	受部:1/3	
398		机电器 机身	E 32	13.0	-		内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	かや家	\neg	オリーブ水 5GY5/1	日報: 1/3	
\vdash	2091-01	杯·身 須忠器	包含層 E41					~1 880の砂粒含む	\vdash		+	
399	2066-02	杯身	包含層	12. 0			内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密	业	が N 6 /	受部:1/7	
400	2010-06	須恵器 杯身	F35 包含屬	12.0	3.5		内:ロクロナデ・ナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや後	挖	灰竹 N7/	受総:1/4	
401	2071-01	須恵器 杯身	F38 包含層	12. 5	-	-	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~ 3 mmの砂粒含む	*	炭 10Y6/1	日禄:1/4	
402	2070-01	須恵器 杯身	M39 신含權	12.6	3.5		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	密 2mmの砂粒含む	Ω	₩ N6/	受部:1/4	
403	2094-02	凝患器	K32 包含層	13. 0			内: ロクロナデ 外: ロクロナデ・ロクロケズリ	やや米	独	内: 灰白 N7/ 体: 灰 N6/	DM: 1/4	
H		杯身 須恵器	包含層 E39			受部径	b . n 4 o + 6	~ 4 mmの小石含む やや框 ~ 3 mmの砂粒含む			D級: 1/6	
404	2075-01	杯身	包含層	13.5	3.7	15.5	外:ロクロナデ・ロクロケズリ			妖白 N7/0 内・ビニロ番牌 10VP7/2	受部:1/6	
405	2042-02	須恵器 杯身	S 63 包含層	14.7	4. 6		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	相 ~3. 2mmの砂粒含む	$\overline{}$	内:にぶい黄橙 10YR 7/2 外:灰白 10YR 7/1 にぶい黄橙 10YR 7/2	日練:1/2	外面に被状女
406	1003-04	須惠器 耳付有蓋高杯	P 53 包含屬	12.0	-	受け部径 14.0		やや密 機砂粒を含む	段	Ж N4/0·6/0	受傷:完存	外面に接状文 受け部外面に耳が2ヶ所あり 方形通礼が4.方面
407	2075-03	須恵器 無蓋高杯	D33 包含屬	12. 4	-	-	ロクロナデ	やや祖 ~2mmの砂粒含む	业	灰白 N7/0	13株: 1/10	外面に彼状文あり
408	2091-02	須恵器 有最高杯	E32 包含層	16.0	-	-	内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	やや密 ~3mmの砂粒含む	#	灰 7.576/1	日報:1/8	
409	2075-02	有重点外 須恵器 高杯	C地区 包含層		-	连择 13.0	ロクロナデ	やや体	班	内:灰白 N7/0 外:灰白 N7/0 灰 N6/0・4/0	武器:1/6	並方形適孔あり
\vdash		高杯 別明器		├─				-	\neg			
410	2023-04	有最高杯	C地区 包含層	14.0		受部務 16.6	ロクロナデ	***	₩.	米 N6/0	口線: 1/3 受用: 1/3	□方向に長方形通礼あり
411	2004-02	須恵器 高杯	C 地区 包含層	-	-	连径 10.0		やや体	整			
412	2071-02	須恵器 高杯	C地区 包含層	10.0	-	-	ロクロナデ	やや密 ~4種の小石含む	at.	灰白 N7/ 灰 N5/	0線:1/4	
413	1010-08	須惠器 有最高杯	長土除去	14.0	10. 4	连接 10.8		やや現 ~2回の砂粒を含む	12:	内: 青灰 5 PB 6 / 1 外: 青灰 5 PB 6 / 1 · 5 / 1	完勝	円形遺孔 3 方向
414	2060-03	須恵器	C 地区 包含層	-		底径	ロクロナデ	やや相		₩ N6/0·5/0	底部:1/4	
\vdash	-		인경 체 D41		-	5.0	B コナデ・ナデ	-2mmの砂粒、4.5mmの小石含む やや相	-	におい裏様 10YR 6 / 4	遊部:1/4	
415	2017-03	須恵器 高杯	包含層	-	<u> </u>	8, 5					+	
416	2087-03	須恵器 雕	R57 包含瘤	11. i	-		ロクロナデ	密 ~1. 5mmの砂粒含む		内: 灰白 N7/0 外: 天 N4/0	11級: 1/4	外面に波状文あり
417	2075-04	須息器 職	137 包含屬	-		-	ロクロナデ	44R	從	内: 青灰 5B6/I 外: 灰 N5/0		外面に彼状文あり
418	2068-06	須恵器 遊養	J 42 包含層	15.0	-	-	ロクロナデ	やや客	Ą	₩ N6/	□Ma: 1 / 10	
419	2009-06	須惠器 短類養	表採	9. 0	-	-	内:ロクロナデ 外:ロクロケズリ・ロクロナデ	やや組 ~3mmの砂粒含む	22	灰 5 Y 6 / 1 · 7.5 Y 5 / 1	山脉: 1/5	
420	2067-01	須惠器	E 37	8.0			外:ロクロナダ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ	en esta	10	SC (1		耐能に自然権
-	-			0.0				~1000の砂粒含む	\vdash		-	円形遺孔 4 方向 (1 段) 長方形遺孔 4 方向 (2 段)
421	2018-01	短頻查	包含層	-	1		内:ロクロナデ 外:ロクロナデ・カキメ	やや密	R	灰白 7.5Y7/1		
422	-	須惠器 台付着	C地区 排土	15.0	<u> </u>						日報:1/7	長万形遊礼 4 万同(2 段)
423	2020-05	須恵器 台付着 須恵器 器合	C地区 排士 E37 包含編	15.0	-	_	ロクロナデ	*	R	₩ 5Y5/I	日献:1/7	長方形造れ4万両(2収) 外面に凹線、刺突あり
	2020-05	須惠器 台付着	C地区 排土 E37		-	_	ロクロナデ 内: ロクロナデ・青備波 外: カキメ・格子タタキ・タタキ	※やや密~2.5mmの砂粒含む	R	炭 5Y5/1 内: 災 N5/ キ: 災 5Y5/1	日献:1/7	
424	-	須惠器 台付數器 凝密台 須惠器 器合 須惠器	C地区 排土 E37 包含屬 E38 包含屬	-	_	_	内: ロクロナデ・青海波 外: カキメ・稿子タタキ・タタキ 内: ロクロナデ	常 やや確 ~2.5mmの砂粒含む 密	R W	内: 灰 N5/ 外: 灰 SY5/1 育灰 SB6/1	日禄:1/7	外面に凹線、刺突あり
-	2073-01 2070-05	須恵器 台付数器 器合 領恵台 領恵台 須恵報 提取 須恵器	C地区 排土 E37 包含屬 E38 包含屬 L41 包含屬	34. 0	-	-	内: ロクロナデ・有海波 外: カキメ・格子タタキ・タタキ 内: ロクロナデ 外: ナデ	※ やや相	R W	内: 災 N5/ 外: 災 SY5/1 育災 5 N6/1 衝突: 未決 5 R6/1		外面に凹線、刺突あり
425	2073-01	須恵 新生 須恵 新生 新生 新生 新生 新生 新生 新生 新	C地区 排土 E37 包含屬 E38 包含層 L41 包含屬 C地区	34. 0	-	-	内: ロクロナデ・青海波 外: カキメ・稿子タタキ・タタキ 内: ロクロナデ	密 やや祖 〜3. 5mmの砂粒、1 cm大の小石含む	R B R	内: 妖 N5 / 4: 妖 SY S / 1 育坂 5 B 6 / 1 新庭 未安 5 R 6 / 1 炭 N 4 / 0・5 / 0	日練: 1/7	外面に凹線、刺突あり
425 426	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03	類然付益 須然付益 類然中 類点中 類点中 類点的 類点 類。 類点 類。 類点 類。 類。 類。 類。 類。 類。 類。 類。 類。 類。 類。 類。 類。	C地区 排土 E37 包含層 E38 包含層 L41 包含層 C地区 包含層 C地区 包含層 E39 包含層	34. 0	-	-	内: ロクロナデ・有海波 外: カキメ・格子タタキ・タタキ 内: ロクロナデ 外: ナデ	密 やや相 ~3.5mmの砂粒、1cm大の小石含む やや密	良 良 良	内: 从 N S / サ: 次 S V S / 1 開発: S H S / 1 開発: M K S N S / 1 炭 N 4 / 0 · 5 / 0 N 突 H S V 7 / 1 ラ: 次 N S / 0 火 1 N 7 / 0 機能: 最次 2 S 4 / 1		外面に凹線、刺突あり
425	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03	項信付 整合 包含 整合 电容 整 电	C地区 排土 E37 包含層 E38 包含層 L41 包含層 C地区 包含層 L42 C地区 包含層 C地区 包含層 C地区 包含層 C地区 包含層 C32	34. 0	-	-	内: ロクロナデ・有海波 外: カキメ・格子タタキ・タタキ 内: ロクロナデ 外: ナデ	密 やや祖 〜3. 5mmの砂粒、1 cm大の小石含む	良 皇 良	内: 以 N 5 / サ: 以 S 7 5 / 1 南波: 赤坂 5 N 6 / 1 成 2 - 赤坂 5 N 6 / 1 灰 N 4 / 0 · 5 / 0 内 浜白 5 V 7 / 1 ラ 浜 N 5 / 0 以白 N 7 / 0 極速: 最近 2 5 V 4 / 1 灰白 N 7 / 0		外面に凹線、刺突あり
425 426	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03	項合 形容 包含 整	C地区 排土 E37 包含層 E38 包含層 L41 包含層 C地区 包含層 C地区 包含層 E39 包含層	- 34. 0 - 6. 4	-	タイト	内: ロクロナデ・有海波 外: カキメ・格子タタキ・タタキ 内: ロクロナデ 外: ナデ	密 やや相 ~3.5mmの砂粒、1cm大の小石含む やや密	良 皇 良	内: 从 N S / サ: 次 S V S / 1 開発: S H S / 1 開発: M K S N S / 1 炭 N 4 / 0 · 5 / 0 N 突 H S V 7 / 1 ラ: 次 N S / 0 火 1 N 7 / 0 機能: 最次 2 S 4 / 1		外面に凹線、刺突あり
425 426 427	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04	類点付金器 合付金器 器方 您有 類型方 類型 數 類型 數 類型 數 類型 數 類型 數 類型 數 類型 數 類型 數	C地区 排土 E37 包含層 E38 包含層 L41 包含層 C地含層 C地含層 C地含層 C地含層 C地含層 C地含層 C地含層 C地含層 C地含層 C地路 C地路	- 34. 0 - 6. 4 -	-	- 類部 4.6 体部 16.5	内: ロクロナデ・有海波 外: カキメ・格子タタキ・タタキ 内: ロクロナデ 外: ナデ	密 やで机 つ3.5mmの移称、1 cm大の小右含む やや密 やを組の形料含む ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** ** **	段 登 段 整 集	内: 以 N 5 / サ: 以 S 7 5 / 1 南波: 赤坂 5 N 6 / 1 成 2 - 赤坂 5 N 6 / 1 灰 N 4 / 0 · 5 / 0 内 浜白 5 V 7 / 1 ラ 浜 N 5 / 0 以白 N 7 / 0 極速: 最近 2 5 V 4 / 1 灰白 N 7 / 0	11棟: 1/4 類部: 2/3	外面に凹線、刺突あり
425 426 427 428 429	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04	項包括 整器 音形 电影 医	C 地区 # 1 E 37 Q 含層 E 38 E 38 L 41 Q 含層 C 地区 A 40 C 地区 A 40	- 34. 0 - 6. 4 - - - 14, 5		類部 4.6.5	内: ロクロナデ・青海波 方: カタイ・イイ・ダッキ 方: フター・フター 方: ファッチ 方: ファッチ カ: ロクロナデ・カネメ (8本/1:m)	書 やや明 -3、5mmの移称、1 cm人の小も含む やや者 やや相 -2 mの形形含む やや 機動板を含む	良量良量良量	州 K N S / 中 K S N S / 1 解放 S N S / 1 解放 N N S / 2 N N N N N N N N N N N N N N N N N N	日禄:1/4	外面に四種、研究あり 三方目に長力形造礼が四段あり 四方目に横円形造礼が四段あり
425 426 427 428 429 430	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01	項無對益 對 對 在 對 對 對 在 對 對 對 在 對 對 對 在 對 對 對 數 對 對 數 數 對 數 數 數 數	C 地区 # 1	- 34. 0 - 6. 4 14. 5 24. 0	-	タイト	内: ロクロナデ・青海波 方: カラル・南子/ 第三/ ダキ・タタキ 内: ログロデ 内: ログロ カ: ログ カ: ログロ カ: ログ カ: ログ	者 やや祖 - 3、5mm/砂秋、1 cm入の小台含む やや者 やや祖 - 2 mの形容む や 世 機器和を含む 者	段 投 段 按 按	州 K N S / 中 K S N S / 1 解放 5 N S / 1 解放 1 N S / 2	II練: 1/4 頻節: 2/3 D級: 1/3	外面に四種、研究あり 三方国に長方形透孔が同段あり
425 426 427 428 429 430	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04	不然知识 不然 不	C 地区 # 上 E 37 包含層 E 28 C 地区 D 22 E 39 D 22 E 39 D 22 D 22 D 23 D 25	- 34. 0 - 6. 4 14. 5 24. 0		類部 4.6(体部 16.5	内: ロクロナデ・青海波 外: カタイ・イボ・デタキ・ラタキ 外: ログロデ 外: ログロデ 外: ログロデデ・カキ人 (8本/1:m) ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ・当て具填 内: ココナデ・当て具填 の: ココナデ・サーチのもカキメ	差 やや祖	段 建 段 建 度	対: 从 N S /	日禄:1/4	外面に四種、研究あり 三方目に長力形造礼が四段あり 四方目に横円形造礼が四段あり
425 426 427 428 429 430	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01	東色製造 对比較 所以 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	C 地区 # 上 # 上 # 27 * 公会 # # 公	- 34. 0 - 6. 4 14. 5 24. 0	-	タイト	内: ロクロナデ・青海波 方: カラル・南子/ 第三/ ダキ・タタキ 内: ログロデ 内: ログロ カ: ログ カ: ログロ カ: ログ カ: ログ	者 やや祖 - 3、5mm/砂秋、1 cm入の小台含む やや者 やや祖 - 2 mの形容む や 世 機器和を含む 者	段 世 段 校 校 校 校	対: K N S / ウ: K S N S / 1 解析: S N S / 1 解析: S N S / 1 所列: N N S / 0 対: K N N S / 0 以: K N N S / 0 以: K N	II練: 1/4 頻節: 2/3 D級: 1/3	外面に四種、研究あり 三方目に長力形造礼が四段あり 四方目に横円形造礼が四段あり
425 426 427 428 429 430	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04	不然知识 不然 不	C 地区 # 上 E 37 包含層 E 28 C 地区 D 22 E 39 D 22 E 39 D 22 D 22 D 23 D 25	- 34. 0 - 6. 4 14. 5 24. 0		類常 4.6 体部 16.5	外: コラロナデ・青海波 外: フラロナデ・ か: フラロナデ か: フラロナデ か: ロラロナデ・カネメ (8 本/1:m) ロクロナデ ロフロナデ ロフロナデ・ファンド ロフロナデ・ファンド ロフロナデ・ファンド コフロナデ・アンド カ: ヨコナデ・ラマ上版 の: ヨコナデ・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド カ: コンド カ:	差 やや祖	段 世 段 校 校 校 校	対: 从 N S /	II練: 1/4 頻節: 2/3 D級: 1/3	外面に四種、研究あり 三方目に長力形造礼が四段あり 四方目に横円形造礼が四段あり
425 426 427 428 429 430 431	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03	東世別 (中世) (中世) (世) (世) (世) (世) (世) (世) (世) (類常 4.6 体部 16.5	外: コラロナデ・青海波 外: フラロナデ・ か: フラロナデ か: フラロナデ か: ロラロナデ・カネメ (8 本/1:m) ロクロナデ ロフロナデ ロフロナデ・ファンド ロフロナデ・ファンド ロフロナデ・ファンド コフロナデ・アンド カ: ヨコナデ・ラマ上版 の: ヨコナデ・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド カ: コファンド ア・アンド カ: コファンド カ: コンド カ:	者 セや相 - 3. 5mm/砂枠、1 cm人の小白含む やや者 - 2mm/砂粉含む ・ 2mm/砂粉含む 者 機砂形を含む 者 ・ 4を相 - 4mm/砂粉含む ・ 5mm/砂粉含む ・ 5	段 建 段 建 段 整 度	対: K N S / ウ: K S N S / 1 解析: S N S / 1 解析: S N S / 1 所列: N N S / 0 対: K N N S / 0 以: K N N S / 0 以: K N	1 1 4 4 4 5 2 3 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5	外面に四種、研究あり 三方目に長力形造礼が四段あり 四方目に横円形造礼が四段あり
425 426 427 428 429 430 431 432	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03 2063-06	東色製造 对比較 所以 化二甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基甲基	C地区 # 1			類常 4.6 体部 16.5	内: ロクロナデ・青海波 外: カタイ・イイ・グライ・ラタキ 外: ログロデ 外: ログロデ 外: ログロデデ・カキ人 (8本/1:m) ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ・ラマル 内: ココナデ・ラマル 内: コフナデ・ラマル 内: ログロナデ・ゲー 内: ログロナデ・ゲー 内: ログロナデ・サフキのもカキメ	者 セや相 - 3. 5mm/砂枠、1 cm人の小白含む やや者 - 2mm/砂粉含む ・ 2mm/砂粉含む 者 機砂形を含む 者 ・ 4や程 らmm/の小ら、~3mm/砂粉含む ・ 4・でを - 2mm/砂粉含む - 2mm/砂粉含む	段 建 段 建 段 度 度 段	円 : 以 N S /	1 1 4 4 4 5 2 3 3 3 4 5 5 5 5 5 5 5 5 5	外面に回義、朝突あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 図方向に横門南通礼あり 外面に彼状文あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03 2063-06 2099-01 2021-03	東世別 (田世別 (田世別 (田世別 (田世別 (田田) (田) (類常 4.6 体部 16.5	内: ロクロナデ・青海波 外: カライ・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー・イー	者 やや祖	段 並 段 段 段 段		13歳: 1/4 州市: 2/3 日歳: 1/3 日歳: 1/5 日歳: 1/5	外面に回義、朝突あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 図方向に横門南通礼あり 外面に彼状文あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03 2063-06 2099-01 2021-03 2038-07	東世別 (中世) (中世) (世) (世) (世) (世) (世) (世) (世) (C規以 # 注			類常 4.6 体務 16.5	内: ロクロナデ・青海俊 方: カオン・様子グラキ・タタキ 方: フヴァ 方: フヴァ 方: ロクロナデ 方: ロクロナデ・カキメ (8 本/1 cm) ロクロナデ 内: ココナデ・ヴェ大川版 方: ココナデ・サッキのもカキメ ロクロナデ 内: ロクロナデ 内: ログロナデ・メッキのもカキメ ロクロナデ・メッキット 方: ファーデ・ボブ川版 表: ロクロナデ・メッキット 方: ファーデ・ボブ川版 表: ログロナデ・タッキ カ: ブデ・オサエ	第 やや祖	段 建 段 段 段 段		1	外面に回義、朝突あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 図方向に横門南通礼あり 外面に彼状文あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03 2063-06 2099-01 2021-03	報告的をおける。 可かけの対象をおける。 可からのである。 対象をおける。 はるとはるとはる。 はるとはるとはるとはるとはるとはるとはるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなるとなる				類常 4.6 体部 16.5	内: ロクロナデ・青海俊 方: カオン・様子グラキ・タタキ 方: フヴァ 方: フヴァ 方: ロクロナデ 方: ロクロナデ・カキメ (8本/1cm) ロクロナデ ロクロナデ・リッキのもカキメ ロクロナデ 内: ログロナデ・メッキのもカキメ ロクロナデ 内: ログロナデ・メッキのもカキメ ロクロナデ・メッキット カ: ログロナデ・タッキ カ: フヴァ・オウエ ナデ・オウエ ナデ・オウエ	者 やや祖	段 世 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段	内: 以 N S /	13歳: 1/4 州市: 2/3 日歳: 1/3 日歳: 1/5 日歳: 1/5	外面に回義、朝突あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 図方向に横門南通礼あり 外面に彼状文あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03 2063-06 2099-01 2021-03 2038-07	東世別 田世別 田世別 田田 田田	C規以 # 注			類部 4 6 16 16 1	外: コウロナデ・青海波 外: フラロナデ・ が: フラロナデ か: フラロナデ・カネメ (8 本/1・4) ロクロナデ カ: コフロナデ・カネメ (8 本/1・4) ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ・ラマナル が: ヨコナデ・ラマナル が: ヨコナデ・ラマナル が: コフロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: フターナデ・オサエ ナデ・オサエ ナデ・オサエ ナデ・オサエ	者 やや祖	段 世 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段 段		1	外面に回義、朝突あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 図方向に横門南通礼あり 外面に彼状文あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2046-04 2018-03 2045-06 2099-01 2021-03 2038-07 2038-06	東世別 では世別 では世別 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、 では、	C 世紀	- 34.0 - 6.4 		類部 4 6 16 16 1	外: コウロナデ・青海波 外: フラロナデ・ が: フラロナデ か: フラロナデ・カネメ (8 本/1・4) ロクロナデ カ: コフロナデ・カネメ (8 本/1・4) ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ・ラマナル が: ヨコナデ・ラマナル が: ヨコナデ・ラマナル が: コフロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: ロクロナデ・タオテル カ: フターナデ・オサエ ナデ・オサエ ナデ・オサエ ナデ・オサエ	要や中間 - 3.5mmの移転、1cm大の小も含む やや素 やや素 をや相 - 2mmの移転含む やや虚 要 機能を含えむ 素 変 ・ 2mmの移転含む ・ 2mmの移転含む ・ 2mmの移転含む ・ 3mmの移転含む ・ 4mmの移転含む ・ 4mmの移転合む ・ 4mmの移在合む ・ 4mmのを合む ・ 4mmのを	段 坐 段 段 段 段 设 经 坐 並 並 並	内: 以 N S /	1	外面に回義、朝突あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 図方向に横門南通礼あり 外面に彼状文あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2068-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03 2058-06 2099-01 2021-03 2038-07 2038-06 2014-03	東西数 (日本の) (日	C 世紀	- 34.0 - 6.4 		類部 4 (4 部 16 : 16 : 16 : 16 : 16 : 16 : 16 : 16	外: コクロナデ・青海酸 外: フクロナデ・ が: フグロナデ か: フグロナデ か: フグロナデ・カネメ (8 kg/1・m) ロクロナデ ロクロナデ ロクロナデ・ラント版 が: ヨコナデ・ラント版 が: ヨコナデ・タオテのカカネメ ロクロナデ が: コクロナデ・タイネ が: ロクロナデ・タイネ が: ロクロナデ・タイネ が: ロクロナデ・タイネ か: フクロナデ・タイネ か: フクロナデ・オウエ ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・	者 やや祖	段	N. N. NE / N	Tikk: 1/4 対策: 2/3 立統: 1/3 立統: 1/5 口統: 1/5 口統: 1/5 口統: 1/8	外面に回義、朝突あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 三方向に長万布通礼が刺殺あり 図方向に横門南通礼あり 外面に彼状文あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2068-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03 2038-06 2099-01 2021-03 2038-06 2014-03 2038-06 2014-03 2038-06	報告数 可付け出 可付け出 可付け出 可能 可能 可能 可能 可能 可能 可能 可能 可能 可能	C 世紀	- 34.0 - 6.4		類型 4.6 16.5	内: コラロナデ・青海酸 (**) 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	# やや祖	及 · 並 · 及 · 及 · 及 · 及 · 及 · 及 · 及 · 及 ·	N. N. NE /	Tikk: 1/4 対策: 2/3 口検: 1/3 口検: 1/5 口検: 1/5 口検: 1/5 口検: 1/5 口検: 1/5 口検: 1/5 口検: 1/8	外面に関係。研究あり 三方向に長力形通礼が利益あり 回方向に横列形通礼あり 発面に被状文あり 外面に被状文・攻縮あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2058-04 2002-05 2026-04 2088-01 2046-04 2018-03 2038-07 2038-07 2038-06 2014-03 2021-03 2038-07 2014-03 2021-02 2021-02	報告数 可付地型 可付地型 がおいた がある がある がある がある がある がある がある がある		- 34.0 14.5		類話 4.6	内: コラロナデ・青海酸 (**) 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1	選 やや祖			Tikk: 1/4 対策: 2/3 立統: 1/3 立統: 1/5 立統: 1/5 立統: 1/5 立統: 1/5 立統: 1/5 立統: 北京市 古述: 古述: 北京市 古述:	外面に関係、研究あり 三方向に長力和適利が同級あり 回方向に横列和適利が同級あり の方向に横列和適利あり 外面に被状文あり 外面に被状文・攻撃あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2008-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03 2038-06 2014-03 2038-06 2014-03 2011-02 2002-03 1033-04 2002-02	報告数 可付地型 可付地型 可能を が表 が表 が表 が表 が表 が表 が表 が表 が表 がま が表 が表 が表 が表 がま がま がま がま がま がま がま がま がま がま		- 34.0		類節 16.16.16.16.16.16.16.16.16.16.16.16.16.1	内: コウロナデ・青海酸 内: フラロナデ・青海酸 内: フラロナデ 内: フラロナデ カ: コクロナデ カ: コクロナデ カ: コフロナデ・カネメ (8 な/1・4) ロクロナデ ロクロナデ コフロナデ・ラントの カ: ココナデ・ラントの カ: ココナデ・タント カ: コフロナデ・タクト カ: コフロナデ・タクト カ: コフロナデ・タクト カ: フクロナデ・タクト カ: ナデ・オサエ ナデ・オサエ カ: ナデ・オサエ カ: ナデ・オサエ アデ・オサエ アデ・オサエ	要 やや祖	及 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放 放	N. N. NE /	Tak: 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/5 1/6	外面に関係、研究あり 三方向に長力和適利が同級あり 回方向に横列和適利が同級あり の方向に横列和適利あり 外面に被状文あり 外面に被状文・攻撃あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2058-04 2002-05 2026-04 2088-01 2046-04 2018-03 2038-07 2038-07 2038-06 2014-03 2021-03 2038-07 2014-03 2021-02 2021-02	報告数 可付地型 対性型 が対した 対性を 対性を 対性を 対性を 対性を 対性を 対性を 対性を	世界	- 34.0 14.5		類配配 1.6 1 1	外: 2 クロナア・青海酸 作: 72年 7 ・ 74年 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7	要 やや祖	及 整 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及		Tikk: 1/4 対策: 2/3 立統: 1/3 立統: 1/5 立統: 1/5 立統: 1/5 立統: 1/5 立統: 1/5 立統: 北京市 古述: 古述: 北京市 古述:	外面に関係。研究あり 三方向に長力形通礼が利益あり 回方向に横列形通礼あり 発面に被状文あり 外面に被状文・攻縮あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2008-04 2002-05 2026-04 2068-01 2046-04 2018-03 2038-06 2014-03 2038-06 2014-03 2011-02 2002-03 1033-04 2002-02	取世別をおけた対 対性が対 対性が対 対性が対 対性が対 対性が対 対性が対 対性が対 対性が対 対性が対 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、 がは、		- 34.0		類配配 1.6 1 1	内: コウロナデ・青海酸 内: フラロナデ・青海酸 内: フラロナデ 内: フラロナデ カ: コクロナデ カ: コクロナデ カ: コフロナデ・カネメ (8 な/1・4) ロクロナデ ロクロナデ コフロナデ・ラントの カ: ココナデ・ラントの カ: ココナデ・タント カ: コフロナデ・タクト カ: コフロナデ・タクト カ: コフロナデ・タクト カ: フクロナデ・タクト カ: ナデ・オサエ ナデ・オサエ カ: ナデ・オサエ カ: ナデ・オサエ アデ・オサエ アデ・オサエ	要 やや祖		N. N. NE /	Tak: 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/4 1/5 1/6	外面に関係。研究あり 三方向に長力形通礼が利益あり 回方向に横列形通礼あり 発面に被状文あり 外面に被状文・攻縮あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2069-04 2002-05 2026-04 2046-04 2018-03 2063-06 2099-01 2021-03 2038-06 2014-03 2021-02 2002-03 1030-04 2002-02 2002-03	取世別をおけた場合である。 おいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま かいま か		- 34.0		類類形 1.6.2 1	外: 2 クロナア・青海酸 作: 72年 7 ・ 74年 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7 ・ 7	분 수 전체	及 遊 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及 及		Time: 1/4	外面に関係。研究あり 三方向に長力形通礼が利益あり 図方向に横列形通礼あり 発面に被状文あり 外面に被状文・攻縮あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2068-04 2002-05 2026-04 2008-01 2046-04 2018-03 2038-06 2092-01 2018-03 2038-06 2018-03 2021-02 2002-03 1030-04 2026-02 2038-08 2087-05	取世別をおけた対 用世別をおけた対 対数をおけた対 があります。 では、ままず。 では、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、まま	世界	- 34.0		類配配 1.6 1 1	外: 20 20 千下、青海俊 外: 20 20 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	분 수 전체	及		Time: 1/4	外面に関係。研究あり 三方向に長力形通礼が利益あり 図方向に横列形通礼あり 発面に被状文あり 外面に被状文・攻縮あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443 444	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2068-04 2002-05 2026-04 2008-01 2046-04 2018-03 2003-06 2019-03 2019-03 2019-03 2019-03 2019-03 2019-03 2019-03 2019-03 2019-03 2019-03 2019-03 2019-03 2019-04 2019-03 2019-0	取世別を対する。 取世別を対する。 取世別を対する。 のでは、		- 34.0		類配配 1.6 1.6	内: つクロナア・青海酸 内: フタン・横(グラキ・タタを 内: フタン・横(グラキ・タタを 内: フタン・横(ブラキ) 内: フタン・ア・カネメ(8 ks/1・m) ロクロナデ ロクロナデ 内: ココナデ・ラで具版 内: ココナデ・ラで発展 内: ココナデ・ラッキのものをメ ロクロナデ 内: ナデ 内: コア・ア・ガビ版版 大: コフロ・ア・・ガビ版版 カ: コフロ・ア・・ガビ版版 カ: コフロ・ア・・ガビ版版 カ: コフロ・ア・・ガビ版版 カ: コア・オーエ ナデ・オサエ ナデ・オサエ ナデ・オサエ カ: ナデ・オサエ ナデ・オサエ カ: ナデ・オサエ ナデ・オサエ カ: ナデ・オサエ オキエ カ: ナデ・オサエ オキエ カ: ナデ・オサエ オキエ カ: ナデ・オサエ	要 やや祖			Time: 1/4	外面に関係。研究あり 三方向に長力形通礼が利益あり 図方向に横列形通礼あり 発面に被状文あり 外面に被状文・攻縮あり
425 426 427 428 429 430 431 432 433 434 435 436 437 438 439 440 441 442 443	2073-01 2070-05 2027-01 2076-03 2068-04 2002-05 2026-04 2008-01 2046-04 2018-03 2038-06 2092-01 2018-03 2038-06 2018-03 2021-02 2002-03 1030-04 2026-02 2038-08 2087-05	取世別をおけた対 用世別をおけた対 対数をおけた対 があります。 では、ままず。 では、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、ままず、まま	世界	- 34.0		類配配 1.6 1.6	外: 20 20 千下、青海俊 外: 20 20 1 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7 7	분 수 전체			Time: 1/4	外面に関係。研究あり 三方向に長力形通礼が利益あり 図方向に横列形通礼あり 発面に被状文あり 外面に被状文・攻縮あり

第7表 出土遺物観察表(7)

					1							
No.	登録番号	22 AG	進構出上位置	11 程 cm	35 m	その他 con	調整技法の特徴	Mr t	焼成	色 周	機件	维考
448	1010-05	ミニチュア 発	P50 신含層	6.4	3. 0	-	ヨコナデ・ナデ	やや密 ~1.0mmの微砂粒を含む	92.	内:灰白 10YR7/1 掲灰 10YR6/1・5/1 外:黒褐 5YR3/1 掲灰 5YR4/1・7.5YR5/1	11 14 : 2 / 3	
449	2039-06	ミニチュア 概	H41 包含層	7. 0	4.0	-	ナデ・オサエ	相 ~3mmの砂粒含む	1£	内:にぶい掲 7.5YR5/3 外:掲灰 7.5YR4/1	□縁:1/8	
450	2070-06	ミニチュア 桐	G41 설含層	3. 0	-	-	ナデ・オサエ	やや祖 ~ 1 mmの砂粒含む	39.	灰黄褐 10YR 6 / 2		
451	2062-04	ミニチュア 権	1 32 包含層	-	-	-	オサエ	やや果	被	灰黄褐 10YR5/2 黄灰 2.5Y4/1		
452	2102-03	ミニチュア	J41 トレンチ	-	-	-	内:オサエ 外:ナデ・オサエ	やや密 ~ 1 mmの砂粒含む	49	内:浅漠機 10YR8/3 暗沢 N3/0 外:にぶい機 7.5YR6/4		
453	2038-05	ミニチュア	141 包含編	6.0	5.6	ME 8% 5.0	内:ナデ・オサエ 外:ナデ	やや利 ~1mmの砂粒含む	並	福庆 10YR4/1 灰黄褐 10YR5/2	底部:1/3	
454	2014-04	ミニチュア	E34			5.0	ナデ	रुरुश		にぶい黄椎 10YR7/2		
\vdash	\rightarrow	横痕	신含屬 Q:59					~ 1 mmの砂粒含む 密		展白 10YR 8/2 駅 N4/0	一部矢損	<u>載</u> き9.5g
455	1010-06	t:#	包含層	扱さ 5.8	1. 5	穴程 0.5		窓 ~1mmの微砂粒を含む やや密			IN A IA	
456	1011-03	1:59	Q58 包含層	長き 4.6	1. 4	六径 0.42		微砂粒を含む やや米	並	灰白 10YR7/1 にぶい黄種 10YR7/2 にぶい種 7.5YR7/4 にぶい黄種 10YR7/2	-	雇 さ8.55 g
457	1011-04	土蝇	Q27 包含Mi	長き 5, 2	46 1. 4	六径 0.3		~1 mmの微砂粒を含む	並	沢黄樹 10YR6/2		重き9.2g
458	1012-02	±#	Q58 包含層	長さ 4.6	46 1. 3	穴径 0.32		やや相 ~1mmの砂粒を含む	並	改貨機 10YR8/3 灰黄橋 10YR6/2 灰貨機 10YR4/2		重さ6.37g
459	1012-03	± se	P 59 包含屬	扱き 4.0	46 1. 2	穴径 0.5		やや客 ~ 1 mmの微砂粒を含む	推	鬼 5YR1.7/1 機灰 5YR5/1・4/1		敷さ6.2g
460	2024-06	.1:36	C地区 包含編	長さ 4.7	解 1.3	火程 0.3~0.4		やや相 ~ 1 mmの砂粒を含む	₩.	掲択 10YR5/1 浅黄 2.5Y7/3		載さ6.34g
461	2058-03	t.鋒	S · T56 包含屬	延さ 4.5	\$6 1.3	穴径 0.45		æ	26	橙 7.5YR 浅黄橙 10YR8∕3		載さ6.235g
462	2058-04	士舞	R61 包含屬	長さ 4.3	## 1.4	穴径 0.5		88	W.	灰白 10YR 8/2		熊さ5.915g
463	2058-05	土舞	R 59	長さ 5.7	66i 1. 3	穴程 0.45		et:	*	暗灰 N3/		順き8.37 g
464	2070-07	1: 9 1	包含層 E137	5.7 長さ 3.4	#6 1. 2	穴径 0.25		9		戊质橙 10YR8/3	 	重さ3.19g
465	2020-02	±6139	包含屬 F40	3. 4	1.2	0. 25	内:ナデ・オサエ 外:ヨコナデ・ハケメ (6~7本/cm)	相		にぶい権 7.5YR6/4		口縁部内面に媒が付着
-		土管	包含屬 F40				外: ヨコナデ・ハケメ (6~7本/cm) 内:ナデ・オサエ	相 ~ 1. 5 mmの砂粒を多く含む 相			-	
466	2020-01	1:9529	包含層	_	-	- Incas	内:ナデ・オサエ 外:ハケメ(11本/2.6cm)	和 ~3mmの砂粒を多く含む mi		にぶい権 7.5YR7/4		
467	2020-04	土管	F33 包含屬	-	- A II	底径 22.0	ナデ・オサエ	程 ~2mmの砂粒を多く含む	#:	にぶい黄橙 10YR6/3	政部:10/1	底部に板圧痕あり
468	2004-03	鉄術	D33 包含層	月是 6.3	全長 12.2	-					-	
469	2021-05	金属製品 鎌	E 40 包含屬	-	-	-						
470	2033-05	金属製品 鎌	P5I 拡張区	-	-							
471	2033-04	金属製品 綾	P60 包含層	-	-	-						
472	2022-03	金属製品	E32 包含層	-	-	-						
473	2021-04	金属製品	C地区下層	-	-	_						
474	2002-06	動物形士製品	S 59	_	-	_		やや雀	*	にぶい黄檀 10YR 7/3 黒 N 2/		残長8.95、疫幅4.3cm
475	2028-05	不明土製品	包含層 F 35	_	-	-		やや唯	32	にぶい根 7.5YR7/4		クルミ形土製品?
476	2095-04	勾玉形土製品	신含層 D39	全長 3.5	厚さ 1.25	孔径		1112	+-			IL ≥ 8. 74 g
\vdash	-		トレンチ			0.22			-		 	重さ1,38g
477	2095-05	勾玉形 比製品	包含M N42	全長 2.0	原き 0.7	孔径 0.2			_			
478	2003-03	均 E	包含層	-		-						重さ3.75g
479	2095-03	14 E	D36 包含層	全長 2.1	厚き 4.9	孔推 1. 25						載さ1.62g
480												
100	2013-03	不明上製品	P 3 包含層	長さ 6.6	1. 25	-		やや祖 ~1.5mmの砂粒含む	並	にぶい黄橙 10YR7/3	_	残存重量 18.87 g
481	2013-03 2002-04	不明上製品 土製紡錘車	包含層 F33 包含層	6. 6 1½ 2. 9	1. 25 Ing 25 1. 2	孔径 0.6		やや後	並	にぶい黄檀 10YR 7/3 にぶい檀 7.5YR 7/4		機存重量 18.87g 重さ6.95g
\vdash	_	土製紡錘車 紡錘車	F 33		1. 25	1			-			
481	2002-04	土製紡錘車	F33 包含層 M41	挫 2.9 径	1. 25 Ing 25 1. 2	孔径 0.6		やや者	¥.	にぶい機 7.5YR7/4 にぶい機 7.5YR7/4 浅葉機 10YR8/3		1 ≥ 6.95 g
481	2002-04 2098-09	土製紡錘車 紡錘車	F33 包含層 M41 包含層 F32	経 2.9 経 3.75	1. 25 1. 25 1. 2 1. 2 1. 2 1. 2	孔径 0.6 孔径 0.55		やや密やのを含む		におい機 7.5YR7/4 におい機 7.5YR7/4		敷さ6.95g 敷さ25.3g
481 482 483	2002-04 2098-09 2013-05	上製紡錘車 紡錘車 士師課 紡錘車	F 33 包含層 M41 包含層 F 32 包含層 P 2 包含層	程 2.9 程 3.75 —	1. 25 輝き 1. 2 輝き 2. 1	孔径 0.6 孔径 0.55		やや密 機能和含む やや密 一幅のの物料含む	*	にぶい機 7.5YR7/4 にぶい機 7.5YR7/4 浅葉機 10YR8/3		電さ6.95g 電さ25.3g 様存電量 8.96g
481 482 483 484	2002-04 2098-09 2013-05 1010-67	土製紡錘車 紡錘車 土部器 紡錘車	F33 包含層 M41 包含層 F32 包含層 P2 包含層 E37 包含層 G41	発 2.9 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1.25 厚さ 1.2 厚さ 2.1	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 2.3 孔径 0.15		やや密 機動性含む やや密 ~ 1 msの粉粒含む ~ 1 msの機動粒を含む	並並	にぶい機 7.5YR7/4 にぶい機 7.5YR7/4 浅葉機 10YR8/3		載さ6.95g 載さ25.3g 様存重量 8.96g 載さ8.83g
481 482 483 484 485	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05	土製紡錘率 紡錘率 土部額率 土王 土王	F33 包含層 M41 包含層 F32 包含層 P2 包含層 E37 包含層 G41 包含層 F35	発 2.9	1.25 輝き 1.2 輝き 2.1	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 2.3 孔径 0.15		やや密 機能和含む やや密 一幅のの物料含む	並並	におい種 7.5VR7/4 におい種 7.5VR7/4 提展機 19VR8/3 におい水場 2.5VRS/6 種 5VR6/6 馬崎 5VR2/1		載さ6.95g 載さ25.3g 様存重量 8.96g 載さ8.83g
481 482 483 484 485 486	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04	上製紡練車 紡錘車 上部 紡錘車 上王 上王 上王	F33 包含層 M41 包含層 F32 包含層 P 2 包含層 E37 包含層 G41 包含層 F35 B35 B35	任 2.9 任 3.75 一 程 2.3 経 0.7 任 1.2 長 4.1	1.25 原 含 1.2 原 含 2.1 — — — — — — — — — — — — —	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 2.3 孔径 0.15 - R径 0.15		やや密 機動性含む やや密 ~ 1 msの粉粒含む ~ 1 msの機動粒を含む	並並	におい種 7.5VR7/4 におい種 7.5VR7/4 提展機 19VR8/3 におい水場 2.5VRS/6 種 5VR6/6 馬崎 5VR2/1		整さ6.95g 概さ25.3g 保存電量 8.96g 概念8.83g 概念7.05g・孔様0.15cm
481 482 483 484 485 486 487	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02	上製紡業率 紡績率 土師課 お養俸 土玉 土玉 土玉 土玉 土玉	F33 包含層 M41 包含層 F32 包含層 P2 包含層 C35 G41 包含層 C35 E35 E35 E35 E35 E35 E35 E35 E35 E35 E	経 2.9 経 3.75 - 経 2.3 終 0.7 歴 1.2 長き 4.1	1.25 原 さ 1.2 原 さ 2.1 - - - - - - - - - - - - -	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 0.15 孔径 0.2 摩 3 0.5		やや密 機動性含む やや密 ~ 1 msの粉粒含む ~ 1 msの機動粒を含む	並並	におい種 7.5VR7/4 におい種 7.5VR7/4 提展機 19VR8/3 におい水場 2.5VRS/6 種 5VR6/6 馬崎 5VR2/1		置さ6.95g 置さ25.3g 保存置置 8.96g 最28.83g 重さ0.31g 最27.05g・孔径0.15cm 集20.18g
481 482 483 484 485 486	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2095-02	土製紡績家 紡績家 土部舗家 土工 土工 土工 土工 利型石製品 日1.E 有孔円整	F33 包含層 M41 包含層 F32 包含層 F32 包含層 G41 包含層 F35 含素層 G41 包含層 F35 分含層 G41 包含層 F35 分离層 F35 分离層 F35 分离層 F35 分离層 F35 分离層 F35 分离層 F35 分离層 F35 H35 H35 H35 H35 H35 H35 H35 H35 H35 H	任 2.9 任 3.75 一 程 2.3 経 0.7 任 1.2 長 4.1	1.25 原 含 1.2 原 含 2.1 — — — — — — — — — — — — —	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 2.3 孔径 0.15 - R径 0.15		やや密 機動性含む やや密 ~ 1 msの粉粒含む ~ 1 msの機動粒を含む	並並	におい種 7.5VR7/4 におい種 7.5VR7/4 提展機 19VR8/3 におい水場 2.5VRS/6 種 5VR6/6 馬崎 5VR2/1		整さ6.95g 概さ25.3g 保存電量 8.96g 概念8.83g 概念7.05g・孔様0.15cm
481 482 483 484 485 486 487 488 489	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2095-02 2062-06	土製紡績家 紡績家 土部 土工 土工 土工 土工 土工 土工 大工 大工 大工 大工 大工 大工 大工 大工 大工 大工 大工 大工 大工	F33 包含層 M41 包含層 F32 包含層 P2 包含層 G41 包含層 G58 G58 G58 G58 G58 G58 G58 G58 G58 G58	経 2.9 税 3.75 一 程 2.3 经 0.7 形 1.2 長 4.1 2 長 4.1 1 2 6 4 4 1 6 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4 4	1.25 「「「「「「」」 「「「」」 「」 「	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 0.15 孔径 0.15 孔径 0.2 - - -		やや密 機動性含む やや密 ~ 1 msの粉粒含む ~ 1 msの機動粒を含む	並並	におい種 7.5VR7/4 におい種 7.5VR7/4 提展機 19VR8/3 におい水場 2.5VRS/6 種 5VR6/6 馬崎 5VR2/1		置さ6.95g 置さ25.3g 保存置置 8.96g 最さ8.83g 重さ0.31g 最立7.05g・孔柱0.15cm 重さ0.18g 孔は2ヶ所積る
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2095-02 2062-06 2095-06	土製紡績家 約費率 土物領率 土工 土工 土工 土工 土工 料型石製品 日1 石製品 石製品 石製品 石製品	F33 包含酶 M41 包含酶 F32 包含酶 P2 包含酶 E37 包含酮 E37 包含酮 F35 C31 C32 C33 C33 C33 C33 C33 C33 C33 C33 C33	経 2.9	1.25 「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「「」」 「」 「	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 0.15 孔径 0.2 摩 3 0.5		やや様 やや者 適齢性なし やや者 - 1 mmの形材立し やや者 - 1 mm 関係を含む ・ 1 mm の形材立し ・ で表 - 1 mm の形材立し ・ でも - 0. 5 mm の形材立む	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	に応い種 7.5VR7/4 に応い種 7.5VR7/4 機構 10VR8/3 に応い場場 5.VR2/1 販売 5.VR2/1		置さ6.95g 置さ25.3g 保存置置 8.96g 最28.83g 重さ0.31g 最27.05g・孔径0.15cm 集20.18g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2095-02 2062-06 2095-06 2024-04	土製粉雞果 粉雞木 土板 土土 土工 土工 土工 土工 料型石製品 行机円盤 石製品 石製品 人物製品 利用品	F33 包含權 M41 包含權 P2 包含權 P2 包含權 C41 包含 (3) 包含 (4) 包含 (5) 包含 (5) 包含 (5) 包含 (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6) (6)	経 2.9	1.25 原 含 1.2 原 含 2.1 ————————————————————————————————————	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 0.15 孔径 0.15 孔径 0.5 -		やや様 やや者 動物化む やや者 - 1 mmの形容むし やで表 - 1 mmの形容むし やで表 - 0 . 5 mmの形容む やで相 - 0 . 5 mmの形容む 1 mmの形容む	安 安 安	に応い機 7.5VR7/4 たが機 7.5VR7/4 機機機 10VR8/3 に応い場場 2.5VR2/1 原機 5VR2/1 反義機 10VR4/2		置さ6.95g 置さ25.3g 模好鑑置 8.96g 最さ8.83g 重さ7.05g・孔径0.15cm 集さ7.05g・孔径0.15cm 集さ7.05g・孔径0.25cm 集さ12.9g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2095-02 2062-06 2095-06	上製粉雞米 粉雞香 上玉 土玉 土玉 土玉 土玉 大田 村型石製品 白1.五 看礼円盤 石製品 石製品 石製品 石製品 石製品 石製品 石製品 石製品 石製品 石製品	F.33 H.33 M.61 位含層 F.32 位含層 E.37 G.58 G.58 F.35 G.34 1.34 2.34 2.34 2.34 2.34 2.34 2.34 3.34 3.34 3.34 3.45 3	経 2.9	1.25 「「「「「「」」」 「「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「」」 「「「」」 「」 「	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 0.15 孔径 0.15 孔径 0.5 -	内: ヨコナデ・ミガキ 外: ヨコナデ・ミガキ 外: ココナデ・ナデ・オサエ	수수분 수수분 결하약소년 수소분 - 1 mm/商を報を含む 수소료 - 0. 5 mm/の砂粒含む 수소료 - 0. 5 mm/砂粒を含む 수소료 - 0. 5 mm/砂粒を含む - 0. 4 mm/砂粒を含む - 0. 5 mm/砂粒を含む - 0. 5 mm/砂粒を含む	安 遊 遊	に応い機 7.5VR7/4 た高い機 7.5VR7/4 機機機 10VR8/3 に高い場場 2.5VR2/6 種 5VR6/6 環境 5VR2/1 反義権 10VR4/2	元柱	置さ6.95g 置さ25.3g 保存置置 8.96g 最さ8.83g 重さ0.31g 最立7.05g・孔柱0.15cm 重さ0.18g 孔は2ヶ所積る
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2095-02 2062-06 2095-06 2024-04	上型約轉率 - 50 轉率 - 16 2	F.33 F.33 M41 位含物 F.32 位含物 F.32 位含物 F.35 G.41 位含物 F.35 位含 F.35 位含 F.35 位含 F.35 位 F.35 C.35 F.35 C.	経 2.9	1.25 原 含 1.2 原 含 2.1 ————————————————————————————————————	孔径 0.6 孔径 0.55 - 孔径 0.15 孔径 0.15 孔径 0.5 -	ョコナデ・ナデ	やや様 やや者 動物化む やや者 - 1 mmの形容むし やで表 - 1 mmの形容むし やで表 - 0 . 5 mmの形容む やで相 - 0 . 5 mmの形容む 1 mmの形容む	安 遊 遊	に応い機 7.5VR7/4 たが機 7.5VR7/4 機機機 10VR8/3 に応い場場 2.5VR2/1 原機 5VR2/1 反義機 10VR4/2		置さ6.95g 置さ25.3g 模好鑑置 8.96g 最さ8.83g 重さ7.05g・孔径0.15cm 集さ7.05g・孔径0.15cm 集さ7.05g・孔径0.25cm 集さ12.9g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2095-02 2062-06 2024-04 2055-04	土製粉類果 新類素 土物質素 土工 土工 土工 土工 大型石製品 自1.E 有孔円盤 石製品 人類型品 現在製品 人類型品 の数型。 の数型品 の数 の数 の数 の数 の数 の数 の の の の の の の の の の の の の	F33 9.六編 M41 公克爾 F32 公克爾 F32 公克爾 F35 C31 公克爾 F35 C35 F35 F35 F35 F35 F35 F35 F35 F	授 2.9	1:25 	孔径 0.6 0.6 0.55 - 1.6 2.3 2.8 2.8 2.8 0.5 1.6 0.2 0.5 1.7 0.2 - - - - - - - - - - - - -	ョコナデ・ナデ 内: ミガキ 外: ヨコナデ・ナデ	やや様 やで報 動物性力 やや概 - 1 mm/単砂松さむ やで概 - 0 . 5 mm/砂粉含む やで相 - 0 . 5 mm/砂粉含む やで相 - 1 mm/砂粉を含む ・ 2 mm/砂粉を含む ・ 2 mm/砂粉を含む ・ 3 mm/砂粉を含む ・ 4 mm/砂粉を含む ・ 4 mm/砂粉を含む ・ 5 mm/砂粉を含む ・ 5 mm/砂粉を含む ・ 5 mm/砂粉を含む ・ 5 mm/砂粉を含む ・ 6 mm/砂粉を含む ・ 6 mm/砂粉を含む ・ 7 mm/砂粉を ・ 7 mm/砂 ・ 7 mm/ 7 mm/ 7 mm/ 7 mm/ 7 mm/ 7 mm/ 7 mm/ 7 mm/ 7 mm/	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	に応い機 7.5VRT/4 た高い機 7.5VRT/4 漫画性 16VR8/3 に高い影響 2.5VRS/6 機 5VR6/6 影像 5VR2/1 疾興略 16VR4/2	元柱	置さ6.95g 置さ25.3g 模好鑑置 8.96g 最さ8.83g 重さ7.05g・孔径0.15cm 集さ7.05g・孔径0.15cm 集さ7.05g・孔径0.25cm 集さ12.9g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493	2092-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2095-02 2095-06 2024-04 2055-04	上型砂糖率 - 計算物 - 計算 - 計算 - 計算 - 計 - 計 - 計 - 計 - 計 - 計 - 計 - 計	F33 9.六編 M41 25 編 F32 2 名 編 F32 2 名 編 F35 2 3 編 F35 F35 F37 6 3 編 F37 6 3 編 F37 6 3 編 F37 6 3 編 F37 6 3 編 F37 6 5 編 F37 6 5 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8 8	授 2.9 据 3.75 — 提 0.7 形 1.2 長3 4.1 世 0.6	1.25 原意 1.2 原意 2.1 ————————————————————————————————————	孔径 0.6 孔径 0.55 孔径 0.15 孔径 0.15 孔径 0.2 厚点 0.2	ョコナデ・ナデ	やや様 やや恋 動物化む やや恋 - 1 mmの形容むむ やで恋 - 1 mmの形容むむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やで者 - 1 mの形を含む ・ 0. 5 mmの形容なむ ・ 0. 5 mmの形容ななむ ・ 0. 5 mmの形容なむ ・ 0. 5 mmの形容ななむ ・ 0. 5 mmの形容ななななななななななななななななななななななななななななななななななな	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	に応い機 7.5VRT/4 (成列権 15VRT/4 (成列権 15VRT/4 (成列権 15VRT/5 種 5VR5/6 機 5VR6/6 (成列権 15VR4/2 (成列権 15VR4/2 (成列権 15VR4/2 (成列権 15VR4/3 (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K S V8/1	元柱	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495	2002-04 2008-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2005-06 2024-04 2055-04 2050-09	土製粉類果 お類像 土所 お類像 土工 土工 土工 土工 土工 土工 利型石製品 利工 有礼円験 石製品 利工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和	F33 例内 M41 (公元學 F32 公元學 F32 公元學 E37 医37 公元學 E37 医37 公元學 E37 医37 医37 医37 医37 医37 医37 医37 医	デ 2.9 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	1. 25 10. 25 10. 25 10. 25 10. 25 10. 25 10. 25 10. 25 10. 3	孔径 0.6 0.6 0.55 - 1.6 2.3 2.8 2.8 2.8 0.5 1.6 0.2 0.5 1.7 0.2 - - - - - - - - - - - - -	ョコナデ・ナデ 内:ミガキ 分:ョコナデ・ナデ 内:ミガキ 外:タ:ガキ 外:ナデ	やや様 やや恋 動物化む やや恋 - 1 mmの形容むむ やで素 - 1 mmの形容むむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やでま - 1 mmの形容なむ やで者 - 2 mmの形容なむ やで者 - 2 mmの形容なむ やで者 - 2 mmの形容なむ やで者 - 2 mmの形容なむ やで者 - 4 mmの形容なむ ・ 4 mmの形容なむ ・ 4 mmの形容なむ ・ 4 mmの形容なむ ・ 4 mmの形容なむ ・ 5 mmの形容なむ ・ 4 mmの形容なむ ・ 5 mmの形容なむ ・ 4 mmの形容なむ ・ 4 mmの形容なむ ・ 5 mmの形容なむ ・ 4 mmの形容なむ ・ 5 mmの形容なな ・ 5 mmの形容な ・ 5 mmのの形容な ・ 5 mmのの形容な ・ 5 mmのの形容な ・ 5 mmのの形容な ・ 5 mmのの ・ 5 mmの ・ 5 mmo ・ 5 mmo ・ 5 mmo ・ 5 mmo ・ 5 mmo ・ 5 mmo ・	# # # # # # # # # # # # # # # # # # #	に応い機 7.5VRT/4 (成列権 15VRT/4 (成列権 15VRT/4 (成列権 15VRT/5 種 5VR5/6 機 5VR6/6 (成列権 15VR4/2 (成列権 15VR4/2 (成列権 15VR4/2 (成列権 15VR4/3 (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K S V8/1	元年 二/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2098-02 2098-06 2024-04 2056-04 2056-09 2044-04	上型砂糖率 上班的 上工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工	F33 G24 M41 G26 F32 G37 G31 G37 G31 G37 G31 G37 G31 G37	YE 2.9 YE 2.9 YE 2.9 YE 3.75 YE 3.	1 225 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1 1 2 1	礼様 0.6 4.様 0.5S - 礼様 2.3 礼様 0.2 3 礼様 0.2 - 一 の.1 を 0.1 を 0.2 - - - - - - - - - - - - -	ココナデ・ナゲ 内: ミガキ 外: ロコ・デ・ナゲ 内: ミカキ カ: ケゲ カ: ケゲ カ: ケゲ 内: ジオキ カ: ケゲ 内: コナデ・ナデ	やや様 やや様 動物化む やで表 *1 mmの形容なむ やで表 *2 mmの形容なむ ************************************		に応い機 7.5VRT/4 (成列艦 15VRE/3 に近い機 7.5VRT/4 (成列艦 15VRE/6 機 5VR6/6 (成列艦 15VR4/2 (成列艦 15VR8/3 (成列艦 15VR8/3 (K 5VR7/4 (K N5/7 (K 5V8/1 (K 75V8/1) 15V8/1	元年 二/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2098-06 2024-04 2055-04 2055-09 2044-04 2055-09	土製粉類果 計算機果 土田 土工 土工 土工 土工 土工 土工 土工 土工 土工 利型石製品 利工 有礼円輸 利工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和	F33 G2 M M M M M M M M M M M M M M M M M M	YE 2.9 YE 2.9 YE 2.9 YE 3.75 YE 2.3 YE 2.3 YE 2.3 YE 3.5 YE 3.5	1.25 1.25 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2 1.2	礼様 0.6 1.4 0.5 1.4 1.4 1.3 1.4 1.4 1.0 1.5 1.4 1.6 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0 1.0	ヨコケグ・ナゲ 内: ミオキ 内: ヨコケブ・ナゲ 内: ミオト 内: ナア 内: ナオ 内: ナオ 内: ナア 内: ナア 内: オーケーナゲ 内: ヨコナゲ・ナゲ	やや様 やや様 動物化む ややボー 1 mmの数なむ やで表 への、5 mmの砂粒をむむ やを相 こ mmの砂粒をむむ やで表 でで表 やで表 やで表 やで表 やで表 やで表 やで表 やで表 やで表 やで表	w w w w w w w w w w	に応い機 7.5VRT/4 (成列権 15VRT/4 (成列権 15VRT/4 (成列権 15VRT/5 種 5VR5/6 機 5VR6/6 (成列権 15VR4/2 (成列権 15VR4/2 (成列権 15VR4/2 (成列権 15VR4/3 (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS/ (K NS	元存 口除: 1/4 素合: 3/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-02 2098-02 2062-06 2024-04 2055-04 2056-03 2056-03 2056-02 2056-03	土製約轉來 計算軟 土田 土工 土工 土工 土工 土工 土工 土工 土工 土工 利型石製品 利工 有礼円輸 利工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和工 和	F33 G2# M41 G2# F32 G2# G2# G2# G2# G2# G2# G2# G2# G2# G2	呼 2.9 ・ 2.7 ・ 1 ・ 2.3 ・ 1 ・ 2.3 ・ 1 ・ 2.3 ・ 1 ・ 2.3 ・ 1 ・ 2.4 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・ 1 ・	1.25 1.26 1.27 1.28 1.27 1.28 1.28 1.2.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1.1 1	孔様 0.6 2.8 2.8 2.1 0.15 2.1 0.15 2.16 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2 0.2	ココケデ・ナデ 内: とオキ 内: とオト 内: とオト 内: たオト 内: ナア 内: ナア 内: ナア 内: カナデ・ナデ 内: ヨコナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデオヤエ	やや様 やや様 動物化む やをボー1mm/機砂松を含む でで素・1mm/機砂松を含む やで相 () 5 mm/砂砂粒をむ やで相 () 5 mm/砂砂粒を含む やで素 () 5 mm/砂砂粒を含む やで素 () 7 mm/砂粒なむ やで素 () 7 mm/砂粒会し やで素 () 7 mm/砂粒会し		に応い機 7.5VR7/4 及業権 15VR8/3 に応い機 2.5VR5/6 機 5VR6/6 原義 15VR4/2	元存 口線: 1/4 系市: 3/4 口線: 1/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2098-02 2098-02 2098-06 2024-04 2050-09 2044-04 2050-09 2044-04 2050-09	土製約轉來 計算數 計算數 土工 土工 土工 土工 土工 土工 土工 土工 利型石製品 利工 有礼円験 人 有礼円験 人 有礼円験 人 人 和 之 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五 五	F33 Style M41 Style M41 Style F32 Style Style F33 F33 F33 F33 F33 F33 F33 F33 F33 F3	呼 3.75 - - - - - - - - - - - - -	1.25 1.25 1.27 1.27 1.27 1.27 1.27 1.27 1.3.7 1.1.1 1.1.3 1.1.1	 私性 0.6 九様 0.55 入札様 2.3 九様 0.2 二 二 編約様 0.2 二 三 二 <l>二 二 二 二 二<td>ココケグ・ナゲ 内: ミオキ 内: シオケ カ: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: コナデ・オサエ 内: ココナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ</td><td>やや様 やや様 動物化む やを着 1 mmの形容なむ やで素 - 1 mmの形容なむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やで着 やで素 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・</td><td></td><td>に応い機 7.5VR7/4 及興性 10VR8/3 に応い機 2.5VR5/6 機 5VR6/6 原義 10VR4/2 成興性 10VR4/2</td><td>元存 口線: 1/4 素市: 3/4 口線: 1/4 口線: 1/6</td><td> 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g </td></l>	ココケグ・ナゲ 内: ミオキ 内: シオケ カ: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: コナデ・オサエ 内: ココナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ	やや様 やや様 動物化む やを着 1 mmの形容なむ やで素 - 1 mmの形容なむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やで相 - 0. 5 mmの形容なむ やで着 やで素 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・		に応い機 7.5VR7/4 及興性 10VR8/3 に応い機 2.5VR5/6 機 5VR6/6 原義 10VR4/2 成興性 10VR4/2	元存 口線: 1/4 素市: 3/4 口線: 1/4 口線: 1/6	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 499 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2003-02 2098-02 2098-02 2098-06 2024-04 2056-09 2044-04 2050-03 2050-0	上製品轉車 動類車 上面器 動類車 上五 上五 上五 上五 自五 有礼円離 行五 有礼円離 相同 一面 一面 一面 一面 一面 一面 一面 一面 一面 一面	F33 S27 M41 S27 M41 S27 F32 S27 S27 S27 S27 S27 S27 S27 S27 S27 S2	呼 3.75 - - - - - - - - - - - - -	1.25 1.27 1.28 1.2.1 1.2.1 1.3.7 1.1.1 3.7 1.1.1 1.1.1 1.1.1 1.1.1	 私性 0.6 九様 0.85 九様 2.3 九様 0.2 本様 本様 ・ 	ココケデ・ナデ 内: ミオキ 内: ミオト 内: ミオト 内: ミオト 内: ナア 内: ナア 内: ナア 内: コナデ・オテ、 内: ヨコナデ・オテ、 内: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ オリコナデ・ナデ オリコナデ・ナデ、オサエ 内: ヨコナデ・ナデ、オサエ 内: ヨコナデ・ナデ、オサエ	やや様 やや様 動物化む やで表 - 1 mmの形成化セクで表 - 1 mmの形成化を含む やで根 ーの、5 mmの形成を含む やで相 ・ 2 mmの形成化を含む やで表 ・ やで表 ・ やで表 ・ である ・ でを表		に応用 7.5VR7/4 (成別 10VR8/3 に応用 25VR5/6 種 5VR6/6 動物 6VR2/1 (成異 10VR4/2	元存 口除: 1/4 所合: 3/4 口除: 1/4 口除: 1/4 口除: 1/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2050-09 2044-04 2050-03 2050-02 2053-06 2048-04 2048-04 2048-01 2048-05 1010-04	上製品轉車 動類車 上面 上五 上五 上五 上五 上五 上五 上五 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	F33 G24 M41 M24 M24 F22 G25 F23 G21 G21 G31 G31 G31 G31 G31 G31 G31 G31 G31 G3	18	1.25 1.27 1.28 1.29 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20	 私性 0.6 九様 0.55 九様 2.3 九様 2.3 九様 0.15 九様 0.2 九様 0.2 二 編が様 5.0 二 二	ココケデ・ナデ 内: ミオキ カ: ココナデ・ナデ 内: ミオキ 内: ナスト 内: ナスト 内: ナスト 内: ココナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ カ: ココナデ・ナデ オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ	やや様 ややボー のを表した やを表した ・ 1 mmの形容なし やで表 ・ 2 mmの形容なむ やでも ・ 2 mmの形容なむ ・ 2 mmの形容なし ボール ・ 2 mmの形容なし ボール ・ 2 mmの形容なし ボール ・ 2 mmのの解析を含む		に応い機 7.5VR7/4 及業 10VR8/3 に応い場 2.5VR5/6 機 5VR6/6 高度 5VR2/1 反英略 10VR4/2 成英略 10VR4/2	元行 口除: 1/4 高台: 3/4 口除: 1/4 口除: 1/6 口除: 1/4 口除: 1/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 495 496 497 498 499 500 501 502	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2004-05 2003-04 2008-02 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2050-03 2050-02 2053-06 2048-04 2058-06 2048-04 2048-04 2048-04 2048-04 2048-04 2048-04 2048-04 2048-05	上製品轉車 動類車 上面調 動類車 上五 上五 上五 上五 上五 利型石製品 行1五 有礼円盤 松電子 松電子 松電子 松電子 大線 機 大線 大線 大線 大線 大線 大線 大線 大線 大線 大線	日 5 3 8 3 1	18	1.25 1.27 1.28 1.21 1.21 1.21 1.21 1.21 1.22		ココケデ・ナデ 内: ミオキ カ: ココナデ・ナデ 内: ミオキ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ココナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ カ: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ココナデ・ナデ・オヤエ 内: ココナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ 月: ヨコナデ・ナデ 月: ヨコナデ・ナデ	やや様 ややボー をかだした。 ややボー 1 mmの形を立む ででボー 1 mmの形を立む ででボー 1 mmの形を立む ででボー 1 mmの形を立む ででは、 1 mmの形を立む ででは、 1 mmの形を立む ででボー 1 mmの形を立む ででボー ででボー ででボー ででボー ででボー ででボー ででボー ででボ		に応い機 7.5VR7/4 成異性 10VR8/3 に応い業 2.5VR5/6 種 5VR6/6 病菌 6VR2/1 成異性 10VR8/2	元行 口除: 1/4 高台: 3/4 口除: 1/4 口除: 1/6 口除: 1/4 口除: 1/4 口除: 1/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-04 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2050-09 2044-04 2050-03 2050-02 2053-06 2048-04 2048-04 2048-01 2048-05 1010-04	上製品轉車 動類車 上面 上工 上工 上工 上工 上工 上工 上工 (1) 五 (4) 製品 (4) 具品 (4) 具品 (4) 具品 (4) 具品 (4) 具品 (4) 具品 (4) 具品 (4) 具品 (4) 具品 (4	F33 日本 F33 日本 F33 日本 F34 日本 F35 日本 F35 日本 F35 日本 F35 日本 F37	18	1.25 1.27 1.28 1.29 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20		ココケデ・ナデ 内: ミオキ カ: ココナデ・ナデ 内: ミオキ 内: ナスト 内: ナスト 内: ナスト 内: ココナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ カ: ココナデ・ナデ オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ、オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ	やや様 ややボー のを表した やを表した ・ 1 mmの形容なし やで表 ・ 2 mmの形容なむ やでも ・ 2 mmの形容なむ ・ 2 mmの形容なし ボール ・ 2 mmの形容なし ボール ・ 2 mmの形容なし ボール ・ 2 mmのの解析を含む		に応い機 7.5VR7/4 及業 10VR8/3 に応い場 2.5VR5/6 機 5VR6/6 高度 5VR2/1 反英略 10VR4/2 成英略 10VR4/2	元行 口除: 1/4 高台: 3/4 口除: 1/4 口除: 1/6 口除: 1/4 口除: 1/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 495 496 497 498 499 500 501 502	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2004-05 2003-04 2008-02 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2050-03 2050-02 2053-06 2048-04 2058-06 2048-04 2048-04 2048-04 2048-04 2048-04 2048-04 2048-04 2048-05	上製品轉車 動類車 上面 上工 上工 上工 上工 上工 上工 上工 (1)至 有礼円離 化工 和之 利配 (2)取品 (2)取品 (2)取品 (2)取品 (2)取品 (2)取品 (2)取品 (2)取品 (3)取品 (3)取品 (4)	日 5 3 8 3 8 5 18 8 5 18 9 5 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18 18	18	1.25 1.27 1.28 1.21 1.21 1.21 1.21 1.21 1.22		ココケデ・ナデ 内: ミオキ カ: ココナデ・ナデ 内: ミオキ 内: ナオ 内: ナオ 内: ナオ 内: ココナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ カ: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ココナデ・ナデ・オヤエ 内: ココナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ・オヤエ 内: ヨコナデ・ナデ 月: ヨコナデ・ナデ 月: ヨコナデ・ナデ	やや様 ややボー をかだした。 ややボー 1 mmの形を立む ででボー 1 mmの形を立む ででボー 1 mmの形を立む ででボー 1 mmの形を立む ででは、 1 mmの形を立む ででは、 1 mmの形を立む ででボー 1 mmの形を立む ででボー ででボー ででボー ででボー ででボー ででボー ででボー ででボ	\$\psi\$	に応い機 7.5VR7/4 (成興性 10VR8/3 に応い素化 2.5VR5/6 様 5VR6/6 原義性 10VR4/2 (成興性 10VR8/3 反演性 10VR4/2 (成興性 10VR8/3 反 N5/ に応い機 7.5VR7/4 反 N5/	元行 口除: 1/4 高台: 3/4 口除: 1/4 口除: 1/6 口除: 1/4 口除: 1/4 口除: 1/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-02 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2056-09 2044-04 2058-06 2048-04 2048-04 2048-01 2048-05 1010-04 1007-06	上製約轉車 動類車 上面 上五 上五 上五 上五 上五 上五 上五 上五 上五 上五	F33 School	18	1.25 1.27 1.20 1.21 1.21 1.22 2.7	 私性 0.0 1.0 2.3 3.0 4.0 5.0 6.0 6.0 7.0 7.0	ココケデ・ナデ 内: ミオキ カ: ココナデ・ナデ 内: ミオト 内: ミオト 内: ナア 内: ナア 内: ココナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや様 ややボー を変数とした やを表した ・ 1 mmの形を立む やで表 ・ 2 mmの形を立む ボールmのの形なった ボールmのの形を立む ボールmの形を立む ボールmの形を立む ボールmのをを全力し ボールmのををを立む ボールmのををを立む ボールmのををを立む ボールmのををを立む ボールmのををを立む ボールmのををを立む ボールmのををを立む ボールmのををとなむ ボールmのををとなむ ボールmのをとななし ボールmのとをなるとなり ボールmのとをなるとなり	\$\psi\$	広が機 7.5VR7/4 成英権 15VR8/3 にかい機 2.5VR5/6 権 5VR6/8 高橋 5VR2/1 成英権 16VR4/2	元行 口除: 1/4 高台: 3/4 口除: 1/4 口除: 1/6 口除: 1/4 口除: 1/4 口除: 1/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-02 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2056-09 2044-04 2058-06 2048-04 2048-01 2048-05 1010-04 1007-06	土製約轉來 上 工 土 工 土 工 土 工 土 工 土 工 土 工 土 工 土	F33 G28 M41 M41 M22 M28 F32 G28 F32 G31 G31 G31 G31 G31 G31 G32 G31 G32 G33 G33 G33 G33 G33 G33 G33 G33 G33	18	1.25 1.27 1.21 1.22 2.7	 私性 0.0 1.0 2.3 2.4 2.5 2.6 3.6 4.6 4.6 5.6 6.6 6.6 6.7 6.7 6.8 7 8.6 9 9	ココケデ・ナデ 内: えばキ か: ココナデ・ナデ 内: えばキ 内: ナア 内: ナア 内: ナア 内: カコナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ カ: ココナデ・ナデ・オサエ	やや様 ややボー をかった。 ・1 mmの形容さむ ・での書。 ・1 mmの形容さむ ・での書。 ・1 mmの形容さむ ・での。 ・のの。 ・ののの形容さむ ・での。 ・ののの形容さむ ・での。 ・ののの形容さむ ・での。 ・ののの形容さむ ・での。 ・ののの形容さむ ・での。 ・ののの形容さむ ・での。 ・ののの形容さむ ・でのできます。 ・でのでのでのでのできます。 ・でのでのでのでのでのでのでのできます。 ・でのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでのでの	\$\psi\$	に応い機 7.5VR7/4 (成興性 10VR8/3 に応い素化 2.5VR5/6 様 5VR6/6 原義性 10VR4/2 (成興性 10VR8/3 反演性 10VR4/2 (成興性 10VR8/3 反 N5/ に応い機 7.5VR7/4 反 N5/	元存 口線: 1/4 高白: 3/4 日線: 1/4 口線: 1/4 口線: 1/4 口線: 1/4 口線: 1/4 口線: 3/4 四線: 3/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 500 501 502 503 504 505 506	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-02 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2056-03 2056-06 2048-04 2048-04 2057-06 2048-05 1010-04 1007-06 2057-06	上製品轉車 助轉車 上班 上工 上工 上工 上工 上工 上工 (1) 工 (1) 工 (2) 製品 (2) 製品	F33 G24 M41 M41 M22 M74 F32 G25 G37 G31	18	1.25 1.27 1.21 1.22 1.27 1.22	 私性 0.0 1.0 2.3 2.4 2.5 2.6 3.6 4.6 4.6 5.6 6.6 6.6 6.7 6.7 6.8 7 8.6 9 9	ココケデ・ナデ 内: ミオキ カ: ココナデ・ナデ 内: ミオト 内: ミオト 内: ナア 内: ナア 内: ココナデ・ナデ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ			に応い機 7.5VR7/4 成異性 10VR8/3 に応い機 2.5VR5/6 種 5VR6/6 病機 10VR4/2	元存 口縁: 1/4 高合: 3/4 日縁: 1/6 日縁: 1/6 日縁: 1/10 日縁: 1/10	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 488 489 490 491 492 493 494 495 500 501 502 503 504 505 506 507	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-02 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2056-06 2048-04 2048-01	上對於轉來 計算數 計算數 於轉來 上五 上五 上五 上五 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一 一	F33 S27 M41 S27 M41 S27 F32 S27 S37 S37 S37 S37 S37 S37 S37 S37 S37 S3	18	1.25 1.27 1.20 1.21 1.21 1.22 1.27 1.00	北世 0.0 0.0 1.0 1	ココケデ・ナデ 内: えばキ か: カコナデ・ナデ 内: たば木 内: ナア 内: ナア 内: ナア 内: カコナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ カ: ヨコナデ・ナデ カ: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・オテ・オナ 内: ヨコナデ・オナ 内: ヨコナデ・オナ カ: ヨコナデ・オナ カ: ヨコナデ・オナ カ: ヨコナデ・オナ カ: ヨコナデ・オナ カ: ヨコナデ・オナ カ: ヨコナデ・オナエ	やや様 やや様 砂砂を打し やを着 (中の番 - 1 mmの形を含む やで素 やでも へ 1 mmの形を含む やでも でを表 やで素 やで素 やで素 やで素 やで素 でで素 でで素 ・ 1 mmの形を含む 素 素 での間 こののをを含む		に応い機 7.5VR7/4 成異性 10VR8/3 に応い器 2.5VR5/6 種 5VR6/6 病菌 6VR2/1 成異性 10VR4/2	元存 口縁: 1/4 高合: 3/4 日縁: 1/6 日縁: 1/6 日縁: 1/10 日縁: 1/10 日縁: 1/10	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 490 491 492 493 494 495 500 501 502 503 504 505 506 507 508	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-02 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2056-03 2046-04 2048-04 2048-01 2048-05 1010-04 1007-06 2057-0	上製品轉車 助轉車 上面 動機車 上工 上工 上工 上工 上工 大工 大工 (1) 工 (1) 工 (2) 製品 (2) 製品	F33 G24 M41 M41 M22 M24 F32 G25 F32 G31	18	1.25 1.27 1.20 1.21 1.21 1.22 1.27 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20 1.20	北世 0.0 0.0 1.0 1	ココケデ・ナデ 内: えばキ か: ココナデ・ナデ 内: えばキ 内: ナア 内: ナア 内: ナア 内: カコナデ・ナデ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ・オサエ 内: ココナデ・ナデ カ: ココナデ・ナデ・オサエ	やや様 ややボーン のの表表した やを表した ・ 1 mmの形を立む ・ 2 mmの形を立む ・ 1 mmの形を立む ・ 2 mmの形を立む ・ 2 mmの形を含む ・ 2 mmの形をさたむ		に応い機 7.5VR7/4 (成興度 10VR8/3 に応い機 2.5VR5/6 機 5VR6/6 関格 5VR2/1 (成興度 10VR8/3 (成明度 10VR8/3 (成明度 10VR8/3 (成明度 10VR8/3 (成明度 10VR8/3 (成明度 10VR8/4 (成明度 10VR8/4 (成明度 10VR8/2 (成明度 10VR8/2 (成明度 10VR8/2 (成明度 10VR8/2 (成明度 10VR8/3 (成明度 10VR8/4 (成明度 1	元存 口縁: 1/4 高台: 3/4 日縁: 1/6 日縁: 1/6 日縁: 1/1 日縁: 1/1 日縁: 1/1 日縁: 1/1 日縁: 1/1 日縁: 1/1 1/4	 最 25.3 x 機存置量 8.96 g 最 28.83 g 量 20.31 g 最 27.05 g・孔径0.15cm 重 50.18 g 九12 2 ヶ所費 5 重 2 12.9 g 最 2 12.9 g 最 2 12.9 g
481 482 483 484 485 486 487 490 491 493 494 495 496 497 498 499 500 501 502 503 504 505 506 507 508	2002-04 2098-09 2013-05 1010-07 2003-01 2014-05 2003-02 2098-02 2098-06 2024-04 2055-04 2056-06 2048-04 2058-06 1010-04 1007-06 1007-06 2053-07	上製約轉車 動類車 上級 計算 上工 上工 上工 上工 上工 上工 上工 上工 上工 (1) 至 有礼円號 化工 (2) 製品 (2)	日本	18	1.25 1.27 1.20 1.21 1.21 1.21 1.22 1.2 1.3 1.14		ココナデ・ナデ 内: と オキ ハ: と オキ ハ: と オキ ハ: ア オ ハ: と オキ ハ: ア オ ハ: ア オ ハ: ア オ ハ: フ カ ハ: フ カ	やや確 ・ (**) ででき ・ (**) を ・ (**)		広が増 7.5VR7/4 及興性 10VR8/3 にかっ物性 2.5VR5/6 種 5VR6/6 高度 5VR2/1 次興性 10VR4/2 次興性 10VR4/2 次興性 10VR4/2 次興性 10VR4/2 次興性 10VR4/2 次明性 10VR4/3 反 N5/	元存 口縁: 1/4 高台: 3/4 日縁: 1/6 日縁: 1/6 日縁: 1/1 日縁: 1/1 日縁: 1/1 日縁: 1/1 日縁: 1/1 日縁: 1/1 1/4	最 56.95 g

第8表 出土遺物観察表(8)

_												
No.	登録番号	25 MG	適 標 出土位置	LI 秩	器高	CIR.	調整技法の特徴	Mr ±	焼成	<u>6</u> #	费存	(# *
512	2043-08	土師28	S 55 S K 125	9. 0	1.4		内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 微砂粒含む		にぶい黄橙 10YR7/3		
513	1003-05	±91% II	P 59 S X 93	7.7	1.1	_	内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	物の粒を含む やや他	並	にぶい黄橙 10YR 7/2 にぶい橙 2.5YR 6/4	完形	
514	1003-03	上師器	P 59	7.8	1.0		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや者		内:にぶい養権 10YR7/2 掲択 10YR6/1 外:灰白 2.5Y7/1 黄灰 2.5Y5/1	日報:3/4	
-	-	上前器	S X 93 P 59								□練:1/4	
515	1003-06	MI.	S X93 P 59	8. 0	1.1	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 機器粒を含む	-	浅黄橙 7.5YR8/4		
516	1004-02	五器	S X 93	11.6	3.0		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密		灰白 5 Y 8 / 1	口縁:1/2	
517	1031-03	施	P 59 S X 93	12.0	2. 9		内:ョコナデ・ナデ 外:ョコナデ・ナデ・オサエ	·		灰 N5/ 新面: 灰白 N8/	日献:1/4	
518	1004-03	瓦器 概	P 59 S X 93	12. 0	3.0	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや他	披	灰 N6/6 断面: 灰白 N8/0	□縁:5/6	
519	1031-02	n is M	P59 S X93	11.0	2.9	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	æ		災 N5/ 新面: 渓白 N8/	日練:1/4	
520	2048-02	E.W	S 54	13. 0	3.0	 	外: ヨコナデ・ナデ・ミガキ 外: ヨコナデ・ナデ	*	_	灰 N5/	08:1/4	
\vdash		機 反器	S K 130		 -					新面:灰白 N 8 /	08:1/4	
521	2048-06	#4	S K 130	11.0	3. 0		内: ヨコナデ・ミガキ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	es		沢 N4/ 新面: 沢白 N7/	DM: 1/4	
522	2098-07	土師器 肌	T59 S D111	8. 5	1.2	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・オサエ	やや密 1.5mの砂粒含む	並	後美橙 10YR 8/3		
523	2102-04	陶器 花瓶	T59 S D111	3. 2	-	-	ロクロナデ	er.	並	灰白 2.5Y8/1	日韓:ほぼ完存	沈線あり 底部に施務?
524	2090-01	琳恕 使	S 60 S D 111	41.0	-	-	ロクロナデ	やや密 ~ 3 mmの砂粒含む	並	楊灰 10YR5/1	山麓:1/6	
525	1029-08	上師器	P50	7. 8	1.2	-	内:ナデ・ヨコナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	PP#	В	にぶい黄橙 10YR 7/3		
-		上好器	P 1						Ř		日献:1/5	
526	1030-01	а	PI	8. 5	1.3		内:ナデ・ヨコナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや街		茂黄橙 10YR 8/3	 	
527	2029-06	北部器皿	L31 Pit 2	9. 0	1.4		内:ョコナデ・ナデ 外:ョコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~ 2. 5 mの砂粒含む		橙 7.5YR6/6	口録:1/4	
528	2029-03	上師器	T 58 Pi 1 7	8. 5	1.4	-	ヨコナデ・ナデ	やや密	並	療灰黄 2.5Y4/2 にぶい黄檀 10YR7/3	口縁:1/3	
529	2029-04	±9128 III	T63 Pit 4	8.0	1.4	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや後	1Æ	にぶい黄橙 10YR6/3	□練:1/3	
530	2029-05	土師舞	S 63	8. 0	1. 2		内:ョコナデ・ナデ 外:ョコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~1.5mの砂粒含む	並	灰黄褐 10YR 5/2	日韓:1/4	
531	2029-02	士師器	S 63	8. 2	1.1		外: ヨコナテ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	~ 1. 5 mmの砂粒含む やや密 ~ 5. 5 mmの小石含む	10	にぶい黄檀 10YR7/3	完形	
\vdash		in .	Pit 2	8. 5 8. 2					-		 	
532	2029-01	1:0128	S63 Pit 2	8.1	1.2		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~ 3 mmの砂粒含む		にぶい黄橙 10YR7/3	完形	
533	2024-03	16.28 46	D32 Pit 5	16.3	4. 5	台径 6.4	内:ミガキ 外:ナデ・オサエ	æ	æ	内:灰白 10YR8/2 灰 N4/0 外:にぶい橙 5YR7/4 灰白 2.5YR8/1	日縁: わずか 高台: 1/4	
534	2103-06	H. 25	U63 Pit 3	13.0	3. 0		内:ミガキ 外:ナデ	やや密		灰 5 Y 6 / 1	口練: 1/4 高台: 1/3	
535	2104-01	N. 35	R 55	13. 5	4.5		内: ミガキ 外: ナデ・ミガキ	やや密	3P	灰 7.5¥6/1	口練:小 片 高台:1/2	
536	2056-04	F. 92	Pit 1 S61	14.5			外:ナデ・ミガキ 内:ヨコナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	e e	_	灰白 10YR8/1·8/2	高台:1/2 日線:1/3	
-		総 五器	P 6		4. 3		外: ヨコナデ・ナデ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ		**	灰 N5/	-	
537	1031-04	ш	P 9	9. 6	2.0		外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	Æ		灰 N4/ 断面:灰白 N8/	日禄:3/4	
538	1032-04	及器 皿	Q58 P11	10. 0	2. 1	-	内: ミガキ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	æ	嶷	灰 N5/ 断面:灰白 N8/	ほぼ完形	
539	2011-03	Philips And	K31 P 1	15.0	-	-	内: 施稿 外: 施稿・ロクロケズリ	æ	Д	軸:明オリープ灰 5GY7/1 素地:灰黄巻 10YR6/2	□Mr 1 / 8	
540	2051-04	±8688	R 60	9. 0	1.3	-	76.4846 - 7 - 777	*	8	断画: 反白 N 7 / に ぶい黄檀 10 Y R 7 / 4	口練:1/6	
		1:40部	包含層 R · S63				jh · +≠				 	
541	2050-04	II.	包含層	8.5	1. 45		内: ナデ 外: ナデ・オサエ	やや 在	312	にぶい黄橙 10YR7/2	口線:1/5	
542	2012-05	工師器	R61 包含層	8. 0	1.5		ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~ 1. 5 mmの砂粒含む	鳌	浅黄橙 7.5YR8/3	口林:1/3	
543	2012-07	土師器 皿	D32 包含屬	9. 0	1.4		内:ョコナデ・ナデ 外:ョコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~ 1 mの砂粒含む	业	灰白 10YR 8/2	日韓:1/4	
544	2072-04	土86報 祖	F32 包含層	8. 5	1.5	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~ 2 mmの砂粒含む	雑	橙 7.5YR7/6	日禄:1/4	
545	2051-03	1:05 25	R55 包含層	9. 6	1. 9		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	æ	12	にぶい慢 7.5YR 7/4	Π kk :1/4	
546	2015-06	1:14:88	5.58	7.8~8.0	1.5	-	カ: ヨコアア・アア・オマエ :ョコナデ・ナデ	****	- 14	にぶい黄橙 10YR 7/3	一部女	
\vdash		III.	包含層 R62		 		l					
547	2050-08	ш	包含層	8. 0	1.2		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密	並	内: 浅葉権 10YR 8 / 3 外:にぶい黄権 10YR 7 / 3	日報:1/4	
548	1032-03	1:66 MS	P60 包含屬	7.7	1.2	-	内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	ē		黄灰 2.5Y 4/1	日禄:5/8	
549	2043-04	士師器 誰	R 62 包含層	8, 5	1.4	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 機砂粒含む	₩.	内:にぶい黄橙 7.5YR7/4 外:にぷい黄橙 5YR6/4	口練:1/4	
550	2013-02	上師器 回	D32 包含屬	8. 0	1. 3	-	内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや良 ~1mmの砂粒含む	披	にぶい黄橙 10YR7/3	口練:1/2	
551	2088-05	土師器	R64	11.0	1.7	1	33+7.+9	やや書	2	後黄橙 10YR 8/3	日報:1/5	
-		上新器	包含層 R 57		 	├	内・ココナデ・ナデ	撒砂粒、5mmの小石含む		にぶい黄檀 10YR 7/3 内: 灰白 2.5Y7/1		
552	2101-07		包含層	8. 2	1. 25		内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・オサエ	やや車		内:灰白 2.5Y7/1 外:後黄 2.5Y7/3 にぶい橙 2.5Y6/3	口級:1/4	
553	1030-02	上師舞	P58 包含層	8. 2	1.4	-	内:ナデ・ヨコナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや咀	_	機 5YR7∕6	口縁:一部矢損	底部外面に裏の痕跡あり
554	2043-05	土所器 皿	R 62 包含屬	8. 5	1.3	-	ョコナデ・ナデ	やや密 徹砂粒含む	並	内:にぶい黄橙 10YR7/3 外:橙 5YR6/6	口味: 1/4	
555	2043-03	1:05 2S	R 58 包含層	8.0	1.8	-	内:ヨコナデ 外:ヨコナデ・ナデ	やや密		内:浅葉橙 7.5YR8/4 にぶい橙 7.5YR7/4 外:にぶい橙 7.5YR7/3 灰褐 7.5YR5/2	ほぼ完存	
556	2012-06	±9688	D31	9. 0	1.8		外: ヨコアア・アア ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや後 ~ 1 mmの砂粒含む		たい他 7.5YR7/3 次南 7.5YR3/2	日献: 1/4	
557		上節器	包含層 R64					わわま			DM: 1/4	#12 F
\vdash	2088-06	п	包含層	10.0	1.5	$\overline{}$	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	~1 mmの砂粒含む	_	浅黄橙 7.5YR8/4	!	
558	2015~07	土飾器 血	S 58 包含屬	8. 5	1.4	-	ヨコナデ・ナデ	やや密 ~ 2 mmの砂粒含む	並	にぶい黄橙 10YR 7/4	口縁:1/2	底部に円形の穿孔あり
559	1029-06	土師器	Q53 包含屬	8. 4	1.0		ナデ・オサエ・ヨコナデ	やや密	Д	灰白 10YR 8/2	□縁:2/3	
560	2074-03	土師器	F 32 包含層	9.0	1.4		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	ŧ	佐	にぶい黄橙 10YR 7/3	日報: 1/4	
561	1013-04	上新器	B地区	8. 5	1.3		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・オサエ	やや粗 ~2 ■の砂粒を含む	æ	内:にぶい黄橙 10YR7/3 外:にぶい橙 7.5Y6/4	□ ₩ :7/8	
562	1013-06	上的器	表土除去 B地区	8.4	1.4		外: ヨコナテ・オサエ 内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・オサエ	~ 2 曲の砂粒を含む		外:にぶい世 7.5Y6/4 にぶい情報 10YR7/2、7/3	完形	
-		m	表土除去	8.6	-							
563	1013-05	±6628	B地区 表土除去	10.0	1.4	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや密 集砂粒を含む	世	灰白 10YR 8/2	口號:4/5	
564	2050-06	上級器	U64 包含屬	9. 0	1.3	-	ヨコナデ・ナデ	やや鹿	业	灰黄袍 10YR6/2	□観:1/4	
565	1013~07	上師器	Q59 包含層	8. 5	1.4		内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや密	良	にぶい黄橙 10YR 6/3	口線:3/4	
566	2072-05	土師器	F32 包含層	8. 5	1.2	-	内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~ 2 mの砂粒含む	#	橙 7.5YR7/4	日報: 1/4	
\vdash		上所認	R 56		t						├ ──	
567	2015-04		包含層 S.58	7.5	1.4	├	3 コナデ・ナデ	やや根 ~2mの砂粒含む		におい黄根 10YR7/4	口味: 1/4	
568	2015-05	北部線	包含屬	7.9~8.2	1.6		ヨコナデ・ナデ	やや密 ~3.5mmの小お含む		にぶい黄檀 10YR7/3	完存	
569	2101-03	土師器 皿	R 57 包含屬	8. 2	1.2	_	内:ョコナデ・ナデ 外:ョコナデ・ナデ・オサエ	やや密	並	内:にぶい機 2.5VR6/4 にぶい黄徳 10VR7/2 外:にぶい機 5VR6/4 梅灰 5VR4/1 にぶい黄樹 10VR7/3	□輸:3/8	
570	2050-05	上節粉	S 57 包含層	8. 0	1.1	-	ョコナデ・ナデ	やや密 ~ 1 mm の砂粒含む		にぶい美権 10YR 7/3	日報:1/2	
571	2050-07	上的鍵	S 57	8. 5	1.3		Bコナデ・ナデ	やや車		灰白 10YR8/2	₽ ₩ :1/3	
572	1029-07	土部部	包含層 Q58					~2mmの砂粒含む 密				
\vdash	_	N.	Q58 包含層	8. 4	1.4		内:ナデ・ヨコナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ 内:ヨコナデ・ナデ			に歩い黄檀 10YR7/3 pa・にだい番組 10YR5/3	口練:完存	<u> </u>
573	1013-03	上師器 編	Q62 包含層	22. 0			内:ョコナデ・ナデ 外:ョコナデ・オサエ	やや密 機砂粒を含む		内: にぶい黄褐 10YR5/3 外: 灰黄褐 10YR6/2	口録:1/5	口縁部内外面に媒が付着
	2096-03	土師器 編	C地区下層 賽上除去	23. 5	-		内 : ナデ 外 : ナデ・ケズリ	やや租 ~ 2 mmの砂粒含む	æ	内:灰傷 7.5YR6/2 外:にぶい機 7.5YR6/4 灰傷 7.5YR4/2	日献:1/10	
574						1	A · +€	やや粗		内:にぶい黄檀 10YR6/3 灰橋 7.5YR5/2 外:灰黄橋 10YR6/2 橋灰 10YR4/1		
574 575	2096-02	井飾器 羽雀	C地区下層 賽土除去	26. 5	-	-	内:ナデ 外:ナデ・ケズリ	~4 mの小石含む	12 I	外:灰黄梅 10YR6/2 梅灰 10YR4/1	口號:1/9	

第9表 出土遺物観察表(9)

No.	登餘曲号	29 16	遺 構 出土位置	ti fğ	器高	その他	調整技法の特徴	Mrs ±	壊战	é a	表 伴	# *
576	2096-01	北神器 羽筆	C地区下層 表土除去	27.5	-		内:ナデ 外:ナデ・ケズリ	やや祖 ~3mの砂粒含む	*	にぶい格 7.5YR6/3 集権 10YR3/1	口線: 1/8	
577	2011-01	土卸器 羽盖	E 32 包含層	28. 0	-	卸托 34.0	Bコナデ・ナデ	やや者	*	+ CW 0 5110 0 (4 1-C) 40 0 C110 0 (4	日禄:1/3	
578	2053-03	友報 報	R 62 包含層	15. 6	-	-	ヨコナデ・ミガキ	やや密 ~3mの砂粒含む	不良	灰白 5 Y 8 / 1	DM: 1/4	
579	1015-02	ACRES Mi	表採	16.5	5. 7	高台程 7.0	内:ミガキ 外:ミガキ・貼付ナデ	***	*	沢黄 25Y7/2 暗灰 N3/	口献:1/3 高台:1/4	口縁部内面に沈線あり
580	2063-03	E.26	D32 包含屬	-	-	高台径	内: ミガキ 外: オサエ	やや衝	\neg			
581	2063-05	瓦器	D32 包含屬	16.0	-		内:ヨコナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・オサエ	やや後	B	manufacture of		
582	2068-04	ES N	D32 包含屬	15. 0	4. 2	-	内:ヨコナデ・ナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	æ	Ř	灰 N 4 / 新面: 灰白 N 8 /	口線: 1/4	
583	2068~05	16.88 解	D32 包含層	18. 0	4.3		内:ヨコナデ・ナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	æ		沢 N4/ 断面: 沢白 N8/	口輸:1/8	
584	2044-02	E.28	U63 包含欄	11.0	3. 6		内:ヨコナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・オサエ	やや密 機秘粒含む	#		□縁:1/3	
585	1015~01	五器 梅	P 59 包含屬	12. 3	3. 4		内:ミガキ 外:オサエ・ナデ・貼付ナデ	やや密 薬砂粒を含む	Ŗ	火 N 5 / 暗沢 N 3 /	口線:1/2 高台:完 存	口縁部内面に沈線あり
586	2089~01	反器 機	R 57 包含層	14. 2	4.1		内:ナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む		灰 N5/0	口縁:1/8 高台:1/2	
587	2063-04	反器 報	D32 包含權	15. 0	-		内:ヨコナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・オサエ	やや粗 ~2mmの砂粒含む	良	灰 N4/ 灰白 N8/		
588	2076-01	16.26 86	D33 拡張部	15. 0	4. 5		内:ヨコナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・オサエ	æ	12	T: N.4.60	口練:3/8 萬台:完 存	
589	2094-03	1.86 #4	包含層 C地区 トレンチ	13. 5	4. 3		内:ミガキ 外:ナデ・オサエ	密 ~1.5 ■の砂粒含む	22	# P M / /	口線: 1/4 高台: 1/4	
590	2069~01	五粉 報	D32 包含層	14. 0	5. 4	-	内: ヨコナデ・ナデ・ミガキ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	#:	Ř	灰 N4/ 新面: 灰白 N8/	日禄:1/3	
591	2093-01	EB N	D32 包含層	15. 0	4.4		内: ミガキ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	#E	良	灰 N4/ 断面: 灰白 N8/	口練:1/3 高台:2/3	
592	2093-03	K.BS Mi	R 59 包含屬	16. 0	5. 2		内:ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	#:		集 5 Y 2 / 1 断面: 浅黄檀 10 Y R 8 / 3	口練:1/4 高台:1/3	
593	2050-01	E.88	T62 包含屬	12.5	-		内:ヨコナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密		C N. C	口練:1/4	
594	2094-04	瓦器	C地区 トレンチ	14. 0	-		内: ミガキ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	密 ~1 mmの砂粒含む	並	- F 11 / /	口練: 1/4	
595	2044-01	瓦器 椀	R 63 包含層	15. 0	4.1		内:ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	æ	*	灰 N5/	口練:1/3 高台:1/6	
596	2076~02	16.28 Mi	D32 包含屬	15. 7	-	-	内: ヨコナデ・ナデ・ミガキ 外: ヨコナデ・オサエ	æ	*	沢 N4/0 灰白 2.5Y8/1 断面: 灰白 N8/0	口線: 3/4	
597	2062~07	K.22	D32 包含層	15.0	-		内: ヨコナデ・ミガキ 外: ヨコナデ・オサエ	やや密		灰 N4/	□#:1/3	
598	2071~05	瓦路	F 32 包含層	15. 0	-		内:ミガキ 外:ナデ・オサエ	やや密	12	沢 N5/ 新面: 灰白 7.5Y8/1	口線:1/6	
599	1031-01	瓦器 帳	Q58 包含層	12. 0	2. 7		内:3コナデ・ナデ 外:3コナデ・ナデ・オサエ	æ	Ŗ	沢 N-4/ 断面: 灰白 N-7/	日線:1/3	
600	2102-01	瓦器 柳	C地区下層 トレンチ東	-	-	高台班 5.0	ロクロナデ	æ	並	灰 N4/0 新畝: 灰白 N8/0	高台:1/2	
601	2071~04	E28	S 58 包含層	11.0	3. 2		内:ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密	*	灰 7.5Y5/1 新面: 浅黄梗 10YR8/3	日禄:1/2	
602	2053-02	反器 柳	R 58 包含層	11.4	-		内:3コナデ 外:3コナデ・ナデ・オサエ	æ		灰 N5/0 新面: 灰白 N8/0	口級: 1/4	
603	1007-03	瓦器 II	P 57 S H 19	10.0	2. 0		内:ミガキ 外:ヨコナデ・オサエ・ナデ	やや密		(E. N. 4. /	口練:1/3	
604	2069-05	F. 28	D33 包含屬	9. 0	1. 2		内:ヨコナデ・ミガキ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	*		暗灰 N3/ 灰白 N8/	日禄:1/2	
605	2013-01	K 25	D32 包含層	9. 4	1.7		内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・ナデ・オサエ	*	_	灰 N4/	日韓:1/2	内面に暗文あり
606	2089-02	K# U	T64 包含層	11.1	-		内:ミガキ 外:ヨコナデ・オサエ	やや密 機砂粒含む	ß	灰 N6/0·5/0	口線: 1/4	
607	2026-03	E#	C地区 包含編	8. 2	1. 7		内:ヨコナデ・ナデ 外:ヨコナデ・オサエ	密 機砂粒を含む	Д	灰 N4/0·5/0	ほぼ完形	
608	2058-01	常磁 桁	R 56 S H 48	15. 0	-	-		Æ	Ą	明練灰 7.5GY7/1	日練:1/8	
609	2057-05	磁器	U65 包含屬	15. 0	-	-		*	А	オリーブ灰 2.5GY 5/1	□縁:1/8	
610	2045-03	胸猴	R 63 包含層	13.0	-	-		老	#	輸: 庆オリーブ 5 Y 5 / 2 断面: 灰白 5 Y 7 / 1		全面複雜
611	2058-02	磁器機	T 64 包含屬	-	-	-		密	7	暗灰黄 2.5Y5/2		
612	2075-05	報報	R62 包含層	-	-	高台程 5.2	ロクロナデ	やや密	並	灰白 2.5Y8/1	高台:3/4	
613	2057-03	青磁 報	P 55 包含屬	-	-	高台径 5.2		*	Ŗ	灰オリーブ 7.5 Y 6/2		
614	2012-04	山茶帽	C 地区 包含層	-	-		ロクロナデ	老	Ą	灰白 2.5Y8/1	高台: 2/3	内面に自然軸 高台内に糸切痕
615	2022-01	金属製品 刀子	D38 包含層		-	-			Ι			
616	2033-07	金異製品 刀子	B地区 表土	-		-						
617	2033-01	金属製品 刀子	P59 包含屬	-	-	-			\perp			
618	2022-02	金異製品	E 36 包含層	-	-	-						
619	2033-08	金異製品	P 59 S X 93	-	-	-						
620	2022-05	金属製品	S 57 S K 14	-	-	-			Ι			
621	2022-04	金属製品	J 34 包含層	-	-	-			Π			
622	2033-03	金属製品	Q60 包含屬	-	-	-						
623	2033-06	金属製品	P16 包含層	-		-						
624	2033-09	金属製品	Q48 인含編	-	-	-			T			
625	2033-02	金属製品	P 59 包含層	-	-	-						
_			•									

日本日 1011 1011 1010	地区名	グリット	進杏時番号	報告書番号	性格	時 期	規模	特徵	備考
Por No. 1912							縦 × 横 × 深さ (m)		
Prime									
Pills 10									
변화									
PR-7-7 S110 5110 5120 200.00 200.00 100.00 200.00 <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td>									
P+46									
PARE SIMA SIMA BOTOR 支援機関 A-CLYS-CAVO-03-0.0 内容性質 内容性質 APPER			-						香権関係によって根権不明
P - Quit SDD 9 機									
지수									1000
전 5 - 8 5111 SK1									
Prime Sill Sil	A								
1139年 5111 5112									北辺にカマド
Q22-23 SITI SIT									
P2 SKIS SKIS 会社的 会社的 会社的 会社の 会社の<									
P24-25 S112 S2127 S2127 S2128 古漢國籍 分類 科学工作的 AMERICA On				ļ					
Ribble Siti7 S			-						
Q15-14 SK60 SK16 主状 占填模器 1, 5×1, 2×0, 3 無力 Q22 5160 5160 5160 お成成 お袋園で 中間 お園のみ Q6 5860 5120 土炭 角変数 40,3×0,7 この3×0×0,7 この3×0×0×0 上炭 日本の計画			—-						
Q22 SH40 SH40 整次性器 対策機関で 中間									ALEXA CONTROL
Q6 SK00 主状 異文 排入 持つ、3×0・7 上述はかべき、養養性質・大型 Q22 SH51 SH21 製売担保 (周銭株理・7円) 本品にかせき、養養性質・大型機能がある。 土地にかせき、養養性質・大型機能がある。 土地にかせき、養養性質・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・大型・			 						(本本の t)
Polity Sitist			-		ļ				外面のみ
P 42歳 SD16 SD22 度 中世? 報0.55×0.15 P 56歳 SH19 SH23 整次性限 占護機関 一辺3.33×0.15 Q 56 SK20 SK24 土地 中世? 1.7×1.05×0.5 P - Q 54 SH21 SH22 M26 古護機関 4.2×3.9×0.1 Q 64-67 SH22 SH26 数次住屋 古護機関 一辺3.4×0.2 SH26 SH26 Q 56 SH22 SH27 整次住屋 古護機関 一辺3.4×0.2 SH26 SH26 Q 56 SH22 SH26 公園 古護機関 一辺3.4×0.2 SH26 SH26 Q 56 SH25 SH26 公園 古護機関 一辺3.4×0.0 15 SH26 SH26 Q 60 SK26 SH26 古護機関 一辺4.15×3.3以上火、15 SH302と業 SH302と業 P - Q 50 SK26 SK21 地域 中世? 1.4×1.2×0.15 SH32と間 Q 60 SH27 SK28 地域 古護機関 一辺2.7×0.11 SH22・円<			+	_					ルカラエニ)。 乗権服務 (マレッ領域学院)
P566 S119 SYLD 繁次投稿 占填棄期 一位3、33×0.15 日本 Q36 SK20 SK24 土坂 中世ヤ 1.7×1.08×0.5 P - Q24 SH21 SH26 SK26 古墳集期 4.2×3.9×0.1 Q56 - 57 SH22 SH26 SK26 古墳集期 不明 監問解析上去 Q56 - 57 SH24 SH26 台灣集期 一辺 - 8×0.08 SH26 SH26 P - G81 - 67 SH26 SH26 台灣集期 一辺 - 8×0.08 SH26 SH26 P - G81 - 67 SH26 SH26 台灣集期 一辺 - 8×0.08 SH26 SH26 Q36 SH26 SH26 台灣集期 一辺 - 8×0.15 SH26 SH26 P - G81 - 67 SH27 SK11 土炭 中世? 1.4×1.2×0.15 SH26 P - G82 SH26 SH26 台灣集期 4×2.75×0.15 SH35 SH36 P - Q32 SH29 - - SH29 - - Q46 SH31			 						北辺にカマト、星復開体による規模小明
B SK20 SK24 土坂 中世? 1.7×1.05×0.5 P・Q24 SH21 SH25 整穴柱原 台灣接頭 4.2×3.9×0.1 日本 Q66・57 SH22 SH22 整穴柱原 古瀬陵頭 一切3.4×0.2 SH22 SH26 Q66・57 SH23 SH29 整穴柱房 古瀬陵頭 一切2.8×0.08 SH20×0.2 SH20×0.2 Q80 SK29 SH29 整穴柱房 古瀬陵頭 一切2.8×0.08 SH20×0.2			 		<u> </u>				
P - Q24 SH25 NH26 整次位数 古規後期 4、2×3、9×0、1 Q46 - 57 SH22 SH26 整次位数 古規後期 一辺3、4×0、2 SH28 SH28 整次位数 古規後期 不明 監責開係による Q46 - 57 SH28 SH28 整次位数 古規後期 一辺2、8×0、0 8 SH28 SH28 MX位数 P - Q51 - 52 SH28 SH28 整次位数 古規後期 一辺4、1 8×3、3 3以上×0、1 5 SH32と直接 Q50 SK28 SK30 土炭 中世? 1、9×1、2 6×0、1 5 SH33と直接 P - Q40 SK27 SK31 土炭 中世? 1、4×1、2×0、1 5 重視網係による P - Q40 SH39 SH32 整次位数 古規後期 4×2、7 6×0、1 5 重視網係による P - Q40 SH33 SH33 整次位数 古規後期 一辺2、7 ×0、1 1 Q40 SH33 SH33 整次位級 古規後期 一辺2、7 ×0、1 1 P4 SH33 SH36 整次位級 古護後期 一辺2、7 ×0、1 2 P4 SH33 SH36			 	-					
Base			 						
P56 SH23 SH27 整元任務 占填装剤 不明 監測解除による Q56・57 SH24 SH28 整元任務 古填装剤 一辺2、8×0、0 8 SH26 SH26 SH26 古填装剤 一辺4、15×3、3以上×0、15 SH32と重剤 P・Q50 SK26 SK30 土炭 中世? 1、9×1、2 5×0、15 SH33と重剤 P・Q50 SK27 SK31 土炭 中世? 1、4×1、2×0、15 重複解除によろ P・Q50 SK128 SH32 整元任務 古填装剤 4×2、75×0、15 重複解係によろ P・Q52 SH33 SH32 整元任務 古填装剤 4×2、75×0、15 重複解係によろ P・Q52 SH33 SH32 整元任務 古填装剤 4×2、75×0、15 P・Q53 SH33 SH34 整元任務 古填装剤 一辺2、7×0、11 P+Q54 SH33 SH35 整元任務 古減業剤 一型2、7×0、12 P+Q3 SK34 SK37 土板 中世? 0、75×0、75×0、26 P+B3 SK36 SK39 土板 中世?		P • Q24		S H25					
P · Q51 · 50 SH24 SH28 竪穴住居 古墳接稿 一辺 4 · 1 5 × 3 · 3 以上× 0 · 1 5 SH32と直稿 P · Q51 · 50 SH25 SH29 竪穴住居 古墳接稿 一辺 4 · 1 5 × 3 · 3 以上× 0 · 1 5 SH32と直稿 Q50 SK26 SK30 土坑 中里? 1 · 9 × 1 · 2 5 × 0 · 1 5 電荷開除による P · Q40 SK27 SK31 土坑 中里? 1 · 4 × 1 · 2 × 0 · 1 5 電荷開除による P · Q52 SH28 SH32 竪穴住居 古墳接稿 4 × 2 · 7 5 × 0 · 1 5 SH32と同一 Q50 SH30 SH33 竪穴住居 古墳接稿 一辺 2 · 7 × 0 · 1 1			 						
P・OSI・52 SH25 SH29 整欠性制 占機構制 一辺4.15×3.3以上×0.15 SH32と職権 Q50 SK26 SK30 土成 中世? 1.9×1.25×0.15 SH32を職務 P・Q60 SK27 SK31 土成 中世? 1.4×1.2×0.16 電機開係による P・Q52 SH28 SH32 整次性層 占機機関 4×2.75×0.15 SH32 Q50 SH30 SH33 整次性層 占機機関 一辺2.7×0.11 SH32と同一 Q50 SH31 SH34 整次性層 占機機関 一辺2.7×0.11 Q49 SH32 SH35 整次性層 占機機関 一辺2.7×0.12 P48 SH33 SH36 整次性層 占機機関 一辺2.7×0.12 P・Q56 SK34 SK37 上成 中世? 0.75×0.75×0.26 P53 SK38 土成 中世? 1.2×0.5×0.3 Q60 SK36 SK39 土成 中世? 1.2×0.5×0.3 P57 SK40 大板 中			 					1 19949 1000	
B Q80 SK26 SK30 土成 中世? 1.9×1.25×0.15 SH33と監備 P·Q80 SK27 SK31 土成 中世? 1.4×1.2×0.15 重養関係によろ P·Q82 SH38 SH32 整次住房 占護後期 4×2.75×0.15 SH32と同一 — SH29 — SH32と同一 SH32と同一 Q50 SH31 SH34 整次住房 占護後期 一辺2.7×0.11 Q49 SH32 SH35 整次住房 占護後期 一辺2.8×0.12 P48 SH33 SH36 整定住房 占護後期 不明 焼土のみ残り、規模不明 P・Q56 SK34 SK37 土成 中世? 0.75×0.75×0.26 P53 SK35 SK38 土成 中世? 1.2×0.8×0.3 Q60 SK36 SK39 土成 中世? 1.2×0.8×0.3 Q88 SK37 SK40 土成 中世? 1.2×0.8×0.0 P57 SK38 - - SK42と前 中世? 1.×0.5×0.1 P57 SK40 SK42 土坂 中世? <t< td=""><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>•</td><td></td><td></td></t<>							•		
P - Q80 S K27 S K31 土成 中世? 1.4×1.2×0.15 食物解による P - Q52 S H28 S H32 整次柱形 古墳後期 4×2.75×0.15 S H32と同一 Q50 S H30 S H33 整次柱形 古墳後期 一辺2.7×0.11 1 Q49 S H32 S H35 整次柱形 古墳後期 一辺2.8×0.12 1 P48 S H33 S H36 整次柱形 古墳後期 不明 境上のみ費り、規模不明 P - Q56 S K34 S K37 土成 中世? 0.75×0.75×0.26 1 P 53 S K36 S K38 土成 中世? 0.6×0.6×0.26 1 Q80 S K36 S K39 土成 中世? 1.2×0.8×0.3 1 Q58 S K37 S K40 土成 中世? 1.2×0.6×0.02 1 P57 S K40 S K42 土坂 中世? 1×0.5×0.1 1 Q49 S K41 S K43 土坂 中世? 0.65×0.4×0.1 1 Q49 S K41 S K42 土坂 中世? 0.65×0.45×0.3 1 — S K42			 	 					
B P・Q52 SH28 SH32 整穴住居 古墳後期 4×2.75×0.15 G50 SH30 SH33 整穴住居 古墳後期 一辺2.7×0.11 Q50 SH31 SH34 整穴住居 古墳後期 一辺2.7×0.11 Q49 SH32 SH35 整穴住居 古墳後期 一辺2.8×0.12 P48 SH33 SH36 整穴住居 古墳後期 不明 P・Q56 SK34 SK37 土坑 中世? 0.76×0.75×0.26 P53 SK35 SK38 土坑 中世? 0.6×0.6×0.26 Q60 SK36 SK39 土坑 中世? 1.2×0.8×0.3 Q58 SK37 SK40 土坑 中世? 1.2×0.6×0.02 - SK38 - SK24と同一 P57 SK39 SK41 中世? 0.8×0.4×0.1 Q49 SK41 SK42 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 中世? 0.65×0.45×0.3			 						
B - SH29 - SH30 SH33 整穴住房 古塊後期 -辺2.7×0.11 Q50 SH31 SH34 整穴住房 古塊後期 -辺2.7×0.11 Q49 SH32 SH35 整穴住房 古塊後期 -辺2.8×0.12 P48 SH33 SH36 整穴住房 古塊後期 不明 塊土のみ費り、規模不明 P・Q56 SK34 SK37 土坑 中世? 0.75×0.75×0.26 Q60 SK35 SK38 土坑 中世? 0.6×0.6×0.26 Q60 SK36 SK39 土坑 中世? 1.2×0.8×0.3 Q58 SK37 SK40 土坑 中世? 1.2×0.6×0.02 P57 SK38 - - SK24と同一 P57 SK40 SK42 土坑 中世? 1.×0.5×0.1 Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - - 大夢			<u> </u>						重複関係による
B Q50 S H30 S H33 整穴住房 古墳後期 一辺2.7×0.11 Q49 S H32 S H35 整穴住房 古墳後期 一辺2.7×0.11 Q49 S H32 S H35 整穴住房 古墳後期 一辺2.8×0.12 P48 S H33 S H36 整穴住房 古墳後期 不明 焼土のみ残り、規模不明 P・Q56 S K34 S K37 土坑 中世? 0.75×0.75×0.26 P53 S K35 S K38 土坑 中世? 0.6×0.6×0.26 Q60 S K36 S K39 土坑 中世? 1.2×0.8×0.3 Q58 S K37 S K40 土坑 中世? 1.2×0.6×0.02 - S K38 - S K24と同一 P57 S X39 S X41 中世? 1×0.5×0.1 P57 S K40 S K42 土坑 中世? 0.8×0.4×0.1 Q49 S K41 S K43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - S K42 - 大倉		P • Q52	S H28	S H32	竪穴住居	古墳後期	4×2.75×0.15		
B Q50 SH31 SH34 製穴住居 古墳後期 一辺2.7×0.11 ・ 辺2.8×0.12 P48 SH33 SH36 製穴住居 古墳後期 ・ 明 ・ 東土のみ残り、規値不明 P・Q56 SK34 SK37 土坑 中世? ・ 7.5×0.26 P53 SK35 SK38 土坑 ・中世? ・ 0.6×0.6×0.26 Q60 SK36 SK39 土坑 ・中世? ・ 1.2×0.8×0.3 Q58 SK37 SK40 土坑 ・中世? ・ 1.2×0.6×0.02 - SK38 - ・ SK38 ・ 中世? ・ 1×0.5×0.1 P57 SK39 SX41 中世察 0.8×0.4×0.1 Q49 SK41 SK42 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 大歩		-	S H29	-					SH32と同一
Q49 SH32 SH35 整穴住居 古墳後期 一辺 2. 8×0. 12 P48 SH33 SH36 整穴住居 古墳後期 不明 ・ 使土のみ残り、現積不明 P · Q56 SK34 SK37 土坑 中世? 0. 75×0. 75×0. 26 ・	В		 		 				
P48 SH33 SH36 整穴住居 古墳後期 不明 娩土のみ残り、規模不明 P・Q56 SK34 SK37 土坑 中世? 0.75×0.75×0.26 P53 SK35 SK38 土坑 中世? 0.6×0.6×0.26 Q60 SK36 SK39 土坑 中世? 1.2×0.8×0.3 Q58 SK37 SK40 土坑 中世? 1.2×0.6×0.02 - SK38 - SK24上同一 P57 SX39 SX41 中世? 1×0.5×0.1 P57 SK40 SK42 土坑 中世? 0.8×0.4×0.1 Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 大番			-						
P・Q56 SK34 SK37 土坑 中世? 0.75×0.75×0.26 P53 SK35 SK38 土坑 中世? 0.6×0.6×0.26 Q60 SK36 SK39 土坑 中世? 1.2×0.8×0.3 Q58 SK37 SK40 土坑 中世? 1.2×0.6×0.02 - SK38 - SK24と同一 P57 SX39 SX41 中世8? 中世? 1×0.5×0.1 P57 SK40 SK42 土坑 中世? 0.8×0.4×0.1 Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 次番			 	-					
P53 SK35 SK38 土坑 中世? 0.6×0.6×0.26 Q60 SK36 SK39 土坑 中世? 1.2×0.8×0.3 Q58 SK37 SK40 土坑 中世? 1.2×0.6×0.02 - SK38 - SK24と同一 P57 SX39 SX41 中世8? 中世? 1×0.5×0.1 P57 SK40 SK42 土坑 中世? 0.8×0.4×0.1 Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 大番			-						焼土のみ残り、規模不明
Q60 SK36 SK39 土坑 中世? 1.2×0.8×0.3 Q58 SK37 SK40 土坑 中世? 1.2×0.6×0.02 - SK38 - SK24上同一 P57 SX39 SX41 中世? 1×0.5×0.1 P57 SK40 SK42 土坑 中世? 0.8×0.4×0.1 Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 大藤			 	_			-		
Q58 SK37 SK40 土坑 中世? 1、2×0、6×0、02 - SK38 - SK24と同一 P57 SX39 SX41 中世? 1×0、5×0、1 P57 SK40 SK42 土坑 中世? 0、8×0、4×0、1 Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0、65×0、45×0、3 - SK42 - 大番		P53	 		土坑				
- SK38 - P57 SX39 SX41 中世常? 1×0.5×0.1 P57 SK40 SK42 土坑 中世? 0.8×0.4×0.1 Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 大番		Q60		S K39	土坑	中世?			
P57 SX39 SX41 中世常 1×0.5×0.1 P57 SK40 SK42 土坑 中世? 0.8×0.4×0.1 Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 大橋		Q58	S K 37	S K 40	土坑	中世?	1. 2×0. 6×0. 02		
P57 SK40 SK42 土坑 中世? 0.8×0.4×0.1 Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 大番		-	S K 38						S K24と同一
Q49 SK41 SK43 土坑 中世? 0.65×0.45×0.3 - SK42 - 大器		P57	S X 39	S X 41	中世墓?	中世?	1×0. 5×0. 1		
- SK42 - 欠番		P57	S K 40	S K 42	土坑	中世?	0. 8×0. 4×0. 1		
		Q49	S K41	S K 43	土坑	中世?	0. 65×0. 45×0. 3		
Q60 SK43 SK44 土坑 中世? 1, 25×0.85×0.5		-	S K42						欠番
		Q60	S K43	S K 44	土坑	中世?	1. 25×0. 85×0. 5		

第11表 遺構一覧表・遺構番号対照表(1)

В	P50 P50 Q59 — M32 D33	SK44 SK45 SK46 SZ47	S K 45 S K 46 S K 47	土坑	中世?	縦 × 横 × 深さ (m) 1×0.35		
В	Q59 - M32 D33	S K 46 S Z 47	-		中世?			
В	— М32 D33	S Z 47	S K 47			1. 55×0. 82×0. 15	I .	
	— М32 D33	S Z 47		土坑	中世?	0. 7×0. 6×0. 13		
	D33	SK1	-					SH35と同一
	D33		S K 48	土坑	中世	1. 35×1. 2×0. 3		
		SK2	S K 49	土坑	中世	0. 75×0. 6×0. 2		
		_	S B 50	棚立柱建物	中世	4 間×4 間		総柱途物
\vdash	E 36他	_	S B 51	組立柱建物	中世	4 間×2 間		総柱建物
	G36他.	_	S B 52	組立柱建物	中世	2 間×1 間		
	I 35₩L	S H50	S H53	竪穴住居	古墳後期	一辺 6 × 0. 1		北辺にカマド
	I 35₩L	S H51	S H54	竪穴住居	古墳後期	—Ю 6 × 0. 2		北辺にカマド
-	K38他	S H52	S H55	竪穴住居	古墳後期	5. 8×0. 17		東辺にカマド
<u> </u>	J 33他	S H53	S H56	竪穴住居	古墳後期	一边6×0.1		北辺にカマド
-	H32他	S H54	S H57	竪穴住居	古墳後期	—Ю. 6×0. 1		北辺にカマド
-	L33他	S D55	S D58	准	中世	幅0.65×0.15		東辺にカマド
-	L38 · 396b	S H56	S H59	竪穴住居	古墳後期	—iД6. 9×0. 2		南辺にカマド
	G35#dL	S H57	S H60	竪穴住居	古墳後期	—i23. 7×0. 15		
\vdash	L 33他	S D58	S D61	#	中世	幅0.9×0.25		
-	G36 · 37	S H59	S H62	竪穴住居	古墳後期	一辺4.95×0.15		
\vdash	F374L	S H60	S H63	整穴住居	古墳後期	不明		
-								the Prince of the Control of the Con
-	G32他	S H61	S H64	竪穴住居	古墳後期	不明		北辺にカマド
-	E 33 m	S H62	S H65	竪穴住居	古墳後期	不明		調査区外及び重複によって規模不明
	K41他	S H63	S H66	竪穴住居	古墳後期	不明		西辺にカマド
c	I 37 · 38	S H64	S H67	竪穴住居	古墳後期	4~4. 5×0. 2		東辺にカマド
<u> </u>	E 32	S H65	S H68	整穴住居	古墳後期	一边5.95×0.08	· · · · · · · · · · · · · · · · · · ·	Every book
-	E 32	S H66	S H69	竪穴住居	古墳後期	一边5. 25×0. 07		南辺にカマド
\vdash	F 32	S H67	S H70	竪穴住居	古墳後期	不明		重複によって規模不明
-	F 33	S H68	SH7I	竪穴住居	古墳後期	→324.75×0.25		西辺にカマド
<u> </u>	G33他	S H69	S H72	竪穴住居	古墳後期			
-	J 38他	S H70	S H73	竪穴住居	古墳後期	辺3. 7×0. 15		東辺にカマド
	F 38他	S H71	S H74	竪穴住居	古墳後期	不明		
-	F39 · 40	S H72	S H75	整穴住居	古墳後期	4×4. 5×0. 15		東辺にカマド
<u> </u>	F40 · 41	S H73	S H76	竪穴住居	古墳後期	4. 3×4. 2×0. 2		
<u> </u>	D40	S H74	S H77	竪穴住居	古墳後期	不明		
_	D40	S H75	S H78	竪穴住居	古墳後期	不明		カマド跡のみ残る
<u> </u>	D40	S H76	S H79	竪穴住居	古墳後期	不明		カマド跡のみ残る
<u> </u>		S H77	S H80	竪穴住居	古墳後期	不明		
\vdash	E 35他	-	S B81	掘立柱建物	古墳後期	3 [4] × 2 [4]		
\vdash	K32他	-	S B 82	掘立柱建物	古墳後期	3 間×3 間		総柱建物
<u> </u>	K36他	-	S B83	掘立柱建物	古墳後期	3 間×3 間		総柱建物
<u> </u>	L37他		S B 84	棚立柱建物	古墳後期	4 間×2 間		
<u> </u>	L39他	-	S B 85	掘立柱建物	古墳後期	2 開×2 間		
<u> </u>	I 37他	-	S B 86	掘立柱建物	古墳後期	2 開× 2 間		
	H39他	-	S B 87	掘立柱建物	古墳後期	5 間×4 間		
<u> </u>	S 62他	SD3	S D88	構	中世	幅 0.3~0.5×0.15		
D	Т62	SK4	S K 89	土坑	中世	0. 72×0. 48×0. 24		
\perp	U63	SK5	S K90	土坑	中世	0. 9×0. 66×0. 12		

第12表 遺構一覧表・遺構番号対照表(2)

地区名	グリット	調査時番号	報告書番号	性格	時 期	規 棋	特 徹	備考
	T 62他	SZ6	S Z 91	不明	中世	縦 × 横 × 深さ (m) 4.83×4.05×0.1~0.15		
	T 58 · 59	SH7	S H92	竪穴住居	古墳後期	—iД4. 37×0. 1		
1 1	R 58	SX8	S X 93	中世墓?	中世	1. 78×1. 54×0. 45		
	R 58	SD9	S D94	满	中世	幅0.3×0.06		
	R 58	S D10	S D95	横	中世	幅0.2×0.06		
	S 57	S K 11	S K96	土坑	中世	1. 45×0. 96×0. 24		
	S 57	S K 12	S K97	土坑	中世	1. 4×0. 94×0. 3		
	S 57	S K13	S K 98	土坑	中世	1. 1×0. 86×0. 23		
	S 57	S K 14	S K99	土坑	中世	1. 43×0. 94×0. 59		
	S 57	S K 15	S K 100	土坑	中世	0. 91×0. 8×0. 46		
	S 57	S K 16	S K 101	土坑	中世	0. 9×0. 42×0. 1		
	T 56	S E 17	S K 102	土坑	中世	2. 6×1. 35以上×0. 3		
1	S 58	S K 18	S K 103	土坑	中世	1. 72×1. 26×0. 18		
	S 58	S K 19	S K 104	土坑	中世	1. 5×1. 45×0. 46		
	S 58	S K 20	S K 105	土坑	中世	0. 85×0. 74×0. 15		
1 1	S 58	S K21	S K 106	土坑	中世	0. 92×0. 77×0. 35		
	S 64 · 65	S K22	S K 107	土坑	中世	1. 18×1. 12×0. 48		
	S64	S K23	S K 108	土坑	中世	1. 45×1. 17×0. 15		
	S 64他	S D24	S D109	##	中世	幅0. 2~0. 3×0. 15		
	U64他	S K25	S K110	土坑	中世	1. 48×1. 48×0. 24		
	S 60他	S D26	SDIII	1#4	中世	幅0.58~1.42×0.2~0.3		
	R 58	S K27	S K 112	土坑	中世	1. 47×1. 1×0. 22		
	R 58	S K28	S K113	土坑	中世	1. 38×1. 08×0. 1~0. 3		
D	R 58	S K29	S K 114	土坑	中世	0. 84×0. 75×0. 13		
	R58	S K 30	S K 115	土坑	中世	1. 67×0. 8×0. 1~0. 3		
	R57	S H31	SH116	整穴住居	古墳後期	3. 3×3×0. 1		
	R55 · 56	S E 32	S K117	土坑	中世	径3.75×0.75		
	S 56	S K33	S K 118	土坑	中世	1. 3×1×0. 3		
	S 56	S K34	S K119	土坑	中世	1. 5×1. 13×0. 24		
	S 56	S K 35	S K 120	土坑	中世	1. 04×0. 88×0. 23		
	S 56	S K 36	S K 121	土坑	中世	1×0.76×0.27		
	S 56	S K37	S K 122	土坑	中世	1. 55×0. 98×0. 27		
	S 56	S K 38	S K123	土坑	中世	1. 02×0. 88×0. 25	****	
	S 55	S K 39	S K 124	土坑	中世	3. 04×1. 25×0. 15		
	S 55	S K 40	S K 125	土坑	中世	1. 17×0. 9×0. 46		
	S 55	S K41	S K126	土坑	中世	1. 55×0. 95×0. 25		
	S 55	S H42	S H127	整穴住居	古墳後期	3. 8×3. 15×0. 2		
	S 54	S H43	S H128	竪穴住居	古墳後期	不明		
	S 54	S K 44	S K 129	土坑	中世	3. 6×1. 8以上×0. 1		
	S 54	S K 45	S K 130	土坑	中世	1. 02×0. 85以上×0. 15		
	R 58他	S D46	S D131	構	中世	幅0.3×0.1×0.4		
	R58	S K 47	S K132	土坑	中世	1. 35×1. 28×0. 33		
	R 56	S H 48	S H133	竪穴住居	古墳後期	4. 1×2. 77×0. 06		
	R 57他		S B 134	据立柱建物	中世	4間×2間以上		総柱建物
	⊤60他	_	S B 135	細立柱建物	中世	4 関×2 間		総柱建物
	T 62他	_	S B 136	搬立柱建物	中世	4 開×3 間		総柱建物
	T 62 ML	_	S B 137	掘立柱建物	中世	5 間×3 間		総柱雄物
1		1	L		I	1		

第13表 遺構一覧表・遺構番号対照表(3)



図版1 調査前風景(北から)



図版2 調査前風景(西から)



図版3 A地区調査区全景(東から)



図版4 B地区調査区全景(西から)



図版5 C地区上層調査区全景(北から)



図版 6 B地区下層調査区全景(西から)



図版7 耕作痕・足跡全景(西から)



図版8 D地区調査区全景(西から)



図版9 SH13カマド出土状況(南から)



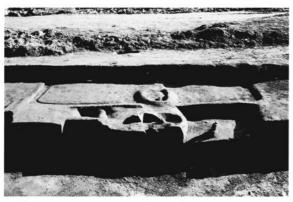
図版10 SH13カマド完掘状況(南から)



図版11 SH17カマド出土状況(南から)



図版15 SD4出土状況 (西から)



図版12 SH14・21 (北から)



図版16 SH29・32 (西から)



図版13 SH14・21カマド (南から)



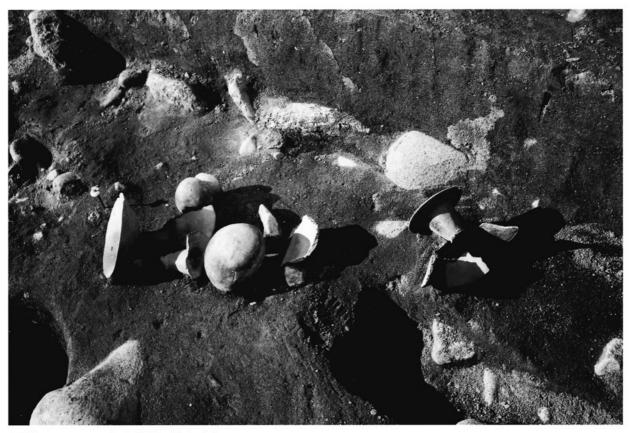
図版17 SH33·SK30 (北から)



図版14 SD4 (北から)



図版18 SH23・27・SX41 (西から)



図版19 SH29出土状況 (東から)



図版20 SH33出土状況(西から)



図版21 SH55・59・66・73 (東から)



図版22 SH55・59 (西から)



図版23 SH64・71・72ほか(北から)



図版24 SH74・75・76 (西から)



図版25 SH55・59・67・73 (西から)



図版26 SH64カマド (南から)



図版27 SH73カマド (西から)



図版28 SH56カマド (南から)



図版32 SH71カマド (東から)



図版29 SH54カマド (南から)



図版33 SH75カマドB (南から)



図版30 SH53カマドA (西から)



図版34 SH75カマドA (南から)



図版31 SH57カマド (西から)



図版35 SH78カマド (西から)



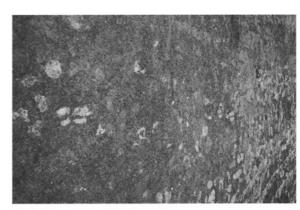
図版36 SB50 (北から)



図版40 SB84 (南から)



図版37 SB51・52 (北から)



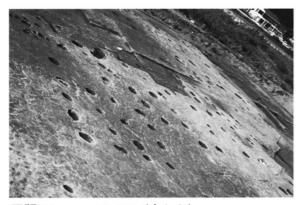
図版41 足跡(南東から)



図版38 SB82 (南から)



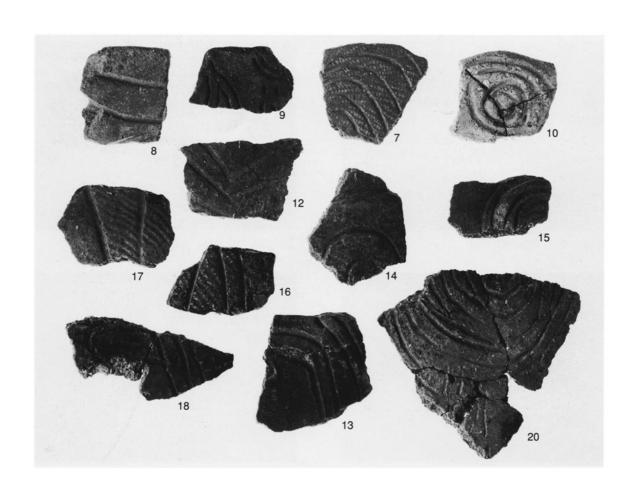
図版42 足跡(南から)

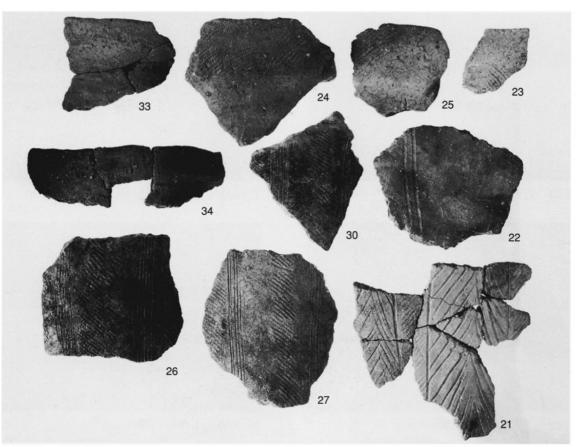


図版39 SB83・86 (東から)

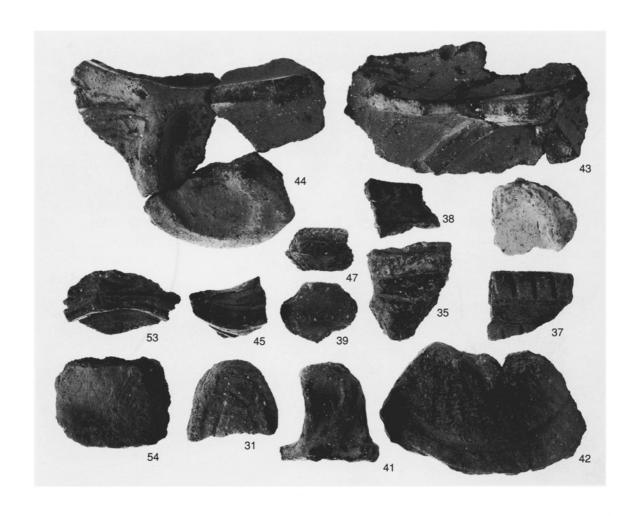


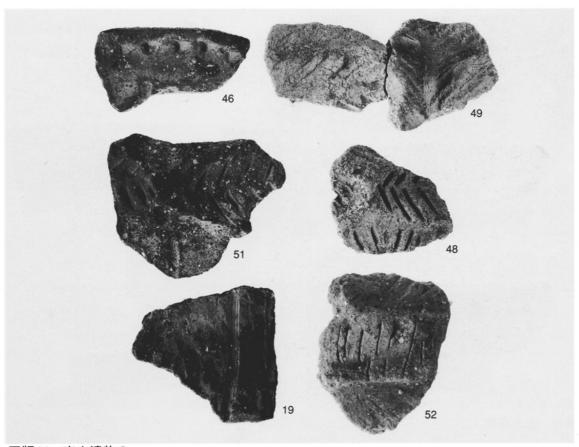
図版43 SH92 (南から)



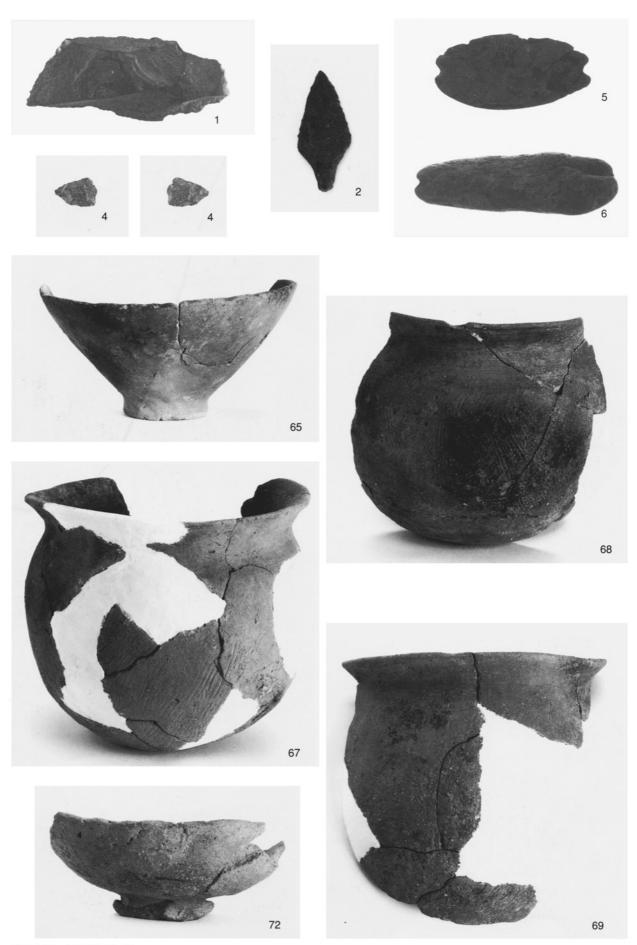


図版44 出土遺物1





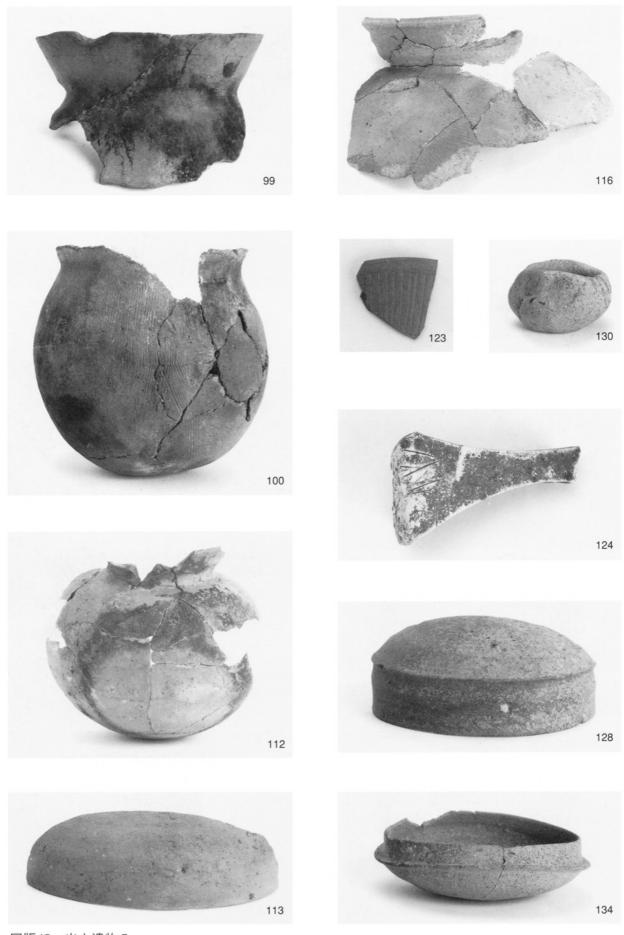
図版44 出土遺物 2



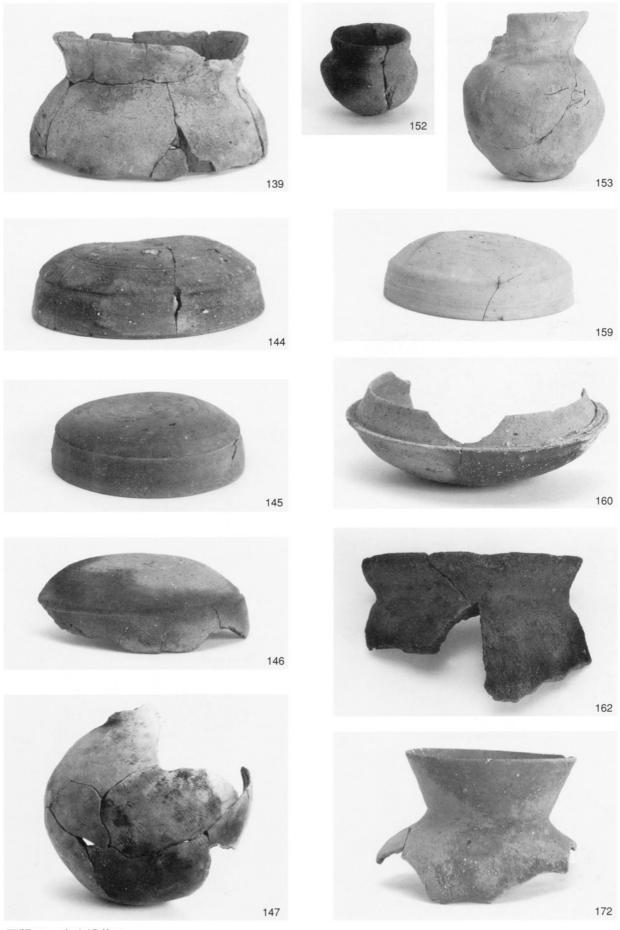
図版46 出土遺物3



図版47 出土遺物 4



図版48 出土遺物5



図版49 出土遺物6



















図版50 出土遺物7









図版51 出土遺物8













図版52 出土遺物 9







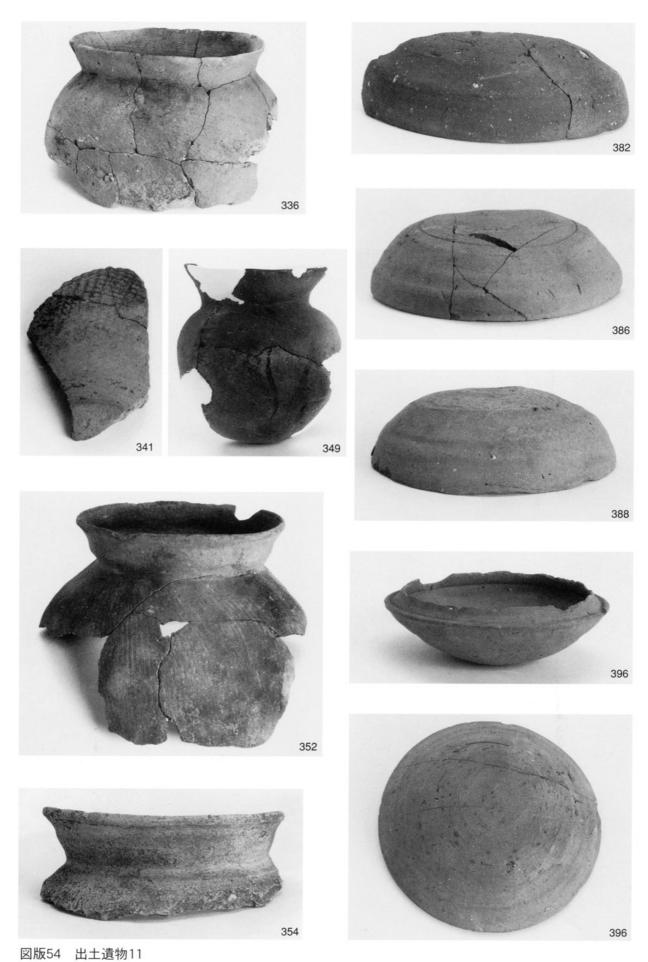








図版53 出土遺物10



ARTHUR 00 00 VO VO VO VO



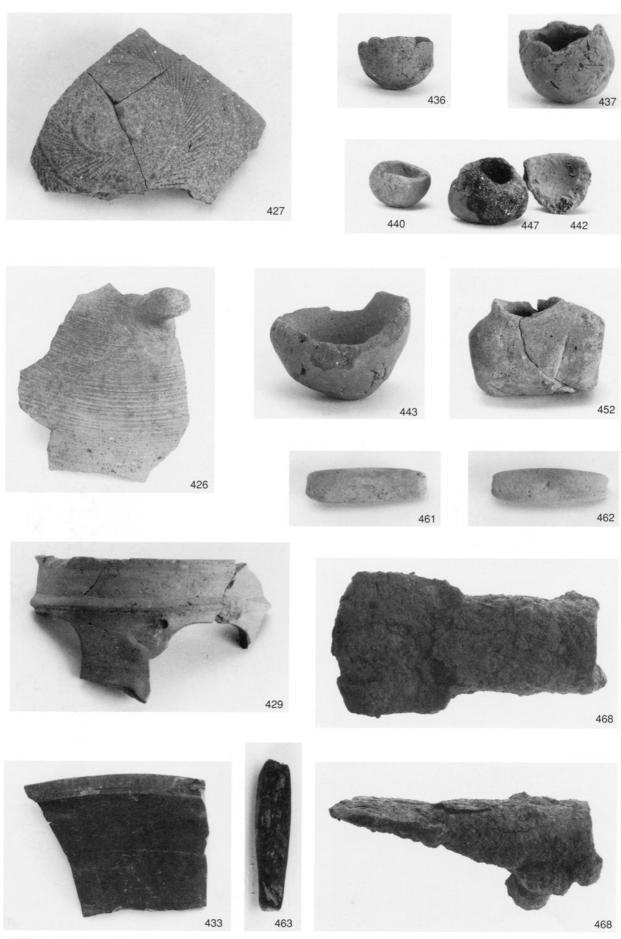




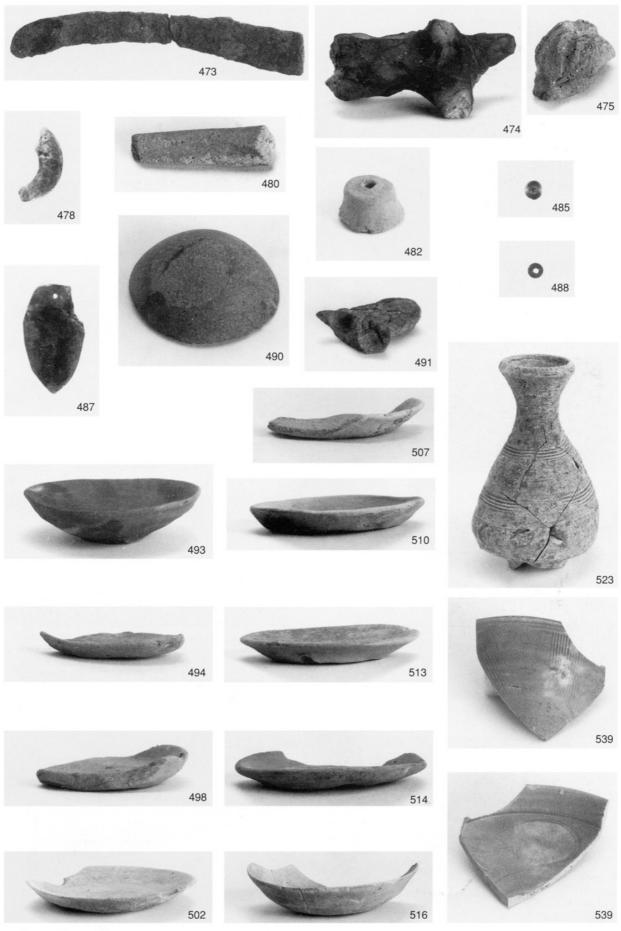


図版55 出土遺物12

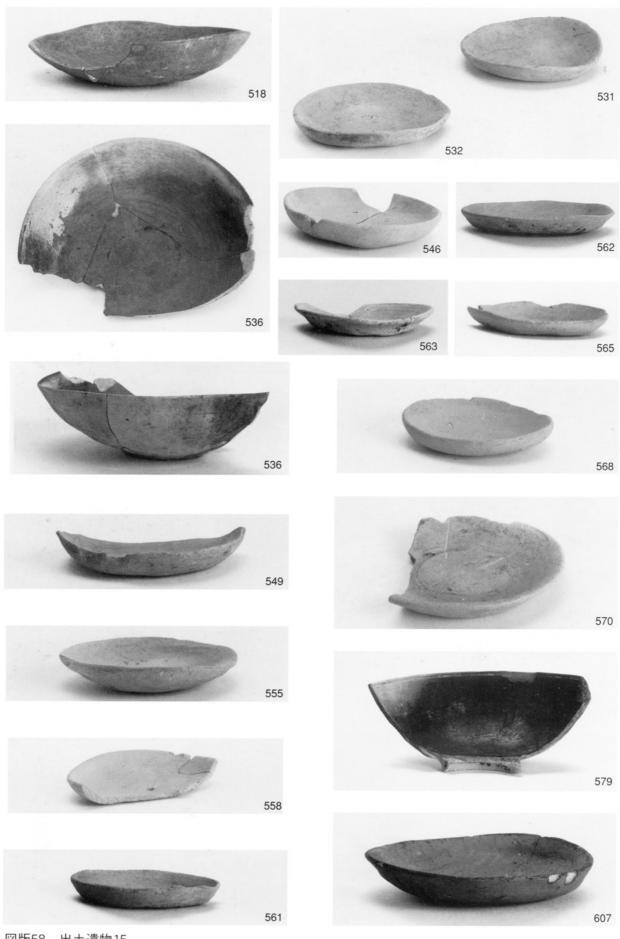
414



図版56 出土遺物13



図版57 出土遺物14



図版58 出土遺物15







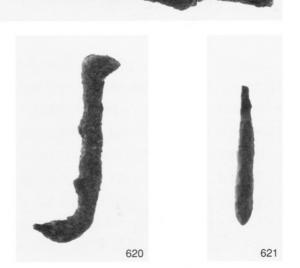












図版59 出土遺物16

III 中出向遺跡

1 層序と遺構

(1) 層序

D地区は、南側の丘陵と前深瀬川に挟まれた段丘上にある水田である。丘陵裾部からは約150m離れている。基本的層序は、耕作土、床土もしくは暗褐灰色土、砂層、灰褐色粘質土の順で、青灰色粘質土(地山)または砂礫層に至る。灰褐色粘質土層上面で溝状の遺構を検出したため、この検出面を第1遺構面とした。現地表面からの深さは約0.6mである。また、第1遺構面から約0.4~0.8m下には、青灰色粘質土層または砂礫層が広がっている。青灰色粘質土層上面を第2遺構面とした。南東方向への大きな

落ち込みおよび溝1条を検出した。

E地区は、前深瀬川左岸の段丘上に広がる水田である。基本的層序は、耕作土、床土、灰色もしくは褐灰色系砂層または灰色もしくは褐色系統の土の順で黄灰色粘質土の地山面に至る。概ね調査区中央付近を境として北側が砂層となっている。この地区では、掘立柱建物1棟、溝1条、ピットなどを検出した。

(船越重伸)

(2) 遺構

ここでは、D地区およびE地区の主な遺構について記述することとし、記述のない遺構については、 遺構一覧表・遺構番号対照表(第15表)を参照されたい。

a 掘立柱建物

SB245 E地区中央部で検出した3間×2間の南北棟である。柱間は、桁行が約1.5m、梁行が約1.8mの等間となっている。柱掘形は、一辺が約0.7~0.8mの隅丸方形もしくは径約0.8mの円形である。柱掘

形および柱穴から極僅かな遺物が出土したのみで、 明確な時期決定は難しい。

b 溝

S D 246 D地区中央部 (下層) で検出した幅約1.2 m、深さ約0.2mの溝である。東肩部分で長さ約2.3 m、幅約0.15mの板が出土した。旧流路の一部であると思われる。

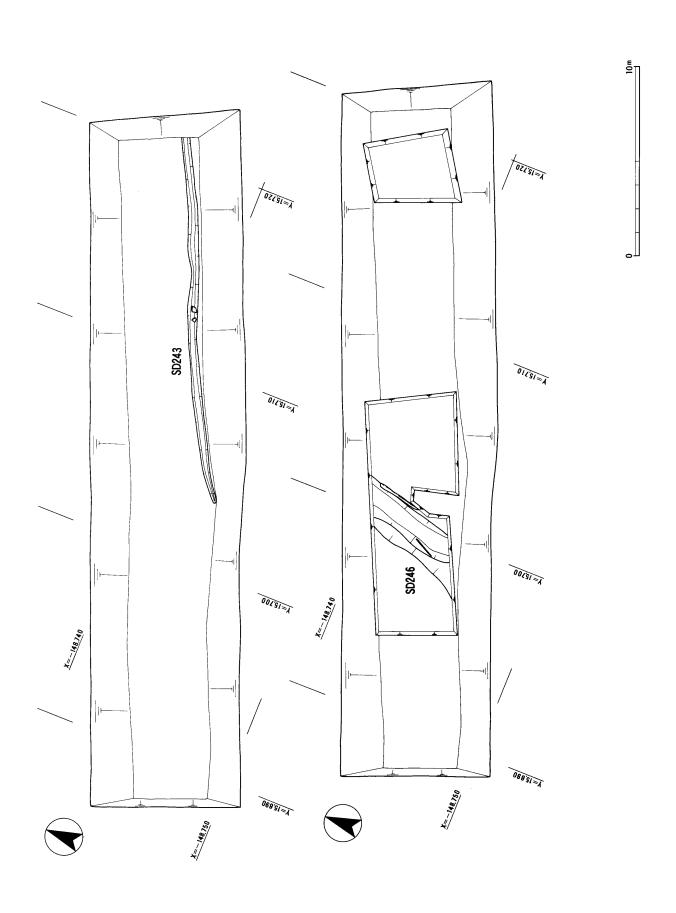
(船越重伸)

2 遺物

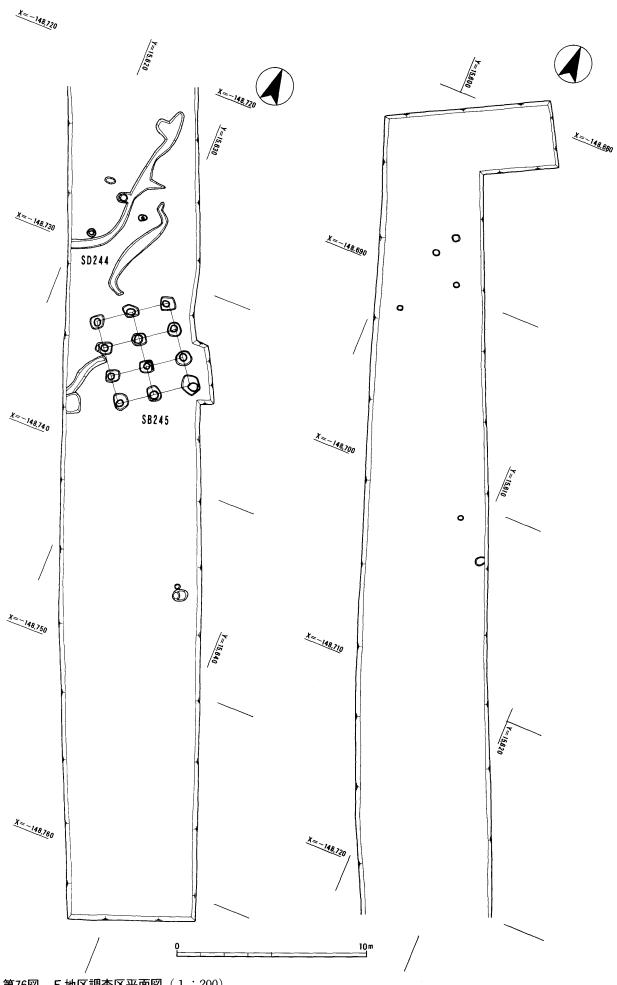
出土遺物は、大きく時代別に分けて古墳時代後期・中世である。遺物には、古墳時代後期の土師器鍋・壺・須恵器杯身、中世では、土師器皿・瓦器椀・瓦器皿がある。1は、球形の体部にやや外方に屈曲する。口縁端部は、外方に先端部分が突き出る様になっている。2は、口径がやや大きく開き、肩部が丸みを帯びて広がる。頚部は、全体的に丸みを帯びてまとまる。3・4は、底部がやや平らで腰部においてやや強く屈曲する。口縁端部は、内面に段を持つようにやや尖り気味にまとまる。5~8は、底部が緩い丸みを帯びて立ちあがる。5~7は、口縁端部が

丸くまとまる。8は、口縁部近くにおいて段差を持つように成形され、端部において上方に伸びるようにまとめられる。9は、全体的に緩い傾斜の体部を持ち、断面台形状の小ぶりの高台が貼り付けられる。口縁部内面には、浅い沈線が巡る。見込みには、渦巻き状・連結輪状の暗文が施される。12世紀後半頃のものとみられる。10は、やや平坦でない底部から緩やかに立ちあがり口縁端部において外方に開く。見込みには、平行線状の暗文が施されている。これも12世紀後半頃のものであろう。

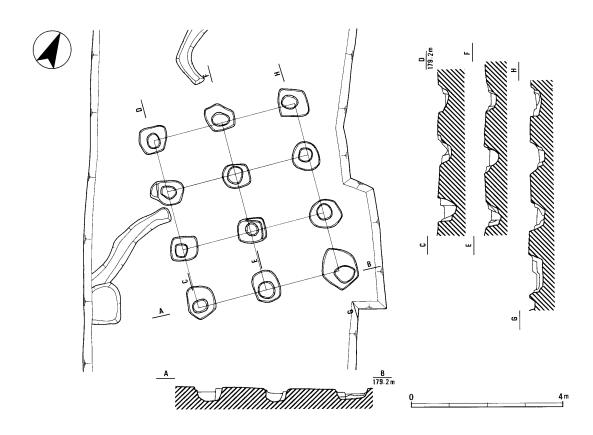
(萩原義彦)



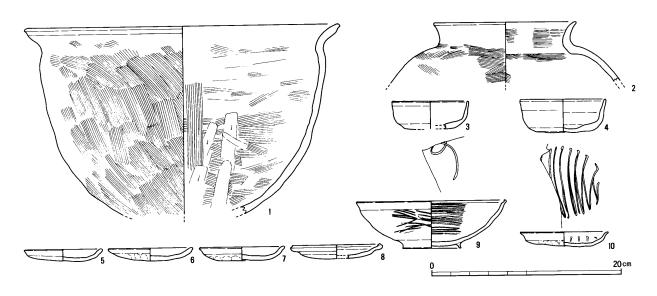
第75図 D地区調査区平面図(1:200) 左:上層 右:下層



第76図 E 地区調査区平面図 (1:200)



第77図 SB245実測図(1:100)



第78図 出土遺物実測図 (1:200)

3 結 語

今回の調査では、E地区で検出した掘立柱建物1 棟以外は顕著な遺構は認められなかった。このこと と試掘結果などから考えて、中出向遺跡における集 落は、今回の調査区付近を西限とするものと思われ る。

平成8年度からの3次にわたる発掘調査によって中出向遺跡は縄文時代から鎌倉時代にかけての集落跡であることが明らかとなった。特に古墳時代から奈良時代にかけては比較的大規模な集落が営まれていたことが判明したのは大きな成果であった。古墳時代の集落は6世紀代を中心に竪穴住居が70棟も検出され、南側の丘陵に分布する古墳群との関係が注目されるものであった。平成10年度から発掘調査された当遺跡の北に隣接している羽根中島遺跡でも同

時期の集落跡が見つかっており、当遺跡との関係や 古墳群との関係が注目される。

また、A地区とB地区から出土した製塩土器は、 大阪湾沿岸のものと思われ、伊賀地域が物流の上でも古くから関西方面との関係があったことを想像させるとともに三重県内の塩の流通を考える貴重な資料である。

羽根地区内でのほ場整備事業や川上ダム建設関係 事業に伴う一連の調査で羽根地区の歴史の一端が見 えてきた。これらの発掘調査で判明したことを総合 的に捉えて何らかのまとめをするべきであるが、現 時点では資料が少ない。詳細な検討は調査事例の増 加や周辺遺跡等の既調査の報告を待って行いたい。

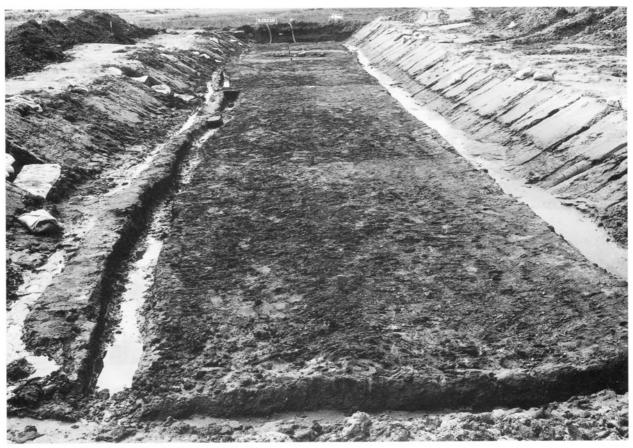
(船越重伸)

No.	登録番号	器権	遺 構 出土位置	口 径 cm	器高	その他 cm	調整技法の特徴	胎生	焼成	色調	残 存	備考
1	001-01	土師器	E地区 麦土	33. 0	1	-	内:ヨコナデ・ハケメ後工具ナデ 外:ヨコナデ・ハケメ (6本/1cm)	やや粗 ~3mmの砂粒含む	並	内:にぶい黄橙 10YR7/3 外:にぶい橙 7.5YR7/4	口練:1/9	
2	002-01	土師器	E地区 表土除去	13. 0	1	1	ナデ・ハケメ (6 本/1 cm)	やや粗 ~ 2 mmの砂粒含む	並	にぶい催 7.5YR7/4	口練:1/4	
3	003-03	須恵器 杯身	E地区 麦土除去	9. 0	3. 5		内:ロクロナデ・ナデ 外:ロクロナデ・ロクロケズリ・ナデ	やや密 ~2.5mmの砂粒含む	並	灰 10 Y 6 / 1	日縁:1/3	
4	003-04	須恵器 杯身	E 地区 V 4 包含層	8. 0	-	1	ロクロナデ	やや密 ~3mmの砂粒含む	並	灰白 N7/0	口縁:1/4	
5	002-04	土師器皿	D地区 排水溝	8. 0	1. 2	-	ヨコナデ・ナデ	やや密 ~2mmの砂粒含む	並	にぶい程 7.5YR6/4	口縁:一部欠	
6	002-02	土師器皿	D地区 下層 包含層	9. 0	1.9		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	やや密 ~2mmの砂粒含む	並	浅黄檀 10YR8/3	口禄:1/2	
7	002-03	土師器	D地区 下層 包含層	9. 0	1. 4		内: ヨコナデ・ナデ 外: ヨコナデ・ナデ・オサエ	答 ~3mmの砂粒含む	並	にぶい権 7.5YR7/3	口練:1/2	
8	002-05	土師器 皿	E地区 麦土除去	9.5	1	<u>. </u>	ョコナデ・ナデ	やや磨	並	内:にぶい黄檀 10YR7/3 外:にぶい檀 7.5YR6/4	日禄:1/5	
9	003-01	瓦聯	D地区 排土	16. 0	5. 0		内: ミガキ・ナデ 外: ナデ・オサエ・ミガキ	密	並	灰 N4/0 灰白 2.5Y7/1	口様:1/8 高台:1/4	
1 0	003-02	瓦器皿	D地区 包含層	9. 0	1. 5		内:ミガキ 外:ナデ・オサエ	やや密 ~1.5mmの砂粒含む	並	灰 10Y4/1 灰白 7.5Y7/1	口轍:1/2	

第14表 出土遺物観察表

地区名	グリット	調査時番号	報告書番号	性格	時期	規模 縦 × 横 × 深さ (m)	特徵	備考	
D	B 4 他	SD1	S D243	摊	中世以降	幅約0.5m×深さ約0.3m			
E	A 7他	SD2	S D244	濮	不明	幅約0.5m×深さ約0.12m			
Е	O 3 feb	SB3	S B 245	据立柱建物	不明	析行約1.5m×架行約1.8m	3間×2間の総柱建物	柱網形の平面形は、隅丸方形ないし円形で約0.7 ~0.8m	
D	M/3 feb	SD4	S D246	推	不明	幅約1.2m×深さ約0.2m		旧流路の一部とみられる	

第15図 遺構番号対照表



図版60 D地区上層調査区全景(東から)



図版61 D地区下層調査区全景(南から)



図版62 E地区調査区全景(南から)



図版63 SB245 (南から)

Ⅳ 下坪井遺跡

1 調査の経緯

下坪井遺跡は、平成10年度は場整備事業に伴って 遺跡が壊される危険性があったため、当センターが 平成9年度に分布調査を実施した。その結果、古墳 時代から中世の遺物を採集した。平成10年度の事業 照会を受けて、伊賀県民局農林商工部と協議した結 果、事業地内に遺跡の存在が明白になった。これを 受けてさらに詳細な遺跡の把握をするため、平成10 年11月に試掘調査を実施することになった。その結 果、事業地内の微高地で土坑を確認し、平坦面の小 穴で古墳時代の須恵器や古代から中世にかけての土 師器が出土した。これによって事業地周辺に集落の ひろがりが想定されたので、事業部内と協議を重ね た結果、事業によって現状保存が困難部分について 本調査を実施をするに至った。

2 経過と方法

平成11年度の調査範囲は、対象面積、3,500㎡の うち、削平される集水枡埋設箇所に限られる。面積 は20㎡である。調査日は、平成11年10月20日である。 掘削は表土以下地山までを重機と人力を併用しなが ら行った。遺構埋土も一部重機を用いた。遺構図面 は、略測図と土層断面図を1/40の縮尺で作成し、遺跡全景および土層を(フジネオパンSS)35mmフィルムに記録した。

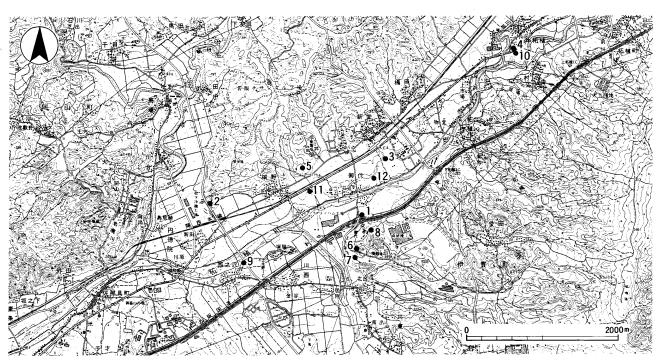
3 位置と歴史的環境

下坪井遺跡(1)は、阿山郡伊賀町の中南部、柘植川 左岸の河岸段丘に位置する。現況は水田、一部畑地 である。周辺には古代から中世の遺跡が分布する。 時代順に記述する。

柘植川は鈴鹿山脈の一ツ家小平山に源を発する。 当地では西流し、木津川に合流する。ここで展開される文化は、古墳時代以降である。東山古墳(2)をはじめとして、新道古墳(3)、筒御前古墳(4)、権現山古墳(5)、天長山古墳群(6)、内田古墳群(7)等が築造され分布する。また、近年調査された水衛遺跡(8)では調査例の少ない、導水施設と木樋が検出されている。®

集落跡として注目されるのは6世紀前半の天道遺跡(9)である。掘立柱建物が確認されている。続いて古代に入って、9世紀後半に東海道が開通するまで、旧東海道が右岸を往来する。畿内と東国とを結ぶ交通の要衝として当地が栄えるようになる。

奈良時代以降では、斎宮芝遺跡(10)・的場遺跡(11)が 知られている。的場遺跡からは建物が確認され、柱 穴から土師器が出土している。畔垣内遺跡(12)は2次 の調査で20棟の堅穴住居や掘立柱建物が確認されて



第79図 遺跡位置図(1:5,000)

いる。®周辺遺跡としては大規模な遺構である。

鎌倉時代以降は本調査の実施次数は少なく、解明されていない部分が多い。唯一、霊山山頂遺跡が知られている。当代後半の遺跡として著名で埋葬施設が確認されている。[®]

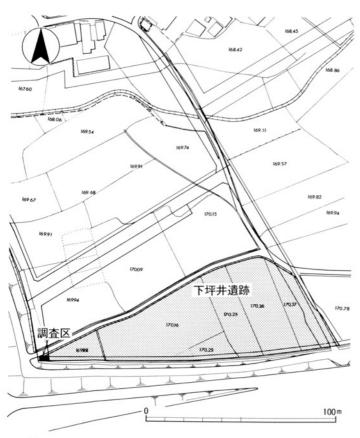
4 調査の成果

(1)遺構と遺物

溝SD1 淡褐色の地山で検出した。南側の肩部分は確認したが、西側の広がりは不明である。残存幅は1.5mである。断面形はVの字形である。埋土は青灰色砂質土である。ここから土師器(1)と瓦器片(2)が出土しいる。12世紀代に機能していたとみられる。なお、当遺構は、北側の現農道の方向に比べ、やや西に振るが、概ね一致する。

(2) まとめ

調査範囲の制約から集約のまとまりを想定できる 資料は得られなかった。しかし、表採遺物に瓦器が 含まれることや、出土遺物によってSD1の時期が 平安時代末であること、そしてその方向が遺跡北縁



第80図 調査区位置図(1:2,000)

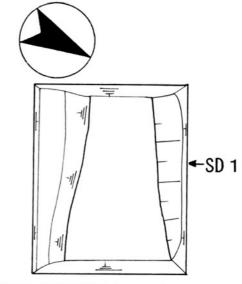
を往来する生活道路とほぼ一致することは確認できたので、柘植川左岸のしかも調査区周辺に古代の集落の所在が今後の調査によって確認されることを期待したい。 (中川 明)

註

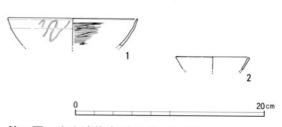
- ① 船越重伸『水衛遺跡発掘調査報告』(三重県埋蔵文化財センター 1997)
- ② 中嶋千年「X阿山郡伊賀町 畦垣内遺跡」(『昭和63年度農業 基盤整備事業地域 埋蔵文化財発掘調査報告 ―第1分冊―』三 重県教育委員会 1989)
- ③ 鈴木克彦「**畑**畦垣内遺跡(A地点)」(『平成2年度農業基盤 整備事業地域 埋蔵文化財発掘調査報告 一第1分冊—』三重県 教育委員会 1991)
- ④ 石部正志ほか『霊山山頂遺跡発掘調査報告』(伊賀町教育委員会 1990)



図版64 遺跡全景



第81図 遺構略測図 (1:100)



第82図 出土遺物実測図(1:4)

報告書抄録

ふ り が	ts	はねなかじまいせき	はっくつちょうさほ	うこく							
書	名	羽根中島遺	跡発掘調査	 報告							
副 書	名										
	次										
シリー	ズ 名	三重県埋蔵文化財調査報告									
シリーズ	番 号	2 2 0									
編著者	名	船越重伸・萩原義彦・中川明									
編集機	関	三重県埋蔵文化財センター									
所 在	地	〒 515-0325	三重県多	気郡明和町	5	03番地 TE	L 0596-	52-1732			
発行年	月日	西暦 2 0 0	1年3月3	0 日							
s りがな 所収遺跡名	s り が 所 在		一ド遺跡番号	北 緯。,,,,	東 彩。,,,,	調査期間	調査面積 m²	調査原因			
羽中島遺跡	五重県名 三重県名 かおやまもよりは 青山町羽 あさなかしま 字中島	がぐん 24501	158	34° 39′ 42″	136° 10° 10°	~ 19990318	4,110	県営ほ場整備事業 (羽根地区)に伴 う事前調査			
如他加州	A * 19th to 三重県名 ***********************************	賀郡 24501	242	34° 39′ 30″	136° 10′ 14′	, ~ 19981105	700	県営ほ場整備事業 (羽根地区)に伴 う事前調査			
下坪井遺跡	みまけんを 三重県阿 いがきょうみ 伊賀町御 きざしもつぼい 字下坪井		415	34° 48′ 10″	136° 13′ 10′	,	20	県営ほ場整備事業 (柘植川沿岸地区) に伴う事前調査			
所収遺跡名	種 別	主な時代	主	な遺れ		主な遺	物	特記事項			
羽根中島遺跡 集落跡		縄文~中世		建物・溝 ・牛の足跡	5	縄文土器・弥生 須恵器・土師器 勾玉・勾玉型土! 石鏃・金属製品	瓦器				
中出向遺跡	集落跡	古墳~ 掘立柱類 溝		韭物		須恵器・土師器	• 瓦器				
下坪井遺跡	散布地	中世~	溝			土師器・瓦器					

平成 13(2001) 年 3 月に刊行されたものをもとに 平成 19(2007) 年 11 月にデジタル化しました。

三重県埋蔵文化財調査報告220

羽根中岛遗跡発掘調查報告

2001 (平成13) 年3月

編集・発行 三重県埋蔵文化財センター

印 刷 オリエンタル印刷株式会社